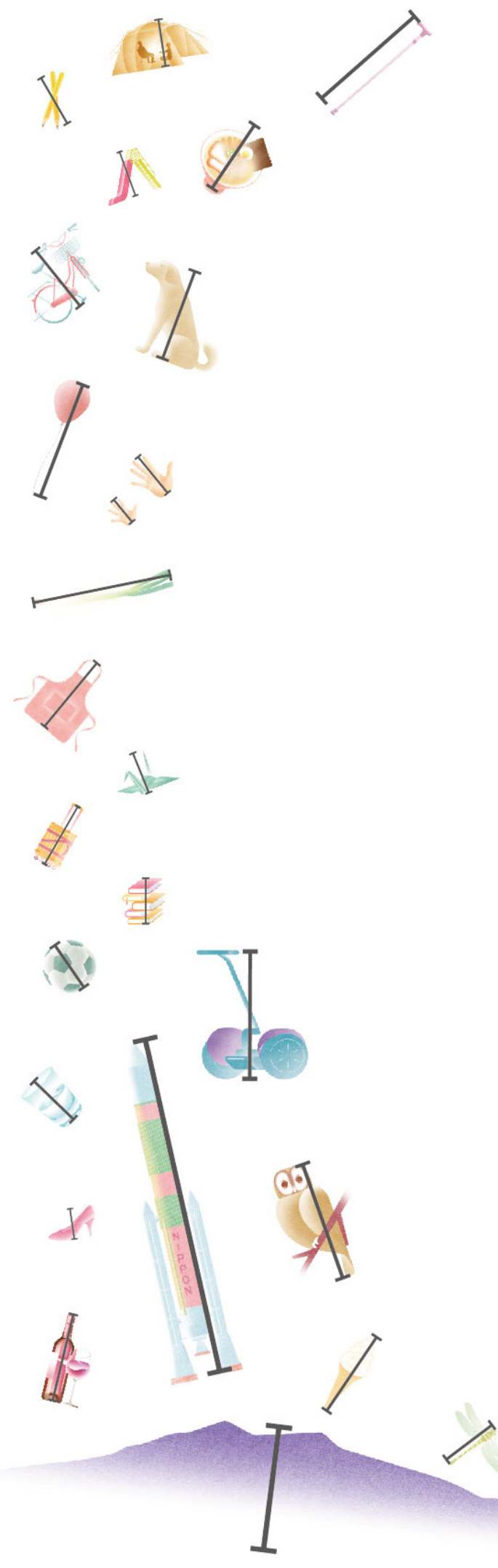




つくば市 一般廃棄物 処理基本計画 資料編

[令和 6 年度 (2024 年度) 改定版]

令和 7 年 (2025 年) 3 月

[対象期間]

令和 2 年度 (2020 年度) から
令和 11 年度 (2029 年度) まで

目次

1. ごみ処理の現状	1
2. ごみ組成分析調査結果	19
3. ごみに関するアンケート調査結果	57
4. 県内自治体との比較	113
5. 施策の実施状況及び評価	121
6. ごみ排出量の将来予測	131
7. 審議会委員名簿及び改定の経緯	161

1. ごみ処理の現状

1. ごみ総排出量の現状

(1) 計画収集量

ア. 計画収集量

計画収集量の実績は、表 1-1、図 1-1 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における計画収集量は 76,867t で、その内訳は、生活系ごみ委託収集量が 53,891t、事業系ごみの許可収集量が 22,976t となっています。

表 1-1 計画収集量の実績

(単位: t/年)

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
生活系ごみ	委託	52,107	52,067	52,762	53,270	54,607	54,770	55,888	55,442	54,949	53,891
	可燃ごみ	44,732	44,740	45,565	46,108	47,292	46,989	46,868	46,111	45,601	44,677
	不燃ごみ	2,112	2,100	2,014	1,979	2,008	1,930	2,200	1,945	1,806	1,765
	資源ごみ	4,961	4,907	4,872	4,848	4,956	5,487	6,370	6,943	7,139	7,053
	その他のごみ	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50
	粗大ごみ	255	274	267	291	303	316	396	391	351	346
事業系ごみ	許可	25,420	26,343	25,088	24,632	24,048	24,752	23,291	23,700	23,399	22,976
	可燃ごみ	24,447	25,371	24,344	23,836	23,234	23,968	22,557	22,731	22,490	22,120
	不燃ごみ	535	532	474	566	596	555	540	572	590	567
	資源ごみ	77	67	58	69	69	80	74	260	212	199
	その他のごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	粗大ごみ	361	373	212	161	149	149	120	137	107	90
生活系+事業系	合計	77,527	78,410	77,850	77,902	78,655	79,522	79,179	79,142	78,348	76,867
	可燃ごみ	69,179	70,111	69,909	69,944	70,526	70,957	69,425	68,842	68,091	66,797
	不燃ごみ	2,647	2,632	2,488	2,545	2,604	2,485	2,740	2,517	2,396	2,332
	資源ごみ	5,038	4,974	4,930	4,917	5,025	5,567	6,444	7,203	7,351	7,252
	その他のごみ	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50
	粗大ごみ	616	647	479	452	452	465	516	528	458	436

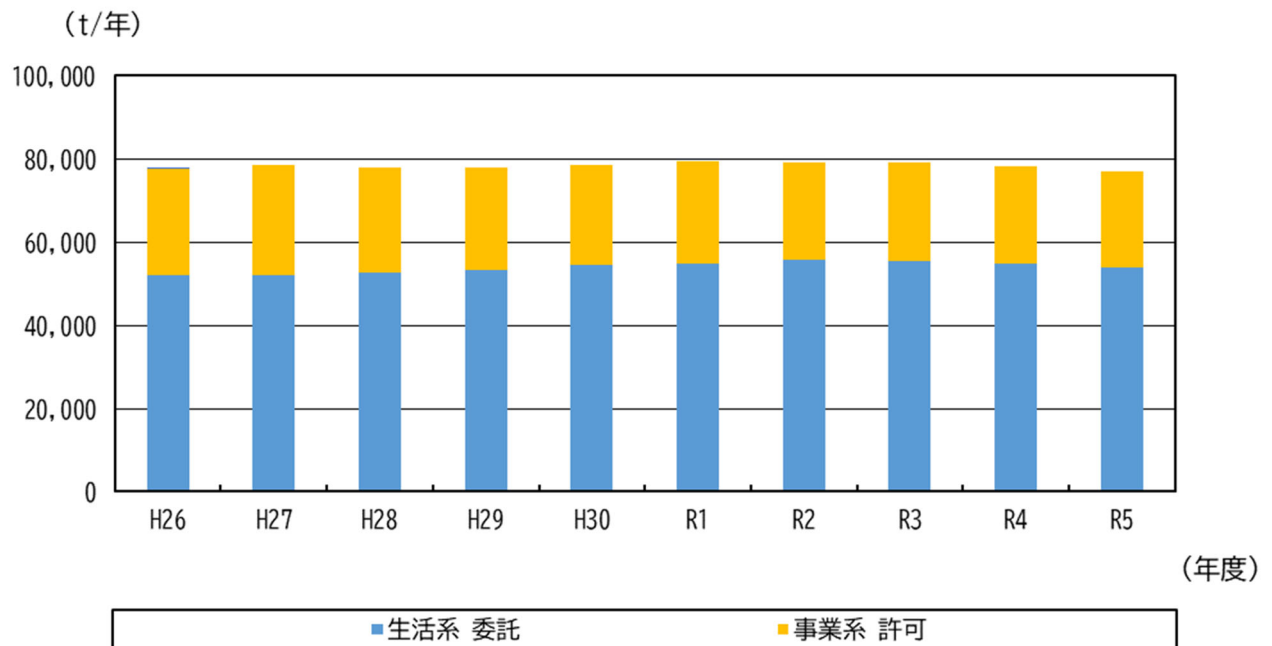


図 1-1 計画収集量の実績

イ. 生活系ごみの委託収集量

生活系ごみの委託収集量の実績は、表 1-2、図 1-2 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)においては、燃やせるごみの収集量が最も多く、次いで、古紙・古布、燃やせないごみ、びんの順となっています。

月別では、5 月～6 月、12 月の収集量が多く、2 月の収集量が最も少なくなっています。

表 1-2 生活系ごみの委託収集量の実績（令和 5 年度）

(単位：t/年)

	燃やせるごみ	燃やせないごみ	かん	びん	ペットボトル	古紙・古布	プラスチック製容器包装	その他	粗大ごみ	計
4月	3,566.94	173.31	53.85	117.19	58.98	339.23	95.99	3.95	36.46	4,445.90
5月	4,146.97	149.01	46.85	112.49	55.75	281.75	79.20	4.30	31.16	4,907.48
6月	4,045.65	133.06	52.62	139.67	63.20	295.61	88.57	3.28	25.90	4,847.56
7月	3,793.53	137.21	50.27	107.85	76.51	244.28	81.30	3.19	25.28	4,519.42
8月	3,795.04	123.69	47.46	120.32	71.73	251.96	79.87	4.25	25.30	4,519.62
9月	3,721.51	147.42	51.36	124.76	85.20	252.28	88.19	3.32	24.27	4,498.31
10月	3,981.61	137.59	47.00	108.65	60.46	249.28	80.68	4.80	28.82	4,698.89
11月	3,531.23	136.11	39.50	123.80	56.92	265.52	76.96	3.90	24.41	4,258.35
12月	3,880.77	189.21	47.37	126.79	61.26	308.32	91.44	5.41	35.19	4,745.76
1月	3,633.46	154.82	50.18	152.16	52.71	291.08	96.43	5.72	24.18	4,460.74
2月	3,125.37	124.49	40.04	110.81	49.49	225.85	77.22	4.01	27.82	3,785.10
3月	3,454.58	159.30	40.30	103.94	59.56	264.27	80.78	4.23	37.46	4,204.42
計	44,676.66	1,765.22	566.80	1,448.43	751.77	3,269.43	1,016.63	50.36	346.25	53,891.55
月平均	3,723.06	147.10	47.23	120.70	62.65	272.45	84.72	4.20	28.85	4,490.96

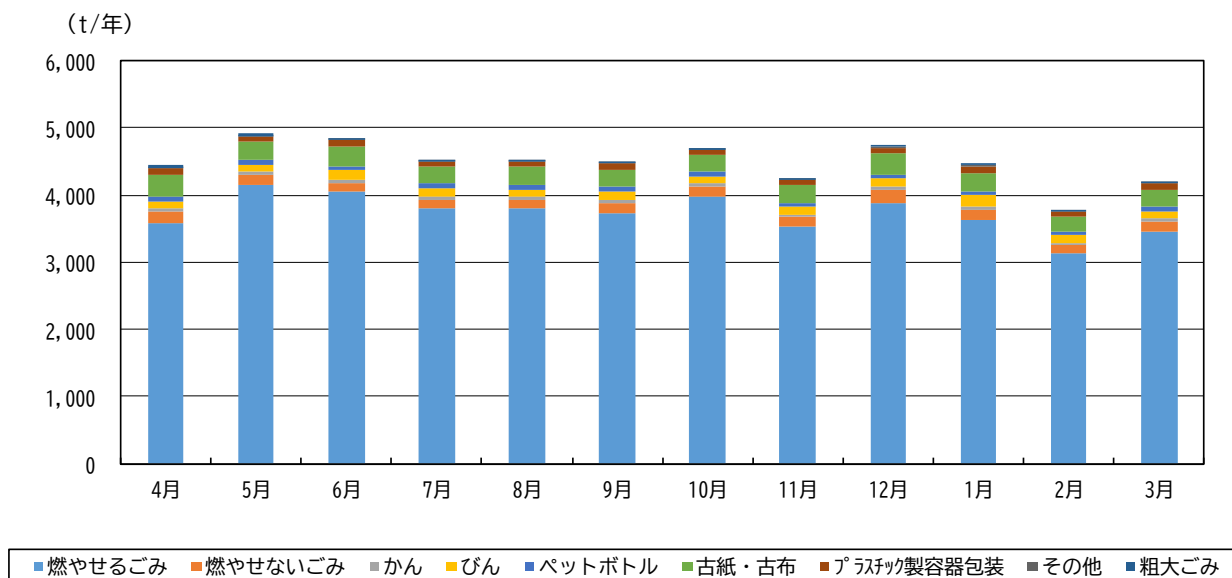


図 1-2 生活系ごみの委託収集量の実績（令和 5 年度）

(2) 直接搬入量

ア. 直接搬入量

直接搬入量の実績は、表 1-3、図 1-3 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における直接搬入量は 17,222t で、その内訳は、生活系ごみの直接搬入量が 2,607t、事業系ごみの直接搬入量が 14,615t となっています。

表 1-3 直接搬入量の実績

(単位：t/年)

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
生活系ごみ	可燃ごみ	1,261	1,318	1,344	1,368	1,503	1,348	960	857	760	829	
	不燃ごみ	242	285	260	253	364	331	226	155	137	117	
	資源ごみ	162	205	242	157	56	215	114	109	111	93	
	直接搬入量	古紙・古布	54	72	91	49	0	73	47	44	45	37
		プラスチック製容器包装	0	0	0	0	0	15	10	10	12	12
		ペットボトル	12	16	19	11	0	17	10	9	9	9
		かん	14	18	21	11	0	16	10	8	8	6
		びん	37	51	60	33	0	43	24	19	20	16
		計	117	157	191	104	0	164	101	90	94	80
	直接資源化量	紙類（牛乳パック）	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1
		廃食用油	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11
		小型家電	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1
		計	45	48	51	53	56	51	13	19	17	13
	その他のごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
粗大ごみ	1,483	1,503	1,433	1,402	1,385	1,749	1,626	1,653	1,495	1,568		
計	3,148	3,311	3,279	3,180	3,308	3,643	2,926	2,774	2,503	2,607		
事業系ごみ	資源ごみ（事業系）		8,289	11,201	10,232	10,201	12,260	11,624	11,879	13,027	13,233	14,615
	直接搬入量	古紙・古布	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3
		ペットボトル	3	4	4	2	0	1	2	4	4	4
		かん	2	3	3	2	0	1	2	2	4	4
		びん	6	4	6	5	0	3	5	3	3	3
		計	11	11	13	9	0	5	9	13	14	14
	事業者直接資源化量	紙類	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,882	14,271
		かん	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134
		びん	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35
		金属類	11	26	32	21	23	72	26	49	62	30
		ペットボトル	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131
		計	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,219	14,601
	計	8,289	11,201	10,232	10,201	12,260	11,624	11,879	13,027	13,233	14,615	
	直接搬入量 合計		11,437	14,512	13,511	13,381	15,568	15,267	14,805	15,801	15,736	17,222

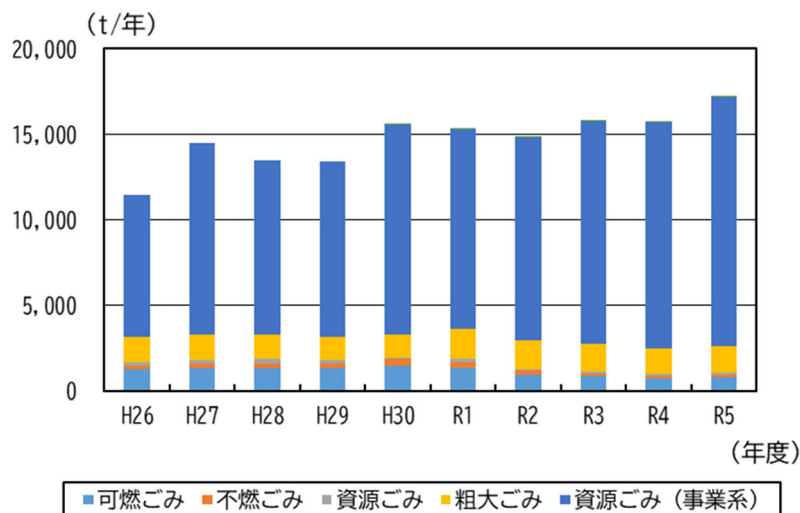


図 1-3 直接搬入量の実績

イ. 直接資源化量

直接資源化量の内訳は表 1-4、図 1-4 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における直接資源化量は 14,614t となっており、年々増加しています。特に、事業系ごみの直接資源化量は、多量排出事業者による資源化量の把握を積極的に進めたため、増加傾向にあります。

内訳は、紙類（牛乳パックを含む）の 14,272t が全体の約 98%を占め、次いで、かん 134t、ペットボトル 131t、びん 35t、金属類 30t となっています。

表 1-4 直接資源化量の内訳

(単位：t/年)

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
生活系ごみ	直接資源化量										
	紙類（牛乳パック）	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1
	廃食用油	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11
	小型家電	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1
	計	45	48	51	53	56	51	13	19	17	13
事業系ごみ	事業系直接資源化量										
	紙類	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,882	14,271
	かん	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134
	びん	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35
	金属類	11	26	32	21	23	72	26	49	62	30
	ペットボトル	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131
	計	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,219	14,601
	直接資源化量 合計	8,323	11,238	10,270	10,245	12,316	11,670	11,883	13,033	13,236	14,614

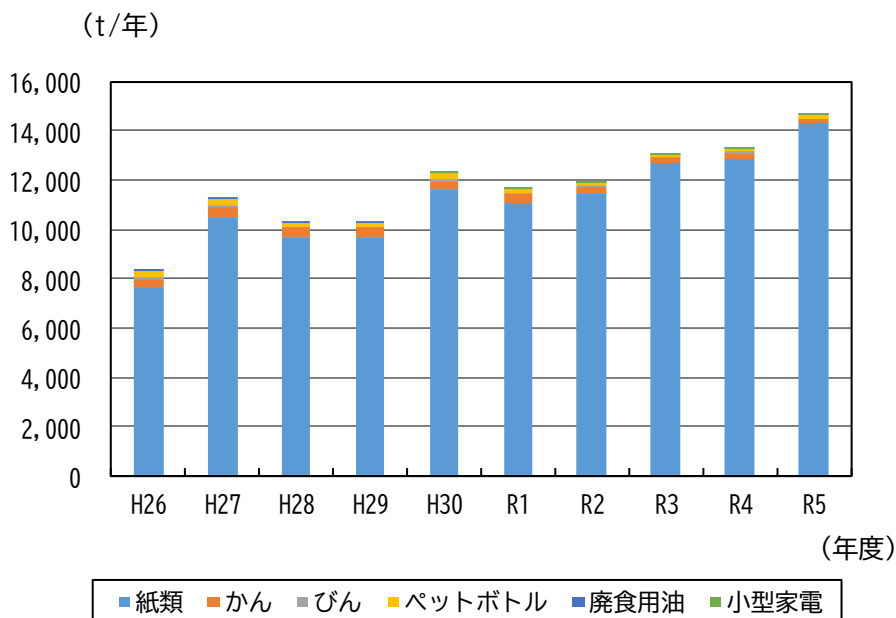


図 1-4 直接資源化量の内訳

ウ. 多量排出事業者のごみ排出量

本市では、日量平均 100 kg以上の事業系一般廃棄物を排出する事業者を多量排出事業者と位置づけ、「つくば市一般廃棄物減量化等計画書」の提出を依頼し、一般廃棄物の発生抑制及びその適正な分別、保管、再生等の処理について指導を行っています。

事業系ごみ排出量に占める多量排出事業者の排出量の割合は図 1-5、事業系ごみの直接資源化量に占める多量排出事業者による資源化量の割合は図 1-6、多量排出事業者による資源ごみの直接資源化量の内訳は表 1-5 及び図 1-7 に示すとおりです。

令和 5 年度（2023 年度）における事業系ごみに占める多量排出事業者の排出量は、約 5 割となっており、平成 29 年度（2017 年度）より増加しています。また、事業者直接資源化量のうち、約 7 割を多量排出事業者が占めており、つくばサステナスクエア以外への資源ごみの搬入量が多くなっています。

平成 5 年度（2023 年度）の事業者直接資源化量は 10,371 t で、その内訳は、古紙類が多く、中でも段ボールは 9,675 t となっており、平成 29 年度（2017 年度）の 3,634 t と比べて、大幅に増加しています。

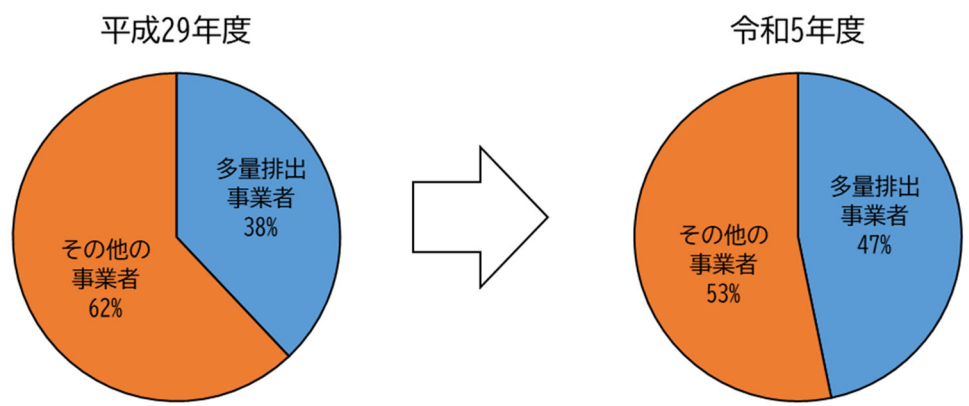


図 1-5 事業系ごみ排出量に占める多量排出事業者の排出量の割合

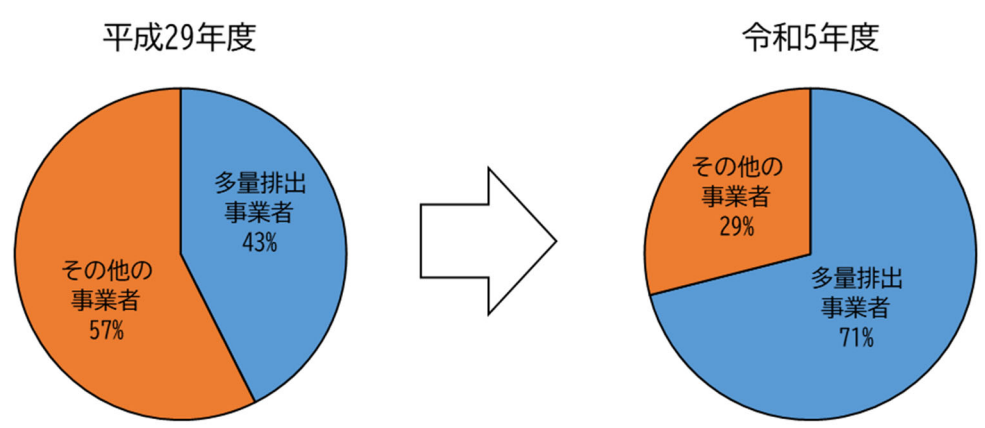


図 1-6 事業系ごみの直接資源化量に占める多量排出事業者による資源化量の割合

表 1-5 多量排出事業者による直接資源化量の内訳

(単位：t/年)

	H29	R5
新聞	103	23
雑誌・カタログ	249	261
オフィス用紙	74	168
段ボール	3,634	9,675
その他古紙	100	122
かん	48	37
びん	13	19
ペットボトル	120	65
計	4,340	10,371

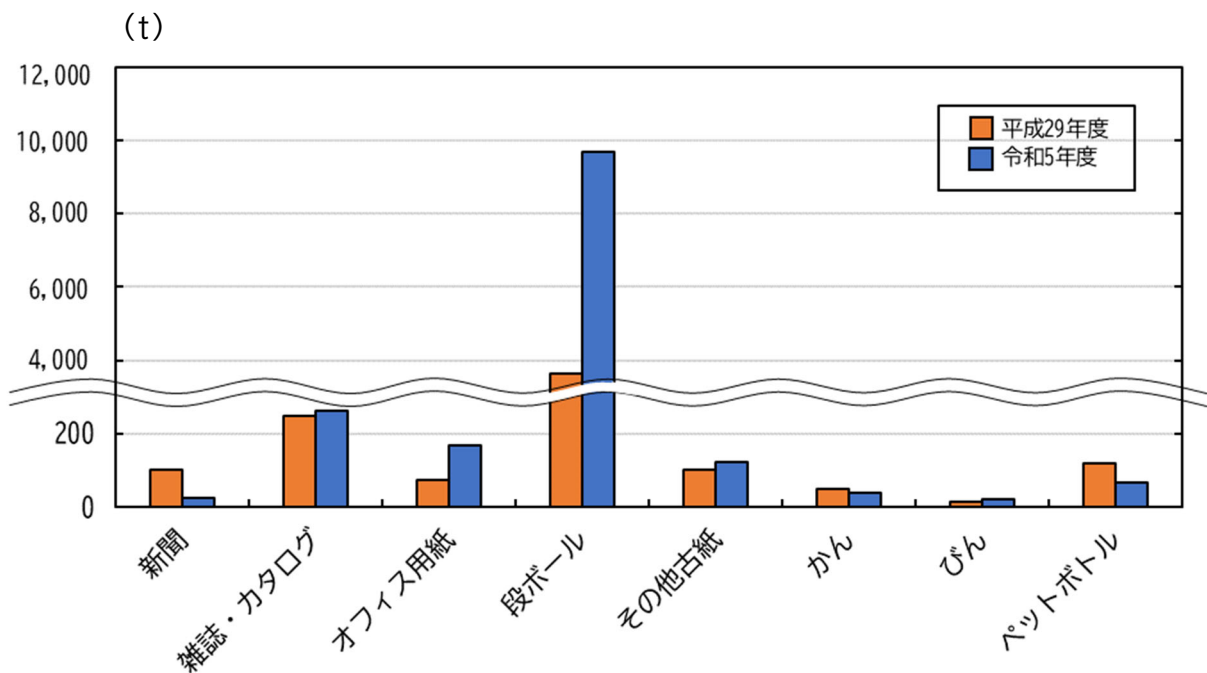


図 1-7 多量排出事業者による直接資源化量の内訳

(3) 集団回収量

市民で構成される自治会、子ども会、PTA 等の団体が自主的に回収を行う集団回収量の内訳は、表 1-6、図 1-8 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における集団回収量は 680t となっており、年々減少しています。内訳は、紙類が 658t と全体の約 97%を占め、次いで、布類 11t、金属類 10t、ガラス類 1t となっています。

表 1-6 集団回収量の内訳

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
紙類	1,285	1,298	1,329	1,223	1,142	1,076	704	728	681	658
布類	23	23	25	26	25	32	4	8	9	11
金属類	11	11	12	15	13	15	10	11	10	10
ガラス類	9	13	8	6	5	5	3	2	2	1
計	1,328	1,345	1,374	1,270	1,185	1,128	721	749	702	680

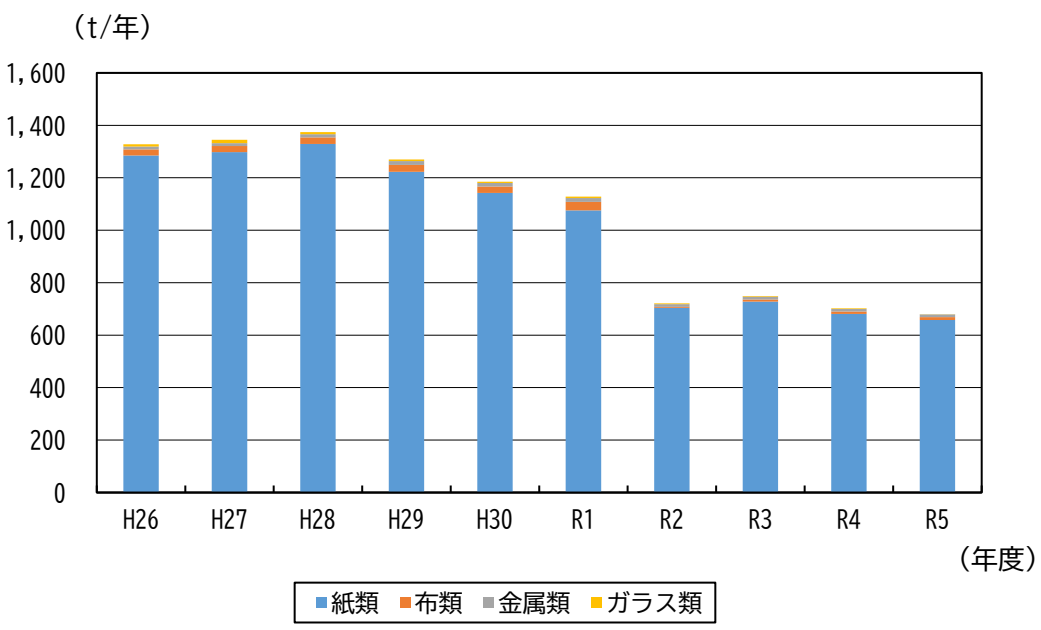


図 1-8 集団回収量の内訳

2. 中間処理量の現状

(1) 中間処理量

中間処理量の実績は表 1-7、図 1-9 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における中間処理量は 94,089t となっており、その内訳は、直接焼却量 67,626t、中間処理量(破碎) 4,453t、中間処理量(選別・圧縮) 7,396t、直接資源化量 14,614t となっています。

表 1-7 中間処理量の実績

	(単位：t/年)									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
直接焼却量	70,440	71,429	71,253	71,312	72,029	72,305	70,385	69,699	68,851	67,626
中間処理量(破碎)	4,988	5,067	4,660	4,652	4,805	5,030	5,108	4,853	4,486	4,453
中間処理量(選別・圧縮)	5,213	5,188	5,178	5,074	5,073	5,784	6,608	7,358	7,511	7,396
直接資源化量	8,323	11,238	10,270	10,245	12,316	11,670	11,883	13,033	13,236	14,614
計	88,964	92,922	91,361	91,283	94,223	94,789	93,984	94,943	94,084	94,089

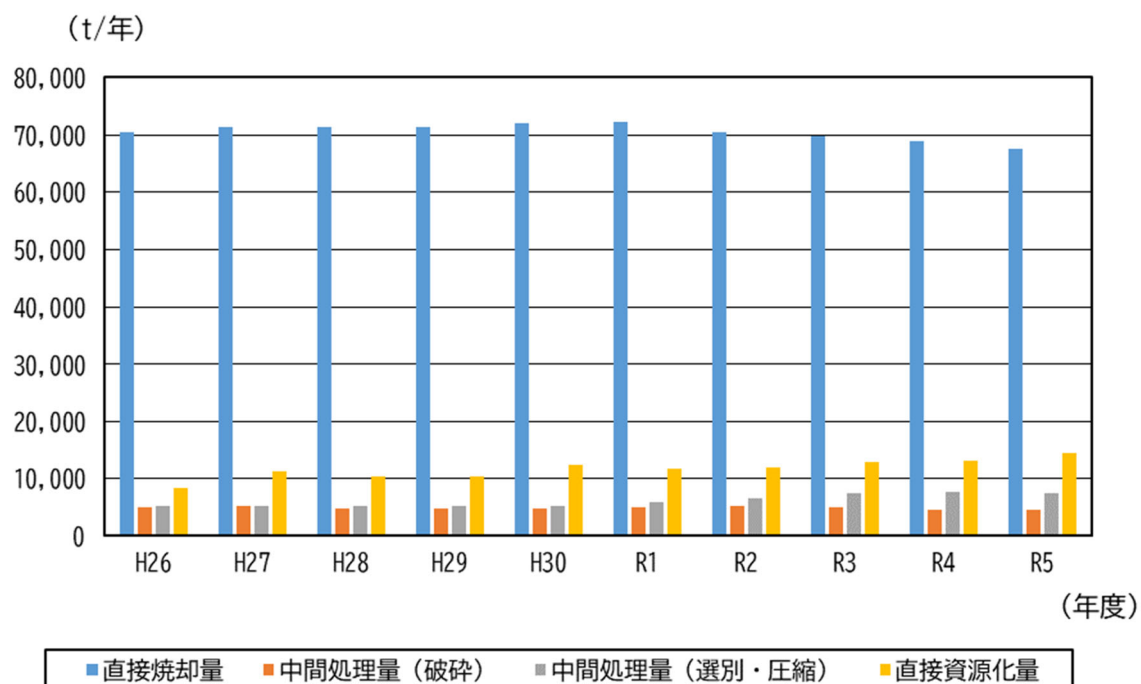


図 1-9 中間処理量の実績

ア. つくばサステナスクエアでの処理量

① つくば市クリーンセンター（焼却施設）での焼却処理量

つくば市クリーンセンター（焼却施設）における焼却処理量の実績は、表 1-8、図 1-10 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における焼却処理量は 71,429t となっており、その内訳は、つくば市クリーンセンター（焼却施設）における直接焼却処理量が 67,626t、つくば市クリーンセンター（焼却施設）以外（つくば市リサイクルセンター等）からの可燃残渣量が 3,803t となっています。

令和 5 年度(2023 年度)における焼却残渣量は 8,795t、焼却残渣率は 12.3%、焼却灰の資源化量は 2,594t/年となっています。

表 1-8 焼却施設における焼却処理量の実績

		(単位：t/年)									
処理前	直接焼却量	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	焼却施設以外からの可燃残渣	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,803
	計（焼却処理量）	75,416	76,524	76,152	75,814	76,224	75,366	72,930	73,452	72,581	71,429
処理後	焼却残渣量	11,078	11,117	11,139	10,592	10,395	9,684	9,246	9,264	9,000	8,795
	焼却残渣率	14.7%	14.5%	14.6%	14.0%	13.6%	12.8%	12.7%	12.6%	12.4%	12.3%
	焼却灰の資源化量	249	249	247	250	408	2,220	746	772	2,343	2,594

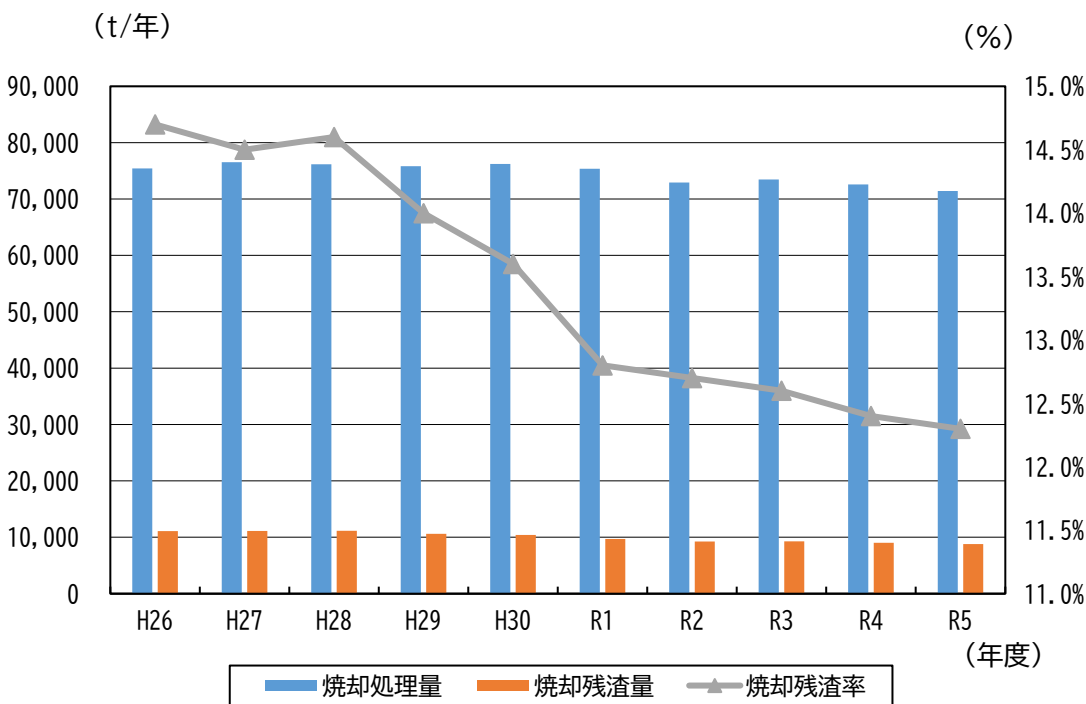


図 1-10 焼却施設における焼却処理量の実績

② つくば市リサイクルセンターでの破碎選別処理量

つくば市リサイクルセンターにおける中間処理量（破碎選別処理量）の実績は、表 1-9、図 1-11 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における破碎選別処理量は 8,499t となっており、令和元年度（2019 年度）以降、横ばいで推移しています。内訳は、多い順に、資源ごみ 3,996t、不燃ごみ 2,449t、粗大ごみ 2,004t、有害ごみ 50t となっています。

表 1-9 リサイクルセンターにおける破碎選別処理量の実績

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
不燃ごみ	2,889	2,917	2,748	2,798	2,968	2,816	2,966	2,672	2,533	2,449
粗大ごみ	2,099	2,150	1,912	1,854	1,837	2,214	2,142	2,181	1,953	2,004
資源ごみ	2,822	2,813	2,719	2,708	2,658	3,227	3,524	3,765	3,952	3,996
かん	631	601	572	557	548	565	632	693	668	630
びん	1,644	1,673	1,614	1,611	1,540	1,538	1,595	1,574	1,583	1,520
ペットボトル	547	539	533	540	570	599	648	737	779	817
プラスチック製 容器包装	0	0	0	0	0	525	649	761	922	1,029
有害ごみ	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50
計	7,857	7,926	7,423	7,404	7,511	8,305	8,686	8,670	8,490	8,499

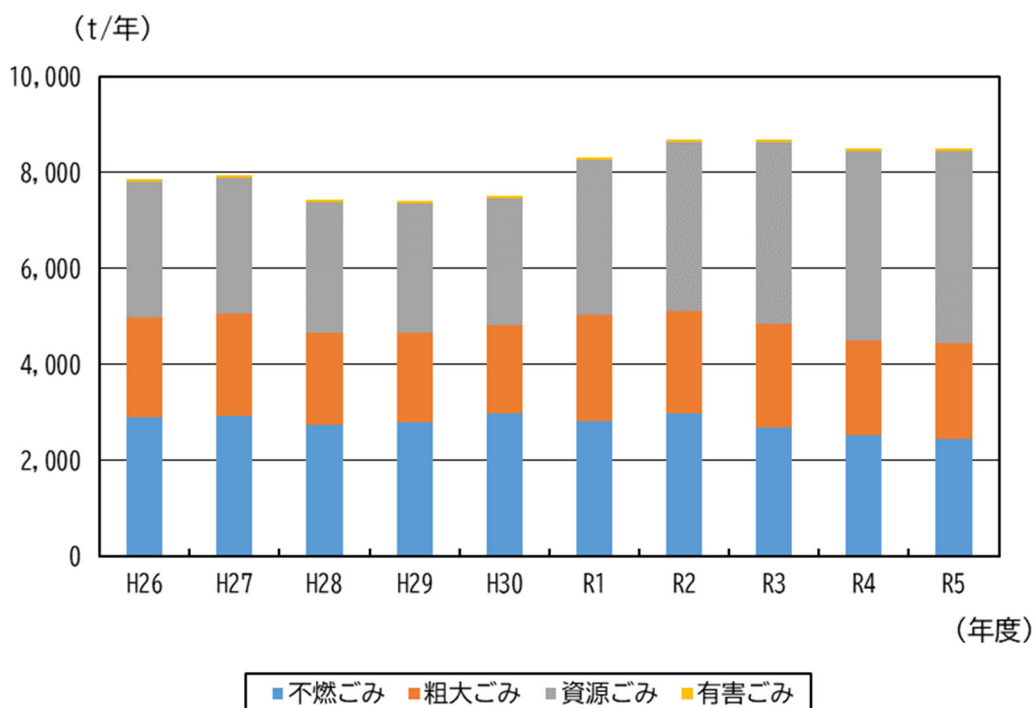


図 1-11 リサイクルセンターにおける破碎選別処理量の実績

③ 資源化施設での処理量

資源化施設における処理量の実績は、表 1-10、図 1-12 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における処理量は 3,350t となっており、令和 3 年度（2021 年度）以降、微減傾向で推移しています。

表 1-10 資源化施設における処理量の実績

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
紙類・布類	2,344	2,329	2,415	2,322	2,367	2,509	3,030	3,541	3,507	3,350

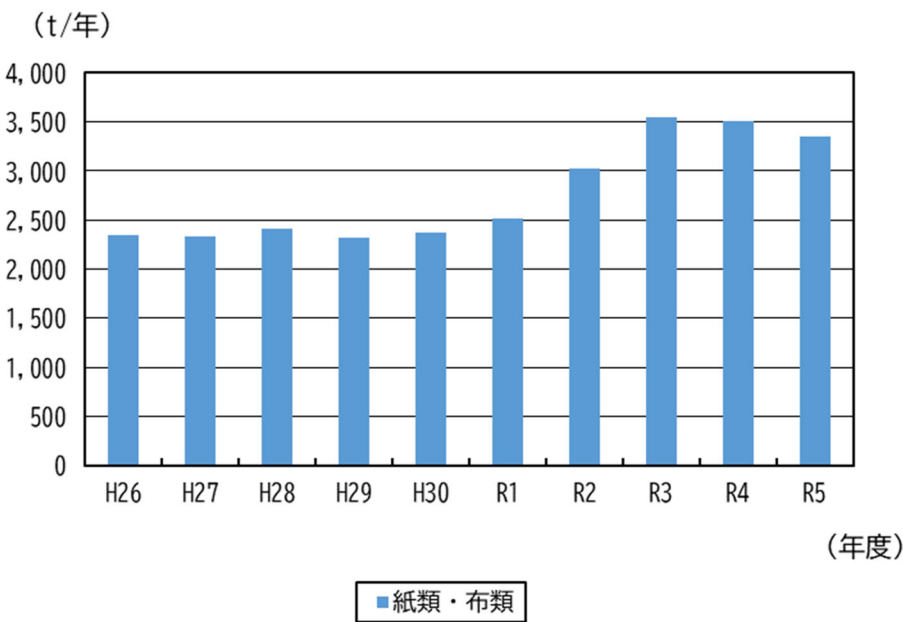


図 1-12 資源化施設における処理量の実績

イ. 資源化量

① 総資源化量

総資源化量の内訳は表 1-11、図 1-13 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における総資源化量は 25,220t となっており、年々増加傾向にあります。内訳は、多い順に、紙類 17,828t、焼却灰 2,594t、びん 1,218t、金属類 1,037t、ペットボトル 762t、プラスチック製容器包装 736t、かん 605t、布類 366t、その他 74t となっています。

表 1-11 総資源化量の内訳

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
紙類	10,400	13,573	12,710	12,713	14,854	14,406	14,942	16,413	16,604	17,828
かん	750	834	808	757	766	788	753	687	657	605
金属類	878	785	751	738	820	903	1,269	1,187	1,135	1,037
びん	1,049	1,006	977	1,090	1,094	429	1,365	1,340	1,288	1,218
ペットボトル	735	731	604	598	736	647	575	649	694	762
プラスチック製 容器包装	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736
布類	240	251	186	275	321	358	351	377	368	366
その他	54	49	50	71	65	60	63	50	91	74
焼却灰	249	249	247	250	408	2,220	746	772	2,343	2,594
計	14,355	17,478	16,333	16,492	19,064	20,143	20,569	21,979	23,860	25,220

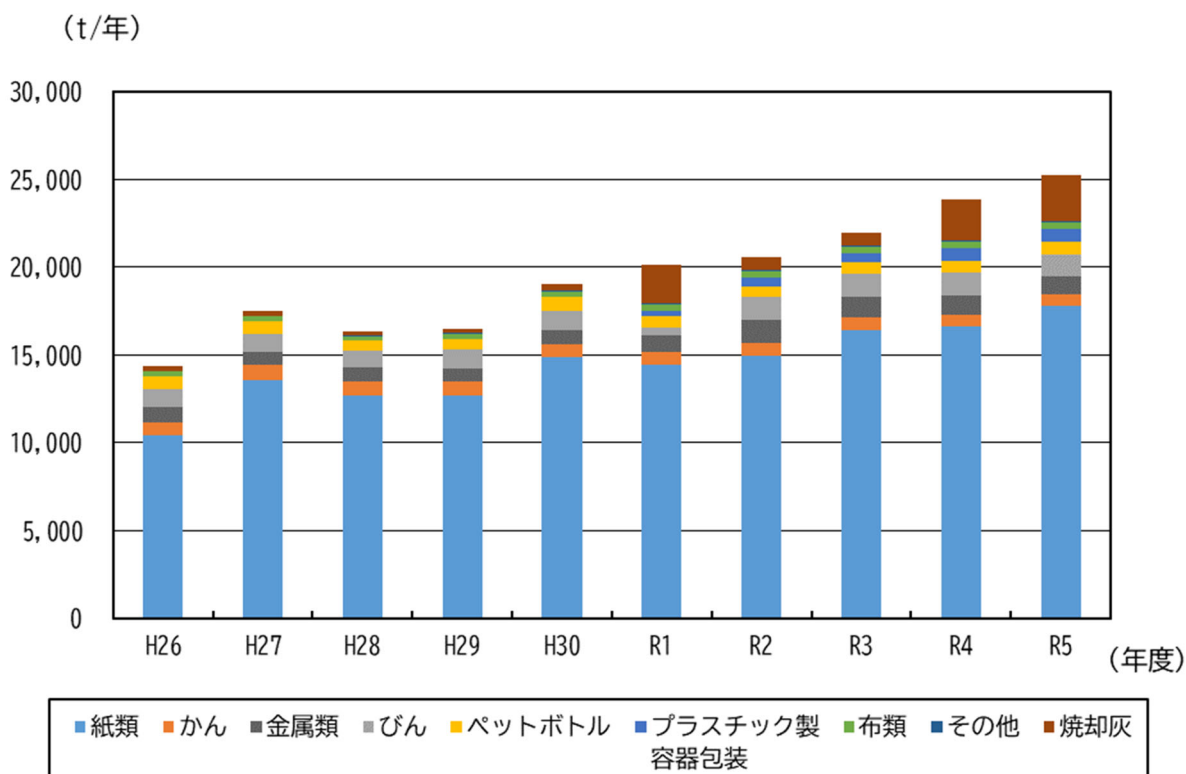


図 1-13 総資源化量の内訳

② 中間処理後再生利用量

中間処理とは、焼却や破碎、選別などの処理を行うことによって、廃棄物を減量化したり、リサイクルできる状態にしたりすることを指します。

中間処理後再生利用量の内訳は表 1-12、図 1-14 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における中間処理後再生利用量は 9,926t となっており、年々増加しています。内訳は 多い順に、紙類 2,898t、焼却灰 2,594t、びん 1,182t、金属類 997t、プラスチック製容器包装 736t、ペットボトル 631t、かん 471t、布類 355t、その他 62t となっています。

表 1-12 中間処理後再生利用量の内訳

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
紙類	1,446	1,751	1,677	1,788	2,073	2,263	2,752	2,998	3,040	2,898
かん	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471
金属類	856	748	707	702	784	816	1,233	1,127	1,063	997
びん	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182
ペットボトル	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631
布類	217	228	161	249	296	326	347	369	359	355
プラスチック製 容器包装	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736
その他	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62
焼却灰	249	249	247	250	408	2,220	746	772	2,343	2,594
計	4,704	4,895	4,689	4,977	5,563	7,345	7,965	8,197	9,922	9,926

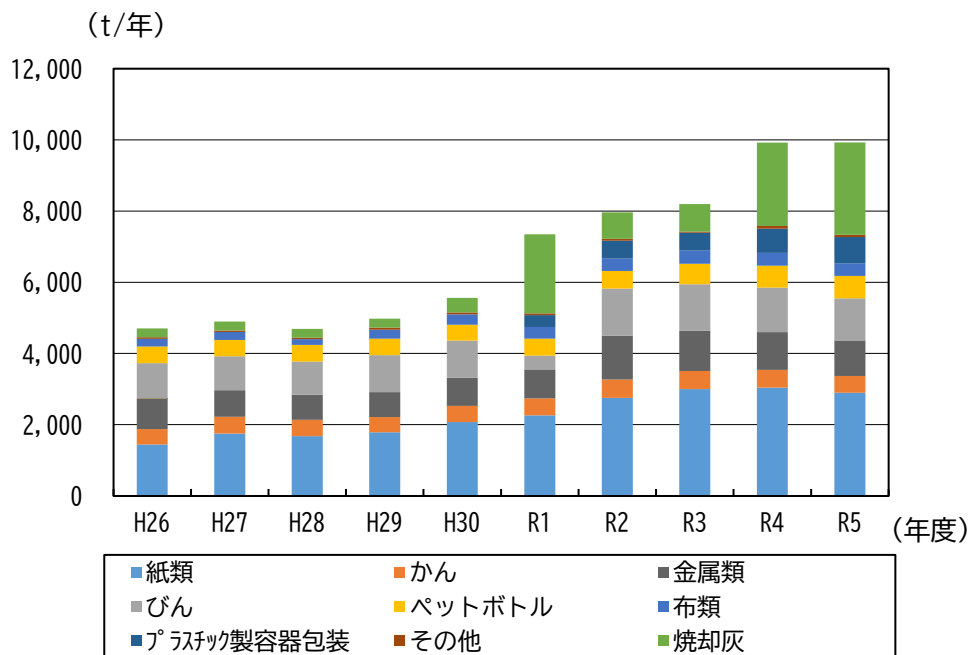


図 1-14 中間処理後再生利用量の内訳

3. 最終処分量の現状

(1) 1人1日当たりの最終処分量の比較

1人1日当たりの最終処分量の茨城県平均、全国平均との比較は、表 1-13、図 1-15 に示すとおりです。

令和 5 年度(2023 年度)における 1人1日当たりの最終処分量は 74g で、年々減少傾向にあります。また、令和 4 年度(2022 年度)における 1人1日当たりの最終処分量は、茨城県平均、全国平均を上回っています。

表 1-13 1人1日当たりの最終処分量の比較

(単位：g/人・日)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
つくば市	144	140	138	130	124	118	119	106	80	74
茨城県平均	81	82	76	78	79	77	69	63	58	—
全国平均	92	89	85	83	83	82	79	74	74	—

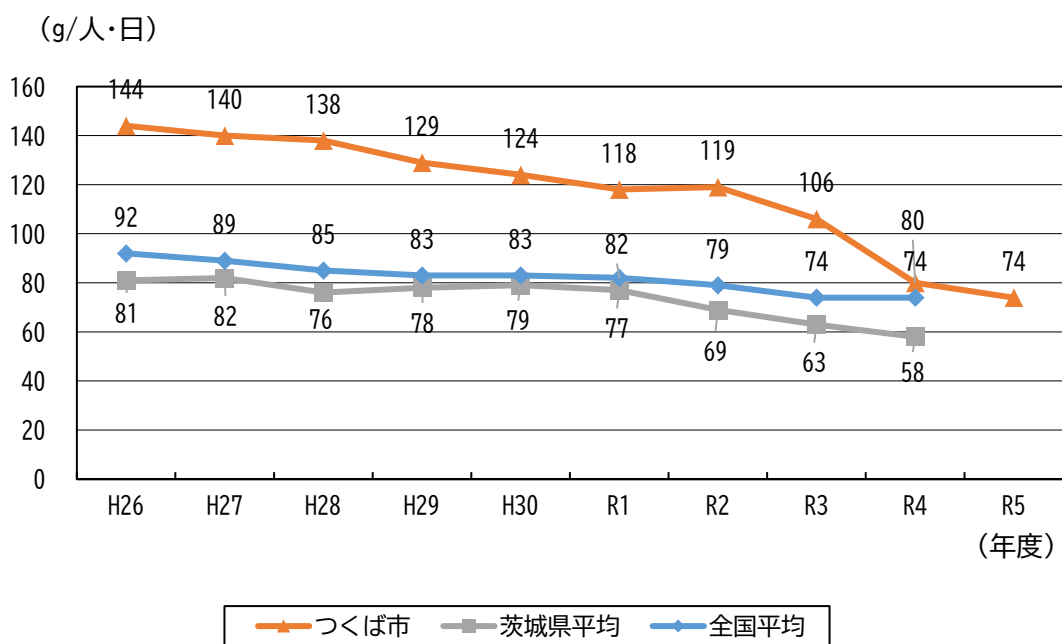


図 1-15 1人1日当たりの最終処分量の比較

4. ごみ処理経費

(1) 歳出

ごみ処理に関わる歳出実績は表 1-14 及び図 1-16、人口 1 人当たりの処理経費の歳出の実績は表 1-15 及び図 1-17 に示すとおりです。

建設・改良費を除くごみ処理経費、ならびに、人口 1 人当たりの処理経費は、年々増加傾向にあります。令和 5 年度(2023 年度)における人口 1 人当たりの処理経費（建設・改良費を除く）の実績は 14,284 円で、つくば市クリーンセンター（焼却施設）の修繕を行ったため、過去 10 年間で最大値となっています。

なお、資源物については、売却することで収入となっているものもありますが、有償で引き取ってもらうものもあります。

表 1-14 ごみ処理経費の実績（歳出）

（単位：千円）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(1)建設・改良費	26,879	14,040	201,074	2,468,363	6,047,116	4,029,549	247,010	6,653	714	63,368
工事費	2,087	4,190	196,160	2,466,905	6,047,116	4,029,549	247,010	0	656	52,846
収集運搬施設	0	4,190	1,274	1,419	0	0	0	0	0	34,837
中間処理施設	2,087	0	194,886	2,465,486	6,047,116	4,029,549	247,010	0	0	18,009
最終処分場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	656	0
調査費	24,792	9,850	4,914	1,458	0	0	0	6,653	58	10,522
(2)処理及び維持管理費	1,756,716	1,736,406	1,726,443	1,896,783	1,921,718	2,109,634	2,219,285	2,277,293	2,472,240	3,612,709
人件費	125,738	141,449	122,351	104,141	97,520	93,076	192,049	191,456	183,962	181,473
一般職	75,724	86,619	76,827	53,878	51,983	58,475	158,318	166,825	170,834	168,129
収集運搬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間処理	50,014	54,830	45,524	50,263	45,537	34,601	33,731	24,631	13,128	13,344
最終処分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処理費	50,872	48,760	50,133	36,592	29,745	44,106	41,501	43,619	51,950	1,152,038
収集運搬費	3,283	2,698	2,681	2,840	2,665	3,209	2,644	2,420	4,905	5,506
中間処理費	47,589	46,062	47,452	33,752	27,080	40,897	38,857	41,199	41,429	1,142,986
最終処分費	0	0	0	0	0	0	0	0	5,616	3,546
車両等購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	1,579,076	1,545,527	1,553,376	1,755,467	1,793,870	1,971,780	1,985,256	2,041,624	2,235,969	2,266,262
収集運搬費	518,057	535,509	560,768	574,111	582,230	656,717	660,725	672,158	772,609	782,946
中間処理費	733,538	688,822	670,560	871,092	912,881	963,759	984,198	1,028,200	1,075,471	1,085,936
最終処分費	313,746	308,393	308,519	296,725	284,237	337,109	324,833	324,370	375,620	396,101
その他	13,735	12,803	13,529	13,539	14,522	14,195	15,500	16,896	12,269	1,279
調査研究費	1,030	670	583	583	583	672	479	594	359	12,936
(3)その他	63,375	94,965	97,406	3,972	3,874	3,856	4,456	7,715	23,008	22,984
合計（=(1)+(2)+(3)）	1,846,970	1,845,411	2,024,923	4,369,118	7,972,708	6,143,039	2,470,751	2,291,661	2,495,962	3,699,061
合計（=(2)+(3)）（※(1)除く）	1,820,091	1,831,371	1,823,849	1,900,755	1,925,592	2,113,490	2,223,741	2,285,008	2,495,248	3,635,693

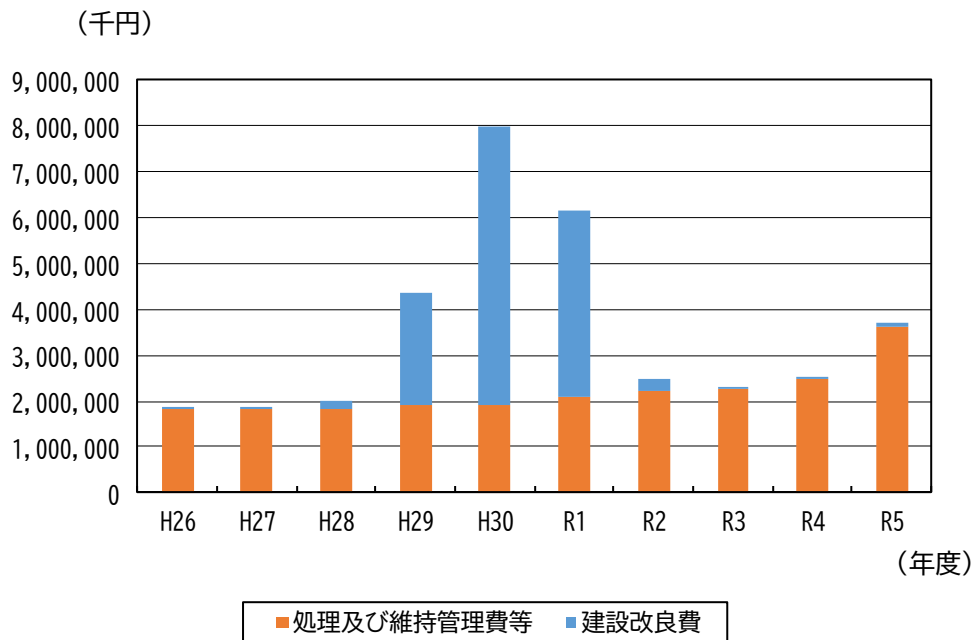


図 1-16 ごみ処理経費の実績 (歳出)

表 1-15 人口 1 人当たりの処理経費の実績 (歳出)

(単位: 千円)

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
廃棄物処理事業費	(千円)	1,846,970	1,845,411	2,024,923	4,369,118	7,972,708	6,143,039	2,470,751	2,291,661	2,495,962	3,699,061
人口	(人)	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534
事業系直接資源化量を除いた総排出量	(t)	82,014	83,077	82,516	82,361	83,148	84,298	82,835	82,678	81,567	80,168
1人当たりの処理経費 (建設改良費含む)	円/人	8,390	8,282	8,950	19,046	34,233	25,937	10,278	9,334	9,936	14,533
1人当たりの処理経費 (建設改良費除く)	円/人	8,268	8,219	8,061	8,286	8,268	8,924	9,251	9,307	9,933	14,284

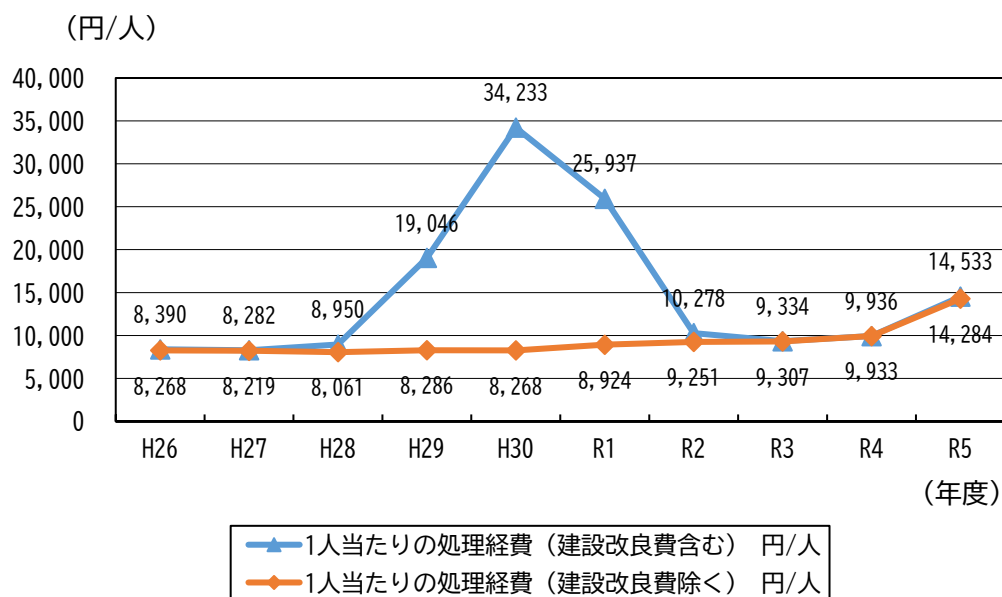


図 1-17 人口 1 人当たりの処理経費の実績 (歳出)

(2) 歳入

ごみ処理に関わる歳入の実績は、表 1-16 に示すとおりです。

使用料・手数料には、つくばサステナスクエアでのごみ処理手数料、し尿処理手数料や粗大ごみ有料戸別収集の処理手数料等が含まれています。その他には、資源物の売却料や発電売電料等が含まれています。

ごみ処理に関わる歳入の実績は、増減を繰り返しています。令和 5 年度（2023 年度）における歳入の実績は、758,429 千円となっています。過去 10 年間で歳入が最も多かったのは、平成 30 年度（2018 年度）であり、2,182,161 千円でした。

表 1-16 ごみ処理に係る歳入の実績

(単位：千円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
国庫支出金	19,341	309	77,400	1,052,154	1,516,997	967,262	0	0	0	0
都道府県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,400
使用料・手数料	481,175	498,455	476,232	468,783	464,973	487,905	491,215	499,196	487,611	477,076
その他	251,381	273,377	256,379	203,390	200,191	211,790	233,391	297,057	310,262	257,953
合計	751,897	772,141	810,011	1,724,327	2,182,161	1,666,957	724,606	796,253	797,873	758,429

2. ごみ組成分析調査結果

1. 調査の概要

1) 調査目的

つくば市の生活系ごみ及び事業系ごみの燃やせるごみを対象に、組成分析調査を行い、「つくば市一般廃棄物処理基本計画」（対象期間：令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）まで）の評価と施策検討等を行うための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2) 調査場所（作業場所）

つくばサステナスクエア
（〒300-4245 茨城県つくば市水守 2339）

3) 調査期間

令和6年（2024年）5月27日（月）～ 5月31日（金）【計5日間】

4) 調査内容

（1）検体数・調査回数

調査対象とするごみの分別区分は、表2-1-1に示すとおり、「生活系燃やせるごみ」と「事業系燃やせるごみ」としました。

表 2-1-1 調査対象ごみの分別区分

種 別	分 別 区 分
生 活 系 ご み	燃 や せ る ご み
事 業 系 ご み	燃 や せ る ご み

① 生活系燃やせるごみ

生活系燃やせるごみは、集積所に排出された収集ごみを対象とし、市内の地域特性を考慮し、表2-1-2に示すとおり、収集地区別に「4検体」を採取しました。

表 2-1-2 生活系燃やせるごみの調査対象

地 区		特 徴	通常の 収集日
北地区	大穂、豊里、筑波	旧市街地商店街、周辺部	月 ・ 木
東地区	桜	筑波研究学園都市、TX 沿線、筑波大学	月 ・ 金
西地区	谷 田 部	筑波研究学園都市、TX 沿線	火 ・ 金
南地区	荃 崎	周辺部、開発団地	月 ・ 木

② 事業系燃やせるごみ

事業系燃やせるごみは、つくばサステナスクエアへ自己搬入又は収集運搬許可業者に委託している事業所のうち、表 2-1-3 に示す「6 検体」を採取しました。

表 2-1-3 事業系燃やせるごみの調査対象

産業分類		業種区分
大分類	中分類	
卸売業、小売業	①販売店	食品小売業、衣類等の小売業、飲食料品等の卸売業（ショッピングセンター、スーパーマーケット、コンビニエンスストア）等
学術研究、専門・技術サービス業 教育、学習支援業	②学術研究・学校教育施設	学術的研究、試験、開発研究などを行う事業所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学 等
宿泊業、飲食サービス業	③宿泊業・飲食店	ホテル、レストラン、ファストフード、居酒屋 等
医療、福祉	④医療・福祉施設	医療、社会福祉及び介護に関するサービスを提供する事業所 等
サービス業（他に分類されないもの）	⑤オフィス	市役所（出張所を含む）、民間事務所（オフィス） 等
—	⑥事業系一般	収集運搬許可業者によってつくばサステナスクエアへ搬入された事業系燃やせるごみを無作為に抽出

※産業分類は、「統計つくば 2023（令和 5 年度版）」の産業大分類（経済センサス）に基づきます。

※産業大分類のうち、「サービス業（他に分類されないもの）」には、主として個人又は事業所に対してサービスを提供する他の大分類に分類されない事業所が分類されます。業務形態として「事務所・営業所」が多く、他事例では「オフィス」と整理していることが多いため、中分類において「オフィス」としました。

※製造業及び建設業については、事業所数及び従業者数は多いものの、排出される廃棄物が産業廃棄物中心となることが推察されるため、対象外としました。

《参考》事業系ごみの業種の選定について

令和元年度に実施した前回調査では 1 検体（表 2-1-3 の⑥事業系一般に該当）のみ実施していましたが、事業系ごみについては、排出されるごみ種が業種により大きく異なることから、調査対象は業種別に設定することとしました。

事業系ごみの排出実態を把握するためには、なるべく多くの業種・業態の事業所からサンプルを採取する必要があります。しかしながら、単年度に大規模な調査を行うことは難しいため、本調査では、本市の産業分類の特性や計画の施策内容を考慮した上で、主な業種を選定し、事業系ごみ全体の傾向を把握しました。

【本市の産業分類の特性】

「統計つくば 2023（令和 5 年度版）」の産業大分類（経済センサス）に基づく本市の産業分類は、表 2-1-4 及び表 2-1-5 のとおりです。

全体における調査対象（表 2-1-3 の業種）の割合は、事業所数割合で 61.9%、従業者数割合で 71.6%となり、表 2-1-3 の 6 業種を組成分析調査対象とすることは妥当と判断されます。

表 2-1-4 産業大分類別事業所数（民営）（令和 3 年度）

No	産業大分類	事業所数	構成比率
1	卸売業、小売業	2,145	26.1%
2	建設業	901	11.0%
3	宿泊業、飲食サービス業	832	10.1%
4	生活関連サービス業、娯楽業	690	8.4%
5	医療、福祉	647	7.9%
6	サービス業（他に分類されないもの）	626	7.6%
7	学術研究、専門・技術サービス業	567	6.9%
8	不動産業、物品賃貸業	489	6.0%
9	製造業	418	5.1%
10	教育、学習支援業	274	3.3%
-	その他	619	7.6%
	合計	8,208	100.0%

出典：統計つくば 2023（令和 5 年度版）

表 2-1-5 産業大分類別従業員数（民営）（令和 3 年度）

No	産業大分類	従業者数（人）	構成比率
1	学術研究、専門・技術サービス業	26,212	19.8%
2	卸売業、小売業	21,542	16.2%
3	医療、福祉	16,130	12.2%
4	サービス業（他に分類されないもの）	13,787	10.4%
5	製造業	11,859	8.9%
6	宿泊業、飲食サービス業	9,013	6.8%
7	教育、学習支援業	8,280	6.2%
8	建設業	6,109	4.6%
9	運輸業、郵便業	4,635	3.5%
10	情報通信業	4,603	3.5%
-	その他	10,491	7.9%
	合計	132,661	100.0%

出典：統計つくば 2023（令和 5 年度版）

(2) 組成分析調査項目

調査項目については、表 2-1-6 に示す組成分析調査項目を基本とし、湿ベース重量組成及び容量を計量しました。組成分析調査項目の内容例に記載のないごみは、分類項目の形状に近いものに分別しました。

表 2-1-6 組成分析調査項目

1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル
2			ペットボトルのキャップ
3			汚れの少ない容器包装（フィルム・シート類）
4			水で汚れの落ちる容器包装（ボトル・カップ・パック類）
5			汚れの落としにくい容器包装 （チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの）
6			複合材料（アルミ蒸着プラ）
7			白色トレイ
8			その他色トレイ
9			レジ袋
10			その他容器包装
11		商品等	容器包装ではない製品プラ※1
12			ごみ袋
13	不燃物類	金属類	アルミかん（飲料用）
14			スチールかん（飲料用）
15			その他金属
16		ガラス類	リターナブルびん
17			飲料用びん
18			その他ガラス
19		陶磁器類	陶磁器類
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物（土砂、使い捨てカイロ等）
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等
22	紙類	容器包装類	飲料用紙パック
23			段ボール
24			その他紙製容器包装
25		商品等	新聞紙
26			書籍類
27			チラシ
28			その他リサイクル可能な紙（名刺大以上の紙）
29			その他紙（カーボン紙、ティッシュ、レシート等）
30	布類	布類	布製品・きれ
31	厨芥類	厨芥類	食べ残し※2
32			過剰除去※2
33			直接廃棄（手付かず食品）※2
34			上記以外の食品廃棄物（調理くず）※3
35	木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝
36		その他	その他木・竹・わら
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等
38	可燃物類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物 （マスク、タバコの吸い殻など）

※1 製品プラは、「プラスチック使用製品廃棄物」のことです。

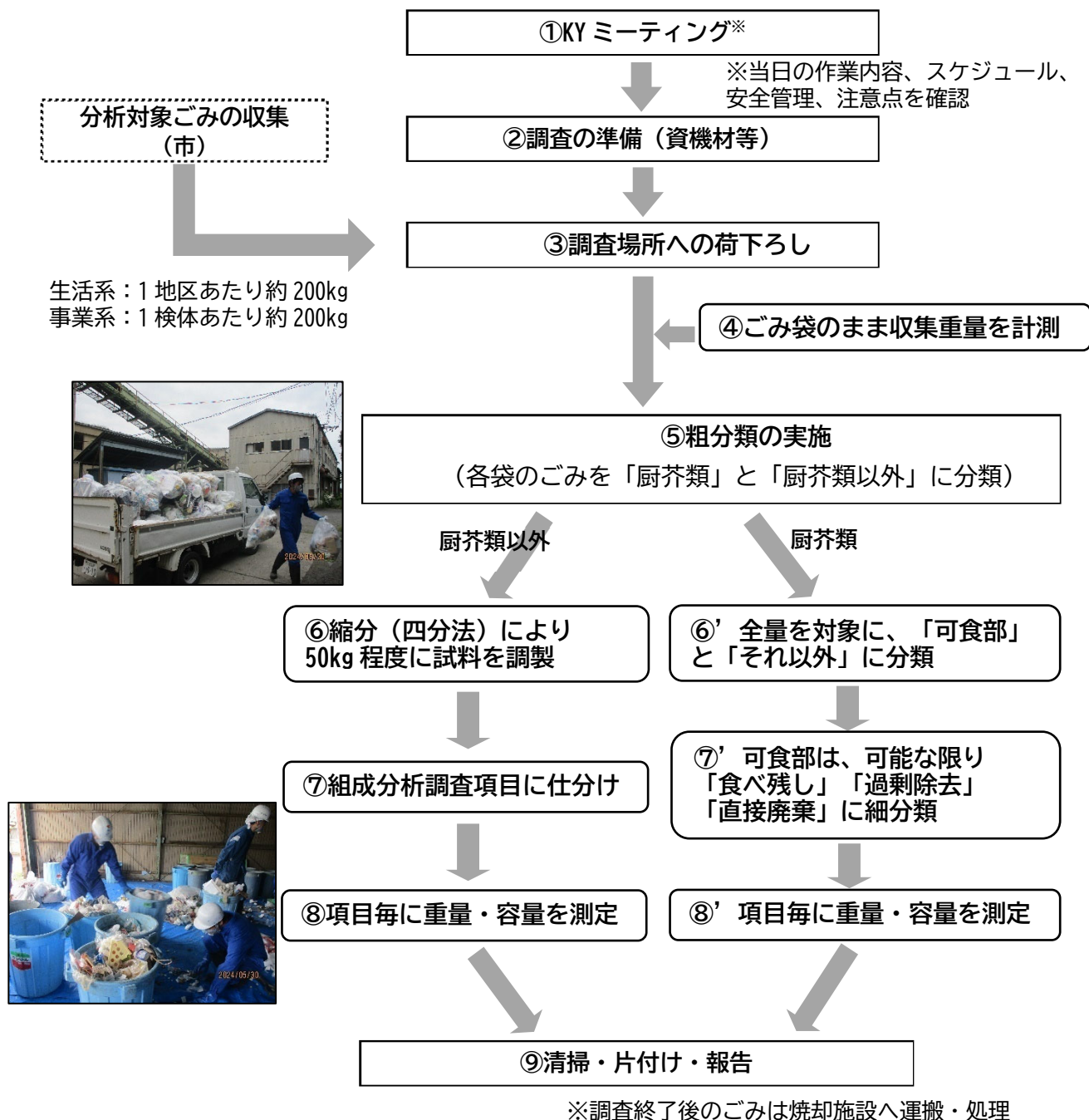
※2 食品ロス（可食部）は、「本来食べられるにもかかわらず、ごみとして廃棄されたもの」であり、「直接廃棄（手付かず食品）」「過剰除去」「食べ残し」が該当します。

※3 食品廃棄物（調理くず）には、野菜・果物の皮、肉・魚の骨など、主に調理の過程で除去が必要となるものが該当します。食品ロス（※2）の過剰除去は、過剰であるかの判断が主観によるところが大きいので、調理くずに含める場合もあります。

5) 調査手順

ごみ組成分析調査の実施フローを図 2-1-1 に示します。

図 2-1-1 ごみ組成分析調査の実施フロー



2. 生活系ごみ 組成分析調査結果

1) 地区別の生活系ごみ組成分析調査結果（前回調査との比較）

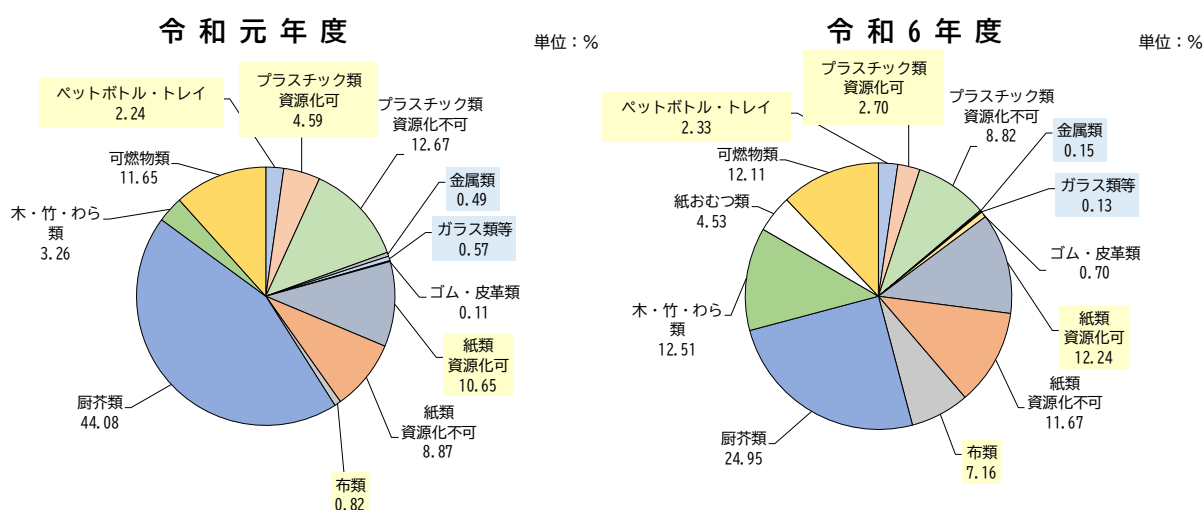
生活系ごみ①北地区

北地区は、旧市街地商店街、周辺部の比率が高い地域です。

割合の多い項目は、順に、「厨芥類」24.95%、「紙類」23.91%、「可燃物類」（紙おむつ類を含む）16.64%となっています。金属類、ガラス類等の「入れてはいけないもの」の割合は0.28%で、他の地区に比べ少ない一方、プラスチック類、紙類等の「資源化可能なもの」の割合は24.43%で、前回調査より悪化しました。

前回の調査結果と比較すると、「厨芥類」が44.08%から24.95%と減少しています。一方、「木・竹・わら類」（剪定枝）は3.26%から12.51%へと、「布類」は0.82%から7.16%へと増加しています。「木・竹・わら類」（剪定枝）や「布類」は、季節的な変動が比較的大きい項目であるため、継続した調査が必要です。

図 2-2-1 北地区 組成分析調査結果



組成項目	比率 %	
	令和元年度	令和6年度
ペットボトル・トレイ	2.24	2.33
プラスチック類	資源化可 4.59	2.70
	資源化不可 12.67	8.82
金属類	0.49	0.15
ガラス類等	0.57	0.13
ゴム・皮革類	0.11	0.70
紙類	資源化可 10.65	12.24
	資源化不可 8.87	11.67
布類	0.82	7.16
厨芥類	44.08	1.03
		0.14
		5.73
		18.05
木・竹・わら類	3.26	12.51
紙おむつ類	11.65	4.53
可燃物類		12.11
合計	100.00	100.00

	令和元年度	令和6年度
資源化可能なもの	18.30	24.43
入れてはいけないもの	1.06	0.28

ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
金属類、ガラス類等

生活系ごみ②東地区

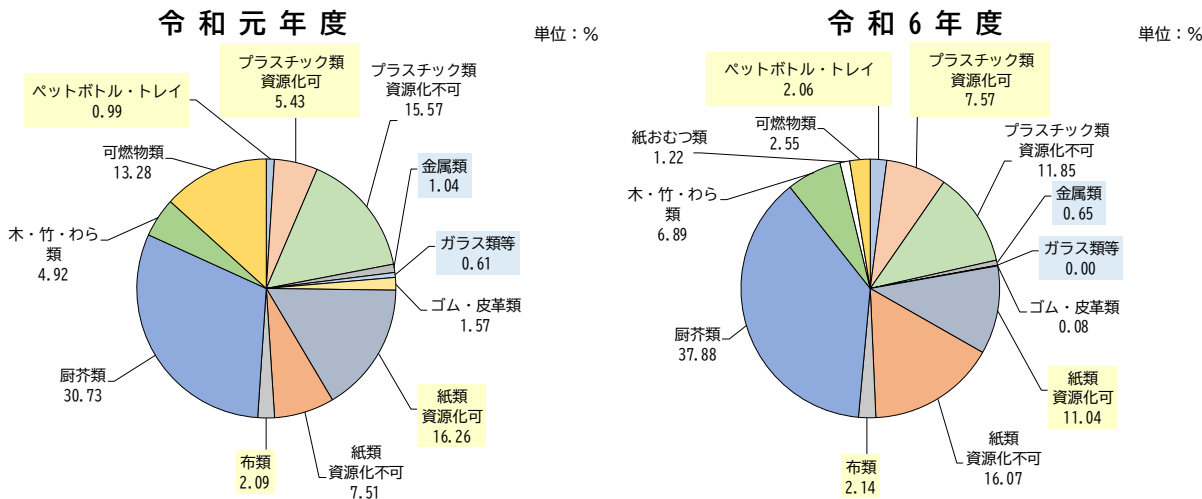
東地区は、筑波研究学園都市、TX 沿線、筑波大学などを中心とする地域です。

割合の多い項目は、順に、「厨芥類」37.88%、「紙類」27.11%、「プラスチック類」19.42%となっています。「資源化可能なもの」の割合は22.81%、「入れてはいけないもの」の割合は0.65%で、前回調査より改善傾向にあります。

他の地区と比較して、「厨芥類」が多く、特に「食べ残し」や「直接廃棄」の割合が高くなっています。一方、「木・竹・わら類」（剪定枝）及び「可燃物類」（紙おむつ類を含む）の割合は少ない結果になりました。

前回の調査結果と比較すると、「厨芥類」が30.73%から37.88%と増加している一方、「可燃物類」（紙おむつ類を含む）は13.28%から3.77%へと減少しています。

図 2-2-2 東地区 組成分析調査結果



組 成 項 目		比 率		%	
		令 和 元 年 度		令 和 6 年 度	
パ ッ ト ボ ト ル ・ ト レ イ		0.99		2.06	
プ ラ ス チ ッ ク 類	資 源 化 可	5.43	21.00	7.57	19.42
	資 源 化 不 可	15.57		11.85	
金 属 類		1.04		0.65	
ガ ラ ス 類 等		0.61		0.00	
ゴ ム ・ 皮 革 類		1.57		0.08	
紙 類	資 源 化 可	16.26	23.77	11.04	27.11
	資 源 化 不 可	7.51		16.07	
布 類		2.09		2.14	
厨 芥 類	食 バ 残 し	30.73		7.21	37.88
	過 剰 除 去			3.41	
	直 接 廃 棄			7.29	
	調 理 く ず			19.97	
木 ・ 竹 ・ わ ら 類		4.92		6.89	
紙 お む つ 類		13.28		1.22	3.77
可 燃 物 類				2.55	
合 計		100.00		100.00	

	令 和 元 年 度	令 和 6 年 度	
資 源 化 可 能 な も の	24.77	22.81	ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
入 れ て は い け な い も の	1.65	0.65	金属類、ガラス類等

生活系ごみ③西地区

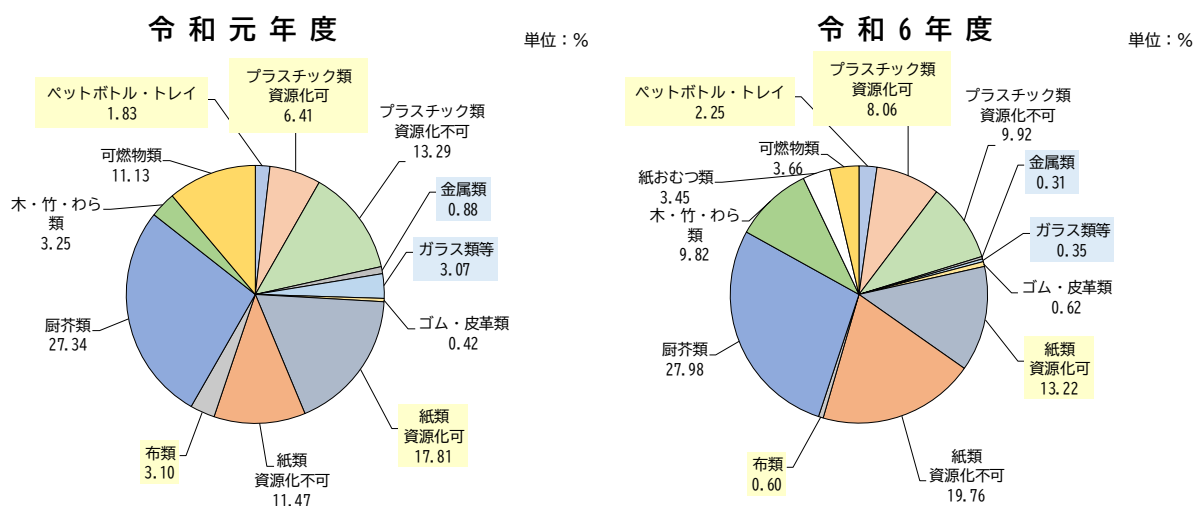
西地区は、筑波研究学園都市、TX 沿線などを中心とする地域です。

割合の多い項目は、順に、「紙類」32.98%、「厨芥類」27.98%、「プラスチック類」17.98%となっています。「資源化可能なもの」の割合は24.13%、「入れてはいけないもの」の割合は0.66%で、前回調査より改善傾向にあります。

他の地区と比較すると、「紙類」、特に「紙類（資源化不可）」が多い結果になりました。「厨芥類」のうち、「食べ残し」も比較的多いと言えます。

前回の調査結果と比較すると、「紙類（資源化不可）」が11.47%から19.76%に増加、「紙類（資源化可）」は17.81%から13.22%と減少していますが、ほぼ類似した傾向となっています。

図 2-2-3 西地区 組成分析調査結果



組成項目	比 率		%	
	令和元年度		令和6年度	
ペットボトル・トレイ	1.83		2.25	
プラスチック類	資源化可	6.41	8.06	
	資源化不可	13.29	9.92	17.98
金属類	0.88		0.31	
ガラス類等	3.07		0.35	
ゴム・皮革類	0.42		0.62	
紙類	資源化可	17.81	13.22	
	資源化不可	11.47	19.76	32.98
布類	3.10		0.60	
厨芥類	食べ残し		6.38	
	過剰除去		3.87	
	直接廃棄		4.75	
	調理くず	27.34	12.98	27.98
木・竹・わら類	3.25		9.82	
紙おむつ類	11.13		3.45	
可燃物類			3.66	7.11
合 計	100.00		100.00	

	令和元年度	令和6年度	
資源化可能なもの	29.15	24.13	ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
入れてはいけないもの	3.95	0.66	金属類、ガラス類等

生活系ぐみ④南地区

南地区は、周辺部、開発団地などを中心とする地域です。

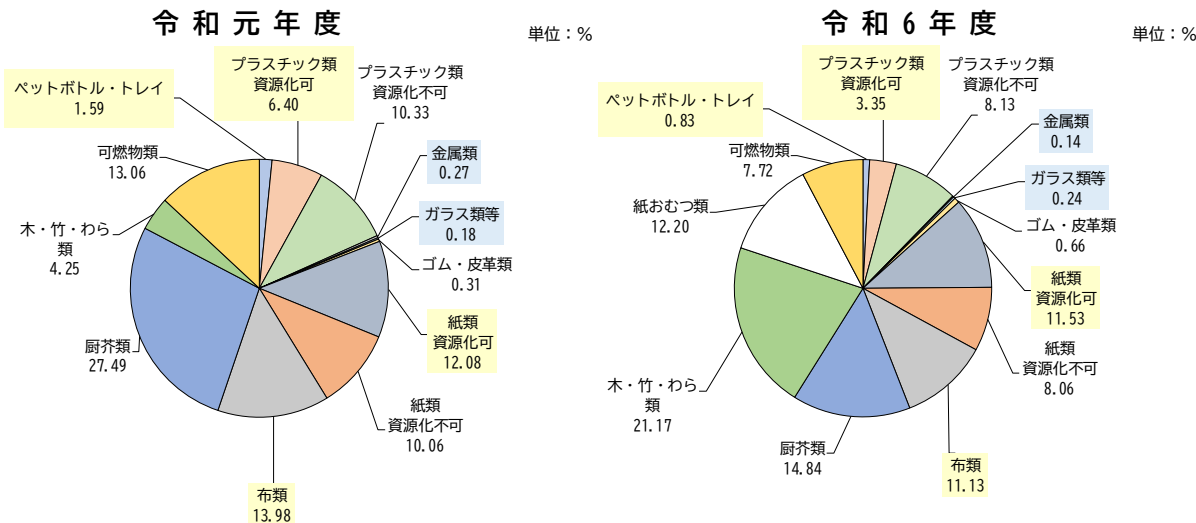
割合の多い項目は、順に、「木・竹・わら類」（剪定枝）21.17%、「可燃物類」（紙おむつ類を含む）19.92%、「紙類」19.59%となっています。「資源化可能なもの」の割合は26.84%、「入れてはいけないもの」の割合は0.38%で、前回調査より改善傾向にあります。

他の地区と比較して、「木・竹・わら類」（剪定枝）、ならびに、「紙おむつ類」の割合が多くなっています。一方、「厨芥類」のうち、特に「直接廃棄」及び「調理くず」が少なくなっています。

前回の調査結果と比較すると、「木・竹・わら類」（剪定枝）が4.25%から21.17%へ大幅に増加している一方、「厨芥類」は27.49%から14.84%へ減少しています。

「木・竹・わら類」（剪定枝）は、季節的な変動が比較的大きい項目のため、継続した調査が必要です。

図 2-2-4 南地区 組成分析調査結果



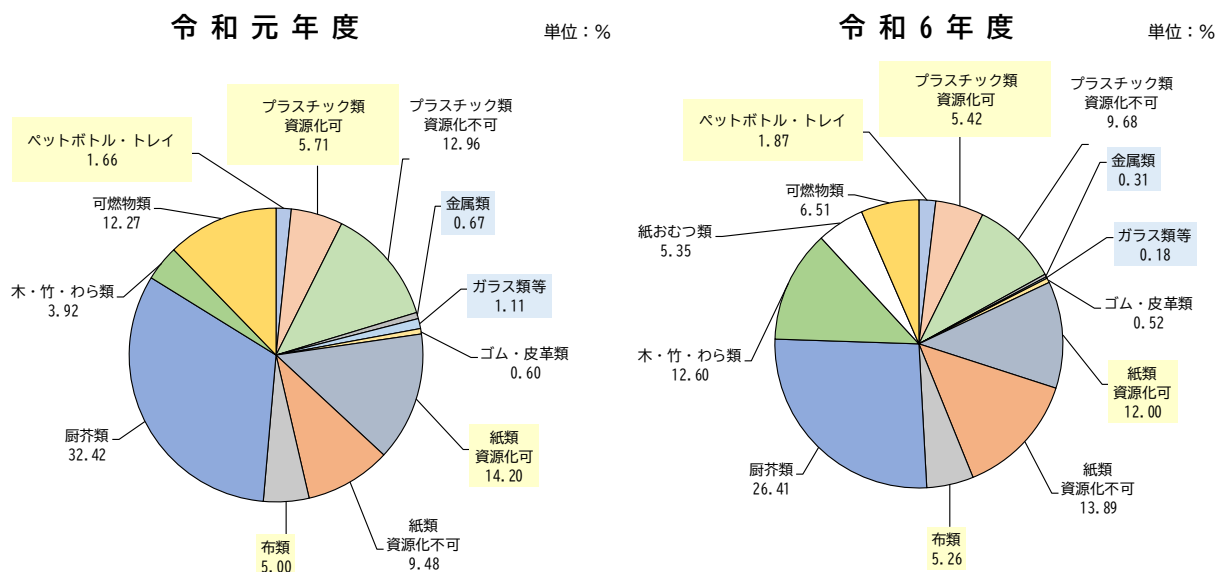
組 成 項 目	比 率		%	
	令 和 元 年 度		令 和 6 年 度	
パ ッ ト ボ ト ル ・ ト レ イ	1.59		0.83	
プ ラ ス チ ッ ク 類	資 源 化 可	6.40	3.35	11.48
	資 源 化 不 可	10.33	8.13	
金 属 類	0.27		0.14	
ガ ラ ス 類 等	0.18		0.24	
ゴ ム ・ 皮 革 類	0.31		0.66	
紙 類	資 源 化 可	12.08	11.53	19.59
	資 源 化 不 可	10.06	8.06	
布 類	13.98		11.13	
厨 芥 類	食 べ 残 し	27.49	3.86	14.84
	過 剰 除 去		0.14	
	直 接 廃 棄		2.30	
	調 理 く ず		8.54	
木 ・ 竹 ・ わ ら 類	4.25		21.17	
紙 お む つ 類	13.06		12.20	19.92
可 燃 物 類			7.72	
合 計	100.00		100.00	

	令 和 元 年 度	令 和 6 年 度	
資 源 化 可 能 な も の	34.05	26.84	パ ッ ト ボ ト ル ・ ト レ イ、 プ ラ ス チ ッ ク 類 (資 源 化 可)、 紙 類 (資 源 化 可)、 布 類
入 れ て は い け な い も の	0.45	0.38	金 属 類、 ガ ラ ス 類 等

2) 生活系ごみ平均の前回調査との比較（単純平均）

前回の調査結果との比較結果を図 2-2-5 に示します。「木・竹・わら類」（剪定枝）は増加、「厨芥類」は減少したものの、それ以外の項目では、大きな変化はみられませんでしたが。「資源化可能なもの」及び「入れてはいけないもの」は、いずれも前回調査より減少し、改善しました。

図 2-2-5 生活系ごみ組成分析調査結果 単純平均（前回調査との比較）



組 成 項 目		比 率		%	
		令 和 元 年 度		令 和 6 年 度	
ペットボトル・トレイ		1.66		1.87	
プラスチック類	資源化可	5.71		5.42	15.10
	資源化不可	12.96		9.68	
金属類		0.67		0.31	
ガラス類等		1.11		0.18	
ゴム・皮革類		0.60		0.52	
紙類	資源化可	14.20		12.00	25.89
	資源化不可	9.48		13.89	
布類		5.00		5.26	
厨芥類	食べ残し	32.42		4.62	26.41
	過剰除去			1.89	
	直接廃棄			5.02	
	調理くず			14.88	
木・竹・わら類		3.92		12.60	
紙おむつ類		12.27		5.35	11.86
可燃物類				6.51	
合 計		100.00		100.00	

	令和元年度	令和6年度	
資源化可能なもの	26.57	24.55	ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
入れてはいけないもの	1.78	0.49	金属類、ガラス類等

3) 各地区の人口規模を反映した生活系ごみ組成分析調査結果（加重平均）

(1) 各地区の人口規模を反映した生活系ごみ組成分析調査結果（加重平均）

表 2-2-1 の地区区分別人口割合により加重平均を行い、算出した生活系ごみ組成分析結果を図 2-2-6 に示します。

表 2-2-1 地区区分別人口とその割合

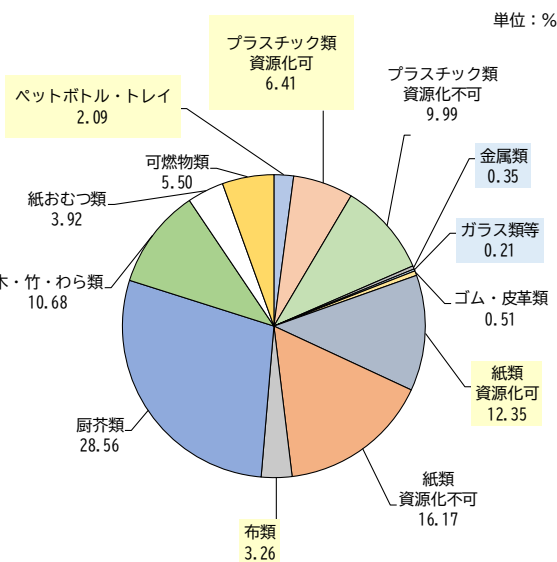
地区区分	行政区分	人口	
		人数	割合
北地区	大穂地区	20,183	20.7%
	豊里地区	16,277	
	筑波地区	16,506	
東地区	桜地区	61,430	24.0%
西地区	谷田部地区	119,335	46.4%
南地区	荃崎地区	22,752	8.9%
合計		256,483	100.0%

※住民基本台帳人口より（令和 6 年 5 月 1 日時点）

割合が多い順に、「厨芥類」が 28.56%、「紙類」が 28.52%でほぼ同割合、次いで「プラスチック類」が 16.40%となっています。「資源化可能なもの」は 24.11%で全体組成の約 4 分の 1 を占め、「入れてはいけないもの」の割合は 0.56%でした。

図 2-2-6 各地区の人口規模を反映した生活系ごみ組成分析調査結果（加重平均）

組成項目		令和 6 年度	
ペットボトル・トレイ		2.09	
プラスチック類	資源化可	6.41	16.40
	資源化不可	9.99	
金属類		0.35	
ガラス類等		0.21	
ゴム・皮革類		0.51	
紙類	資源化可	12.35	28.52
	資源化不可	16.17	
布類		3.26	
厨芥類	食べ残し	5.25	28.56
	過剰除去	2.66	
	直接廃棄	5.34	
	調理くず	15.31	
木・竹・わら類		10.68	
紙おむつ類		3.92	9.42
可燃物類		5.50	
合計		100.00	



	令和 6 年度
資源化可能なもの	24.11
入れてはいけないもの	0.56

ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
金属類、ガラス類等

(2) 生活系ごみ組成の地区比較

4 地区の組成分析調査結果の一覧を表 2-2-2 及び図 2-2-7～図 2-2-9 に示します。

都市部（東地区、西地区）では食品ロスを含む「厨芥類」や「プラスチック類」、周辺部（北地区、南地区）では「木・竹・わら類」（剪定枝）や「可燃物類」、ならびに「紙おむつ類」が多いなど、それぞれの地区の特徴を表す結果となりました。

表 2-2-2 生活系ごみ組成分析調査結果

(単位：%)

	北地区	東地区	西地区	南地区	加重平均	
ペットボトル・トレイ	2.33	2.06	2.25	0.83	2.09	
プラスチック類	資源化可	2.70	7.57	8.06	3.35	16.40
	資源化不可	8.82	11.85	9.92	8.13	
金属類	0.15	0.65	0.31	0.14	0.35	
ガラス類等	0.13	0.00	0.35	0.24	0.21	
ゴム・皮革類	0.70	0.08	0.62	0.66	0.51	
紙類	資源化可	12.24	11.04	13.22	11.53	28.52
	資源化不可	11.67	16.07	19.76	8.06	
布類	7.16	2.14	0.60	11.13	3.26	
厨芥類	24.95	37.88	27.98	14.84	28.56	
木・竹・わら類	12.51	6.89	9.82	21.17	10.68	
紙おむつ	4.53	1.22	3.45	12.20	3.92	9.42
可燃物類	12.11	2.55	3.66	7.72	5.50	
合 計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

資源化可能なもの	24.43	22.81	24.13	26.84	24.11	
入れていけないもの	0.28	0.65	0.66	0.38	0.56	

図 2-2-7 組成比率 4 地区比較

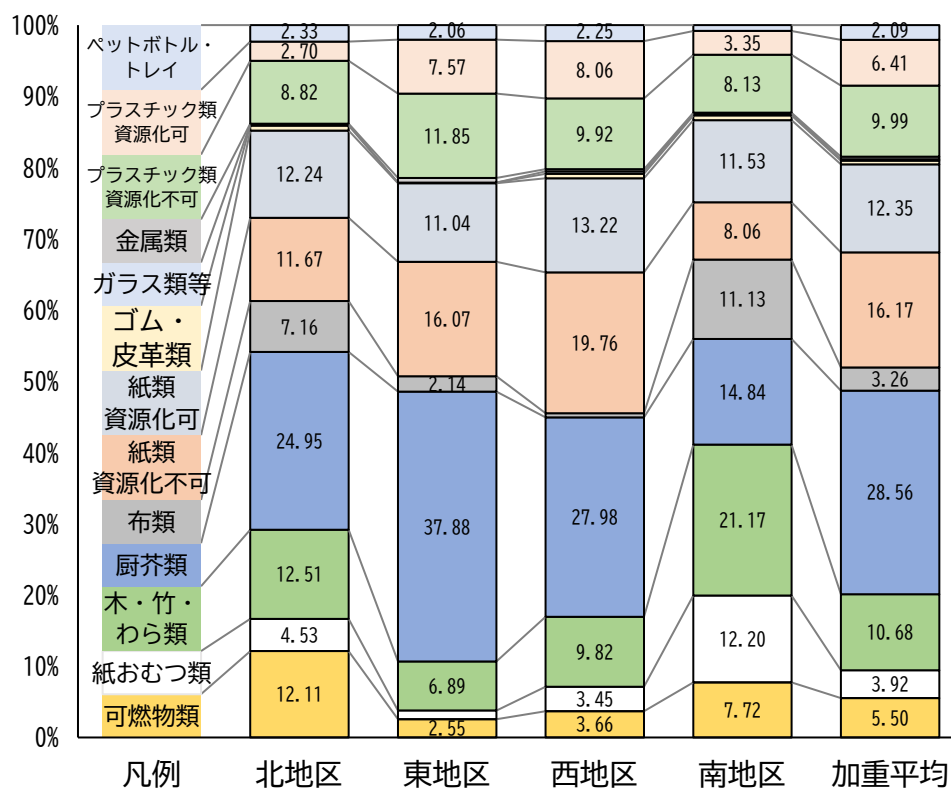


図 2-2-8 資源化可能なもの 4 地区比較

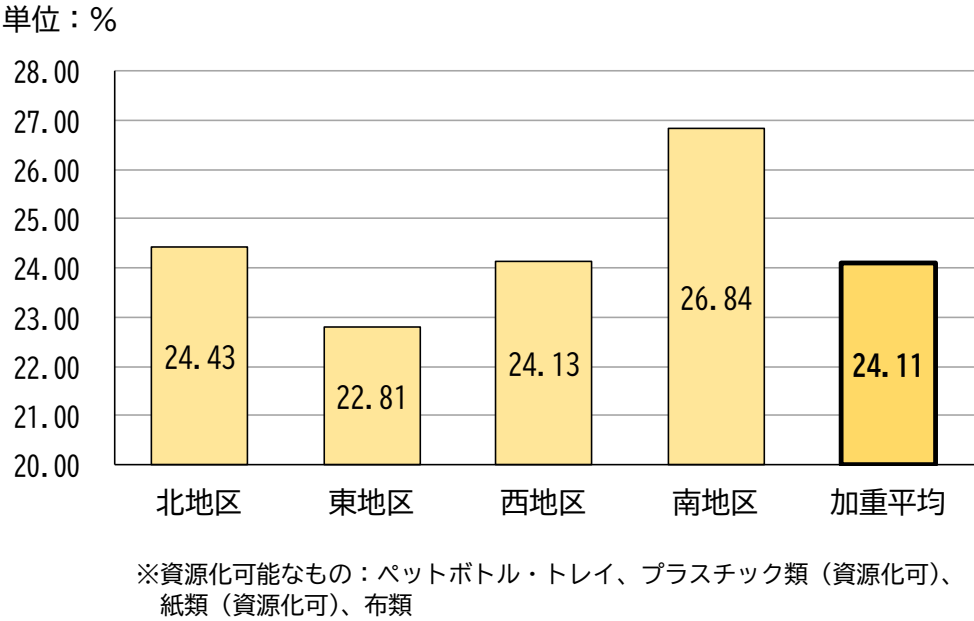
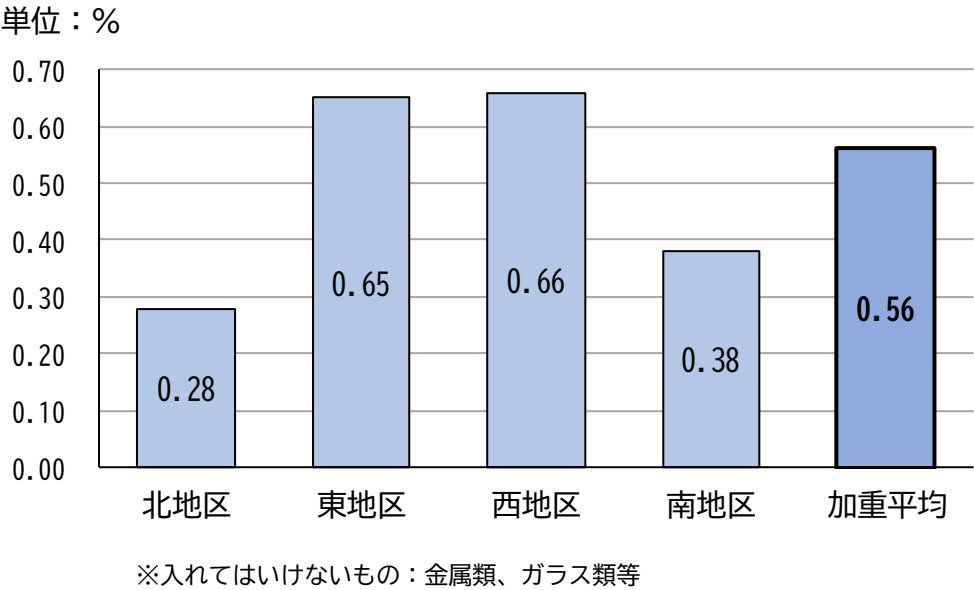


図 2-2-9 入れてはいけないもの 4 地区比較



3. 事業系ごみ 組成分析調査結果

1) 業種別の事業系ごみ組成分析調査結果

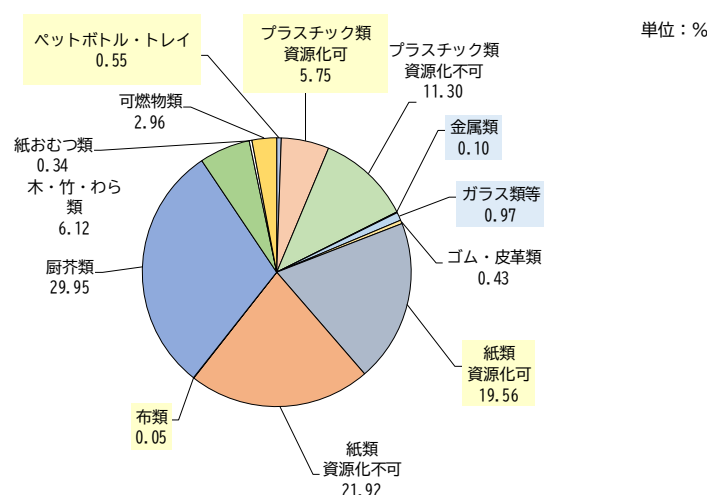
事業系ごみ①販売店

販売店の業種区分には、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、食品小売業のほか、飲食料品等の卸売業を含みます。

割合の多い項目は、順に、「紙類」41.48%、「厨芥類」29.95%、「プラスチック類」17.05%となっており、プラスチック類、紙類等の「資源化可能なもの」は25.91%で、金属類、ガラス類等の「入れてはいけないもの」は1.07%でした。

「厨芥類」の割合が、③宿泊業・飲食店に次いで、高い結果となりました。特に、「直接廃棄（手付かず食品）」は全業種の中で最も高い割合となりました。

図 2-3-1 ①販売店 組成分析調査結果



組 成 項 目		比 率 %	
バ ッ ト ボ ト ル ・ ト レ イ		0.55	
プ ラ ス チ ッ ク 類	資 源 化 可	5.75	17.05
	資 源 化 不 可	11.30	
金 属 類		0.10	
ガ ラ ス 類 等		0.97	
ゴ ム ・ 皮 革 類		0.43	
紙 類	資 源 化 可	19.56	41.48
	資 源 化 不 可	21.92	
布 類		0.05	
厨 芥 類	食 ペ 残 し	6.38	29.95
	過 剰 除 去	1.84	
	直 接 廃 棄	13.51	
	調 理 く ず	8.22	
木 ・ 竹 ・ わ ら 類		6.12	
紙 お む つ 類		0.34	3.30
可 燃 物 類		2.96	
合 計		100.00	

資源化可能なもの	25.91	ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
入れてはいけないもの	1.07	金属類、ガラス類等

事業系ごみ②学術研究・学校教育施設

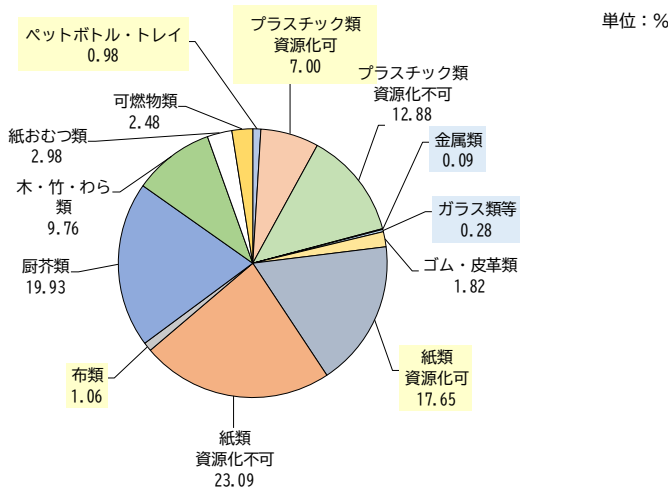
学術研究・学校教育施設の業種区分には、学術的研究等を行う事業所、幼稚園、学校、大学等を含みます。

割合の多い項目は、順に、「紙類」40.74%、「厨芥類」19.93%、「プラスチック類」19.88%となっています。「資源化可能なもの」の割合は26.69%で、「入れてはいけないもの」の割合は0.37%でした。

他の業種と比較すると、「紙類」、「木・竹・わら類」（剪定枝）の割合がやや多い結果となりました。特に「紙類」は、⑤オフィスに次いで多い結果となっています。

「木・竹・わら類」（剪定枝）は、季節的変動が大きい項目であるため継続した調査が必要です。

図 2-3-2 ②学術研究・学校教育施設 組成分析調査結果



組 成 項 目		比 率 %	
ペ ッ ト ボ ト ル ・ ト レ イ		0.98	
プ ラ ス チ ッ ク 類	資 源 化 可	7.00	19.88
	資 源 化 不 可	12.88	
金 属 類		0.09	
ガ ラ ス 類 等		0.28	
ゴ ム ・ 皮 革 類		1.82	
紙 類	資 源 化 可	17.65	40.74
	資 源 化 不 可	23.09	
布 類		1.06	
厨 芥 類	食 べ 残 し	3.82	19.93
	過 剰 除 去	0.02	
	直 接 廃 棄	2.26	
	調 理 く ず	13.83	
木 ・ 竹 ・ わ ら 類		9.76	
紙 お む つ 類		2.98	5.46
可 燃 物 類		2.48	
合 計		100.00	

資 源 化 可 能 な も の	26.69	ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
入 れ て は い け な い も の	0.37	金属類、ガラス類等

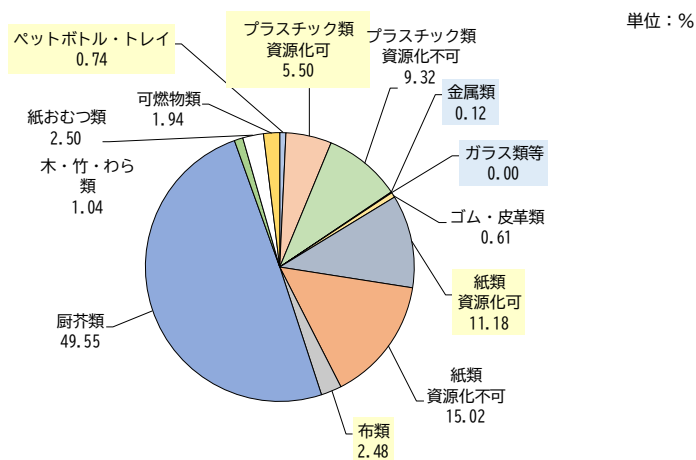
事業系ごみ③宿泊業・飲食店

宿泊業・飲食店の業種区分には、ホテル、レストラン、ファストフード、居酒屋等を含みます。

割合の多い項目は、順に、「厨芥類」49.55%、「紙類」26.20%、「プラスチック類」14.82%となっています。「資源化可能なもの」の割合は19.90%で、金属類、ガラス類等の「入れてはいけないもの」の割合は0.12%でした。

他の業種と比較すると、「厨芥類」が最も高く、全体の約半分を占める結果となり、このうち、「食べ残し」及び「調理くず」は、明らかに多い結果となりました。

図 2-3-3 ③宿泊業・飲食店 組成分析調査結果



組 成 項 目		比 率 %	
ペットボトル・トレイ		0.74	
プラスチック類	資源化可	5.50	14.82
	資源化不可	9.32	
金属類		0.12	
ガラス類等		0.00	
ゴム・皮革類		0.61	
紙類	資源化可	11.18	26.20
	資源化不可	15.02	
布類		2.48	
厨芥類	食べ残し	21.10	49.55
	過剰除去	6.12	
	直接廃棄	2.95	
	調理くず	19.38	
木・竹・わら類		1.04	
紙おむつ類		2.50	4.44
可燃物類		1.94	
合 計		100.00	

資源化可能なもの	19.90	ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
入れてはいけないもの	0.12	金属類、ガラス類等

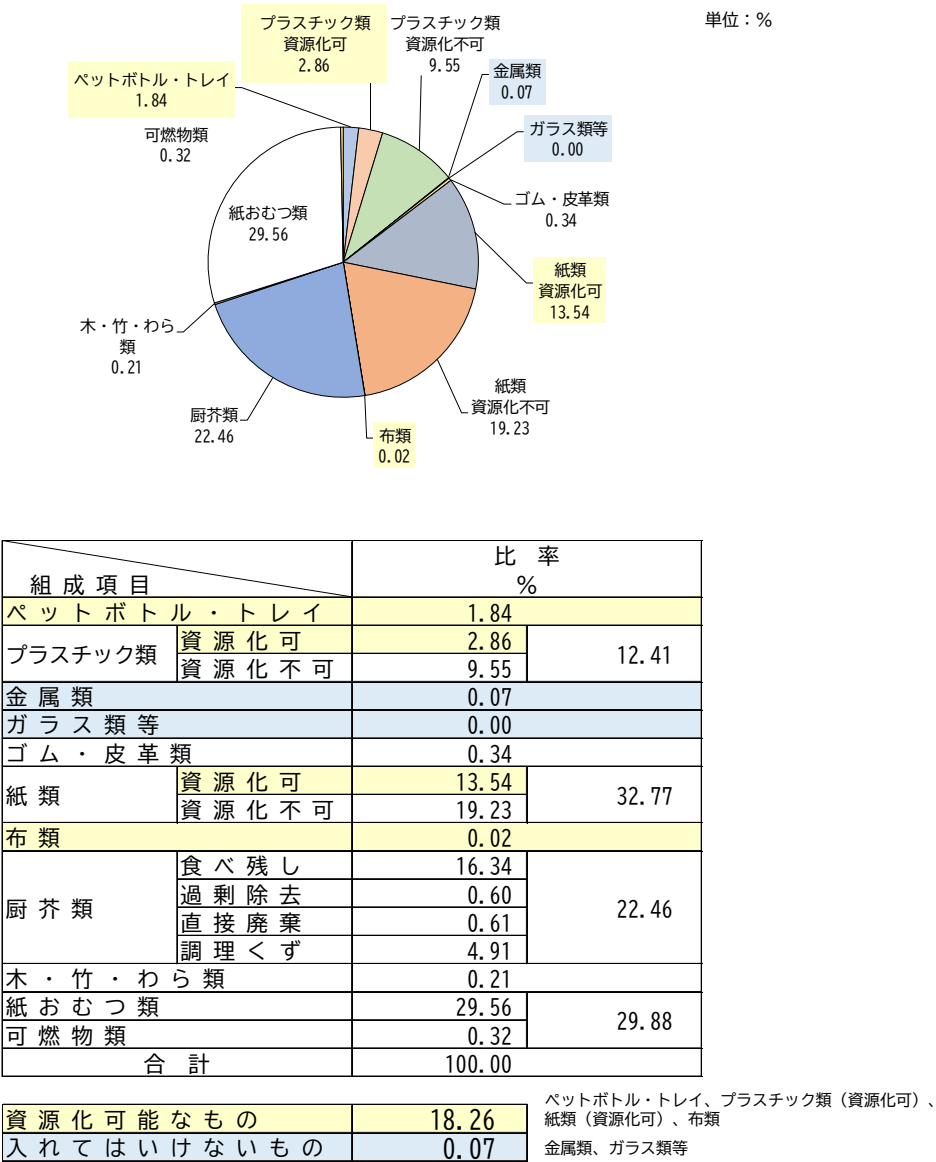
事業系ごみ④医療・福祉施設

医療・福祉施設の業種区分には、医療、社会福祉及び介護に関するサービスを提供する事業所を含みます。

割合の多い項目は、順に、「紙類」32.77%、「可燃物類」（紙おむつ類を含む）29.88%、「厨芥類」22.46%となっています。「資源化可能なもの」の割合は18.26%で、「入れてはいけないもの」の割合は0.07%でした。

他の業種と比較すると、「紙おむつ類」が最も割合が高く、全体の3割近くを占めます。

図 2-3-4 ④医療・福祉施設 組成分析調査結果



事業系ごみ⑤オフィス

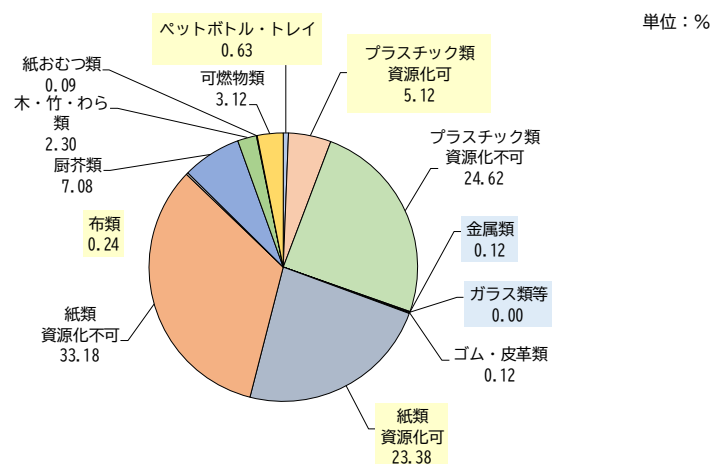
オフィスの業種区分には、市役所（出張所を含む）、民間事務所を含みます。

割合の多い項目は、順に、「紙類」56.56%、「プラスチック類」29.74%、「厨芥類」7.08%となっています。

「紙類」だけで全体の半分以上を超え、他の業種と比較しても最も高い割合となっています。

「資源化可能なもの」の割合は29.37%で、全体の約3割を占め、このうちの大部分を「紙類（資源化可）」が占めています。「入れてはいけないもの」の割合は0.12%でした。

図 2-3-5 ⑤オフィス 組成分析調査結果



組成項目		比率 %	
ペットボトル・トレイ		0.63	
プラスチック類	資源化可	5.12	29.74
	資源化不可	24.62	
金属類		0.12	
ガラス類等		0.00	
ゴム・皮革類		0.12	
紙類	資源化可	23.38	56.56
	資源化不可	33.18	
布類		0.24	
厨芥類	食べ残し	3.84	7.08
	過剰除去	0.00	
	直接廃棄	1.56	
	調理くず	1.68	
木・竹・わら類		2.30	
紙おむつ類		0.09	3.21
可燃物類		3.12	
合計		100.00	

資源化可能なもの	29.37
入れてはいけないもの	0.12

ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類
金属類、ガラス類等

2) 事業系ごみ平均の前回調査との比較

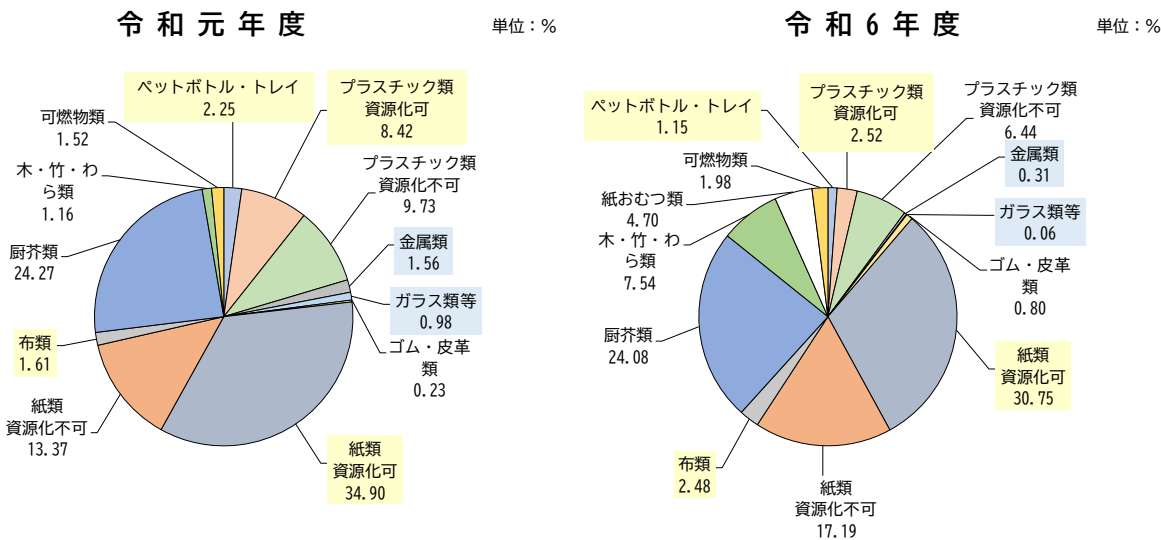
前回調査の事業系ごみと事業系⑥事業系一般

事業系一般は、前回調査と同様に、収集運搬許可業者によって搬入された事業系燃やせるごみを無作為に抽出したものです。

割合の多い項目は、順に、「紙類」47.94%、「厨芥類」24.08%、「プラスチック類」8.96%となっています。「資源化可能なもの」の割合は36.90%、「入れてはいけないもの」の割合は0.37%で、前回調査より改善傾向にあります。

前回調査と比較すると、「紙類」及び「厨芥類」が全体の4分の3を占めるといった傾向は変わりませんが、「プラスチック類」の減少に伴い「資源化可能なもの」の割合が減った一方、「可燃物類」（紙おむつ類を含む）と「木・竹・わら類」（剪定枝）が増加しています。

図 2-3-6 ⑥事業系一般 組成分析調査結果



組 成 項 目		比 率		%	
		令 和 元 年 度		令 和 6 年 度	
ペットボトル・トレイ		2.25		1.15	
プラスチック類	資源化可	8.42	18.15	2.52	8.96
	資源化不可	9.73		6.44	
金属類		1.56		0.31	
ガラス類等		0.98		0.06	
ゴム・皮革類		0.23		0.80	
紙類	資源化可	34.90	48.27	30.75	47.94
	資源化不可	13.37		17.19	
布類		1.61		2.48	
厨 芥 類	食 べ 残 し	24.27		2.89	24.08
	過 剰 除 去			2.93	
	直 接 廃 棄			2.33	
	調 理 く ず			15.93	
木・竹・わら類		1.16		7.54	
紙おむつ類		1.52		4.70	6.68
可燃物類				1.98	
合 計		100.00		100.00	

	令 和 元 年 度	令 和 6 年 度
資源化可能なもの	47.18	36.90
入れてはいけないもの	2.54	0.37

3) 事業系ごみ組成の業種比較

6 業種の組成分析調査結果の一覧を表 2-3-1 及び図 2-3-7～図 2-3-9 に示します。

③飲食店では「厨芥類」、④医療・福祉施設では「紙おむつ類」、⑤オフィスでは「紙類」が多いなど、それぞれの業種の特徴を表す結果となりました。

表 2-3-1 事業系ごみ組成分析調査結果

		(単位：%)					
		①販売店	②学術研究・ 学校教育施設	③飲食店	④医療・ 福祉施設	⑤オフィス	⑥事業系 一般
ペットボトル・トレイ		0.55	0.98	0.74	1.84	0.63	1.15
プラスチック類	資源化可	5.75	7.00	5.50	2.86	5.12	2.52
	資源化不可	11.30	12.88	9.32	9.55	24.62	6.44
金属類		0.10	0.09	0.12	0.07	0.12	0.31
ガラス類等		0.97	0.28	0.00	0.00	0.00	0.06
ゴム・皮革類		0.43	1.82	0.61	0.34	0.12	0.80
紙類	資源化可	19.56	17.65	11.18	13.54	23.38	30.75
	資源化不可	21.92	23.09	15.02	19.23	33.18	17.19
布類		0.05	1.06	2.48	0.02	0.24	2.48
厨芥類		29.95	19.93	49.55	22.46	7.08	24.08
木・竹・わら類		6.12	9.76	1.04	0.21	2.30	7.54
紙おむつ類		0.34	2.98	2.50	29.56	0.09	4.70
可燃物類		2.96	2.48	1.94	0.32	3.12	1.98
合 計		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
資源化可能なもの		25.91	26.69	19.90	18.26	29.37	36.90
入れてはいけないもの		1.07	0.37	0.12	0.07	0.12	0.37

図 2-3-7 組成比率 6 業種比較

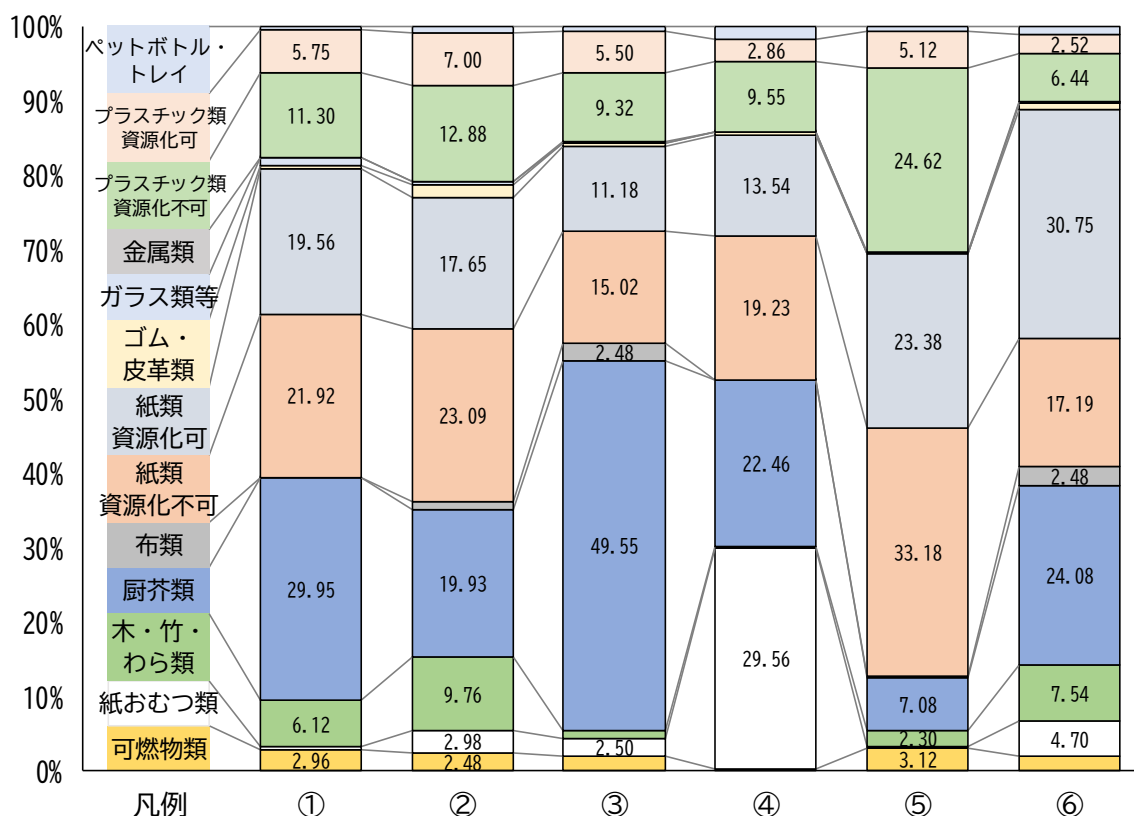
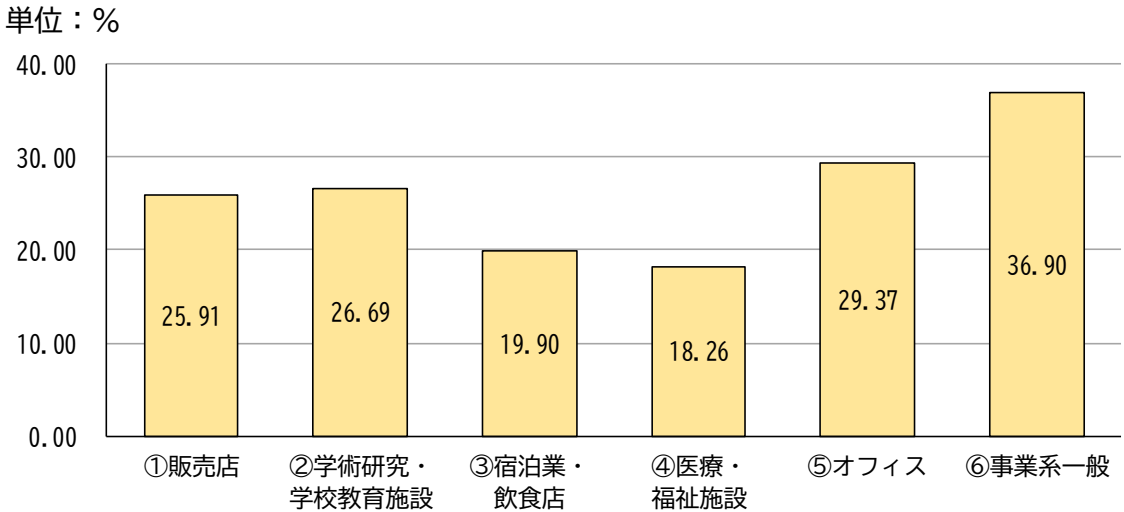
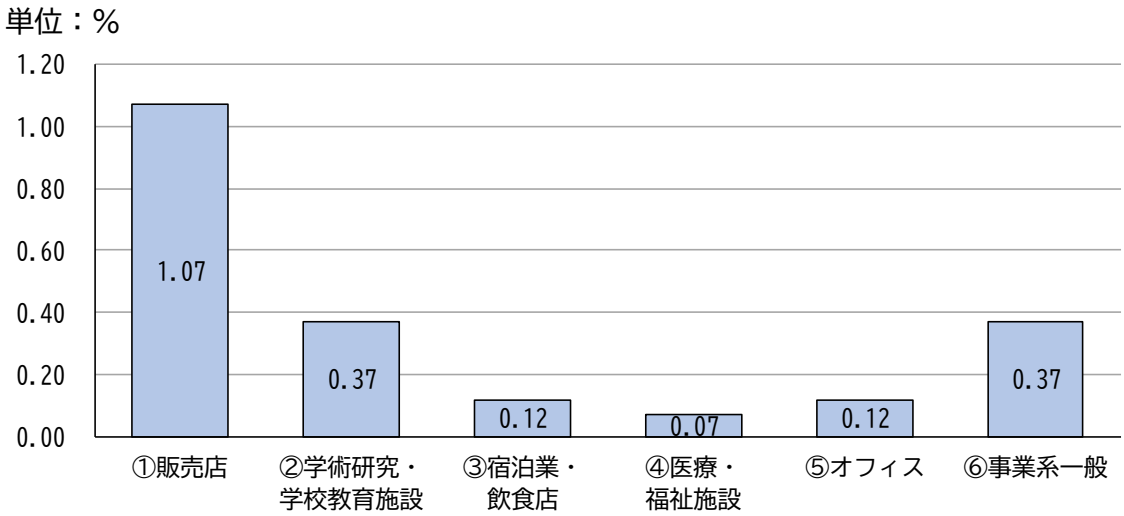


図 2-3-8 資源化可能なもの 6 業種比較



※資源化可能なもの：ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類

図 2-3-9 入れてはいけないもの 6 業種比較



※入れてはいけないもの：金属類、ガラス類等

4. 考察

1) 生活系ごみについて

本調査では、前回調査からのごみ組成の経年変化を明らかにするため、前回調査と同様に、4つのごみ収集地区を対象にしました。

- 3地区（②東地区、③西地区、④南地区）で、「資源化可能なもの」及び「入れてはいけないもの」の混入率が、前回調査より改善傾向が確認されました。全地区で唯一、①北地区では、「資源化可能なもの」の割合が前回調査より悪化しました（18.30%→24.43%）。
- 燃やせるごみのうち、「資源化可能なもの」（ペットボトル・トレイ、プラスチック類（資源化可）、紙類（資源化可）、布類）の割合は、全地区で約2割（平均：24.11%）を占める結果となりました。資源化可能なものを効率よく回収し、再資源化することで大きくごみの減量化につながると考えられます。
- プラスチック類の割合は、全地区で減少しています。令和4年（2022年）10月からプラスチック製容器包装の収集頻度を増加（月2回→月4回）したことにより、燃やせるごみに混入されるプラスチック類の割合が減少したことが要因として考えられます。
- 食品ロス（「食べ残し」、「過剰除去」、「直接廃棄（手付かず食品）」）の割合は、都市部に該当する②東地区及び③西地区で15%以上と多く、周辺部に該当する①北地区及び④南地区では6～7%と、都市部の約半分の割合となりました。家庭系の食品ロス削減は、都市部において特に積極的に取り組むことが必要です。

2) 事業系ごみについて

本調査では特徴の異なる5つの業種と、前回調査と同様に、収集運搬許可業者によってつくばサステナスクエアへ搬入された事業系燃やせるごみを無作為に抽出したもの（⑥事業系一般）を対象としました。

・①販売店

賞味期限、消費期限が切れた（あるいは切れそう）ことが原因で食べられることなく、多くは未開封で廃棄されてしまう「直接廃棄（手付かず食品）」が多い結果となりました。商慣習の見直し（過剰生産・過剰在庫の削減）や需要予測の精度向上のほか、余剰食品のフードバンク寄付や売り切りの実施、小容量販売・ばら売りの実施等の取組を促進することで、直接廃棄されるごみの減量につながると考えられます。

・②学術研究・学校教育施設

「紙類」が全体の約4割を占めており、これらの施設では日常的に多くの紙類を使い、廃棄されていることが想像できます。半面、同種の紙類が大量に排出されることも想定されるため、資源化することも、他業種に比べ比較的容易である可能性があります。ペーパーレス化を推進し、紙類全体の排出量を抑制するとともに、資源化可能な紙類は、極力再資源化できるよう適切に分別、収集することでごみの減量につながります。

・③宿泊業・飲食店

「厨芥類」のうち、「食べ残し」、「調理くず」などが、他の業種に比べ、明らかに多い結果となりました。水分を良く切ってから排出する、提供サイズの調整（小盛りメニューの設定など）、過剰除去を極力減らす、食べきり運動（30・10 運動等）の呼びかけ、などがごみ減量化対策として考えられます。

・④医療・福祉施設

多量の「紙おむつ類」を含むことが最大の特徴です。全国的な高齢化により、今後、紙おむつ類の排出量が増加していくことも予想されます。衛生的な面から減量化は困難な一方、全国的には紙おむつ関連の民間企業と連携して使用済み紙おむつ類のリサイクルに取り組んでいる自治体もあります。本市でも同様の取り組みを検討していく必要があります。

・⑤オフィス

全体の半分以上、6 割近くが「紙類」で、そのおよそ半分は資源化が可能です。同種の紙類が大量に排出されることも想定されるため、資源化することも比較的容易であることが想像できます。コストや機密情報等の課題を解決できれば、その多くを資源化でき、ごみの減量につながると考えられます。特に市役所などの公共施設は、率先して紙類の減量化・資源化に取り組むことで、民間企業に対し範を示すことが求められます。

・⑥事業系一般

令和元年度に実施した前回調査の事業系ごみと結果を比較したところ、「紙類」と「厨芥類」が全体の4分の3を占めるといった傾向は変わりませんが、「プラスチック類」の減少に伴い「資源化可能なもの」の割合が減った一方、「可燃物類」（紙おむつ類を含む）と「木・竹・わら類」（剪定枝）が増加しました。

3) その他

- ごみの組成調査は、調査の実施時期や当日の天候、季節による変動、収集時の偶発的要因も結果に大きく影響するため、一度の調査の結果のみで判断せず、調査回数や調査対象、調査のタイミング等を十分に検討する必要があります。
- 感染症拡大の影響、それに伴う生活様式の変化などによるごみ質の変動を見るためには、定期的、継続的な調査も必要となります。
- 社会情勢や関連法制度の改正等を鑑み、プラスチック類や食品ロスなど、テーマを絞った詳細な調査を行うことも重要です。
- 組成割合の増減結果からだけでは、特定の項目の絶対量の増減はわからないため、全体のごみ発生量を加味した検討も重要です。

写真 2-4-1 東地区「プラスチック製容器包装」



写真 2-4-2 オフィス「紙類」



写真 2-4-3 販売店「厨芥類（直接廃棄）」



写真 2-4-4 医療・福祉施設「紙おむつ類」



【資料編】

表 2-5-1 北地区 組成分析調査結果

生活系燃やせるごみ 北地区				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	3.13	129.6	0.02	1.52	4.97
2			ペットボトルのキャップ	0.80	6.5	0.12	0.39	0.25
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	2.92	129.6	0.02	1.41	4.97
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	6.24	259.3	0.02	3.02	9.94
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	7.45	172.8	0.04	3.61	6.62
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	1.77	86.4	0.02	0.86	3.31
7			白色トレイ	0.15	64.8	0.00	0.07	2.48
8			その他色トレイ	0.73	64.8	0.01	0.35	2.48
9			レジ袋	0.89	64.8	0.01	0.43	2.48
10			その他容器包装	0.00	0.0	-	0.00	0.00
11		商 品 等	容器包装ではない製品ブラ	2.81	43.2	0.07	1.36	1.66
12			ごみ袋	1.71	108.0	0.02	0.83	4.14
13	不 燃 物 類	金 属 類	アルミかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.32	6.5	0.05	0.15	0.25
16		ガ ラ ス 類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.00	0.0	-	0.00	0.00
19		陶 磁 器 類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.26	0.2	1.30	0.13	0.01
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	1.45	8.6	0.17	0.70	0.33
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	1.06	43.2	0.02	0.51	1.66
23			段ボール	0.30	86.4	0.00	0.14	3.31
24			その他紙製容器包装	12.10	237.7	0.05	5.86	9.11
25		商 品 等	新聞紙	0.56	32.4	0.02	0.27	1.24
26			書籍類	3.67	10.8	0.34	1.78	0.41
27			チラシ	3.20	21.6	0.15	1.55	0.83
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	4.39	86.4	0.05	2.13	3.31
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	24.11	172.8	0.14	11.67	6.62
30	布 類	布 類	布製品・きれ	14.78	151.2	0.10	7.16	5.80
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	2.12	15.0	0.14	1.03	0.58
32			過剰除去	0.30	3.0	0.10	0.14	0.12
33			直接廃棄(手付かず食品)	11.83	60.0	0.20	5.73	2.30
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	37.27	100.0	0.37	18.05	3.83
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	25.84	226.9	0.11	12.51	8.70
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	9.36	86.4	0.11	4.53	3.31
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	25.00	129.6	0.19	12.11	4.97
合 計				206.52	2608.5	0.08	100.00	100.00

資源化可能なもの

入れてはいけないもの

表 2-5-2 東地区 組成分析調査結果

生活系燃やせるごみ 東地区				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	2.89	125.6	0.02	1.35	3.35
2			ペットボトルのキャップ	0.38	1.3	0.29	0.18	0.03
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	11.06	418.8	0.03	5.19	11.18
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	9.55	460.7	0.02	4.48	12.30
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	2.55	104.7	0.02	1.20	2.79
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	2.72	104.7	0.03	1.28	2.79
7			白色トレイ	0.46	20.9	0.02	0.22	0.56
8			その他色トレイ	0.67	104.7	0.01	0.31	2.79
9			レジ袋	2.35	125.6	0.02	1.10	3.35
10			その他容器包装	0.29	16.8	0.02	0.14	0.45
11		商 品 等	容器包装ではない製品ブラ	9.59	335.0	0.03	4.50	8.94
12			ごみ袋	3.27	418.8	0.01	1.53	11.18
13	不 燃 物 類	金 属 類	アルミかん(飲料用)	0.42	16.8	0.03	0.20	0.45
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.96	8.4	0.11	0.45	0.22
16		ガ ラ ス 類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.00	0.0	-	0.00	0.00
19		陶 磁 器 類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	0.17	1.3	0.13	0.08	0.03
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	2.18	83.8	0.03	1.02	2.24
23			段ボール	2.85	104.7	0.03	1.34	2.79
24			その他紙製容器包装	10.60	335.0	0.03	4.97	8.94
25		商 品 等	新聞紙	1.34	20.9	0.06	0.63	0.56
26			書籍類	0.88	12.6	0.07	0.41	0.34
27			チラシ	2.47	29.3	0.08	1.16	0.78
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	3.22	146.6	0.02	1.51	3.91
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	34.26	293.1	0.12	16.07	7.82
30	布 類	布 類	布製品・きれ	4.56	41.9	0.11	2.14	1.12
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	15.38	25.0	0.62	7.21	0.67
32			過剰除去	7.28	30.0	0.24	3.41	0.80
33			直接廃棄(手付かず食品)	15.55	90.0	0.17	7.29	2.40
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	42.57	110.0	0.39	19.97	2.94
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	14.70	125.6	0.12	6.89	3.35
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	2.60	12.6	0.21	1.22	0.34
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	5.44	20.9	0.26	2.55	0.56
合 計				213.21	3746.1	0.06	100.00	100.00

資源化可能なもの

入れてはいけないもの

表 2-5-3 西地区 組成分析調査結果

生活系燃やせるごみ 西地区				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	3.08	99.8	0.03	1.49	3.04
2			ペットボトルのキャップ	0.76	4.0	0.19	0.37	0.12
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	12.50	479.2	0.03	6.06	14.60
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	11.02	539.1	0.02	5.34	16.43
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	3.15	99.8	0.03	1.53	3.04
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	2.64	99.8	0.03	1.28	3.04
7			白色トレイ	0.32	39.9	0.01	0.16	1.22
8			その他色トレイ	0.48	59.9	0.01	0.23	1.83
9			レジ袋	1.48	159.7	0.01	0.72	4.87
10			その他容器包装	0.04	0.4	0.10	0.02	0.01
11		商 品 等	容器包装ではない製品ブラ	3.95	119.8	0.03	1.91	3.65
12			ごみ袋	2.32	159.7	0.01	1.12	4.87
13	不 燃 物 類	金 属 類	アルミかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
14			スチールかん(飲料用)	0.16	0.8	0.20	0.08	0.02
15			その他金属	0.48	4.0	0.12	0.23	0.12
16		ガ ラ ス 類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.60	0.8	0.75	0.29	0.02
18			その他ガラス	0.00	0.0	-	0.00	0.00
19		陶 磁 器 類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.12	0.4	0.30	0.06	0.01
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	1.28	12.0	0.11	0.62	0.37
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	1.72	59.9	0.03	0.83	1.83
23			段ボール	1.60	39.9	0.04	0.78	1.22
24			その他紙製容器包装	14.42	319.5	0.05	6.99	9.73
25		商 品 等	新聞紙	0.44	12.0	0.04	0.21	0.37
26			書籍類	3.35	20.0	0.17	1.62	0.61
27			チラシ	0.96	20.0	0.05	0.47	0.61
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	4.79	59.9	0.08	2.32	1.83
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	40.77	319.5	0.13	19.76	9.73
30	布 類	布 類	布製品・きれ	1.24	8.0	0.16	0.60	0.24
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	13.17	25.0	0.53	6.38	0.76
32			過剰除去	7.98	30.0	0.27	3.87	0.91
33			直接廃棄(手付かず食品)	9.81	25.0	0.39	4.75	0.76
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	26.78	65.0	0.41	12.98	1.98
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	20.25	279.5	0.07	9.82	8.52
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	7.11	59.9	0.12	3.45	1.83
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	7.55	59.9	0.13	3.66	1.83
合 計				206.32	3282.1	0.06	100.00	100.00

資源化可能なもの
 入れてはいけないもの

表 2-5-4 南地区 組成分析調査結果

生活系燃やせるごみ 南地区				湿ベース 重量(kg)	容 量 (ℓ)	単位容積 重 量 (kg/ℓ)	湿 重 量 百分率(%)	体 積 百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	0.77	30.5	0.03	0.38	1.15
2			ペットボトルのキャップ	0.33	2.0	0.17	0.16	0.08
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	5.24	304.9	0.02	2.59	11.48
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	5.18	203.3	0.03	2.56	7.65
5			汚れの落としにくい容器包装 (チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	1.30	40.7	0.03	0.64	1.53
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	0.79	101.6	0.01	0.39	3.82
7			白色トレイ	0.06	2.0	0.03	0.03	0.08
8			その他色トレイ	0.53	101.6	0.01	0.26	3.82
9			レジ袋	0.75	81.3	0.01	0.37	3.06
10			その他容器包装	0.08	2.0	0.04	0.04	0.08
11		商 品 等	容器包装ではない製品ブラ	8.44	132.1	0.06	4.18	4.97
12			ごみ袋	1.44	203.3	0.01	0.71	7.65
13	不 燃 物 類	金 属 類	アルミかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.28	2.0	0.14	0.14	0.08
16		ガ ラ ス 類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.12	0.2	0.60	0.06	0.01
19		陶 磁 器 類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.37	1.0	0.37	0.18	0.04
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	1.34	6.1	0.22	0.66	0.23
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	1.02	40.7	0.03	0.51	1.53
23			段ボール	1.10	50.8	0.02	0.54	1.91
24			その他紙製容器包装	4.84	162.6	0.03	2.40	6.12
25		商 品 等	新聞紙	2.62	50.8	0.05	1.30	1.91
26			書籍類	3.50	30.5	0.11	1.73	1.15
27			チラシ	1.18	20.3	0.06	0.58	0.76
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	9.03	101.6	0.09	4.47	3.82
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	16.28	122.0	0.13	8.06	4.59
30	布 類	布 類	布製品・きれ	22.50	111.8	0.20	11.13	4.21
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	7.80	30.0	0.26	3.86	1.13
32			過剰除去	0.28	2.0	0.14	0.14	0.08
33			直接廃棄(手付かず食品)	4.64	20.0	0.23	2.30	0.75
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	17.26	40.0	0.43	8.54	1.51
35	木・竹・ わら類	剪 定 枝	剪定枝	42.79	392.3	0.11	21.17	14.77
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	24.66	164.7	0.15	12.20	6.20
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物 (マスク、タバコの吸い殻など)	15.61	101.6	0.15	7.72	3.82
合 計				202.13	2656.3	0.08	100.00	100.00

資源化可能なもの

入れてはいけないもの

表 2-5-5 4 地区 組成分析調査結果まとめ（湿重量百分率）

4 地区 まとめ				湿重量百分率 (%)					
組 成 項 目				北地区	東地区	西地区	南地区	単純平均	加重平均
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	1.52	1.35	1.49	0.38	1.18	1.36
2			ペットボトルのキャップ	0.39	0.18	0.37	0.16	0.28	0.31
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	1.41	5.19	6.06	2.59	3.81	4.58
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	3.02	4.48	5.34	2.56	3.85	4.41
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	3.61	1.20	1.53	0.64	1.74	1.80
6			複合材料(アルミ蒸着プラ)	0.86	1.28	1.28	0.39	0.95	1.11
7			白色トレイ	0.07	0.22	0.16	0.03	0.12	0.14
8			その他色トレイ	0.35	0.31	0.23	0.26	0.29	0.28
9			レジ袋	0.43	1.10	0.72	0.37	0.66	0.72
10			その他容器包装	0.00	0.14	0.02	0.04	0.05	0.04
11		商品等	容器包装ではない製品プラ	1.36	4.50	1.91	4.18	2.99	2.62
12			ごみ袋	0.83	1.53	1.12	0.71	1.05	1.12
13	不燃物類	金属類	アルミかん(飲料用)	0.00	0.20	0.00	0.00	0.05	0.05
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.00	0.08	0.00	0.02	0.04
15			その他金属	0.15	0.45	0.23	0.14	0.24	0.26
16		ガラス類	リターナブルびん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.00	0.29	0.00	0.07	0.13
18			その他ガラス	0.00	0.00	0.00	0.06	0.02	0.01
19		陶磁器類	陶磁器類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.13	0.00	0.06	0.18	0.09	0.07
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	0.70	0.08	0.62	0.66	0.52	0.51
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	0.51	1.02	0.83	0.51	0.72	0.78
23			段ボール	0.14	1.34	0.78	0.54	0.70	0.76
24			その他紙製容器包装	5.86	4.97	6.99	2.40	5.05	5.87
25		商品等	新聞紙	0.27	0.63	0.21	1.30	0.60	0.42
26			書籍類	1.78	0.41	1.62	1.73	1.38	1.37
27			チラシ	1.55	1.16	0.47	0.58	0.94	0.87
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	2.13	1.51	2.32	4.47	2.61	2.28
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	11.67	16.07	19.76	8.06	13.89	16.17
30	布 類	布 類	布製品・きれ	7.16	2.14	0.60	11.13	5.26	3.26
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	1.03	7.21	6.38	3.86	4.62	5.25
32			過剰除去	0.14	3.41	3.87	0.14	1.89	2.66
33			直接廃棄(手付かず食品)	5.73	7.29	4.75	2.30	5.02	5.34
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	18.05	19.97	12.98	8.54	14.88	15.31
35	木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝	12.51	6.89	9.82	21.17	12.60	10.68
36		その他	その他木・竹・わら	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	4.53	1.22	3.45	12.20	5.35	3.92
38	可燃物類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	12.11	2.55	3.66	7.72	6.51	5.50
合 計				100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

資源化可能なもの
 入れてはいけないもの

表 2-5-6 ①販売店 組成分析調査結果

事業系燃やせるごみ ①販売店				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	0.51	21.3	0.02	0.25	0.62
2			ペットボトルのキャップ	0.06	0.4	0.15	0.03	0.01
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	9.97	297.7	0.03	4.92	8.67
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	6.87	404.1	0.02	3.39	11.77
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	1.83	21.3	0.09	0.90	0.62
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	0.77	31.9	0.02	0.38	0.93
7			白色トレイ	0.04	4.3	0.01	0.02	0.13
8			その他色トレイ	0.51	63.8	0.01	0.25	1.86
9			レジ袋	0.91	42.5	0.02	0.45	1.24
10			その他容器包装	0.00	0.0	-	0.00	0.00
11		商品等	容器包装ではない製品ブラ	11.00	361.6	0.03	5.43	10.53
12			ごみ袋	3.19	212.7	0.01	1.58	6.19
13	不燃物類	金属類	アルミかん(飲料用)	0.04	1.1	0.04	0.02	0.03
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.17	1.1	0.15	0.08	0.03
16		ガラス類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.32	0.2	1.60	0.16	0.01
19		陶磁器類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	1.64	4.9	0.33	0.81	0.14
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	0.87	6.4	0.14	0.43	0.19
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	1.60	85.1	0.02	0.79	2.48
23			段ボール	3.83	95.7	0.04	1.89	2.79
24			その他紙製容器包装	17.29	425.4	0.04	8.53	12.39
25		商品等	新聞紙	1.34	42.5	0.03	0.66	1.24
26			書籍類	2.04	4.3	0.47	1.01	0.13
27			チラシ	0.30	10.6	0.03	0.15	0.31
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	13.23	297.7	0.04	6.53	8.67
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	44.41	638.0	0.07	21.92	18.58
30	布 類	布 類	布製品・きれ	0.11	2.1	0.05	0.05	0.06
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	12.93	20.0	0.65	6.38	0.58
32			過剰除去	3.73	30.0	0.12	1.84	0.87
33			直接廃棄(手付かず食品)	27.37	80.0	0.34	13.51	2.33
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	16.65	45.0	0.37	8.22	1.31
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	12.40	138.2	0.09	6.12	4.02
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	0.68	2.1	0.32	0.34	0.06
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	6.00	42.5	0.14	2.96	1.24
合 計				202.61	3434.5	0.06	100.00	100.00

資源化可能なもの

入れてはいけないもの

表 2-5-7 ②学術研究・学校教育施設 組成分析調査結果

事業系燃やせるごみ ②学術研究・学校教育施設				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	2.03	41.4	0.05	0.76	0.79
2			ペットボトルのキャップ	0.25	0.8	0.31	0.09	0.02
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	14.02	579.0	0.02	5.28	11.01
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	11.46	703.1	0.02	4.32	13.38
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	0.58	20.7	0.03	0.22	0.39
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	3.97	186.1	0.02	1.50	3.54
7			白色トレイ	0.00	0.0	-	0.00	0.00
8			その他色トレイ	0.33	29.0	0.01	0.13	0.55
9			レジ袋	0.58	82.7	0.01	0.22	1.57
10			その他容器包装	0.08	0.8	0.10	0.03	0.02
11		商品等	容器包装ではない製品ブラ	7.82	310.2	0.03	2.95	5.90
12			ごみ袋	14.23	330.9	0.04	5.36	6.29
13	不燃物類	金属類	アルミかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.25	2.1	0.12	0.09	0.04
16		ガラス類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.00	0.0	-	0.00	0.00
19		陶磁器類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.74	1.2	0.62	0.28	0.02
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	4.84	62.0	0.08	1.82	1.18
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	0.54	20.7	0.03	0.20	0.39
23			段ボール	4.55	165.4	0.03	1.71	3.15
24			その他紙製容器包装	19.93	558.3	0.04	7.51	10.62
25		商品等	新聞紙	0.95	124.1	0.01	0.36	2.36
26			書籍類	2.98	20.7	0.14	1.12	0.39
27			チラシ	1.82	103.4	0.02	0.69	1.97
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	16.09	517.0	0.03	6.06	9.83
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	61.29	951.2	0.06	23.09	18.09
30	布 類	布 類	布製品・きれ	2.81	41.4	0.07	1.06	0.79
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	10.15	20.0	0.51	3.82	0.38
32			過剰除去	0.06	0.2	0.30	0.02	0.00
33			直接廃棄(手付かず食品)	5.99	30.0	0.20	2.26	0.57
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	36.71	65.0	0.56	13.83	1.24
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	25.89	165.4	0.16	9.76	3.15
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	7.90	62.0	0.13	2.98	1.18
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	6.58	62.0	0.11	2.48	1.18
合 計				265.42	5,256.8	0.05	100.00	100.00

資源化可能なもの
 入れてはいけないもの

表 2-5-8 ③宿泊業・飲食店 組成分析調査結果

事業系燃やせるごみ ③宿泊業・飲食店				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	0.86	31.5	0.03	0.50	1.53
2			ペットボトルのキャップ	0.06	0.4	0.15	0.04	0.02
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	8.50	335.9	0.03	4.98	16.29
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	3.55	167.9	0.02	2.08	8.14
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	0.46	10.5	0.04	0.27	0.51
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	0.59	42.0	0.01	0.35	2.04
7			白色トレイ	0.17	10.5	0.02	0.10	0.51
8			その他色トレイ	0.17	10.5	0.02	0.10	0.51
9			レジ袋	0.29	52.5	0.01	0.17	2.55
10			その他容器包装	0.02	0.2	0.10	0.01	0.01
11		商品等	容器包装ではない製品ブラ	7.73	178.4	0.04	4.53	8.65
12			ごみ袋	4.14	94.5	0.04	2.43	4.58
13	不燃物類	金属類	アルミかん(飲料用)	0.06	1.0	0.06	0.03	0.05
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.15	2.1	0.07	0.09	0.10
16		ガラス類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.00	0.0	-	0.00	0.00
19		陶磁器類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	1.05	8.4	0.13	0.61	0.41
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	1.07	52.5	0.02	0.63	2.55
23			段ボール	1.20	42.0	0.03	0.70	2.04
24			その他紙製容器包装	11.11	335.9	0.03	6.51	16.29
25		商品等	新聞紙	0.38	10.5	0.04	0.22	0.51
26			書籍類	0.38	2.5	0.15	0.22	0.12
27			チラシ	0.13	4.2	0.03	0.08	0.20
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	4.81	126.0	0.04	2.82	6.11
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	25.63	272.9	0.09	15.02	13.24
30	布 類	布 類	布製品・きれ	4.24	21.0	0.20	2.48	1.02
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	36.02	60.0	0.60	21.10	2.91
32			過剰除去	10.44	45.0	0.23	6.12	2.18
33			直接廃棄(手付かず食品)	5.04	20.0	0.25	2.95	0.97
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	33.08	60.0	0.55	19.38	2.91
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	1.78	31.5	0.06	1.04	1.53
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	4.26	25.2	0.17	2.50	1.22
38	可燃物類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	3.32	6.3	0.53	1.94	0.31
合 計				170.69	2,061.8	0.08	100.00	100.00

資源化可能なもの

入れてはいけないもの

表 2-5-9 ④医療・福祉施設 組成分析調査結果

事業系燃やせるごみ ④医療・福祉施設				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	3.77	178.7	0.02	1.62	5.91
2			ペットボトルのキャップ	0.40	4.0	0.10	0.17	0.13
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	6.32	317.7	0.02	2.71	10.50
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	2.38	119.2	0.02	1.02	3.94
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	0.83	19.9	0.04	0.36	0.66
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	0.24	19.9	0.01	0.10	0.66
7			白色トレイ	0.00	0.0	-	0.00	0.00
8			その他色トレイ	0.12	4.0	0.03	0.05	0.13
9			レジ袋	0.12	11.9	0.01	0.05	0.39
10			その他容器包装	0.12	0.4	0.30	0.05	0.01
11		商品等	容器包装ではない製品ブラ	7.43	198.6	0.04	3.19	6.57
12			ごみ袋	11.48	337.6	0.03	4.93	11.16
13	不燃物類	金属類	アルミかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
14			スチールかん(飲料用)	0.12	0.8	0.15	0.05	0.03
15			その他金属	0.04	0.4	0.10	0.02	0.01
16		ガラス類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.00	0.0	-	0.00	0.00
19		陶磁器類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	0.79	15.9	0.05	0.34	0.53
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	0.36	7.9	0.05	0.15	0.26
23			段ボール	3.14	79.4	0.04	1.35	2.63
24			その他紙製容器包装	21.01	595.8	0.04	9.02	19.70
25		商品等	新聞紙	0.91	19.9	0.05	0.39	0.66
26			書籍類	3.93	17.9	0.22	1.69	0.59
27			チラシ	0.20	4.0	0.05	0.09	0.13
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	1.99	59.6	0.03	0.85	1.97
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	44.80	536.2	0.08	19.23	17.73
30	布 類	布 類	布製品・きれ	0.04	0.4	0.10	0.02	0.01
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	38.08	45.0	0.85	16.34	1.49
32			過剰除去	1.39	5.0	0.28	0.60	0.17
33			直接廃棄(手付かず食品)	1.43	5.0	0.29	0.61	0.17
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	11.43	30.0	0.38	4.91	0.99
35	木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝	0.48	4.0	0.12	0.21	0.13
36		その他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	68.87	365.4	0.19	29.56	12.08
38	可燃物類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	0.75	19.9	0.04	0.32	0.66
合 計				232.97	3,024.4	0.08	100.00	100.00

資源化可能なもの
 入れてはいけないもの

表 2-5-10 ⑤オフィス 組成分析調査結果

事業系燃やせるごみ ⑤オフィス				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	0.53	8.2	0.06	0.31	0.16
2			ペットボトルのキャップ	0.25	0.4	0.63	0.15	0.01
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	5.80	370.1	0.02	3.38	7.17
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	21.42	2097.1	0.01	12.49	40.61
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	0.70	12.3	0.06	0.41	0.24
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	1.81	164.5	0.01	1.05	3.19
7			白色トレイ	0.04	0.4	0.10	0.02	0.01
8			その他色トレイ	0.25	12.3	0.02	0.15	0.24
9			レジ袋	1.19	164.5	0.01	0.69	3.19
10			その他容器包装	0.04	0.4	0.10	0.02	0.01
11		商品等	容器包装ではない製品ブラ	6.58	246.7	0.03	3.84	4.78
12			ごみ袋	13.49	205.6	0.07	7.86	3.98
13	不燃物類	金属類	アルミかん(飲料用)	0.08	0.8	0.10	0.05	0.02
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.12	4.1	0.03	0.07	0.08
16		ガラス類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.00	0.0	-	0.00	0.00
19		陶磁器類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	0.21	0.8	0.26	0.12	0.02
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	0.25	8.2	0.03	0.15	0.16
23			段ボール	1.48	61.7	0.02	0.86	1.19
24			その他紙製容器包装	13.73	575.7	0.02	8.00	11.15
25		商品等	新聞紙	0.49	20.6	0.02	0.28	0.40
26			書籍類	0.82	20.6	0.04	0.48	0.40
27			チラシ	0.12	12.3	0.01	0.07	0.24
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	23.23	411.2	0.06	13.54	7.96
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	56.91	616.8	0.09	33.18	11.94
30	布 類	布 類	布製品・きれ	0.41	4.1	0.10	0.24	0.08
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	6.58	15.0	0.44	3.84	0.29
32			過剰除去	0.00	0.0	-	0.00	0.00
33			直接廃棄(手付かず食品)	2.67	25.0	0.11	1.56	0.48
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	2.88	20.0	0.14	1.68	0.39
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	3.95	61.7	0.06	2.30	1.19
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	0.16	2.1	0.08	0.09	0.04
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	5.35	20.6	0.26	3.12	0.40
合 計				171.54	5,163.8	0.03	100.00	100.00

資源化可能なもの

入れてはいけないもの

表 2-5-11 ⑥事業系一般 組成分析調査結果

事業系燃やせるごみ ⑥事業系一般				湿ベース重量(kg)	容 量(ℓ)	単位容積重量(kg/ℓ)	湿重量百分率(%)	体 積百分率(%)
組 成 項 目								
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	1.82	106.3	0.02	0.96	4.00
2			ペットボトルのキャップ	0.02	0.4	0.05	0.01	0.02
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	3.73	96.6	0.04	1.97	3.64
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	3.79	135.3	0.03	2.00	5.09
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	3.11	96.6	0.03	1.65	3.64
6			複合材料(アルミ蒸着ブラ)	0.81	58.0	0.01	0.43	2.18
7			白色トレイ	0.00	0.0	-	0.00	0.00
8			その他色トレイ	0.33	58.0	0.01	0.18	2.18
9			レジ袋	0.23	38.6	0.01	0.12	1.45
10			その他容器包装	0.04	1.9	0.02	0.02	0.07
11		商品等	容器包装ではない製品ブラ	3.61	96.6	0.04	1.91	3.64
12			ごみ袋	1.62	96.6	0.02	0.86	3.64
13	不燃物類	金属類	アルミかん(飲料用)	0.12	3.9	0.03	0.07	0.15
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
15			その他金属	0.46	9.7	0.05	0.24	0.37
16		ガラス類	リターナブルびん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.0	-	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.12	1.9	0.06	0.06	0.07
19		陶磁器類	陶磁器類	0.00	0.0	-	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.00	0.0	-	0.00	0.00
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	1.51	9.7	0.16	0.80	0.37
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	0.64	19.3	0.03	0.34	0.73
23			段ボール	21.72	299.5	0.07	11.48	11.27
24			その他紙製容器包装	20.97	241.6	0.09	11.08	9.09
25		商品等	新聞紙	1.02	48.3	0.02	0.54	1.82
26			書籍類	0.93	9.7	0.10	0.49	0.37
27			チラシ	1.82	29.0	0.06	0.96	1.09
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	11.09	115.9	0.10	5.86	4.36
29			その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)	32.52	444.5	0.07	17.19	16.73
30	布 類	布 類	布製品・きれ	4.70	19.3	0.24	2.48	0.73
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	5.47	15.0	0.36	2.89	0.56
32			過剰除去	5.55	10.0	0.56	2.93	0.38
33			直接廃棄(手付かず食品)	4.41	60.0	0.07	2.33	2.26
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	30.15	100.0	0.30	15.93	3.76
35	木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝	14.26	309.2	0.05	7.54	11.64
36		その他	その他木・竹・わら	0.00	0.0	-	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	8.89	96.6	0.09	4.70	3.64
38	可燃物類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	3.75	29.0	0.13	1.98	1.09
合 計				189.21	2657.0	0.07	100.00	100.00

資源化可能なもの
 入れてはいけないもの

表 2-5-12 6 業種 組成分析調査結果まとめ（湿重量百分率）

6業種まとめ				湿重量百分率(%)						
組 成 項 目				①	②	③	④	⑤	⑥	単純平均
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	0.25	0.76	0.50	1.62	0.31	0.96	0.73
2			ペットボトルのキャップ	0.03	0.09	0.04	0.17	0.15	0.01	0.08
3			汚れの少ない容器包装(フィルム・シート類)	4.92	5.28	4.98	2.71	3.38	1.97	3.87
4			水で汚れの落ちる容器包装(ボトル・カップ・パック類)	3.39	4.32	2.08	1.02	12.49	2.00	4.22
5			汚れの落としにくい容器包装(チューブ類、納豆等食品パック、汚れの酷いもの)	0.90	0.22	0.27	0.36	0.41	1.65	0.63
6			複合材料(アルミ蒸着プラ)	0.38	1.50	0.35	0.10	1.05	0.43	0.64
7			白色トレイ	0.02	0.00	0.10	0.00	0.02	0.00	0.02
8			その他色トレイ	0.25	0.13	0.10	0.05	0.15	0.18	0.14
9			レジ袋	0.45	0.22	0.17	0.05	0.69	0.12	0.28
10			その他容器包装	0.00	0.03	0.01	0.05	0.02	0.02	0.02
11	商 品 等	容器包装ではない製品プラ	5.43	2.95	4.53	3.19	3.84	1.91	3.64	
12		ごみ袋	1.58	5.36	2.43	4.93	7.86	0.86	3.84	
13	不 燃 物 類	金 属 類	アルミかん(飲料用)	0.02	0.00	0.03	0.00	0.05	0.07	0.03
14			スチールかん(飲料用)	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.01
15			その他金属	0.08	0.09	0.09	0.02	0.07	0.24	0.10
16		ガ ラ ス 類	リターナブルびん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
17			飲料用びん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18			その他ガラス	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.04
19		陶 磁 器 類	陶磁器類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
20		その他不燃物	その他分類不能な不燃物(土砂、使い捨てカイロ等)	0.81	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18
21	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	0.43	1.82	0.61	0.34	0.12	0.80	0.69
22	紙 類	容器包装類	飲料用紙パック	0.79	0.20	0.63	0.15	0.15	0.34	0.38
23			段ボール	1.89	1.71	0.70	1.35	0.86	11.48	3.00
24			その他紙製容器包装	8.53	7.51	6.51	9.02	8.00	11.08	8.44
25		商 品 等	新聞紙	0.66	0.36	0.22	0.39	0.28	0.54	0.41
26			書籍類	1.01	1.12	0.22	1.69	0.48	0.49	0.84
27			チラシ	0.15	0.69	0.08	0.09	0.07	0.96	0.34
28			その他リサイクル可能な紙(名刺大以上の紙)	6.53	6.06	2.82	0.85	13.54	5.86	5.94
29	その他紙(カーボン紙、ティッシュ、レシート等)		21.92	23.09	15.02	19.23	33.18	17.19	21.60	
30	布 類	布 類	布製品・きれ	0.05	1.06	2.48	0.02	0.24	2.48	1.06
31	厨 芥 類	厨 芥 類	食べ残し	6.38	3.82	21.10	16.34	3.84	2.89	9.06
32			過剰除去	1.84	0.02	6.12	0.60	0.00	2.93	1.92
33			直接廃棄(手付かず食品)	13.51	2.26	2.95	0.61	1.56	2.33	3.87
34			上記以外の食品廃棄物(調理くず)	8.22	13.83	19.38	4.91	1.68	15.93	10.66
35	木・竹・わら類	剪 定 枝	剪定枝	6.12	9.76	1.04	0.21	2.30	7.54	4.49
36		そ の 他	その他木・竹・わら	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
37	紙おむつ類	紙おむつ類	紙おむつ等	0.34	2.98	2.50	29.56	0.09	4.70	6.70
38	可 燃 物 類	その他可燃物	その他分類不能な可燃物(マスク、タバコの吸い殻など)	2.96	2.48	1.94	0.32	3.12	1.98	2.13
合 計				100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

資源化可能なもの

入れてはいけないもの

①販売店、②学術研究・学校教育施設、③宿泊業・飲食店、④医療・福祉施設、⑤オフィス、⑥事業系一般

1
ごみ処理の現状

2
ごみ組成分析調査

3
アンケート調査

4
県内自治体比較

5
施策の実績・評価

6
ごみ量の将来予測

7
改定の経緯

3. ごみに関するアンケート調査結果

ごみに関するアンケート調査 実施結果

1) 調査目的

「つくば市一般廃棄物処理基本計画」（対象期間：令和 2 年度(2020 年度)から令和 11 年度(2029 年度)まで)の中間見直しにあたり、課題整理や施策検討等を行うため、市民、事業者及びごみ排出状況を熟知した収集運搬業者に対して、アンケート調査を実施しました。

2) 実施概要

項目	市民	事業者	収集運搬業者
対象数	2,000 人	200 社	委託業者：18 社 許可業者：49 社
調査目的	●ごみに関する意識・ニーズの把握 ●施策効果の検証 ●重点施策の検討	●施策効果の検証 ●重点施策の検討	●各地区の生活系ごみ排出実態の把握(委託業者) ●事業系ごみの排出実態の把握(許可業者) ●重点施策の検討
調査対象	市内在住の 18 歳以上	市内の事業者	●生活系ごみの収集を行っている業者(委託業者) ●事業系一般廃棄物の収集を行っている業者(許可業者)
抽出方法	住民基本台帳(令和 6 年(2024 年)4 月 1 日)に基づき無作為抽出	つくば市内の事業者より無作為抽出	●全ての委託業者 ●市の処理施設に搬入をしている許可業者
調査期間	令和 6 年(2024 年)6 月 5 日～6 月 28 日		
調査方法	配布方法	郵送	郵送
	回収方法	郵送回収又は Web (QR コード)によるオンライン回答)	郵送回収のみ
設問数	38 問	21 問	委託業者：6 問 許可業者：7 問
実送付数※ ¹	1,984 人	199 社	委託業者：18 社 許可業者：49 社
回収数	822 人※ ²	73 社※ ³	委託業者：18 社 許可業者：39 社
回収率	41.4 %	36.7 %	委託業者：100.0% 許可業者：79.6%

※¹ 宛先不明により未達のものを除いた数

※² うち、オンライン回答：423 人

※³ うち、オンライン回答：27 社

ごみに関するアンケート調査結果

《市民》

1. アンケート調査項目

調査項目	前回調査※
1. あなたご自身のことについてお聞きします。	
1) あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つ選択)	○
2) あなたを含めて同居している方の人数を教えてください。(1つ選択)	○
3) あなたのご家庭では、どなたがごみの分別をしていますか。(1つ選択)	○
4) お住まいの種類は次のうちどれですか。(1つ選択)	○
5) あなたの地区は次のうちどれですか。(1つ選択)	○
6) つくば市にお住まいになって何年になりますか。(1つ選択)	○
2. ごみ問題全般についてお聞きします。	
1) あなたは、ごみの問題についてどの程度関心がありますか。(1つ選択)	—
2) 環境のため、ごみに関することで、日常どのようなことを心掛けていますか。心掛けていることを選んでください。(複数選択可)	○
3) ごみの減量化の手法として、あなたは粗大ごみ以外のごみの有料収集(ごみ袋の料金に処理料金を上乗せ等)についてどのように思われますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。(1つ選択)	○
4) ごみに関する情報が欲しい場合、あなたはどこから入手していますか。(複数選択可)	—
5) ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を活用していますか。(1つ選択)	—
6) ごみに関する情報入手のため、市にどのようなことを望みますか。(複数選択可)	—
7) ごみ減量化及び資源化の促進のために市が行うべき取組は何だと思えますか。(複数選択可)	—
8) 現在、使用しているごみ集積所で、どのような問題がありますか。(複数選択可)	—
【前問で問題があると答えた方】 前問で答えた問題を解決するためには、どうすればよいと思えますか。複数選択した方は、それぞれご記入ください。	—
9) あなたは資源物集団回収を活用していますか。(1つ選択)	—
10) あなたはつくばサステナスクエア(クリーンセンター)へごみを直接搬入したことがありますか。(1つ選択)	○
【前問10で「ア. ある」と答えた方】 具体的に何を搬入しましたか?(複数選択可)	○
【問10で「ア. ある」と答えた方】 直接搬入した理由を教えてください。(複数選択可)	○
11) 生ごみ処理容器等の購入費の補助制度を知っていますか。(1つ選択)	○
12) 生ごみを減量し、たい肥化もできる段ボールコンポストの無料配布会を実施していますが、実施していることを知っていますか。(1つ選択)	—
13) 小型家電の拠点回収場所を知っていますか。(1つ選択)	—
14) 使わなくなった紙のうち、「雑がみ」をどのように出していますか。(1つ選択)	—
【前問で「ア. 「燃やせるごみ」として出している」と答えた方】 雑がみを「燃やせるごみ」として出した主な理由は何ですか。(複数選択可)	—
15) つくば市には最終処分場(埋立処分場)がなく、他の自治体で埋め立てていることを知っていますか。(1つ選択)	—

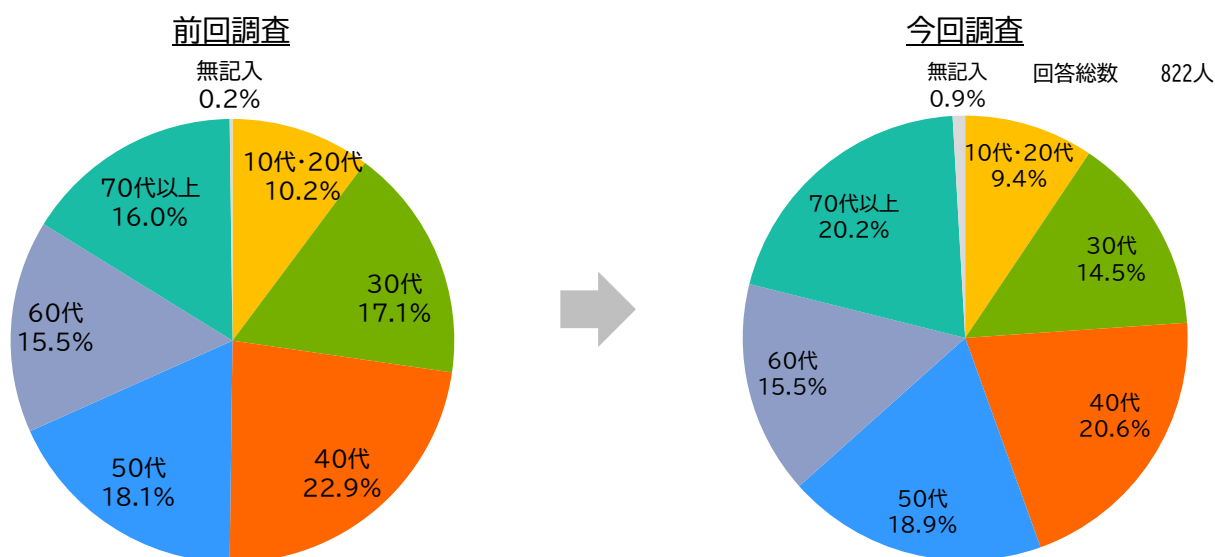
調査項目	前回調査※
3. プラスチック製容器包装及び製品プラスチックについてお聞きします。	
1) プラスチック製容器包装の分別収集でわからないところ、わかりにくいところはどこですか。（複数選択可）	○
2) プラスチック製容器包装の収集頻度（月4回）はいかがでしょうか。（1つ選択）	○
3) 汚れているプラスチック製容器包装の洗浄は、どの程度行っていますか。（1つ選択）	○
4) ペットボトルのラベル・キャップは、どのように出していますか。（1つ選択）	○
5) プラスチック製容器包装の分別収集で、特に困っていることはありますか。（複数選択可）	○
6) 令和4年（2022年）4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、製品プラスチックの分別・回収・リサイクルが自治体の努力義務とされています。このことについて知っていましたか。（1つ選択）	—
7) 今後、つくば市で、現在のプラスチック製容器包装に加えて、製品プラスチックも資源ごみとして収集することになる場合、分別の協力はできますか。（1つ選択）	—
【前問で「イ. できない」と答えた方】 製品プラスチックを資源ごみとして分別できない理由は何ですか。（複数選択可）	—
8) 製品プラスチックを資源ごみとして収集する場合、どのような方法が良いですか。（1つ選択）	—
4. 食品ロスについてお聞きします。	
1) あなたの家庭で出すことのある食品ロスには、どのようなものがありますか。（複数選択可）	—
【前問で「ア. 調理済みの食品や食卓にのぼった食品で、食べ切れずに廃棄するもの」「イ. 傷んだり、賞味・消費期限が切れたりしたことで、手つかずのまま廃棄するもの」「ウ. 野菜や果物の皮をむく場合などに、本来食べられる部分まで取り除いたもの心掛けている」に回答した方にお聞きします。】 あなたの家庭で食品ロスが出た理由は何ですか。（複数選択可）	—
2) あなたは普段、食品ロスを減らすために何か心掛けていますか。（1つ選択）	—
【前問で「ア. 心掛けている」に回答した方にお聞きします。】 食品ロスを出さないために実施していることは何ですか。（複数選択可）	—
5. その他に市のごみ処理に関する意見、ご要望がありましたらご記入ください。	

※前回調査：令和元年7月実施

2. アンケート調査結果

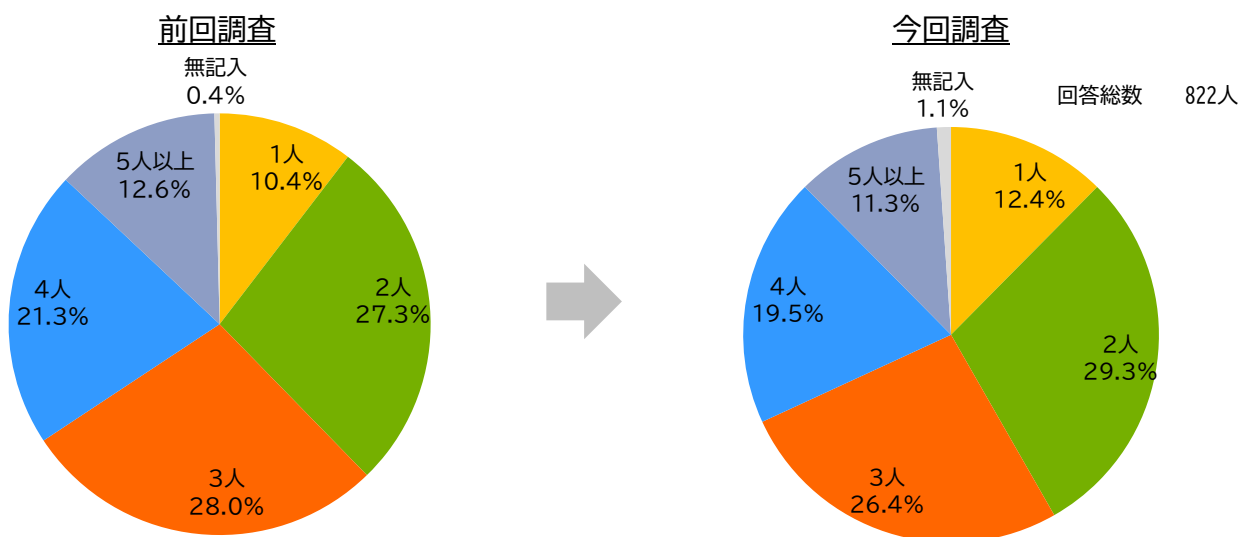
1. あなたご自身のことについてお聞きします。

1) あなたの年齢は次のうちどれですか。（1つ選択）



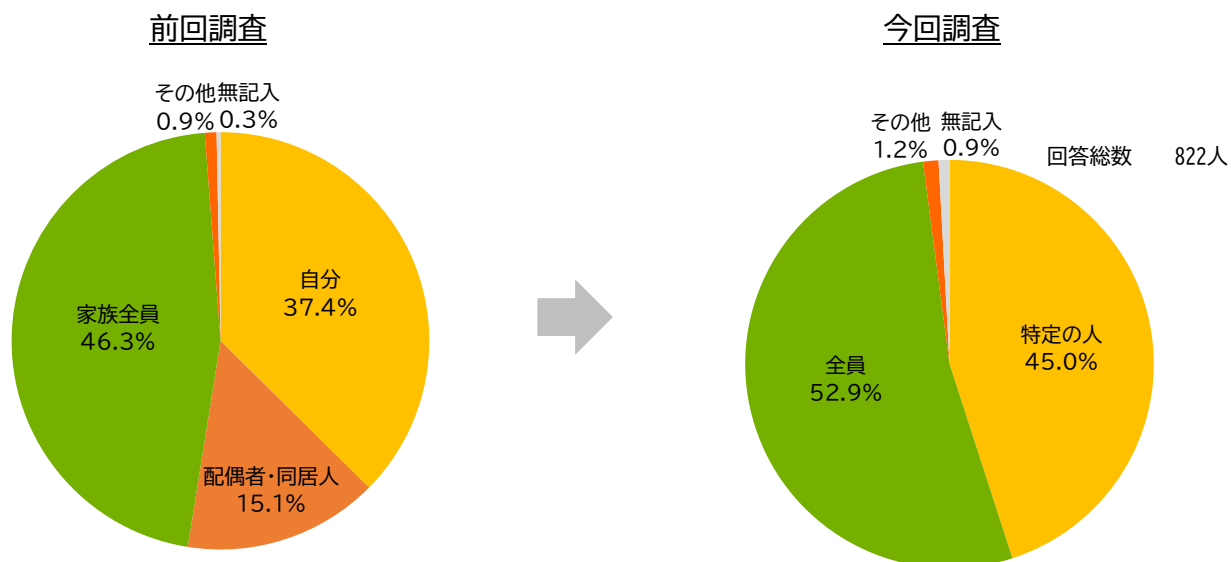
回答者の年齢は、10代・20代から70代以上まで満遍なく回答が得られています。前回調査と比較すると、70代以上の回答が若干多くなっていますが、その他の年齢別の回答割合は大きく変わっていません。

2) あなたを含めて同居している方の人数を教えてください。（1つ選択）



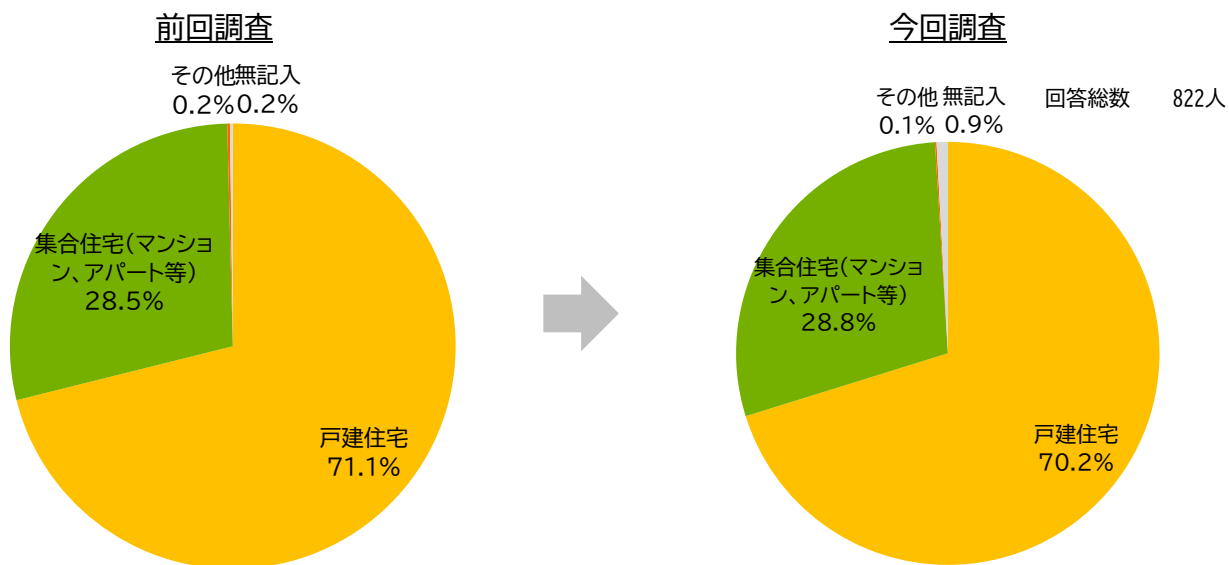
同居している方の人数は、前回調査と比較しても、大きな違いはありません。

3) あなたのご家庭では、どなたがごみの分別をしていますか。（1つ選択）



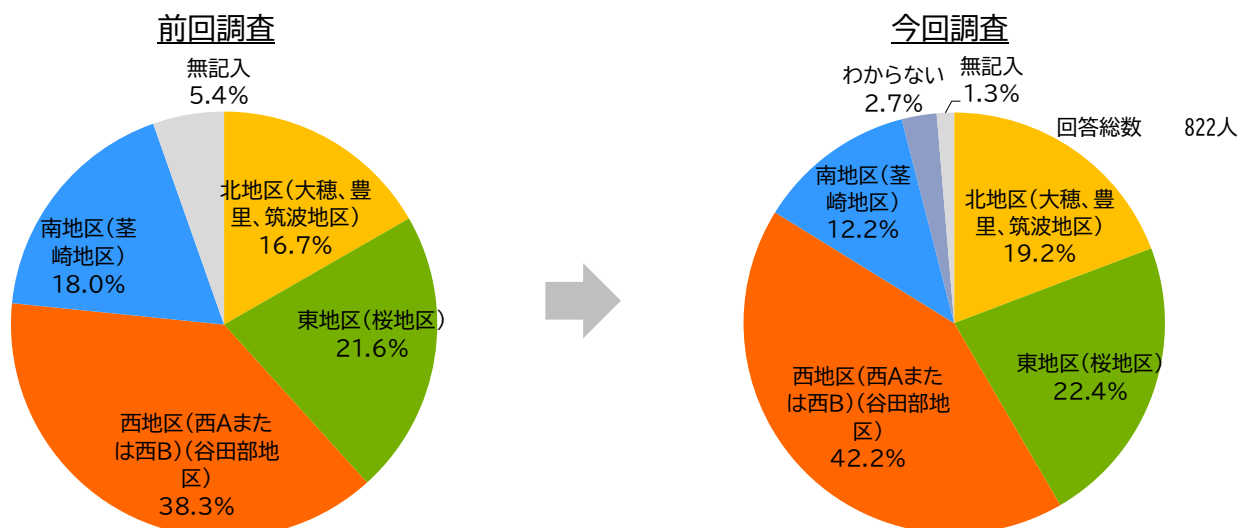
ごみを分別しているのは、45%の人が「特定の人」（前回調査の「自分」「配偶者・同居人」に該当）と回答しています。前回調査時よりも、「（家族）全員」と回答している世帯が多くなっています。

4) お住まいの種類は次のうちどれですか。（1つ選択）



「戸建住宅」にお住まいの方の回答が最も多くなっており、「集合住宅」にお住まいの方の回答は30%程度となっています。前回調査と同じ傾向になっています。

5) あなたの地区は次のうちどれですか。(1つ選択)

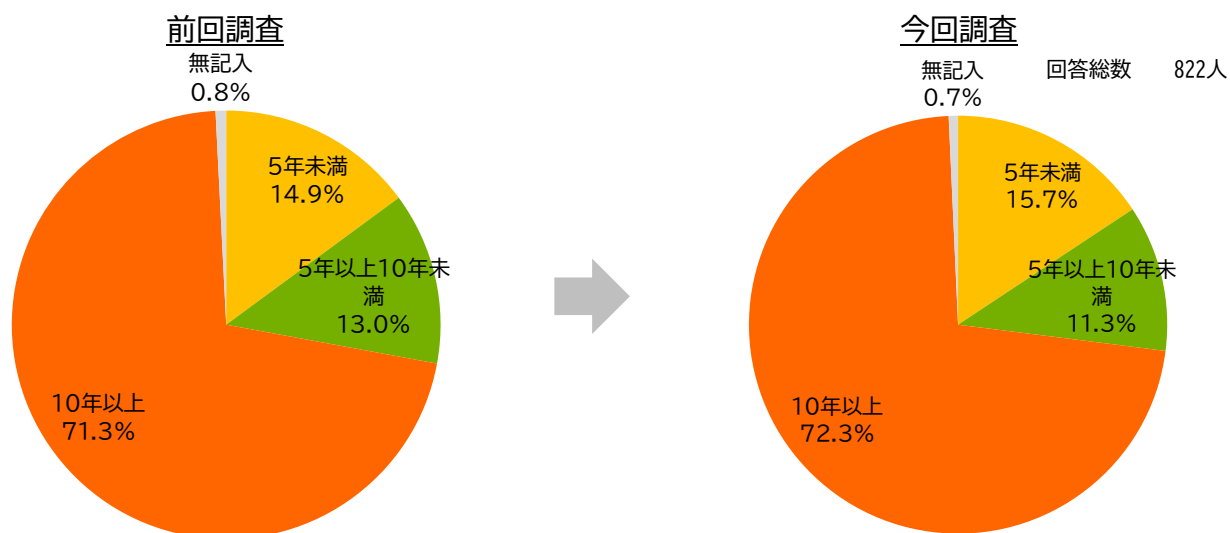


西地区の回答が最も多く、次いで東地区、北地区、最も少ないのは南地区となっています。行政区別人口（※【参考】参照）を反映した結果となっています。

【参考】行政区別人口表（令和6年5月時点）

地区区分	行政区名	人口	
		人数	割合
北地区	大穂地区	20,183	20.7%
	豊里地区	16,277	
	筑波地区	16,506	
東地区	桜地区	61,430	24.0%
西地区	谷田部地区	119,335	46.5%
南地区	荃崎地区	22,752	8.9%
合計		256,483	

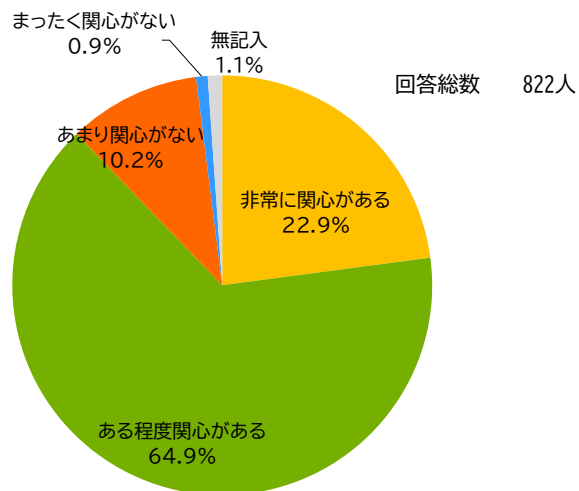
6) つくば市にお住まいになって何年になりますか。(1つ選択)



つくば市での居住年数は、回答者の7割以上が10年以上と回答しています。前回調査と同じ傾向となっています。

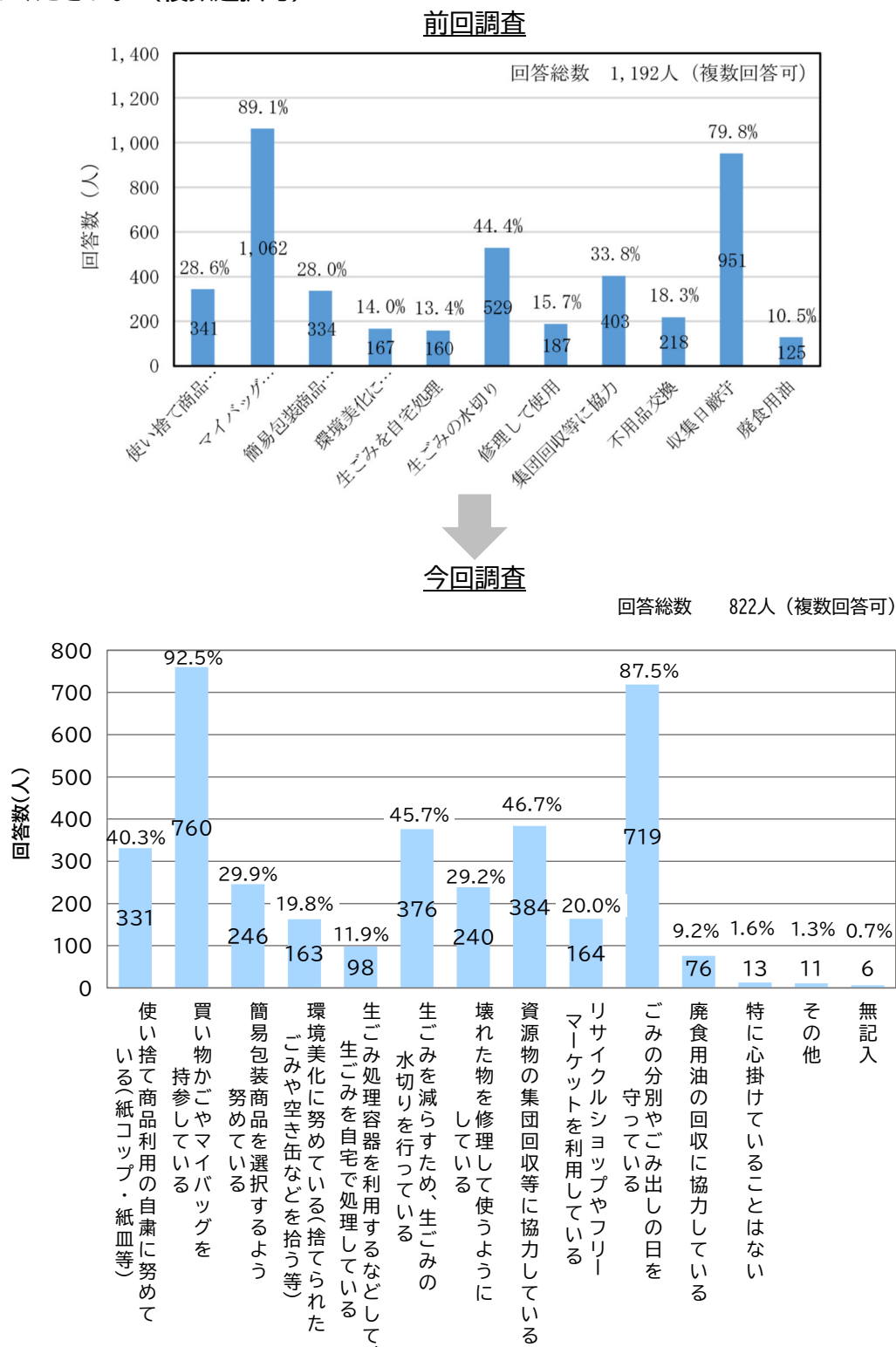
2. ごみ問題全般についてお聞きします。

1) あなたは、ごみの問題についてどの程度関心がありますか。（1つ選択）



約9割の回答者が、ごみ問題に関心がある（「非常に興味がある」、「ある程度興味がある」）、と回答しています。

2) 環境のため、ごみに関することで、日常どのようなことを心掛けていますか。心掛けていることを選んでください。（複数選択可）

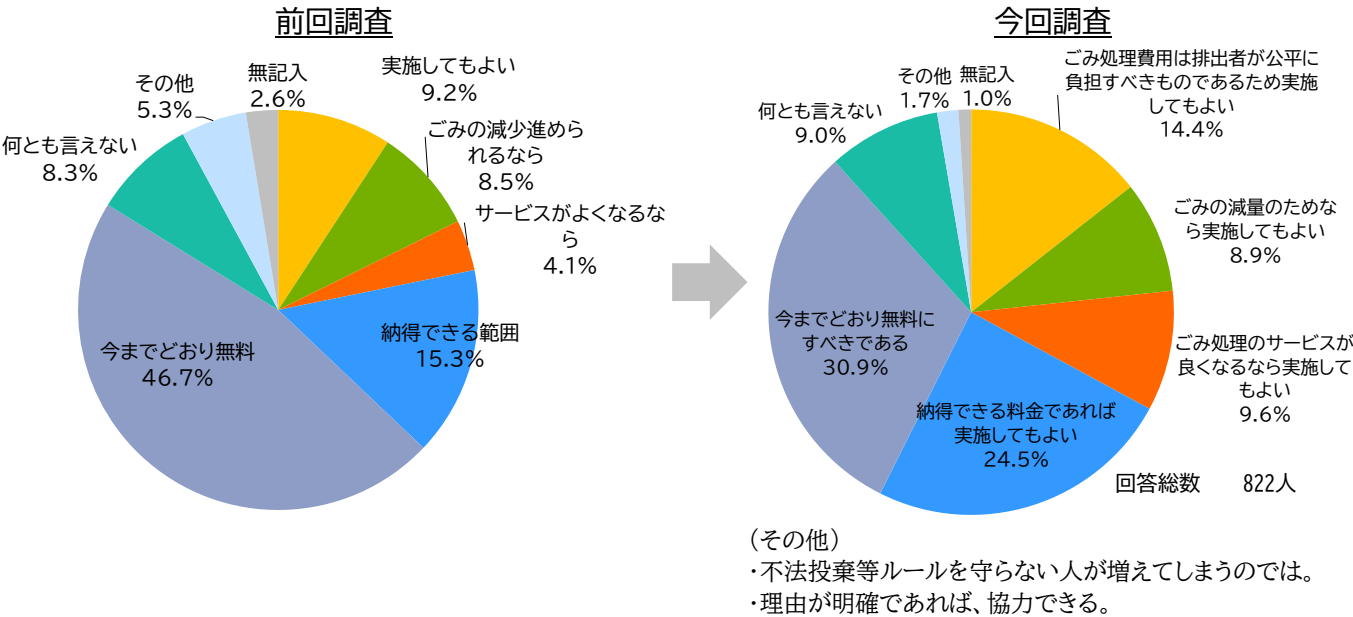


（その他）

- ・最後にごみになる時のことまで考えて家具や家電を購入している。
- ・スーパーで買った肉や魚が乗っているトレイなどを洗って干して、ごみとして出している。
- ・自治会主催の資源ごみ回収（月1回）に協力している。
- ・雑草を乾燥させ、ごみ用袋に入れて出している。
- ・ボロボロになった衣類はぞうきんなどにして使っている。

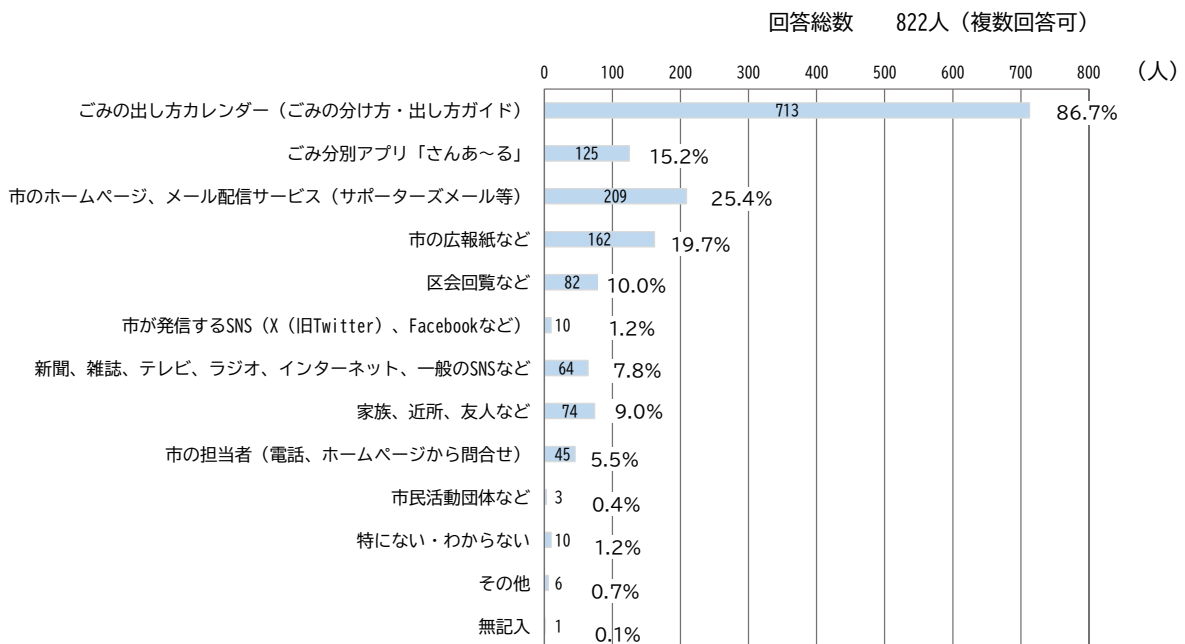
環境のため、ごみに関することで、日常心掛けていることは、「買い物かごやマイバッグを持参している」や「ごみの分別やごみ出しの日を守っている」が8割以上となっており、前回調査と同じ傾向となっています。前回調査と比較すると、ほぼ全項目において割合が高くなっています。

3) ごみの減量化の手法として、あなたは粗大ごみ以外のごみの有料収集（ごみ袋の料金に処理料金を上乗せ等）についてどのように思われますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。（1つ選択）



ごみの有料収集については、「今までもどおり無料にすべきである」が最も多い回答となっていますが、「ごみ処理費用は排出者が公平に負担すべきものであるため実施してもよい」「納得できる料金であれば実施してもよい」「ごみ処理のサービスが良くなるなら実施してもよい」「ごみの減量のためなら実施してもよい」が57.4%を占め、「今までもどおり無料」の意見を上回りました。

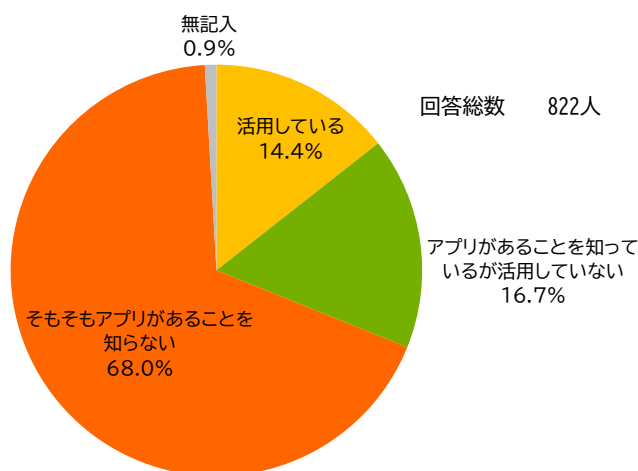
4) ごみに関する情報が欲しい場合、あなたはどこから入手していますか。（複数選択可）



(その他)
・Google検索
・販売店で購入時に聞く(電気屋など)
・マンション掲示板
・つくスマ

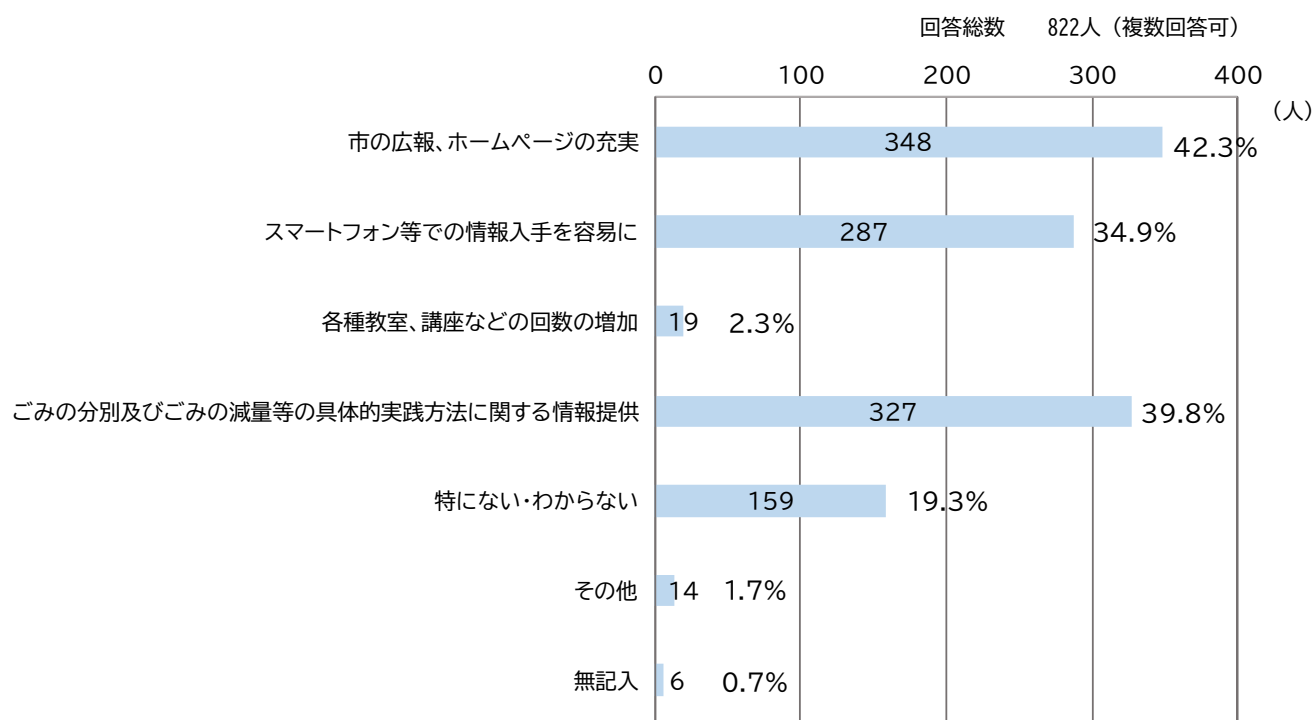
ごみに関する情報の入手先は、「ごみの出し方カレンダー（ごみの分け方・出し方ガイド）」が最も多く、次いで「市のホームページ、メール配信サービス（サポーターズメール等）」、「市の広報紙など」、「ごみ分別アプリ「さんあ〜る」」となっています。

5) ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を活用していますか。(1つ選択)



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を活用しているのは回答者の14.4%で、約85%が「知らない」又は「活用していない」という回答になっています。

6) ごみに関する情報入手のため、市にどのようなことを望みますか。(複数選択可)

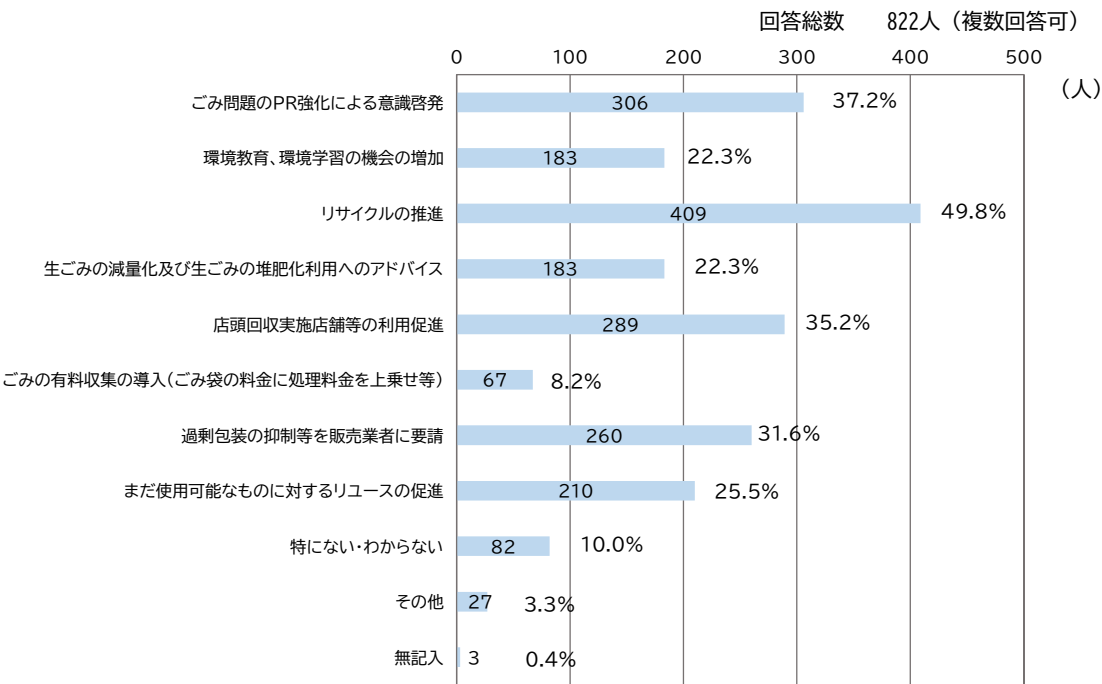


(その他)

- ・可燃ごみの袋を販売している場所（スーパー、コンビニ、ホームセンター）の袋の陳列場所、また、ごみの収集場所に、見やすいポスターなどを掲示していただくと、必ず目に入り、情報を得やすいと思う。
- ・区会を有効に活用。
- ・SNSを活用したごみ分別情報の周知。
- ・クイズなど、楽しく学べるやり方で、YouTubeを利用して広める。

ごみに関する情報入手のため、市には、「市の広報、ホームページの充実」、「ごみの分別及びごみの減量等の具体的実践方法に関する情報提供」、「スマートフォン等での情報入手を容易に」などの取組が望まれています。

7) ごみ減量化及び資源化の促進のために市が行うべき取組は何だと思えますか。（複数選択可）

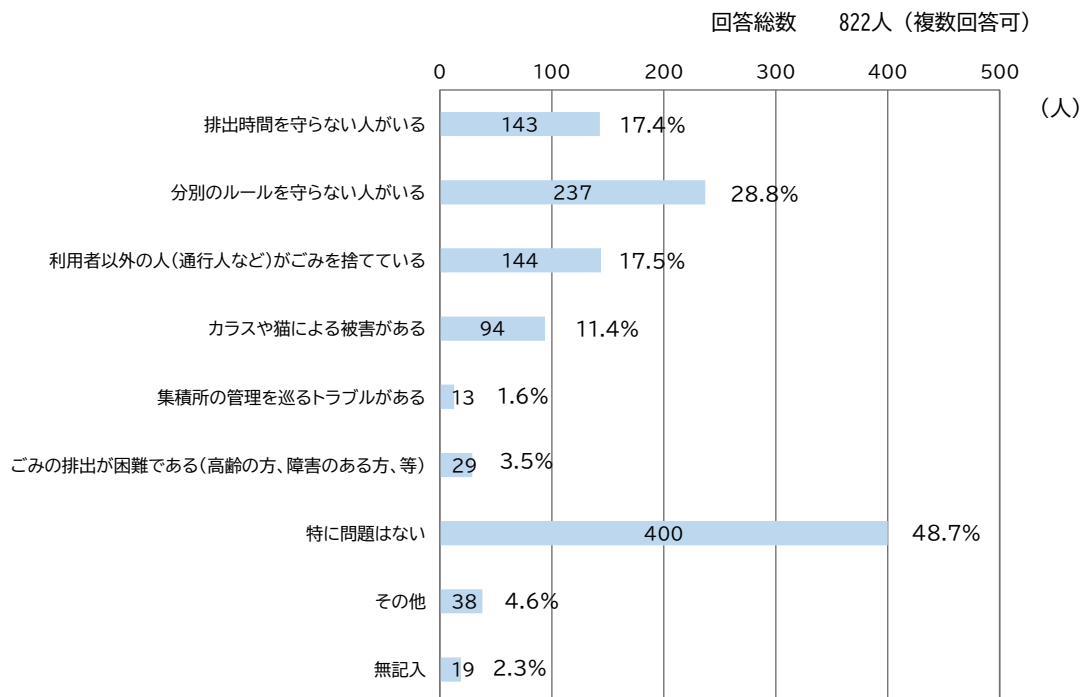


（その他）

- ・店舗回収実施の際にポイントを付与する。
- ・リサイクル率やごみ減量化の見える化。

ごみ減量化及び資源化の促進のために、市には、「リサイクルの推進」、「ごみ問題のPR強化による意識啓発」、「店頭回収実施店舗等の利用促進」、「過剰包装の抑制等を販売業者に要請」などの取組が求められています。

8) 現在、使用しているごみ集積所で、どのような問題がありますか。（複数選択可）



（その他）

- ・ごみが多過ぎて、集積所に入りきらない。
- ・集積所の場所が歩いて持って行くには遠く、皆、車で捨てに行っている。車で行きやすい分、他地区の人が通りがけに捨てている。
- ・集積場所が少ない（1ヶ所しかない）。
- ・ごみ集積所利用料が高過ぎて悩んでいる（1年1万5千円）。

ごみ集積所での問題は、「特に問題はない」の回答が最も多くなっていますが、「分別のルールを守らない人がある」「利用者以外の人（通行人など）がごみを捨てている」、「排出時間を守らない人がある」などの問題も指摘されています。

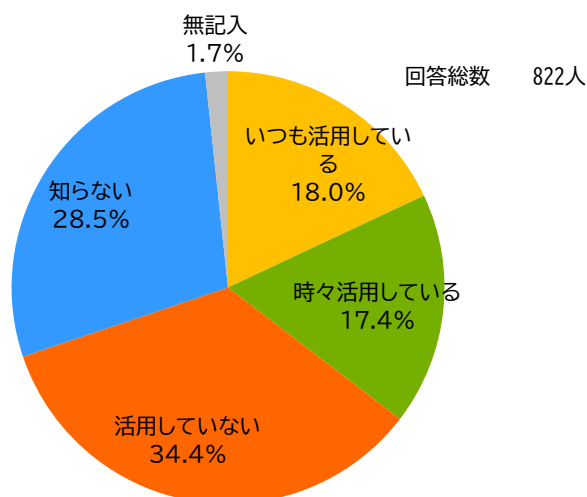
【前問8）で問題があると答えた方】

前問で答えた問題を解決するためには、どうすればよいと思いますか。複数選択した方は、それぞれご記入ください。

問題	【回答】解決策
排出時間が守らない人がある	回覧板や市の広報紙で強く呼びかける
分別のルールが守られていない	分別されていないごみは回収しない
利用者以外の人のごみを捨てている	鍵を設置する
カラスや猫による被害	ネットを使用する
集積所の管理を巡るトラブルがある	市が先導して啓発活動を行う
ごみの排出が困難である（高齢の方、障害のある方、等）	回収にまわってあげるサービスを提供する
その他	集積所を増設してほしい

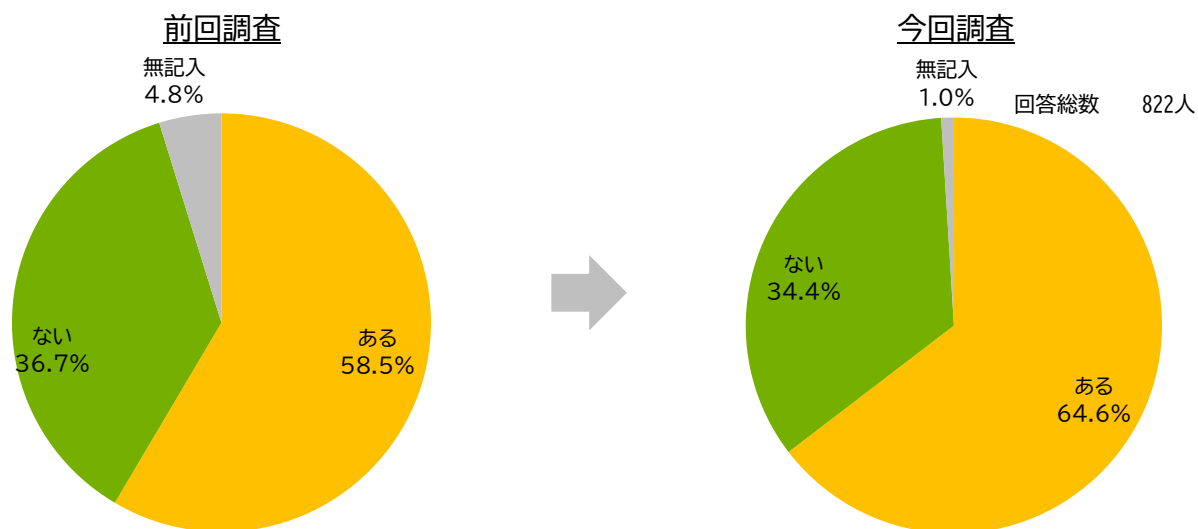
ごみ集積所での問題を解決するためには、ルール厳守の周知や啓発、集積所の管理方法の見直しを市が先導して行うこと、排出困難者への回収サービスの提供、集積所の増設などが提案されています。

9) あなたは資源物集団回収を活用していますか。(1つ選択)



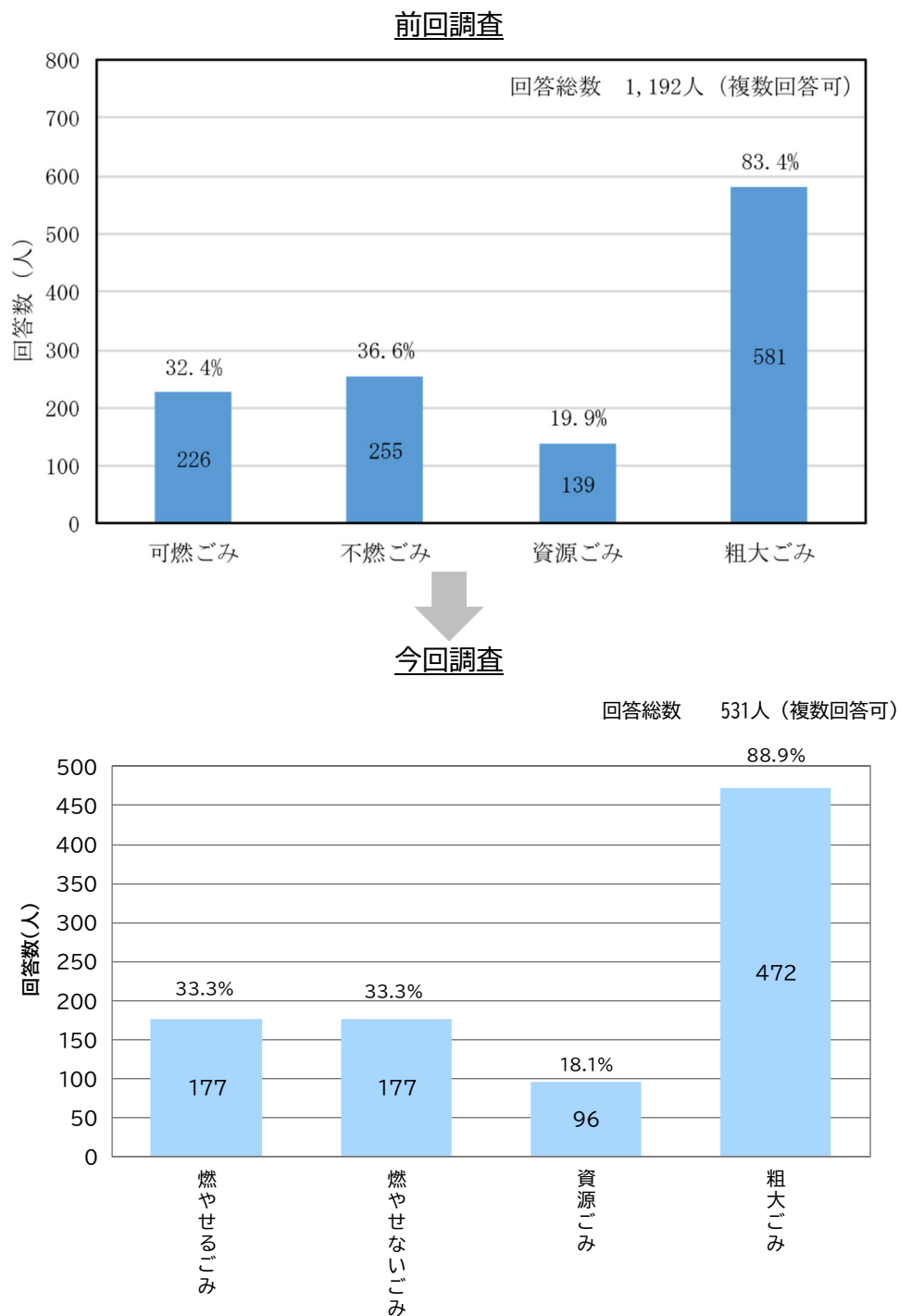
資源物集団回収は、6割以上が「活用していない」、又は、「知らない」と回答しています。

10) あなたはつくばサステナスクエア（クリーンセンター）へごみを直接搬入したことがありますか。(1つ選択)



約6割がつくばサステナスクエアにごみを直接搬入したことがあると回答しており、前回調査時より若干増加しています。

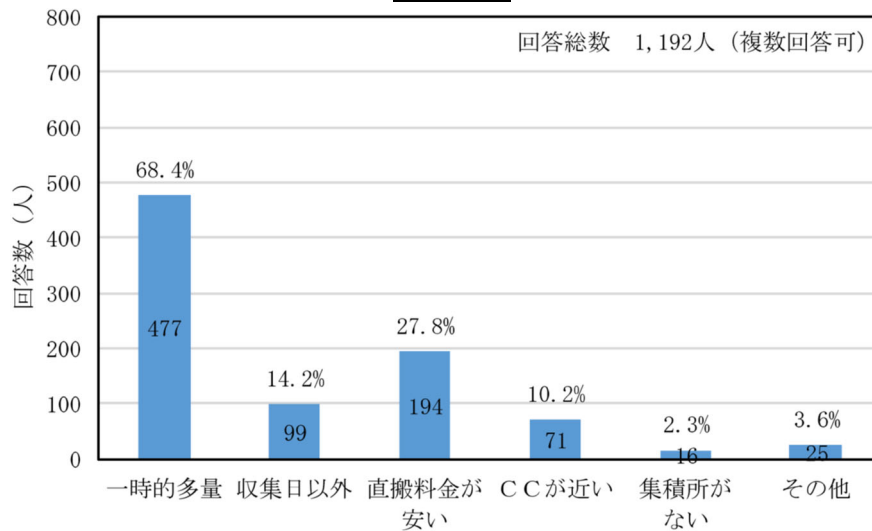
【前問10) で「ア. ある」と答えた方】
具体的に何を搬入しましたか？（複数選択可）



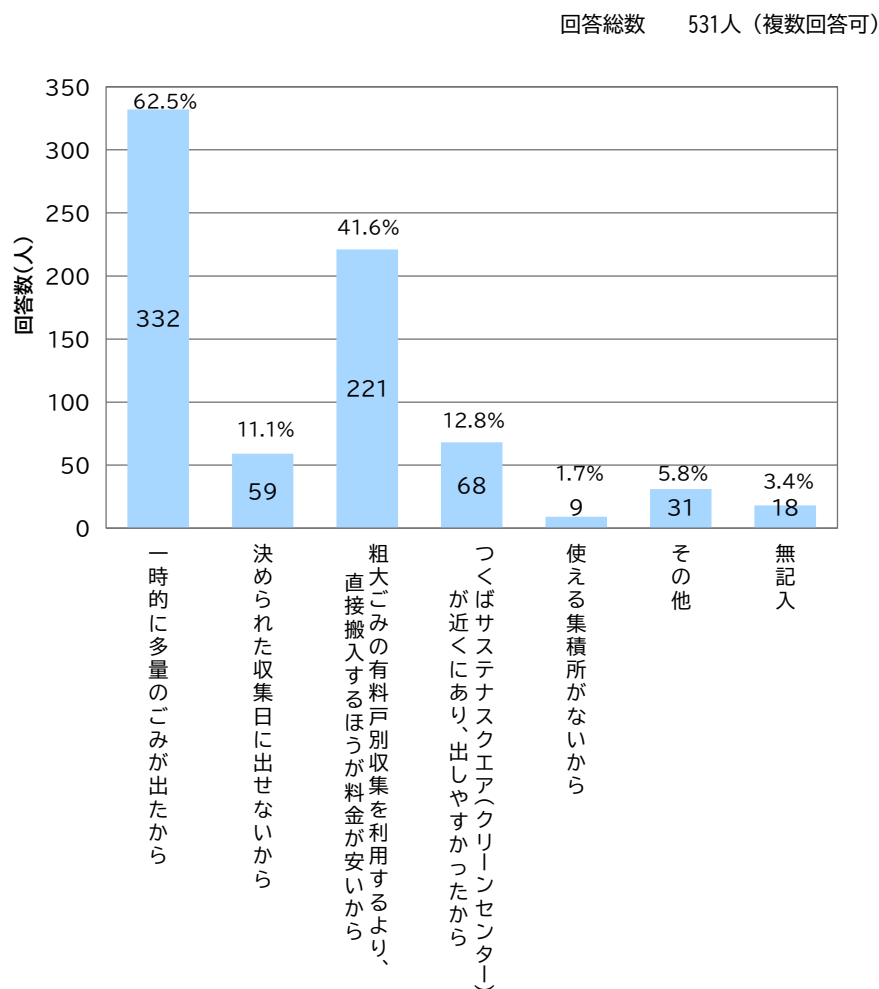
具体的に搬入したものは、粗大ごみが最も多く、次いで「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」となっています。前回調査と同じ傾向となっています。

【前問10）で「ア. ある」と答えた方】
直接搬入した理由を教えてください。（複数選択可）

前回調査



今回調査

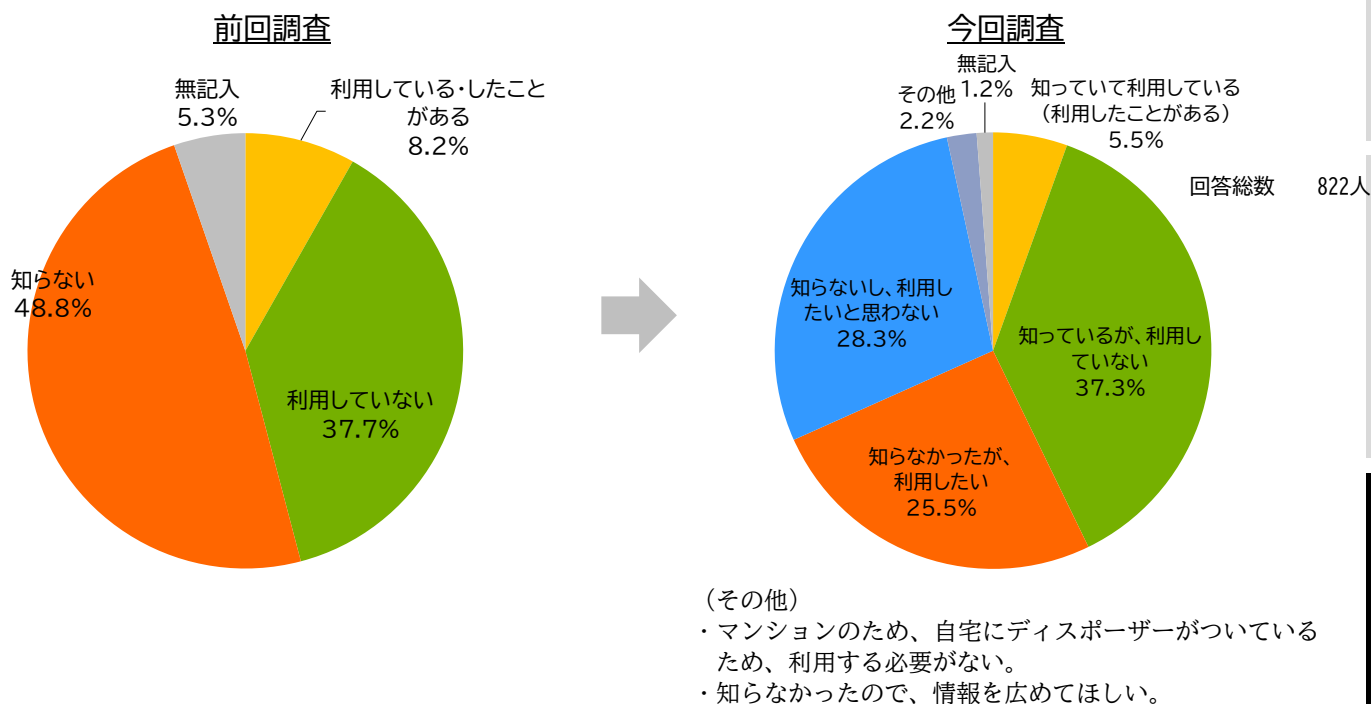


（その他）

- ・伐採した樹木が大量に出たため。
- ・直接搬入には手続きが不要なため。
- ・ごみの日まで保管することが難しかったため。

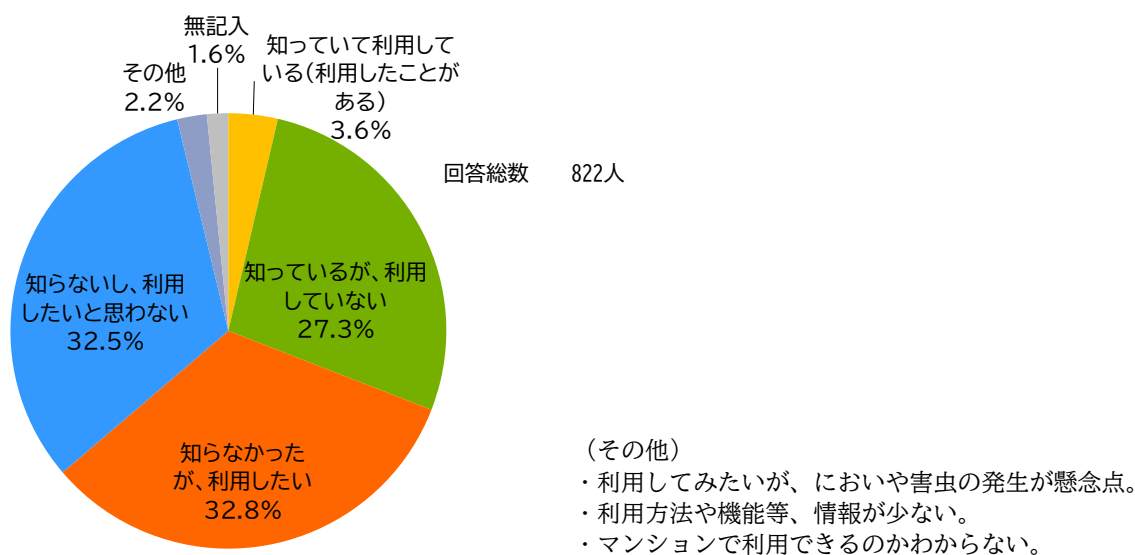
直接搬入した理由は、「一時的に多量のごみが出たから」が最も多く、次いで「粗大ごみの有料戸別収集を利用するより、直接搬入するほうが料金が安いから」となっています。

11) 生ごみ処理容器等の購入費の補助制度を知っていますか。(1つ選択)



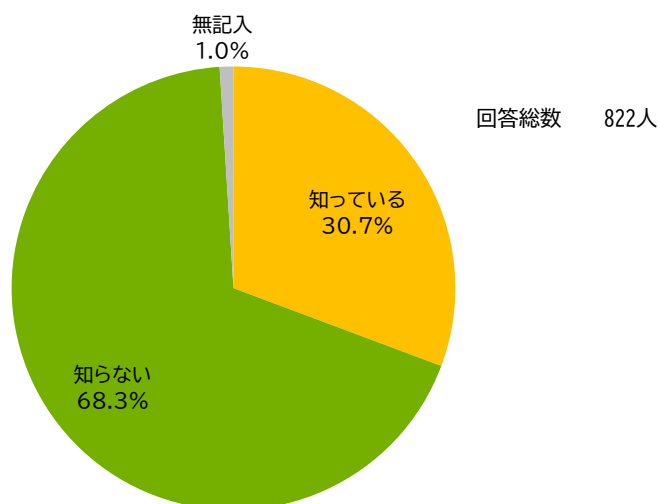
生ごみ処理容器等の購入費の補助制度について、約4割が「知っている」と回答していますが、その大半は「利用していない」と回答しています。また、「知らなかった」と回答した人の約半数は、「利用したい」と回答しています。

12) 生ごみを減量し、たい肥化もできる段ボールコンポストの無料配布会を実施していますが、実施していることを知っていますか。(1つ選択)



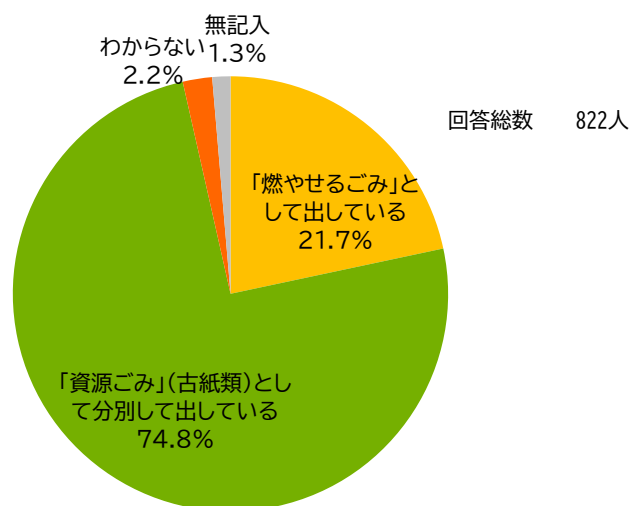
段ボールコンポストの無料配布会について、約3割が「知っている」と回答し、知っている人の大半が「利用していない」と回答しています。また、「知らなかった」と回答した人の約半数は、「利用したい」と回答しています。

13) 小型家電の拠点回収場所を知っていますか。(1つ選択)



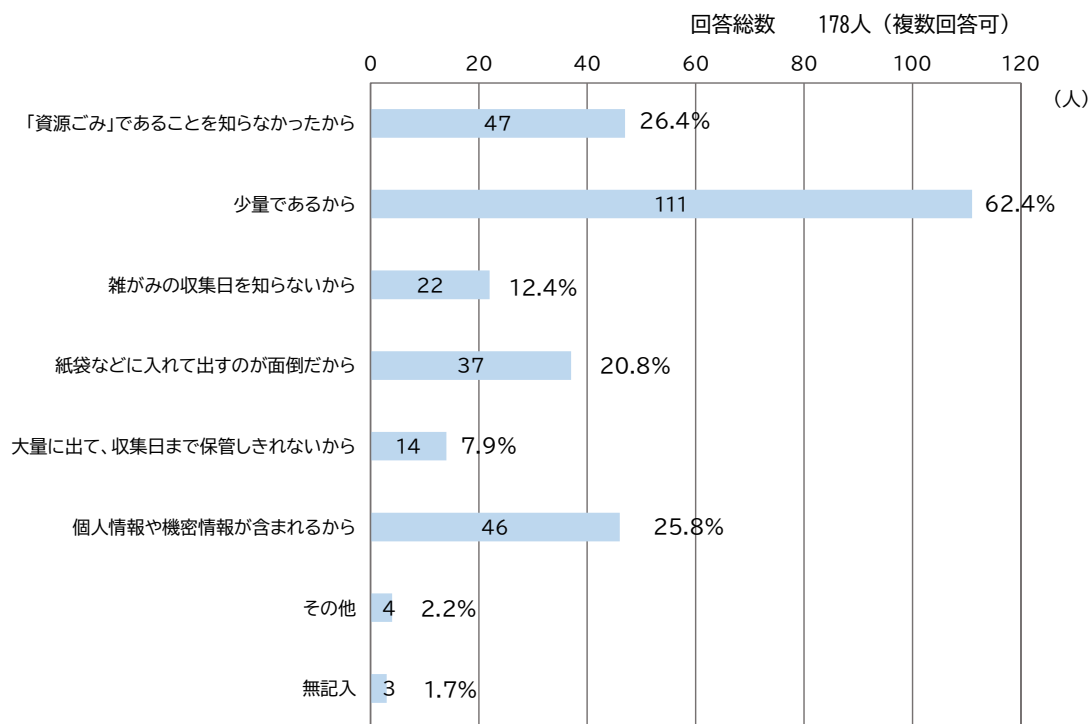
約7割が、小型家電の拠点回収場所を「知らない」と回答しています。

14) 使わなくなった紙のうち、「雑がみ」をどのように出していますか。(1つ選択)



雑がみの分別方法について、約75%が、「「資源ごみ」(古紙類)として分別して出している」と回答しています。一方、約2割が、雑がみを「「燃やせるごみ」として出している」と回答しています。

【前問14)で「ア. 「燃やせるごみ」として出している」と答えた方】
 雑がみを「燃やせるごみ」として出した主な理由は何ですか。（複数選択可）

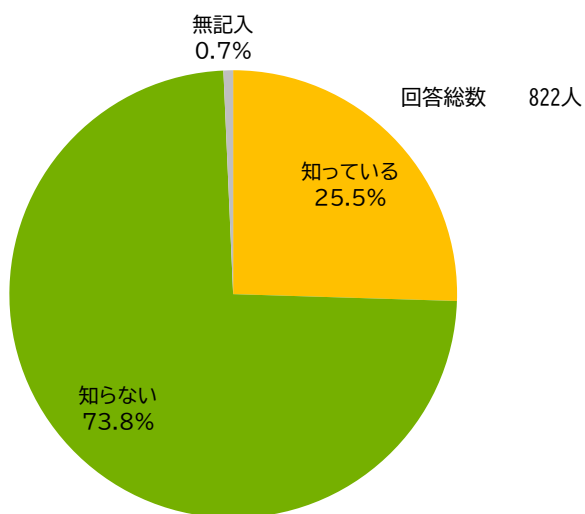


（その他）

・リサイクルできる紙が何なのかわからない。

雑がみを「燃やせるごみ」として出した主な理由は、「少量であるから」が最も多く、次いで「「資源ごみ」であることを知らなかったから」、「個人情報や機密情報が含まれるから」、「紙袋などに入れて出すのが面倒だから」となっています。

15) つくば市には最終処分場（埋立処分場）がなく、他の自治体で埋め立てていることを知っていますか。（1つ選択）

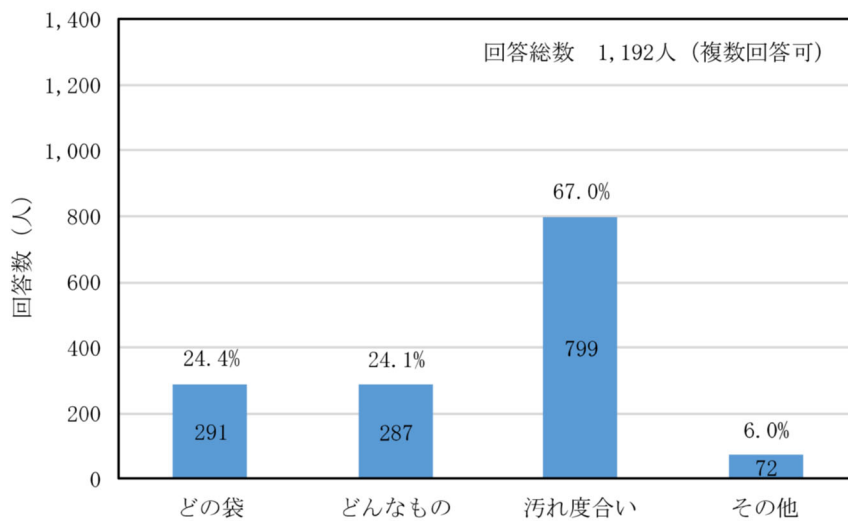


7割以上が、つくば市に最終処分場（埋立処分場）がないことについて、「知らない」と回答しています。

3. プラスチック製容器包装及び製品プラスチックについてお聞きます。

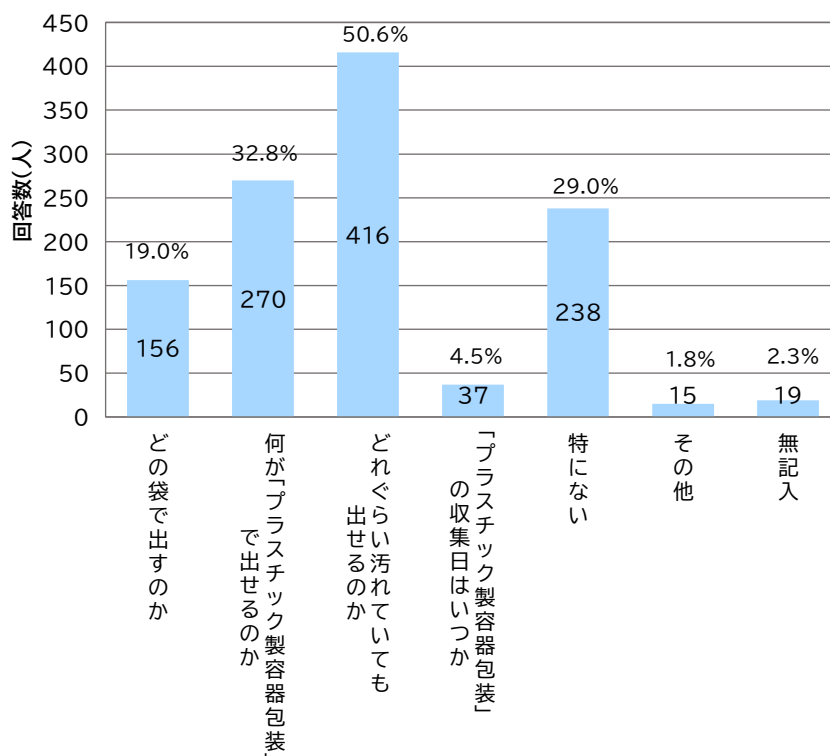
1) プラスチック製容器包装の分別収集でわからないところ、わかりにくいところはどこですか。（複数選択可）

前回調査



今回調査

回答総数 822人（複数回答可）

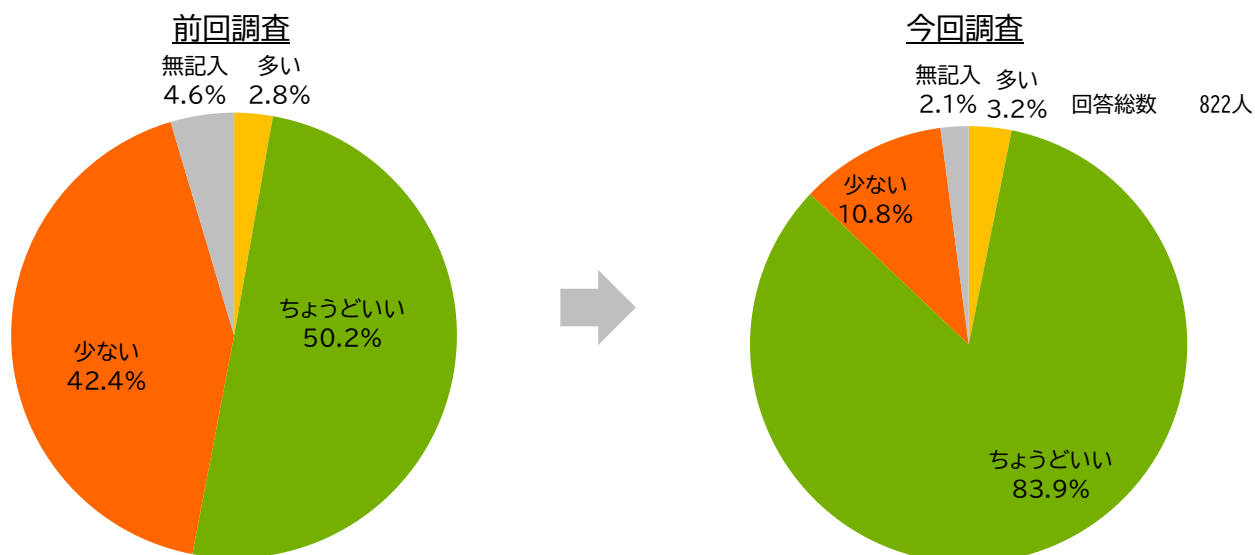


（その他）

- ・パッケージにシール（値札、バーコード、製品名等）が貼ってある場合にどうすればよいかわからない。

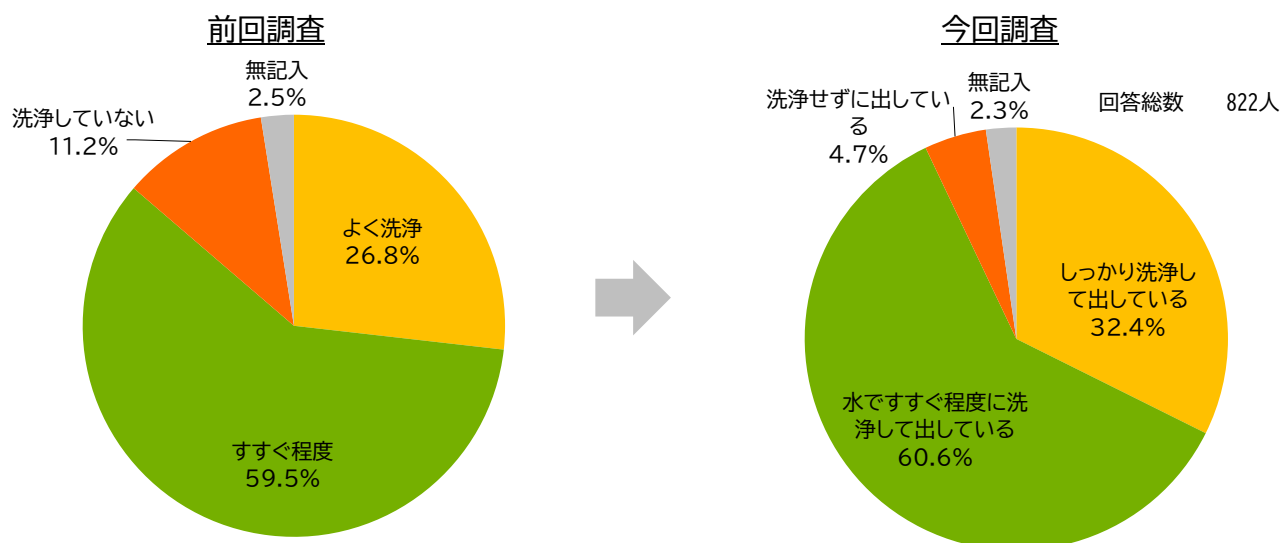
プラスチック製容器包装の分別収集でわからないところ、わかりにくいところは、前回調査時と同様に、「どれぐらい汚れていても出せるのか」が最も多く、次いで「何が「プラスチック製容器包装」で出せるのか」となっています。

2) プラスチック製容器包装の収集頻度（月4回）はいかがでしょうか。（1つ選択）



プラスチック製容器包装の収集頻度（月4回）は、8割以上が「ちょうどいい」と回答しています。前回調査時（収集頻度：月2回）と比較すると、「ちょうどいい」と回答した人が大幅に増え、「少ない」と回答した人は、1割程度になっています。

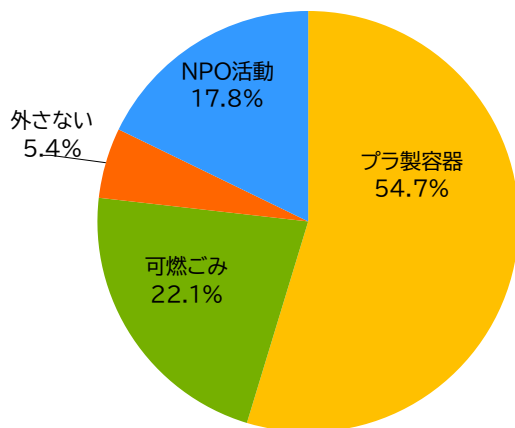
3) 汚れているプラスチック製容器包装の洗浄は、どの程度行っていますか。（1つ選択）



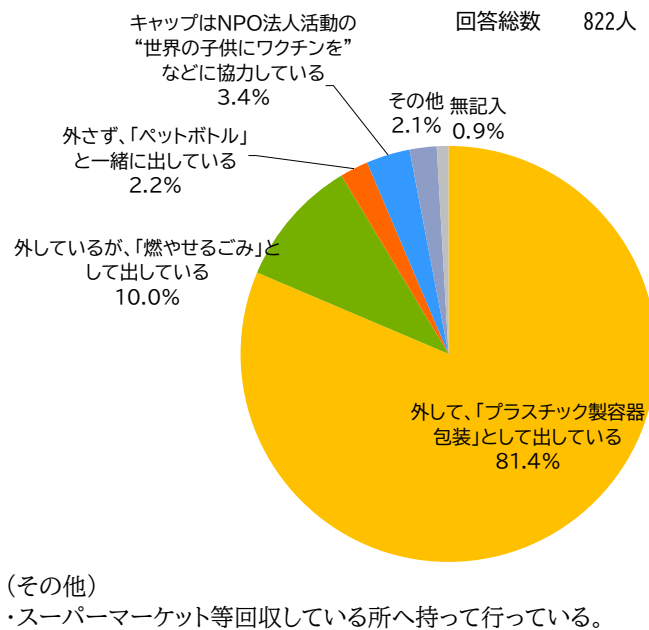
汚れているプラスチック製容器包装の洗浄は、前回調査時と同様に、約6割が「水ですすぐ程度に洗浄して出している」と回答しています。

4) ペットボトルのラベル・キャップは、どのように出していますか。(1つ選択)

前回調査

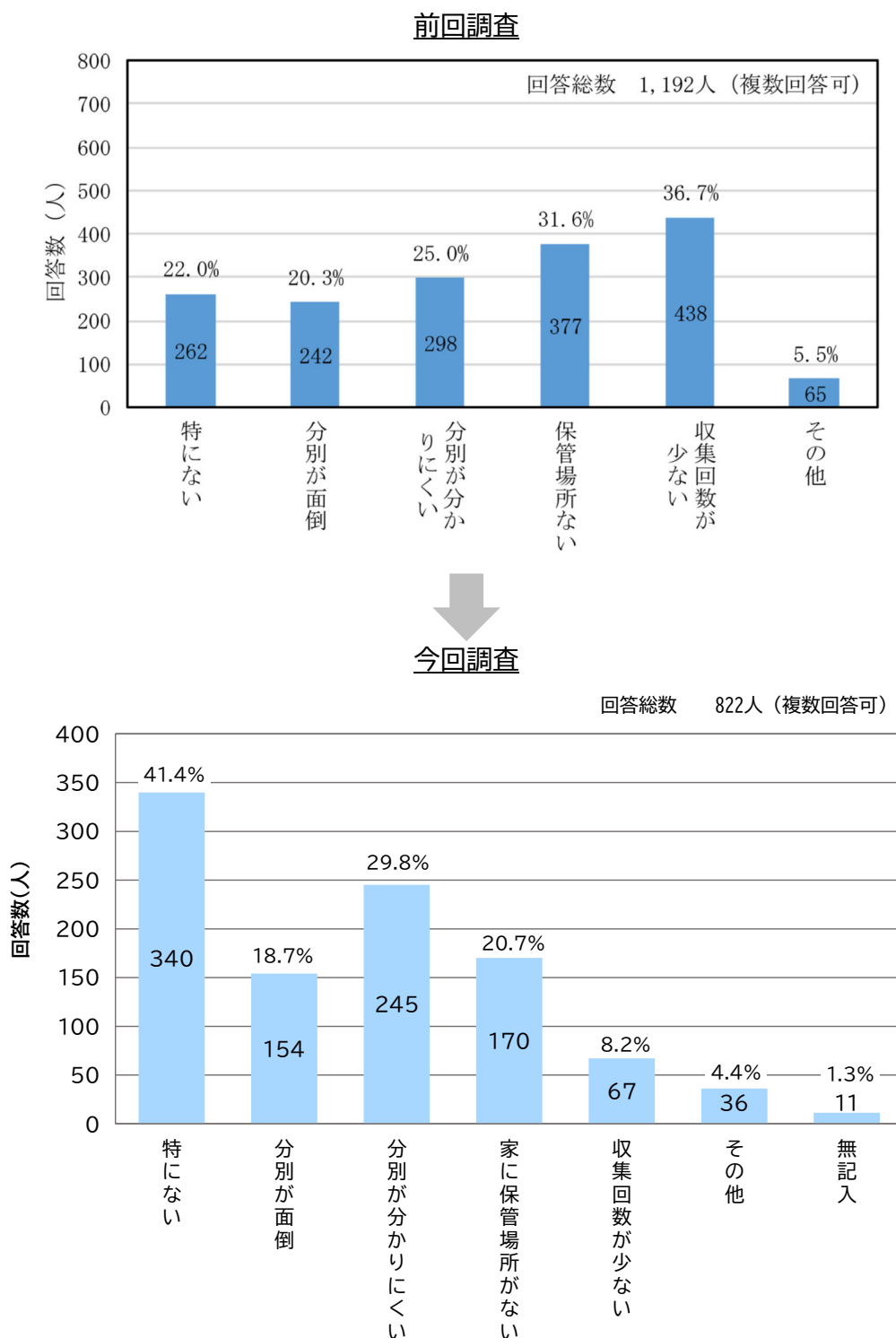


今回調査



ペットボトルのラベル・キャップは、8割以上が「外して、「プラスチック製容器包装」として出している」と回答しており、前回調査時と比較して、3割程度増えています。

5) プラスチック製容器包装の分別収集で、特に困っていることはありますか。(複数選択可)

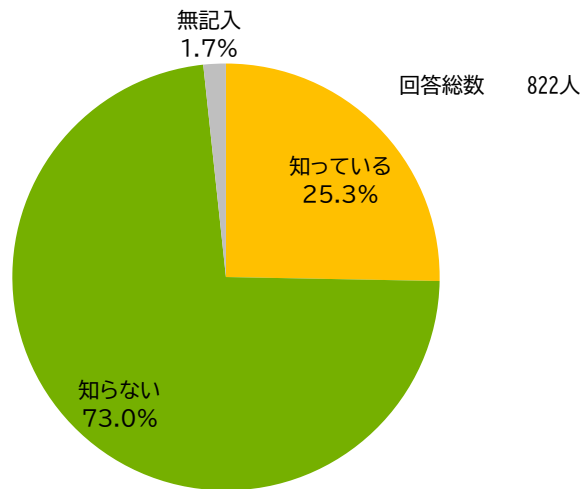


(その他)

- ・汚れの程度が分からない。
- ・排出するプラスチックが少量のためごみに出すほど溜まらない。
- ・どんなものが出せるのか、わからない。

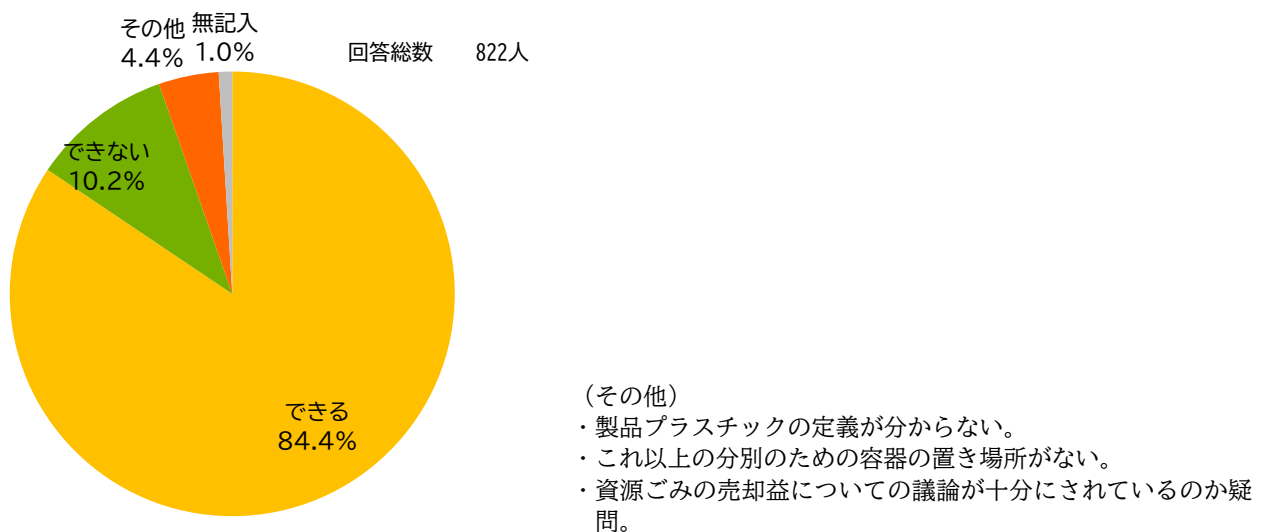
プラスチック製容器包装の分別収集で、特に困っていることは、「特にないが最も多く、前回調査時に最多であった「収集回数が少ない」が減少(36.7%→8.2%)しています。一方、依然として「分別がわかりにくい」、「家に保管場所がない」、「分別が面倒」が課題となっています。

6) 令和4年(2022年)4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、製品プラスチックの分別・回収・リサイクルが自治体の努力義務とされています。このことについて知っていましたか。(1つ選択)



「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴う製品プラスチックの分別・回収・リサイクルが自治体の努力義務について、7割以上が「知らない」と回答しています。

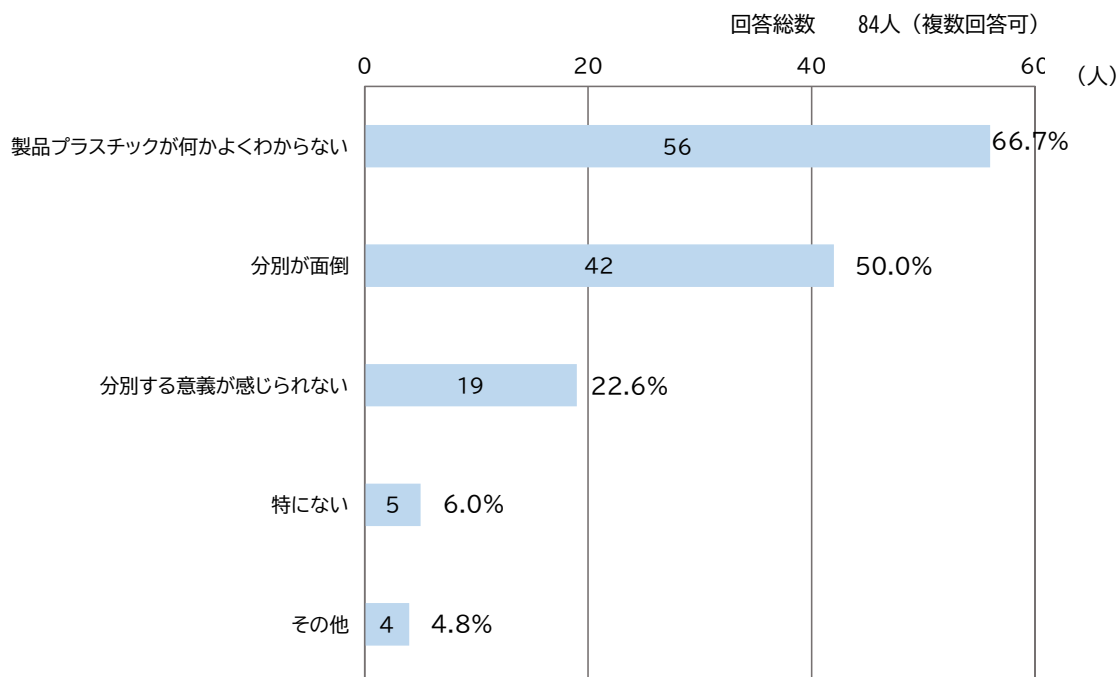
7) 今後、つくば市で、現在のプラスチック製容器包装に加えて、製品プラスチックも資源ごみとして収集することになる場合、分別の協力はできますか。(1つ選択)



製品プラスチックも資源ごみとして収集されることになった場合、8割以上が「分別に協力できる」と回答しています。

【前問7）で「イ. できない」と答えた方】

製品プラスチックを資源ごみとして分別できない理由は何ですか。（複数選択可）

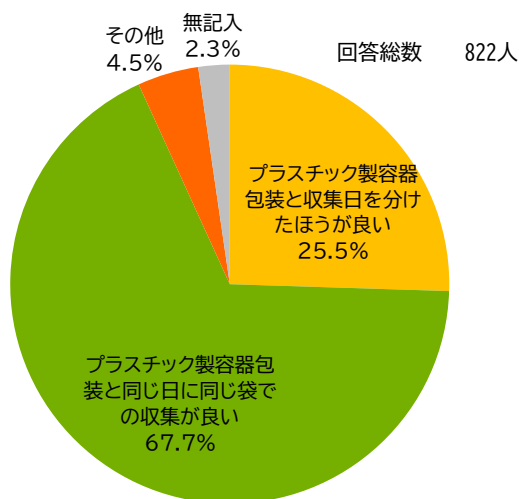


（その他）

- ・分別する場所がない。
- ・回収の日が少ない。

製品プラスチックを資源ごみとして分別できない理由として、「製品プラスチックが何かよくわからない」が最も多く、次いで「分別が面倒」となっています。

8）製品プラスチックを資源ごみとして収集する場合、どのような方法が良いですか。（1つ選択）



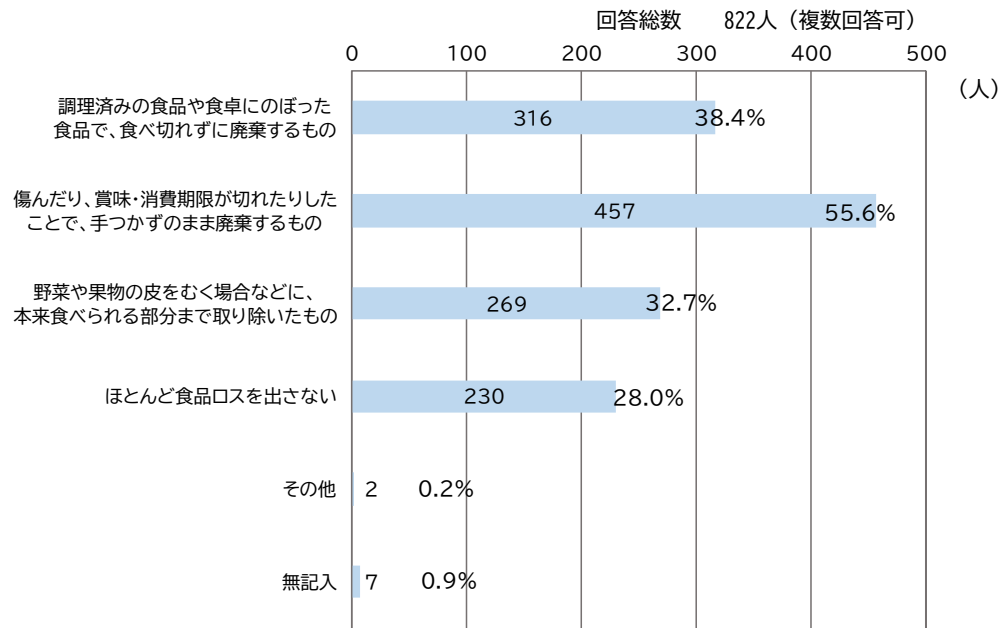
（その他）

- ・排出方法のわかりやすい表記が必要。
- ・同じ収集日で違う袋であるとよい。

製品プラスチックを資源ごみとして収集する場合は、約7割が「プラスチック製容器包装と同じ日に同じ袋での収集が良い」と回答しています。

4. 食品ロスについてお聞きします。

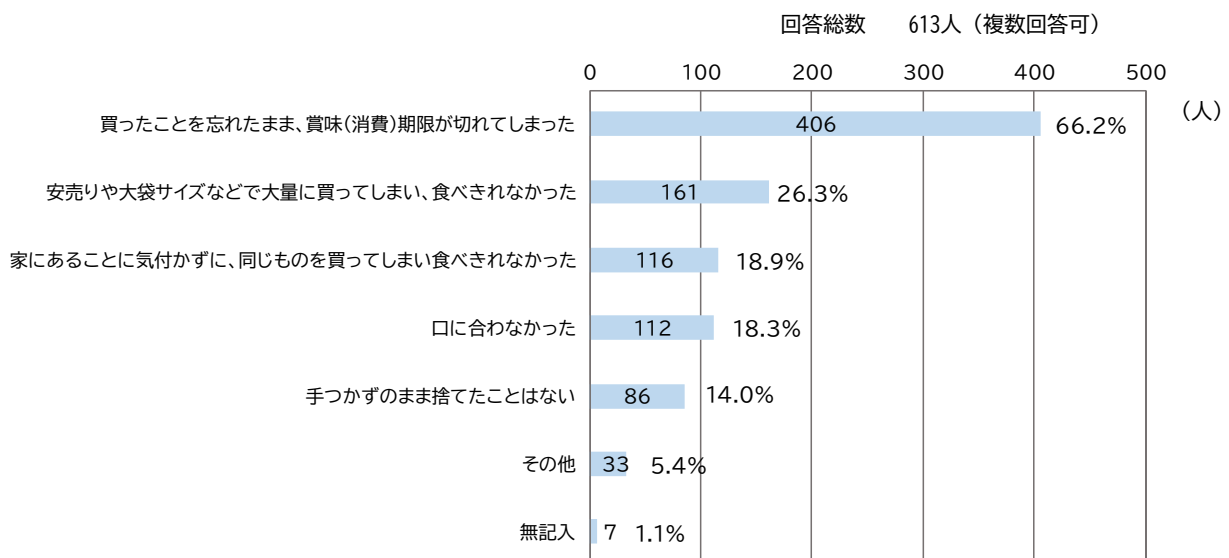
1) あなたの家庭で出すことのある食品ロスには、どのようなものがありますか。（複数選択可）



家庭で出すことのある食品ロスは、「傷んだり、賞味・消費期限が切れたりしたことで、手つかずのまま廃棄するもの」が最も多く、次いで、「調理済みの食品や食卓にのぼった食品で、食べきれずに廃棄するもの」、「野菜や果物の皮をむく場合などに、本来食べられる部分まで取り除いたもの」となっています。

【前問で「ア. 調理済みの食品や食卓にのぼった食品で、食べ切れずに廃棄するもの」「イ. 傷んだり、賞味・消費期限が切れたりしたことで、手つかずのまま廃棄するもの」「ウ. 野菜や果物の皮をむく場合などに、本来食べられる部分まで取り除いたもの」心掛けています」と回答した方にお聞きします。】

あなたの家庭で食品ロスが出た理由は何ですか。（複数選択可）

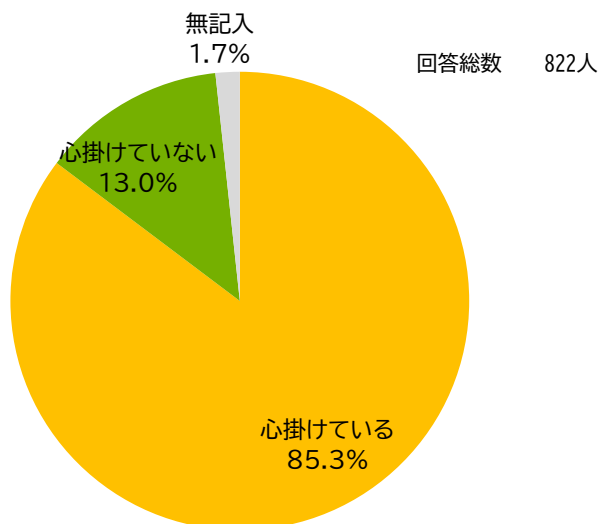


(その他)

- ・多忙により、手が付けられなかった。
- ・子供による食べ残し。
- ・保管方法を誤り、腐らせてしまった。

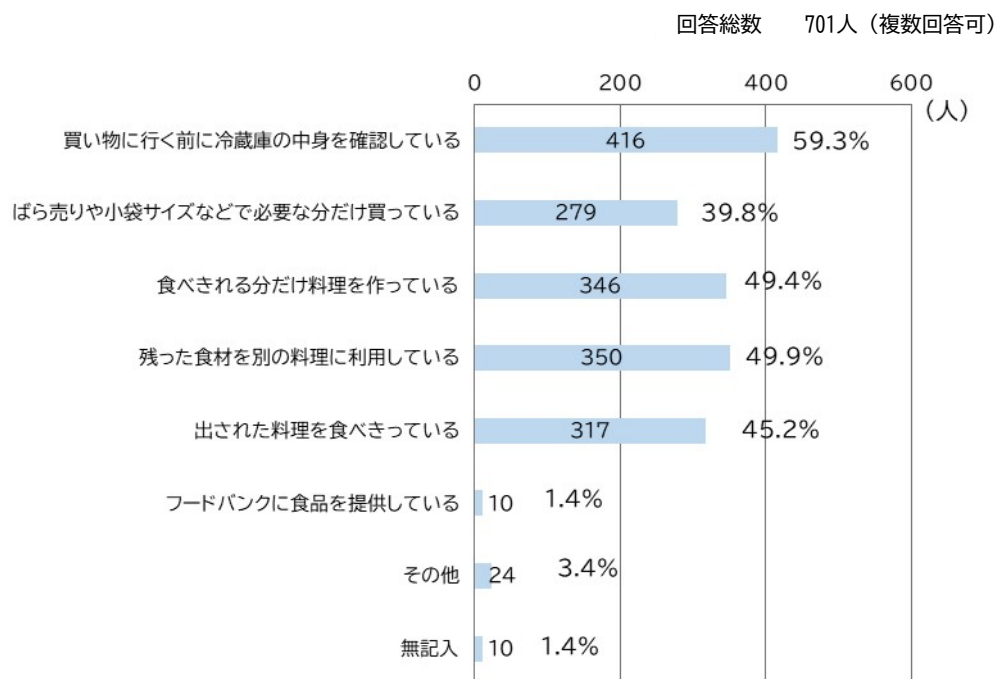
食品ロスが出た理由は、「買ったことを忘れたまま、賞味（消費）期限が切れてしまった」が最も多く、次いで、「安売りや大袋サイズなどで大量に買ってしまい、食べきれなかった」となっています。

2) あなたは普段、食品ロスを減らすために何か心掛けていますか。(1つ選択)



約85%の人が、普段、食品ロスを減らすために、「心掛けている」と回答しています。

【前問で「ア. 心掛けている」と回答した方にお聞きします。】
食品ロスを出さないために実施していることは何ですか。(複数選択可)



(その他)

- ・メニューを決めて、使用する食材のみ購入する。
- ・冷凍保存ができるものは、冷凍する。
- ・賞味期限は少し過ぎても食べている。

食品ロスを出さないために実施していることは、「買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認している」が最も多く、次いで「残った食材を別の料理に利用している」、「食べきれ的分だけ料理を作っている」、「出された料理を食べきっている」となっています。

5. その他に市のごみ処理に関する意見、ご要望がありましたらご記入ください。

(※回答いただいたアイデアや意見等については、カテゴリー別に整理し、主なものについて、一部の表現を除き、原文のまま記載しています。)

(1) 収集・運搬について

	意見、要望等
収集頻度	プラごみは5週目の回収が無いのが困る。せっかく分別しても5週目はプラごみを燃やすごみに出してる人もいる。
	ペットボトルの回収の日を増やして欲しい。
	プラ製容器包装やペットボトルは月の5週目にも収集日があると助かります
	ペットボトルの収集日がもう少しあると良い。
	かん、ビン、ペットボトルを毎週にしてほしい
	かんやビンの回収の頻度を増やしていただきたいです。
	ペットボトルの回収頻度を増やしてほしい
	第5週もゴミ回収を実施していただきたいです。ゴミ出しの習慣が狂う、間違えて集積所に出してしまう人がいる、などの不都合があります。回収業者との調整や人員増も必要かもしれませんが、上記の不都合が解消するのは大きなメリットかと思いますので、ご検討をお願いいたします。
	小さい子供がいるとごみの量をコントロールするのは難しいです。
	ごみ収集の頻度が他自治体に比べて少なく感じる。増やしてほしい。
	月の最後にプラスチックごみを回収しないことが時々あり困っている。逆に定期的に紙類を回収してくれるのは助かっている！前に住んでいた京都市では紙類の扱いに困っていた。
	分別を推進するなら回収頻度を増やすべき。
	ペットボトルや缶についても、毎週収集可能になるように、カレンダーを検討して欲しい。
	5週目の“燃やせるごみ”以外“収集なし”をなくして欲しい。生活している限りごみは出るのだから…。なぜ5週目だけ収集なしなのでしょう？困っています。地域のごみステーションの大きさにも限界があり、収集なしの次に出す時、ごみが入りきらず外に出してしまいます。
	ペットボトルの収集頻度（2～3週間に1回）は少ないので、毎週又は最低でも2週間に1度にして欲しい。3週間に1度だとペットボトルが多くなり過ぎる（30ℓ袋が3つ）。
	プラごみ回収は増やして欲しいです。
	プラスチックごみの回収は月2回でも良いのでは。
	一週間おきの収集をなくして、毎週収集して欲しい。
	ペットボトルの収集日を増やして欲しい（できれば缶も）。
	缶・びんの回収を毎週行って欲しい（ごみが自宅に溜まってしまうため）。
	可能であれば毎週同じ曜日に同じごみの回収をして欲しいです。第2・4週のものだと、隔週でもないため、サイクルを忘れてしまい、出し忘れてしまうことが多々あります。
	夏の時期だけでも燃やせるごみの日を週3回の回収にして頂けると助かります。
	第5週もプラごみ回収を固定して欲しいです。家のプラごみ箱がいっぱいになるので、燃やせるごみで出してしまうことがあります。
	ペットボトル回収日を増やして欲しい。
指定袋	一般ゴミを有料化すると、不法投棄が多くなるのでやめた方が良いでしょう。
	プラスチックごみ減量といいながら、ポリ袋にに入れてゴミ出ししていることは矛盾してる。
	ほかの自治体に居住していたとき、ゴミ袋が高すぎてつらかったので生活必需品でもあるので値上げするにしてもある程度にとどめてください。
	ごみの削減に関心はあるものの、ゴミ処理の費用がかかったり、ゴミ袋の価格が上がったりするのはちょっと困る...というのが正直なところです。
	ゴミ袋に名前を書かせたり、一家庭で出すゴミ袋を制限している自治体がありますが、個人情報保護や本当にゴミを減らすこととは違った方向に向かっていると思います。このような事はつくば市では絶対やらないで下さい。
	つくば市のゴミ袋の値段が高いので、安くして欲しい
	ゴミ袋の量別でわかりやすいようにして欲しい(色分け、ライン分け)
	燃えるゴミ用の袋を生分解性プラスチックなど、より環境に優しくなものにしてほしい
	プラスチック類等の廃棄袋はできればつくば市指定の半透明でつくば市のロゴ入り袋を販売した方が、回収所の確認整理がしやすいので、ご検討を！

	意見、要望等
指定袋 (続き)	安易にゴミ袋からごみ処理経費を捻出するのではなく、まずは対策を行ってどれだけの経費がかかるかを市民に提示してからの値上げをお願いしたい。
	燃やせるゴミの袋のサイズが増えてよかったが、販売している場所が限られていたり、40Lのゴミ袋と45Lのゴミ袋の価格が、かなり違う(300円近く)のが気になります。
	ほかの自治体から引っ越してきたが、ゴミ袋が有料なことに驚いた。
	40Lゴミ袋に入りきらない場合粗大ゴミになるとのことですが、もう1サイズ大きなサイズの袋も販売して欲しいです。粗大ゴミとして出すためコンビニに券を買いに行ったり回収予約をするのは、家具など大型のものは仕方ないと思うものの、ギリギリ入らないサイズの子供のおもちゃやベビー用品等を処分する時にはとても面倒に感じました。大きいサイズの袋もあるとありがたいです。
	市指定のゴミ袋が取り出しづらくて仕方ありません。ティッシュボックスから1枚ずつティッシュペーパーを取り出すような様式に変えて欲しいです。袋の製造業者を入札で選んでいるのなら、そのようなことができる業者を入札要件とすべき。
	燃やせるゴミ袋の10Lも作って欲しい。
	ゴミ袋の配布をして頂きたいです。燃えるゴミ袋以外はないので、できればプラスチック用とか、びんも缶も燃えるゴミ袋を使っています。私達は税金を払っているのだから、それくらいは市の方でももらいたいと思います。私達は買って使っているのですよ！ごみの捨て方を重視するのであれば、それ位なんでもないと思います。
	指定ゴミ袋が燃やせるゴミだけで、他のゴミは袋の色指定のみなので、分別しやすいなと思います。
収集品目	いつも収集、運搬をありがとうございます。私は5人家族ですが、市のマニュアル通りに分別すると、1週間でも20Lの燃やせるゴミ袋がいっぱいになりません。特に夏はこまめに生ゴミを捨てたいので10Lの袋もあると良いと常々思っています。需要は少ないと思いますが、検討して頂けると幸いです。よろしくお願いします。
	家庭菜園の残土やレンガなども回収して欲しい。サステナセンターでも良いので。
	ペットボトルキャップの回収をして欲しい。
	自宅の植木などの剪定した物を自宅スペースで処分する為の方策を検討又は指示して欲しい
	先ほども記載しましたが、コンポストでできた堆肥の回収をお願いしたいです。そうすれば、集合住宅などの方々にもコンポスト利用が広がる余地があると思います。市民へのごみ削減への意識づけをぜひ、よろしくお願いします。
	料理で使う程度の小さなアルミホイルが燃やせるゴミにだせるといいなと思います。
	小型家電も収集所で回収してくれると良いなと思いました。いつも燃えないゴミに出していて、リサイクルしてくれたらいいなと思っていました。
	肥料袋で植木や草の収集をすることはできませんか？
	剪定枝などが燃えるゴミの日に沢山出されているのが気になっている。市で回収して堆肥化することができたら、燃えるゴミが減っていいと思う。
	庭の草や木は乾かして燃やさせてください。
	マニキュア除光液やシャンプーの中身を回収するところがあると良い。
	小型家電にモバイルバッテリーを含めて欲しいです。
	小型家電回収場所を増設して欲しい。
	庭の雑草や小枝の袋で集積所がいっぱいになります。庭のある方はできるだけそこで処分したら良いと思います。
収集時間	朝8時までに集積所にごみを出すルールとなっているが、具体的に何時から出してよいか不明の為、周知していただきたい。また、一部の市町村が実施しているように、夜の時間帯にごみを出すことが可能となるよう集積所の環境を整備していただきたい。
	ゴミ集積所から業者の人が回収する時間が予定より遅いことが多い。
	収集が朝早い。
	朝以外の時間帯にも出せるようにして欲しい。自宅前回収。
	カラス等によるゴミの散乱などの被害がある場合、ゴミ収集の時間帯を朝から日没後に変更することも検討されて良いと思います。福岡市が実施しており、夜間回収で深夜でも人の目があるため街の治安も良くなりました。
	以前住んでいた場所は夜中の回収でしたが、とても便利だったのでつくば市でも取り入れて欲しい。朝8時までというのも他の地域に比べて早い方だと思うのでゴミを出すことができない日もあり不便に思います。夜のうちに出来るようになれば有り難いです。

	意見、要望等
収集時間 (続き)	燃えるゴミはカラスに荒らされる可能性があるため午前中に回収いただきたいという要望はありますが、全体としてはゴミの収集にご対応いただいていることに感謝しています。
	児童・生徒の登校時間には、学校近くのごみ集積所に収集車は乗り入れしない方が安全に登校できると思う。狭い道などは危険かも。
	今時、共働きで夜勤の勤務があってごみを出せない時があるので、ごみの日が決まっているのは困る。24時間ごみを出せるようにして欲しい。
電池類・蛍光灯 等の収集	電池のゴミがどうしても平日特定の場所に行くことが難しく、集積所に出せるようにしていただけないかいつも思っております。電池ゴミだけが常に家の中で溜まってしまいます。
	モバイル充電器の回収場所を知りたい。乾電池の捨てる手段を増やして欲しい。
	基本的には満足しています。乾電池等を特定の場所に持っていかななくても、回収できる仕組みがあると嬉しいです。
	電池、電球の回収希望。
	年配になって、使用済み乾電池や蛍光灯を捨てに行かれない。集会所などでまとめておくのはどうか？
	使用済み電池や、蛍光灯の回収場所が少なすぎる。出すのが大変だ。
	ボタン電池回収も交流センターで行って欲しいです。
	有害ごみ（蛍光灯、乾電池）も拠点回収ではなく、地区の集積所で回収できるようにして欲しい。住み始めた頃、乾電池の捨て方が分からなく（以前の地域では、集積所での回収が月2回位あった）、近所の方に聞いたら、燃やせるごみに隠して捨てていると聞いた。確かに電池1個をわざわざ車を使って捨てにいけないなどと思った。うちはある程度溜まったら、捨てに行きますが、それまでずーっと置いているのは気になってます。
	クリーンセンターまで遠い。クリーンセンター以外でも持ち込める場所を作って欲しい。乾電池の廃棄ができない。
	蛍光灯や乾電池は回収場所が指定されていますが、荃崎交流センターや荃崎老人福祉センターへはマイカー利用でないと捨てに行くことができません。関鉄バスで牛久駅で乗り継ぎ、現地に行くことができますが、一日がかりになってしまいます。バスの本数が少ないです。つくバスありませんので、自宅に貯めておきます。年に1回程度で結構ですので、資源ごみの日に「有害ごみ」も回収する日を設けてくださると、その日に一年分を出せますので助かります。以前はスーパーの店頭で回収もしていましたが、人員削減のため現在はできません、とのこと。ご検討をお願い申し上げます。
	使用済み電池の処理場所が少ない。電池の正しい捨て方を守っていない例を目にしたので、心配になった。
粗大ごみの収集	粗大ごみ、予約なしで回収出来るようにして欲しい。
	粗大ゴミ代が高く、引き取り日も遅いことがある
	電話でしかできない方法（例：大型ごみを出す時）はないようにして欲しい（聴覚障害者のため）。メールアドレスを記すようにして欲しい。
	粗大ごみは取りに行ける人が使って欲しい。他の自治体でやっているところがあるので。粗大ごみを有料で部屋から運んで欲しい。
	粗大ごみの捨て方が分からないのか、収集でない時にしれっと出す人が後を絶たない。ポスターなど作ってもらって、啓発を市が主導して頂けると助かる。
	洗濯機等粗大ごみの無料回収の実施をお願いします。
	粗大ごみを出すのが面倒臭い。手続きも運ぶのも。
戸別収集	有料でも良いので、戸別回収をお願いしたい。
	歩くことが困難に成ることが心配。
	大阪でおこなっている個別回収を取り入れてほしい。自治会に支給している費用をあてれば可能にならないか。ごみ出しの為に自治会に仕方なく入っている人もいる。
	高齢化に伴うごみかごの出し入れは大変負担。できれば、個々に収集してもらいたい。そのために別途費用がかかっても仕方がないと思っている。寒い1月・2月の早朝、7時前に外に出て、5kg以上あるごみかごを設置するのは辛い。
	高齢者でも出しやすいシステムを作り出す取り組みみたいなものがあれば、また一歩進んだつくば市としてみられるのではないかと思います。日々色々取り組んでいただき、ありがとうございます。助かります。
	分別を細分化すると特に、高齢者の負担が増えること、広い敷地がないとごみを保管する場所が確保できないこと、などからできるだけシンプルで必要最低限な分別が望ましいと考えます。

	意見、要望等
サステナスクエアへの直接搬入	自家用車が無いのでクリーンセンターに持ち込めない。業者に頼むと高額なので、市としての何らかのサービスを提供してほしい。
	クリーンセンターの待ち時間が長いので、回転スピードを上げるか稼働日稼働時間を増やしてほしい。
	家庭から出た燃えるゴミを、自家用車(軽トラ)でクリーンセンターへ持ち込みをした場合は無料にしてほしい。
	ごみ処理センターへ予約なしで持ち込みできるのが、とても有難いです。ありがとうございます。
	うちの家庭では地区に入らなかったのが10年以上も週に1度サステナスクエアへゴミを搬入しています。もう慣れてしまったのでとくに苦ではありません。ただ、毎回行って免許証見せて、住所書いての作業をなくし、つくば市民の場合はマイナンバーカードなどで身分証明できればいいとは思っています。

(2) 集積所について

	意見、要望等
集積所の管理、設置	ごみ収集所が自治会管理なのをやめてほしい。ごみを捨てたければ自治会に入れ、となる。
	ゴミ出しの班があり、班の人は決まった集積所にしかゴミは出せないことになっている。家のすぐそばに集積所があっても、遠くの集積所に持って行かないといけない。掃除や管理の面では班が必要ですが、高齢者が多くなっている昨今、もう少し柔軟なルールがあればいい。集積所の数ももう少し増やして欲しい。
	いつもありがとうございます。資源ごみなど近場で捨てられたら楽だと思いました。
	通常の集積所近くに、資源ゴミステーションのようなモノを市内の各町内に24時間出せるようになると回収率があがると思う。ごみ捨て場が遠い。
	知らない間に公園にゴミ捨て場（どこかの区間の住民用）が設置されていた。不公平だし、公園に設置するのは適切でない。
	ゴミ置き場はなんとなく汚いイメージがあるので、ユニークでカラフルな作りだと捨てるのが楽しみになる！
	地区の分け方がわかりにくい所がある（西地区などで一部入り込んでいる）。大きい道路を境にしてわけたほうがいいのではとおもう。
	ごみ集積所のごみ箱設置・買い替えの補助を市に出して欲しいです。景観協定のある新分譲地は住民がごみ箱購入代を取られました。不公平と思います。
	道路の向かい側、当方21軒で地主の好意で土地（畑）の一部を45年以上使用させてもらっている。将来、売却される可能性もある。高齢化も進み、ごみ出しも大変な家庭がある。その時は話を直接町会（自治会）側に持ち込むか、市に持ち込むかが今後の課題だ。
	ごみ集積所に自治会のルールを守らない人（自治会外の人？）が節操なく捨てており目に余る。外国人やアパート暮らしの単身者と思われ、市役所からの積極的な教育を期待する。
	地域の集積所は、回答にも記入した通り、色々問題です。地域のお掃除当番が回っていますが、分別や排出日時を守らない方(外国人等)にはお掃除当番は回らず、近隣住民が都度、分別とお掃除をしています。受入時にはゴミ捨ての説明と、お掃除当番を回していただくことをお願いします。
	ゴミ回収をされている方はとてもご苦労があると思います。私の利用する集積所が酷いことも承知でいつも申し訳ないと思っています。回収の方の生の声を区会の方へ直接届けてくださる事も改善に役立つ様に思います！
	自治会が無い地区のゴミ集積所に関するルールや管理などが曖昧である。誰が管理しているか不明。
	ごみ集積場を活用する人の協力が絶対である。
	地区外の方は使用禁止など表示している所があります。市民で市民税を払って生活していれば誰でも利用できると思うのですが、その通りであればその様な表示を禁じてください。
	集積所を利用している人は当番で“おそうじ”もしているので、ルールは守って利用しています。通りにある集積所なので、外に置かれると、袋がカラスに散らかされる。
	カラスよけネット配布をお願いします
	現在、ごみ捨て場に入らず、横に燃えるごみが捨てられていて、入りきっていない。ネットで鳥よけしているため、ネットが十分にかけられていないと、鳥被害でごみが散乱している。ごみ捨て場を早急に改善して欲しい。施錠できる頑丈なもの。

	意見、要望等
集積所の管理、設置 (続き)	プラごみを外に置くこととしているが、カラスはおもちゃとして突っついたり、荒したり、風で飛んだりしている。可能な限りごみ箱（大きい柵のような物）に入れるべきである！
	ごみ置き場の美化を推進してほしい
	収集後や集積場の管理状態が非常に悪く、指導教育を業者に周知徹底する必要がある。
	つくば市も人口が増え続けると、クリーンセンターがもっとあるとよいと思います。予算を組み、将来のために候補地を選定し、住民に前もって反対されないよう周知をし、獲得しておくというのはどうでしょう。今の時代、反対されて実現に及ばない事案が多いと思いますので。
	ごみ捨て場にルールを守らない方がいるようなのですが、どうやらかかりの高齢者のような気がします。自分が掃除当番だったらぞっとする時がある。その場合どうすればよいのか。以前、違う県に住んでいた時、当番で持って帰って、その曜日に出してくださいと言われ、愕然とした時がある。高齢者でも出しやすいシステムを作り出す取り組みみたいなものがあるのは、また一歩進んだつくば市としてみられるのではないかと思います。日々色々取り組んでいただき、ありがとうございます。助かります。
	住宅業者が新築の戸建てを建てた時、ごみ集積所は自治会に丸投げ。「何棟かある場合、自社で作ってください」と伝えたと「値段が下がるから」と言われる。ごみ集積所に余裕がない場所もあるので、新築等の申請の時に何か方法はないのでしょうか。

(3) 分別方法の周知について

	意見、要望等
プラスチックの分別	プラスチックは、一律に燃やすゴミとして対応してほしい。分別は無駄と思っている。
	プラスチックリサイクルはさほど意味がないという話も聞くので、実態としてどうなのかは気になる。
	ゴミ出しガイドは、毎年見直しすべき。特に、プラスチック容器は具体的に記載してほしい。人によって解釈がちがう。
	製品プラスチックを資源ゴミとして分別するのは協力できますが、分別するゴミ箱を更に増やす事は、改めてスペースの確保が難しいので、プラスチック製容器包装と同じ袋で回収日を週2回に増やしてほしい
	プラスチック、雑紙、生ごみの分別で、燃やせるごみの袋がいつもいっぱいになることがなくなりました。分別は最初大変と思っていましたが、慣れれば負担にもならず、楽しんで分別しています。プラスチックごみの多さにびっくりしました。
	製品プラスチック回収、大賛成です。
	プラスチックの処理の仕方がいまいち分からないので、もう少し詳しく知りたい。分別の仕方ができない人がいる。時々回覧などで発信して欲しい。
	家族はプラスチックの分別や牛乳パックの分別もあまり協力的ではありません。プラスチックの場合などは特に「プラスチックごみを燃料に燃やすよう計画しているのだから一緒に捨てた方がいい」と言っていたこともあります。
	プラスチックの分別が分かりにくい。1) お菓子類の袋（小袋）はどこまで洗ったらいのか？例えば「ポテトチップ」外袋はプラと書いてあるが、中の油分はどうするのか？2) 化粧品の容器はすすぐだけで出せるのか。プラスチックの工場での処理方法を映像で見られると理解しやすいと思います。
	汚れているプラスチック包装容器を洗うことに抵抗がある。水使用の問題、油汚れを排水に流す問題。納豆は食器を洗いたくないのでパックのまま食べているのに。
	プラスチックごみの分別について、知らなかったことが多いので、知識を得よう勉強してみます。きちんと分別できるようにしたい。
	プラスチックは、粘着部分は削除して、プラごみに出した方がいいのか、わからない部分があります。
	プラスチック容器包装に紙の値札や産地が貼ってある。そのままでもいいかはっきりしない。
	プラスチックの処理の仕方がいまいち分からないので、もう少し詳しく知りたい。分別の仕方が理解できない人がいる。時々回覧などで発信して欲しい。
	プラスチックごみをきれいに洗って出しておりますが、こちらはきちんとリサイクルされているのでしょうか？以前、うわさで、つくば市はまだリサイクルの体制が整っておらず、最終的には燃えるごみと同様に燃やしてしまっている聞いたことがあるので…。水や洗剤を使ってきれいに洗って出しているので、リサイクルがきちんとされていることを願います。

	意見、要望等
その他（プラ以外）の分別	重複しますが、センターに搬入してから陶器ビニールホイールカバー金属等はダメと言われても、何処に持って行けば良いのか分かりません。
	古紙の分別をどのぐらい種類別に分ければいいのか分かりません。細かいとある程度溜まるまで自宅管理が大変で、燃えるゴミで出したいくなってしまいます。
	市では収集しない古くなった塗料やプランターの土等は、どうしたらよいのか分からない。以前あったような「ごみの分け方・出し方」ハンドブックのようなものがあると嬉しい。
	古布をどこまで出していいのか分かりません。
	燃やせないごみを詳しく知りたい（捨て方など）。
	分別が細すぎて面倒くさい。市町村によって違う
	市外より転入してきました。比べると、つくば市の方が分別が細かいです。でもプラごみや紙ごみを分けると燃やせるごみがだいぶ減ることに気が付きました。良い取り組みだと思います。
ごみの出し方カレンダー、ごみの分け方・出し方ガイド、分別アプリ等	正しいと思って出しているが、持って行ってもらえない時があります。メモに理由（詳しく）を書いて貼って欲しい。又、理由が書いてありますが、ごみカレンダーで例えば、サイズ内で出しているも持って行ってもらえない。何が違うのかを記入して欲しい。
	ごみの分別で分らない物があると「さんあ〜る」や紙媒体のごみ分別辞典を参考にしますが、「例」が少ないと思います。以前、守谷市に住んでいましたが、守谷の分別表は「さくいん」も多く、調べたい物がすぐに分かりました。もう少し分別辞典の「さくいん」を増やして欲しいです。衣類については、燃えるごみにするものと資源ごみにするものがあり、分かりにくいです。もう少し分かりやすくして欲しいです。資源ごみを資源とせずに別のゴミで出す人が多く気になります。市からもアピール方法を考えて頂きたいです。
	It is quite difficult to read the calendar. how about making it bigger? like a real calendar size A4? (カレンダーが読みづらい。通常のカレンダーのA4サイズのように、もう少し大きくできないか。)
	ゴミ収集カレンダーが小さくて使い難い。
	ゴミの分け方、出し方ガイドに記載されていない、出し方があるようで、一度トラブルになった。例:古布類ではキルティング加工のものはもっていかないとか、一枚布になっている物しかもっていかないとか。そんな記載どこにもないですよ！
	カレンダーや、出し方ガイドは使いやすいので、これらの充実や活用促進で、結構効果が出るように思います。
	ごみ分別の種類が多過ぎて面倒である。ごみカレンダーのごみの出し方が、細かくて分かりづらい。
	さんあ〜るのアプリ内で「つくば市公式ウェブサイトのごみ分別検索」が使用できるようにして欲しい。アプリで「ごみの分け方・出し方ガイド」がスマホでは見づらい
	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を見ながら分別しています。最近はおもも多岐に渡り、凄く重宝しています。

(4) 情報発信・意識啓発について

	意見、要望等
市による情報提供・発信、意識啓発	朝8時までに集積所にごみを出すルールとなっているが、具体的に何時から出してよいか不明の為、周知していただきたい。また、一部の市町村が実施しているように、夜の時間帯にごみを出すことが可能となるよう集積所の環境を整備していただきたい。
	以前は外国人向けにごみの分別の仕方の詳しいパンフレットがありました。それを配布すると分別に改善が見られましたが、今はなくなってしまったので、本人への意識改善、啓発になるのもう一度作成してほしい。そうすればトラブルも減るし、リサイクルにもなり、ゴミの減量にもなると思うから。また、市に転入する時にもそのような指導をしてもらえたらありがたいです。日本語も英語すら通じない外国人が増えると、ゴミトラブルも多くなっています。
	分別の意義やどのようにリサイクルされるのか、CO2削減が見える化すると分別のやりがいが増すように思う
	分別のメリット・デメリットを広く周知してもらいたいです。
	いつもありがとうございます。知らなかった情報が多くあるので、スマホやパソコンがなくても情報を均等に展開する方法を検討していただきたいです。また、ゴミに限らず、情報を知るのは広報やホームページなどで見逃すことが多いため、谷田部地区にも防災無線を設置してほしいです。現状、つくばみらい市の防災無線に耳を傾けています。

	意見、要望等
市による情報提供・発信、意識啓発 (続き)	それぞれのごみがどのような流れで処分されるか、再利用されるのか、ツアーは難しいので、YouTubeで教えて頂いたら、みんなの意識も変わるし、問題が何なのか分かります。
	リサイクルの進捗具合を公表して欲しい。
	家庭から排出されたごみの一連の流れを知りたい。知ることで問題点を感じ、意識が変わると思います。また、リサイクルするより燃やした方がコストが安いのではないかと常々思っています。(洗浄のために洗剤や水を使ったり、回収したところでリサイクルに使われなかったり) リサイクル法は何か利権が働いているような気がしてなりません。結果、自分の判断でプラスチック製品はあえて燃えるゴミに出し続けています。納得できる回答があれば従いたいです、今のところないので、情報が欲しいです。リサイクルできるかどうかの程度のラインも知りたいです。 (例:ピン:ラベルはがさないとリサイクルされる?されない?) (例:ダンボール:ガムテープやラベル貼ってあってもリサイクルされる?されない?)
	ゴミを減らすことがなぜ大事なのか、それを分からない人がおそらくたくさんいる。私もそうだったので。自分たちが出したゴミや汚れた水の行方を知ることで危機感を持って、積極的にゴミのことを考えるようになる人が増えるのではないかと期待します。
	身近な問題でもあるので、もっと市民の協力を仰いでいいように思う。
	ルール変更がある場合は早く情報を出して欲しい。
	自分が出したゴミがどう処理されていくか知ること、ゴミの分別の意識が上がると思うので、そのような啓発活動をもっとして欲しいです。
	各家庭で捨てたゴミを持って行って、処分して頂いているので、きれいな環境で暮らせているのに、いい加減な人も多い。市に対して、感謝の気持ちを持てるような、もっとインパクトのある広告等を広めて欲しい。
	燃えるゴミ、プラ、びん、不燃ゴミがどういう工程で最終的にどうなっていくのか、一人当たりの税金がいくら使われているか、などの教育をして欲しい。
	更なるゴミに対する発信を希望します。アンケートにて初耳の事がありました。情報不足を痛感致しました。今後に期待致します。よろしくお願いします。
	ポスターをスーパーのゴミ袋売場に貼る、ゴミ袋に記すなど。頑張ってください!
	回収業者さんへの指導・教育、大事であると思いますが、市民のゴミに関しての意識、これが大切であると思います。私は要の中根に住んでいますが、新しい人が増えて、収集場所も狭くなってきています。このような場合、市ではどのように考えているのでしょうか。
	今、市としてゴミに関してどのような問題があるのか、どのような取り組みをしているのか教えて頂きたいです。もし有料収集するのであれば、どのように使われるのか具体的に説明して欲しいです。自分にできることは、積極的に取り組みたいと思いますので、もっとこうした方がいいよ、こういう方法もあるよ、など教えて頂ければと思います。
	高齢者の問題(ゴミ問題には非常に興味があります)。まだ、がさ簍に捨てたりと気になる事もありますが、皆がゴミ問題に関心を持てれば周りの環境もきれいになる事と思います。中心部から少し離れると、あちこちゴミが捨てられていて心が痛みます。個々の問題はもちろん、地球規模の環境問題だと思っています。
	ごみ処理にかかっている市税、プラゴミのリサイクルの行方、不燃ゴミの埋め立て先を知りたい。知る事でより自分ごとに。NHKでP F A S ?水道水から有害物質が出ている特番を見ました。その原因と考えられる一つが産業廃棄物。ゴミによる環境汚染の怖さを感じています。安心・安全に暮らせるまちづくりのためなら、市民として協力していきたい。
	アンケートの結果や事業を始める時、例えば、有料収集が決まってから市民に報告とならないようにして頂きたいです。市報に記載しても市報を読まない人や市報が手元にない人もいますので…。分かりやすくキチンと説明・報告をしてください。
	個々の意識を高めることが一番の解決方法だと思います。「地球にやさしく」「子ども達の将来」を考えると、日々の生活のゴミ問題、市としても重点的に取り組んで頂きたいです。
	生ゴミのダンボールコンポストが貰えるなど、そもそもこのアンケートで初めて知った回収されたプラ容器のその後ツアーなどあれば、子供達のためにもなるのではと思います。
環境教育	広報つくばで年1回位、かわいくごみ特集などして欲しいです。クイズにして欲しい、保育園から小学生向けでコミックのおまけ位の冊子で「つくば市ゴミクイズ!このゴミはどれだ!」(コンビニのおにぎり、とり肉のトレイ→プラゴミ?燃えるゴミ?)。ごみカレンダーにクイズを付けて欲しいです。実はこれも資源になるとか、こうするとゴミを減らせるとか(生ゴミ等)。ゴミがあふれているよ!たすけてみんな!

	意見、要望等
環境教育 (続き)	ごみ回収・処理など、いつもありがとうございます。回収する方や集積所の掃除経験がある人は、ごみ分別のマナーがなっていない事の大変さを知っていますが、経験した事のない人は分からないと思います。学校の校外学習授業の中で、地区のごみ集積所の実態や掃除などの経験をしてもらえたら、子供達の意識も変わってくるのではないかと思います。しかし、実際にごみを出すのは大人なので、厳しいところではあります。
	大学や学校で、年度の初旬に教育を行って欲しい。
	意識を高めるため「幼児から一貫して、教育の中で取り組んでいく」、幼児は遊びのひとつとして楽しんで、意識化できると思います。つくば市独自の環境教育を構築して頂きたいです。保育士さんに大いに期待しています。

(5) 3Rについて

	意見、要望等
ごみの減量化	個人の意識でプラごみを減らすのは限界だとプラごみを出していて実感する。食品に使われているプラ包装がいかに過剰か、そこを業者から変えていかないとプラごみは減らない。
	市のごみ収集業務には満足しています。特に要望はありません。ごみを出す自分達が「ごみの減量」と「ごみ出しのルール遵守」に努めるべきと反省しています。
	研究所に販売してくださっている販売業者さんに「まとめて発送すること」「過剰に包装しないこと」を要請するのが、つくば市で最もゴミを減らすことに繋がると思います。
	外部要因ですので、難しいかもしれませんが是非ご検討ください。
	また、過剰包装しない取り組みを進める方向を検討して欲しい。スーパーでの食品管理、販売方法を改める等抜本的改革が必要ですね。
食品ロス	ごみを減らすよう、学校からのちらしや配布物を少しでもなくして欲しい。
	フードバンクへ提供する際、期限前に食べきれないものを提供するひと工夫をご相談です。いつも期間が短く、出したい時に開催終了していたりで、残念に思っていました。お中元お歳暮、年始年末などの贈答品は、口に合わない、品物が重なる、量が多いなど、お気持ちは受け取りが期限が余裕あるうちに（喜んで）寄付できるチャンスがあります。時期を計り、フードバンクを、食品を扱うスーパーを拠点にしてもらうと、買い物ついでに食べられる食品リサイクルもできるので、これなら実行しやすいです。
	食品ロスは別に心掛けていないが、食品が残る事はないので気にした事はない。
	食品ロスしないように食事を作るのでロスはずゼロです。この質問はロスしている前提ですよ。なので、心掛けていないのは、食べる量を調整しているからです。このアンケートを通じて知らない事が結構あるなと思いました。
	フードバンクが分かりやすい場所、入りやすい所があると良い。使用済油・電池の置き場所が分かりやすい場があると良い。
生ごみ処理・コンポストの推進	生ごみ処理機を購入したいが高い。もう少し補助金を出して貰えるなら購入したい。
	生ごみが一番多いと聞いたので、もしそうだとしたら微生物に分解してもらい、その分解された物も有効に使って作物を作ったら良いと思います。各地域ごと地区ごとにすると地区の方と横の繋がりもできて良いのでは？ただお金を使うやり方は、もうやめた方が良いでしょう。
	コンポストでできた堆肥の回収をお願いしたいです。そうすれば、集合住宅などの方々にも広がる余地があると思います。市民へのごみ削減への意識づけをぜひお願いします。
	コンポストの推進も是非進めるべきだと思う。
	6月の「ガイアの夜明け」で、「益子町の生ごみ処理対策」、共和化工の協力のもと堆肥として「イチゴ」に利用していました。つくば市でも同様のことは可能なのでは…。
	段ボールコンポストの配布を増やして欲しい。広報等で観察日記を出して欲しい。何日位で生ごみが分解されるのか、虫がわいたりしないのか、毎日どんな手入れをするのか知りたい。イメージがつけば挑戦してみたいと思います。
	資源ゴミは、市内店舗等で回収する時にポイント発行すれば回収率が上がる。
ポイント還元システムの導入	集積所に計量系を設けて、重量ごとにポイントを設ける。
	電池や蛍光灯を収集所に投入したらポイント付与するなどの工夫
リユースのシステムづくり	川崎市がまだまだ使える不用品を「ジモティースポット」で集め自治体で販売譲渡する取り組みをしていると知りました。子供用品など綺麗で使えるので捨てるのはもったいないものの、自分で売るのは面倒なので無料で良いので必要な人の手に渡って欲しいと思うものもあるので、つくば市にもこのようなリユースの選択肢があれば利用するのにと思いました。
	まだ見えそうな粗大ごみなどは、リユースのシステムを作ればごみも減ると思います。

	意見、要望等
先端システムの導入	無駄を省いたゴミ処理に協力したい。先端のシステム導入のぞみます ごみ処理を市内で処理できないことが大きな課題であり、市自体で技術開発に力を注ぐべきだと思います。この問題が解決しない限り、つくば市の発展は望めません。この技術開発のために市民税が増えても協力致します。

(6) その他

	意見、要望等
ポイ捨て・不法対策、野焼き	ここ何年かで路肩に捨てられるごみは減ったように思われる。この状態が続くようにして欲しい。 地域の人達の「ごみ」対策への意識はある程度高くなっているように思う。但し、地元の人ではないが、夜間や人目のつかない場所で、ごみを不法に棄てる輩がいる。自分の所のごみを車に積んで、つくば市にやってきて棄てているようだ。道端に散乱しているのを時々みかける。腹が立つ。 住居周辺地域のポイ捨て、どうにかならないでしょうか。特に田んぼの周りのごみが多く、よく犬の散歩で歩くのですが、見ていて非常に不快です。不法投棄として刑を科して欲しいです。ポイ捨てで今までに見たもの：空き缶、ペットボトル、タバコ、ビニール傘、マックのごみ一式、惣菜のトレー、ビニール。 コンビニなどで食べた物を袋ごと道に捨てる人が増えている。 つくば市では自宅でごみを燃やすルール等、どうなっているのでしょうか？昔から住んでおられる方には甘いルールになっているのでしょうか？こういった方にはガマンしながらの生活になっています。 近所でブロックで作ってある焼却炉のような所で、毎週のようにごみを自宅敷地内で燃やしている人がいます。庭の木を伐採したものを燃やしているようにも見えますが、鼻につくような強い臭いがするので、明らかにプラスチックや家庭ごみも燃やしているのではないかと思います。燃やしている時は、私の家の窓は臭いの強さで開けられません。自分の車にも燃えかすが飛んでくる時もあります。パトロールをするなり、罰則をするなり、ルール違反者には強化すべきです。 不法投棄の取り締まりを強化して欲しい。
市・ごみ処理業者への感謝	暑い日も寒い日も収集して頂きありがとうございます。衛生的に生活できます。 いつもありがとうございます。快適な暮らしのために最も大切な部分だと思います。 ごみ処理をきちんとしていただきありがとうございます！今後も、環境を守るためのごみ処理をお願いします。市民としてできることは、したいと考えておりますが、まだまだフードロスなど、できてないことも多いことを、今回のアンケートで気づかせていただきました。 情報提供から回収までいつもご苦労様です。我が家も私を中心に分別を徹底しております。今後共細かいルールなどの情報を拾い上げ、ごみ出し、分別をして参りたいと思います。 ごみ処理の仕事に関わっている人の努力に感謝している。ありがとうございます。 私は市のゴミ処理を心から支持する。本当にありがとうございます！頑張ってください！ 時々このようなアンケート必要！！業者さん毎回ご苦労様です。 ゴミ収集車のスタッフのみなさん毎日ありがとうございます！
アンケート	今回、このようなアンケートを受けて、知らないことを知ることができた。例えば、家庭の家事を切り盛りするお母さん世代の人や、若い世代に啓発活動をして、アンケートに答えてもらうことで考えるきっかけができるのかなぁと思った。 今までゴミ処理は殆ど任していたが、このアンケートを機に、ゴミの分別・収集について勉強していきたい 当たり前の事を当たり前にしていればこうしたアンケートも要らないです。ご苦労様です。
その他	多額の納税をしているのに何の優遇もないのが不満。 雑紙を入れるための袋を入手しやすくしてほしい。 業者の包装は、最近体裁を整えるため必要以上に行っている傾向がみられる。このことはごみを増やす大きな要因の一つと考えられる。法律又は条例等によって、大幅に簡素化する処置をすることが重要（肝要）ではなかろうかと思う（包装は過度に過ぎるきらいがある）。 最終処分場は何としても自前のものを作らねばならないと思う。公平の観点から。 雑紙を入れる袋が欲しい。広報紙で手作りしている。

ごみに関するアンケート調査結果

《事業者》

1. アンケート調査項目

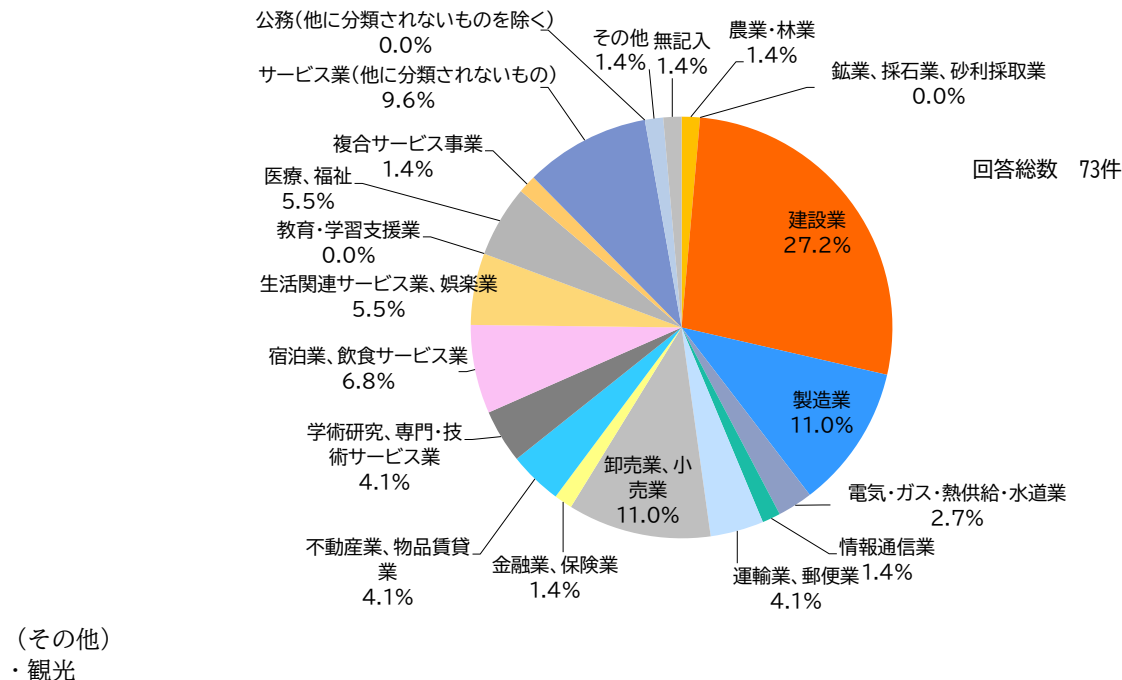
調査項目
1. あなたの事業所についてお聞きします。
1) 業種は次のうちどれですか。(1つ選択(複数の業種にまたがる場合は売上げの最も大きい業種1つ選択))
2) つくば市内での営業年数は何年ですか。(1つ選択)
3) 従業員は何名ですか。(役員、パート、アルバイト、契約社員等を含む。)(1つ選択)
4) あなたの事業所が立地する地区は次のうちどれですか。(1つ選択)
2. あなたの事業所から排出されるごみについてお聞きします。
1) 事業所から排出するごみの管理について教えてください。(量や分別、保管場所の管理等)(1つ選択)
2) あなたの事業所は、廃棄物管理責任者を定めていますか。(廃棄物管理責任者とは、廃棄物の減量及び適正な処理に関する業務を行う方のことです。)(1つ選択)
3) 事業系ごみの分別・処理方法は知っていますか。(1つ選択)
4) 事業所から排出されるごみをどのように処理していますか。(産業廃棄物を除く。)(1つ選択)
5) 事業所から排出されるごみの量を把握していますか。(1つ選択)
6) あなたの事業所で、排出量の多いごみは何ですか。(重量を把握していない場合は推測で構いません)(○は3つまで選択可)
7) ごみに関することで困っていることはありますか。(複数選択可)
8) あなたの事業所は、日頃からごみの減量や資源化に取り組んでいますか。(1つ選択)
【前問で「ア. 積極的に取り組んでいる」、「イ. ある程度取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。】 ごみの減量や資源化で具体的に取り組んでいることは何ですか。(複数選択可)
9) あなたの事業所で、ごみ減量や資源化を進めていくうえで主な問題点は何ですか。(複数選択可)
10) あなたの事業所で、ごみの減量や資源化に関してどのような情報が必要と考えますか。(複数選択可)
11) ごみの減量や資源化など、ごみに関する知識や情報は、主にどのようなところから得ていますか。(複数選択可)
12) 市のパンフレット「事業系廃棄物適正処理パンフレット」は知っていますか。(1つ選択)
13) 事業者が自ら市の処理施設(つくばサステナスクエア)に事業所から排出されたごみを搬入した場合にかかる、事業系ごみ処理手数料は適正ですか。(事業系ごみ処理手数料:10kgにつき190円)(1つ選択)
14) 事業所でごみの減量や資源化を推進するにあたり、市に期待することは何ですか。(複数選択可)
15) 【飲食サービス業や食品を扱う小売業、工場等の事業所の方にお聞きします】 あなたの事業所から排出する食品ロスの発生要因は何ですか。(複数選択可)
16) 【飲食サービス業や食品を扱う小売業、工場等の事業所の方にお聞きします】 食品ロスを出さないために実施していることはありますか。(複数選択可)
3. その他に市のごみ処理に関する意見、ご要望がありましたらご記入ください。

2. アンケート調査結果

1. あなたの事業所についてお聞きます。

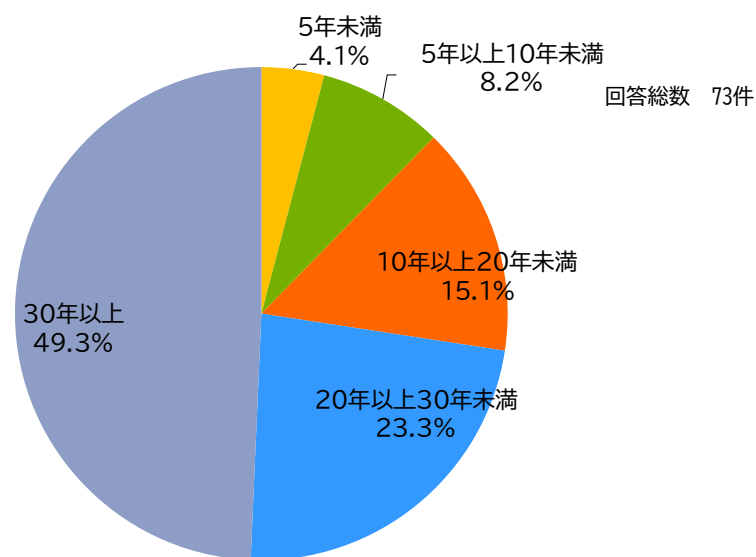
1) 業種は次のうちどれですか。

(1つ選択(複数の業種にまたがる場合は売上げの最も大きい業種1つ選択))



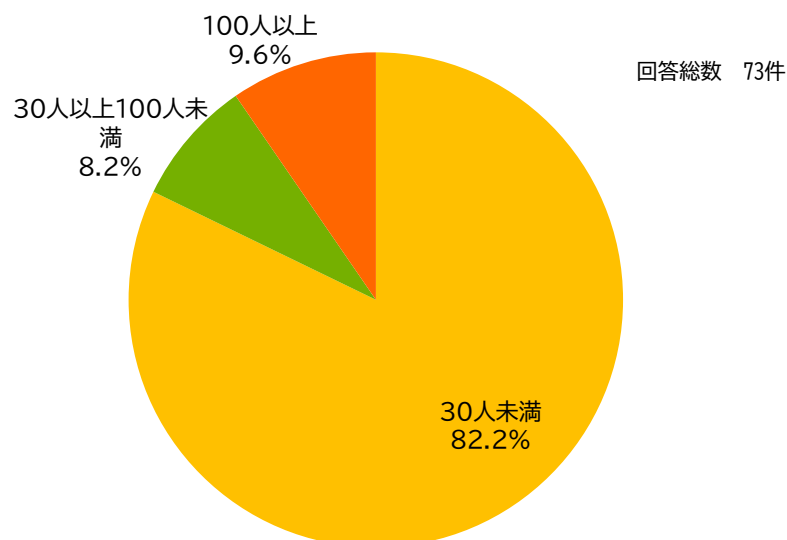
業種は、最も多い回答が「建設業」、次いで「製造業」、「卸売業、小売業」となっています。

2) つくば市内での営業年数は何年ですか。(1つ選択)



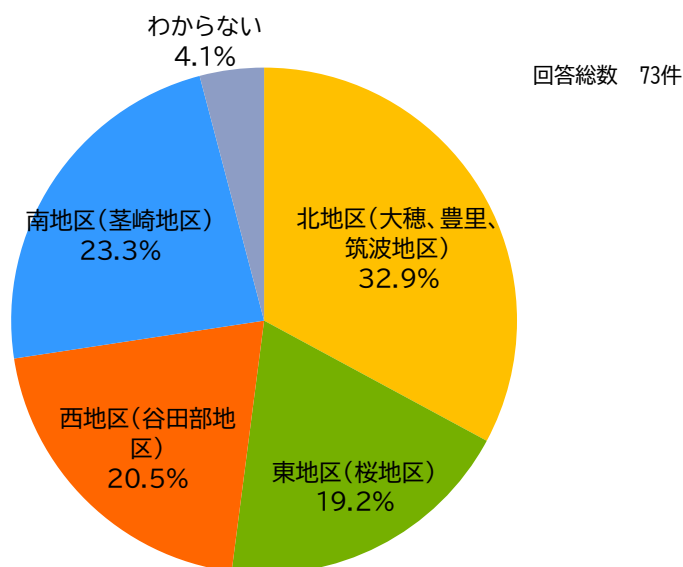
つくば市内での営業年数は、最も多い回答が「30年以上」、次いで「20年以上30年未満」、「10年以上20年未満」となっています。

3) 従業員は何名ですか。(役員、パート、アルバイト、契約社員等を含む。)(1つ選択)



従業員数は、8割以上が「30人未満」と回答しています。

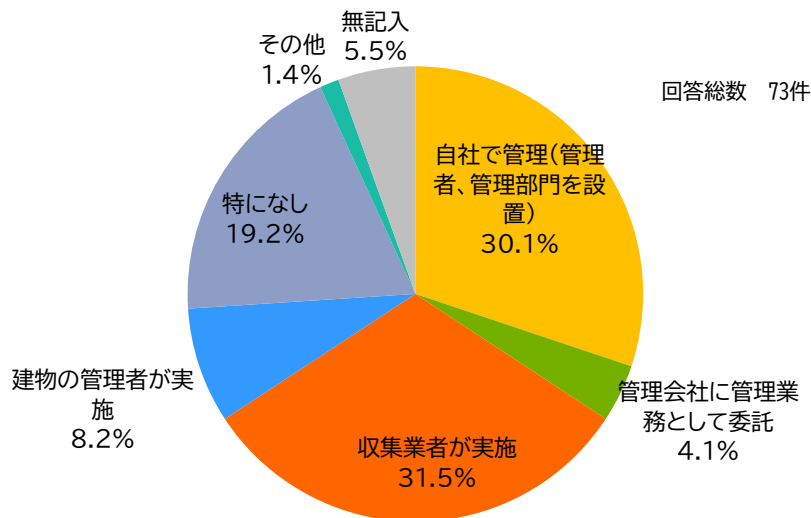
4) あなたの事業所が立地する地区は次のうちどれですか。(1つ選択)



地区は、4地区より満遍なく回答が得られています。

2. あなたの事業所から排出されるごみについてお聞きます。

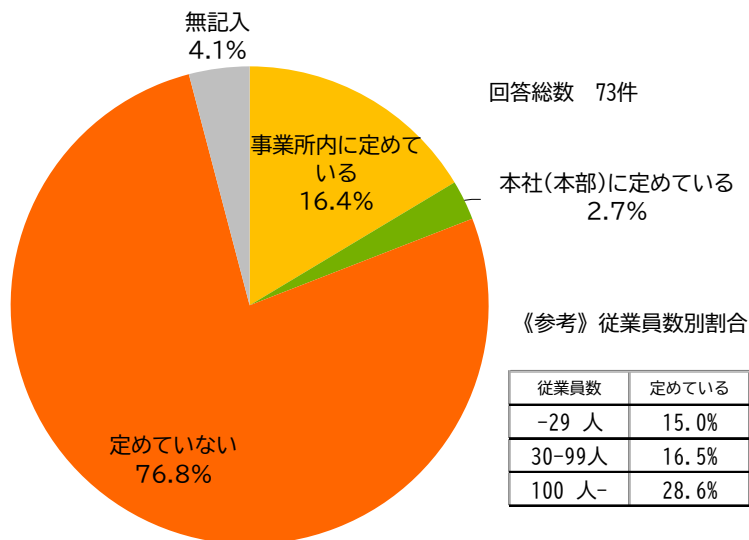
1) 事業所から排出するごみの管理について教えてください。(量や分別、保管場所の管理等)
(1つ選択)



(その他)
・元請事業所で管理

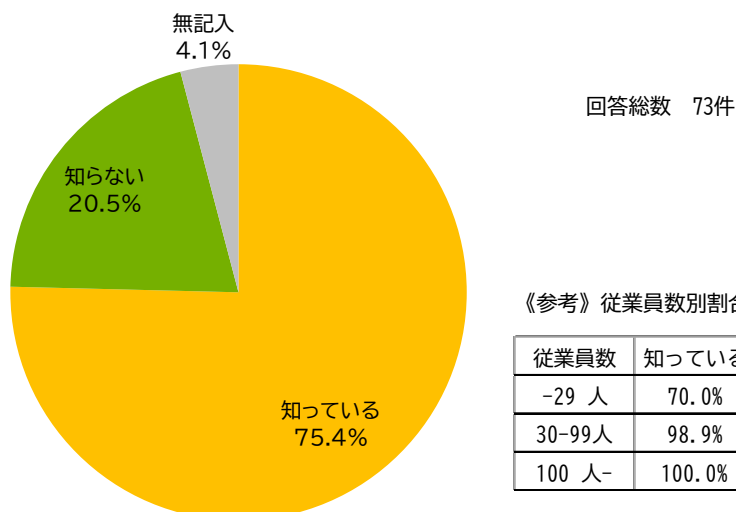
事業所から排出するごみの管理については、「自社で管理（管理者、管理部門を設置）」又は「収集業者が実施」が各々約3割となっています。

2) あなたの事業所は、廃棄物管理責任者を定めていますか。(廃棄物管理責任者とは、廃棄物の減量及び適正な処理に関する業務を行う方のことです。)(1つ選択)



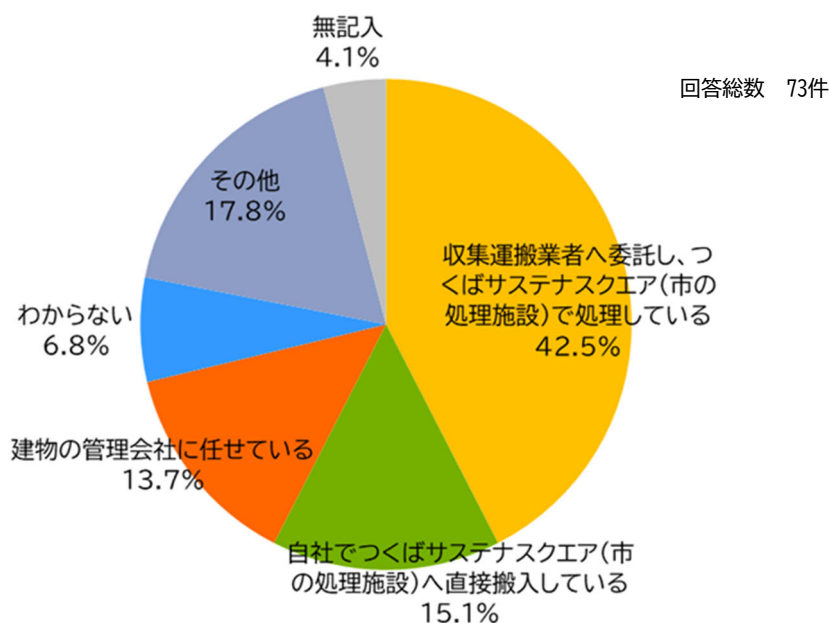
廃棄物処理責任者については、8割弱が「定めていない」と回答しており、「定めている」と回答したのは約2割でした。

3) 事業系ごみの分別・処理方法は知っていますか。(1つ選択)



事業系ごみの分別・処理方法について、約75%の事業所が「知っている」と回答しています。

4) 事業所から排出されるごみをどのように処理していますか。(産業廃棄物を除く。)(1つ選択)

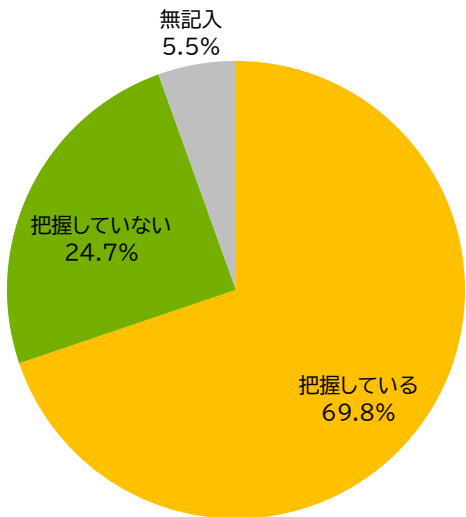


(その他)

- ・ 民間業者に処理を依頼

ごみの処理方法については、約4割が「収集運搬業者へ委託し、つくばサステナスクエア（市の処理施設）で処理している」、約15%が「自社でつくばサステナスクエア（市の処理施設）へ直接搬入」と回答しています。

5) 事業所から排出されるごみの量を把握していますか。(1つ選択)



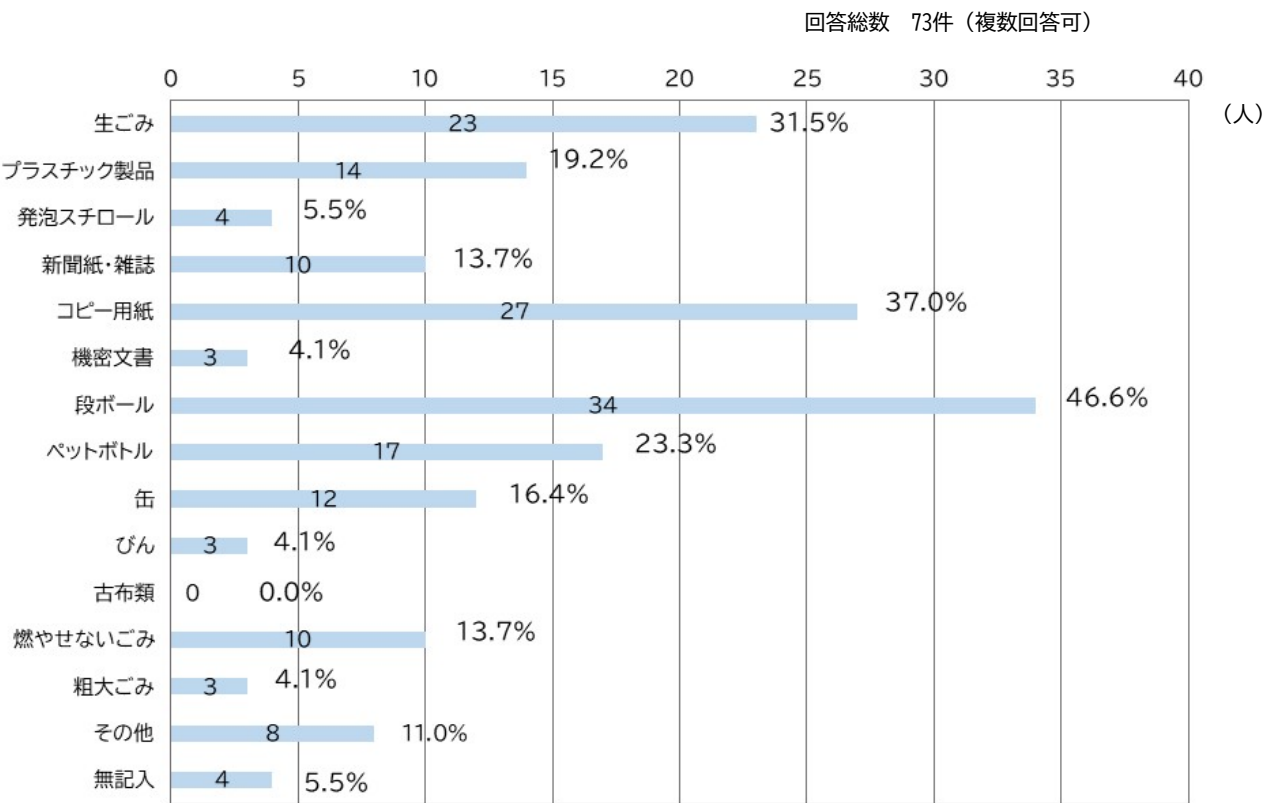
回答総数 73件

《参考》従業員数別割合

従業員数	把握している	していない	無記入
-29 人	73.3%	20.0%	6.7%
30-99人	50.0%	50.0%	0.0%
100 人-	57.1%	42.9%	0.0%

約7割が、事業所から排出されるごみの量を把握している、と回答しています。

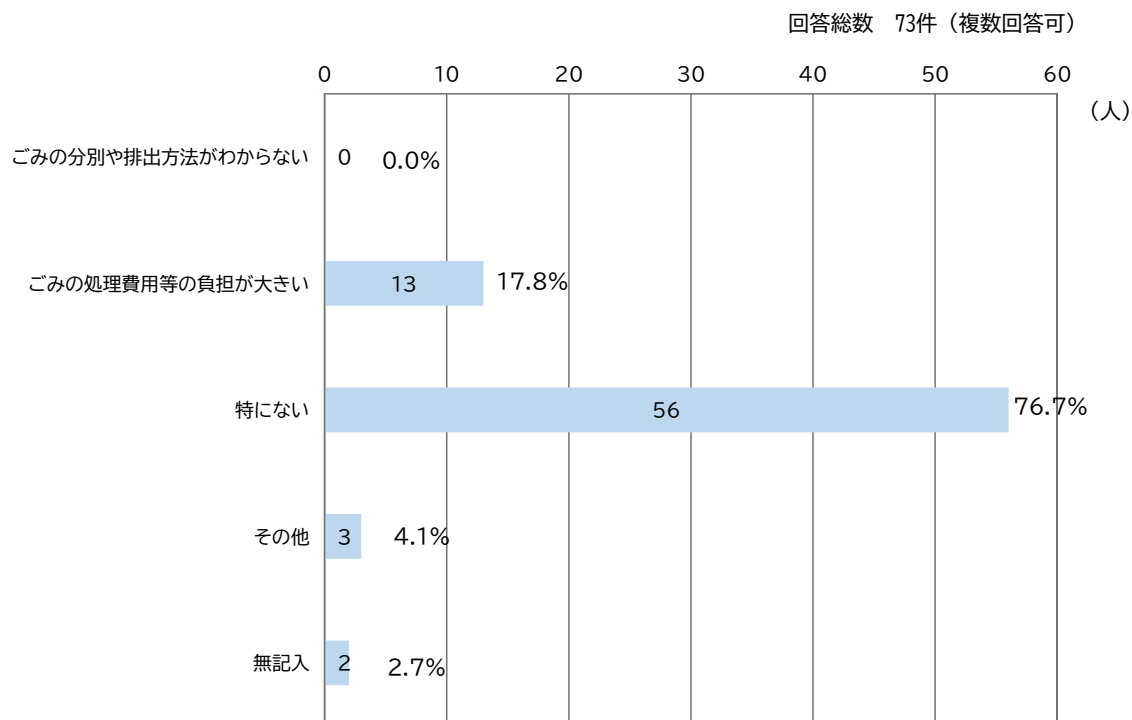
6) あなたの事業所で、排出量の多いごみは何ですか。(重量を把握していない場合は推測で構いません) (〇は3つまで選択可)



- (その他)
- ・リードペーパー (天然パルプ使用)
 - ・PC・プリンター
 - ・パレット等木材

事業所から排出される量の多いごみは、「段ボール」と回答した事業所が最も多く、次いで「コピー用紙」、「生ごみ」となっています。

7) ごみに関することで困っていることはありますか。(複数選択可)

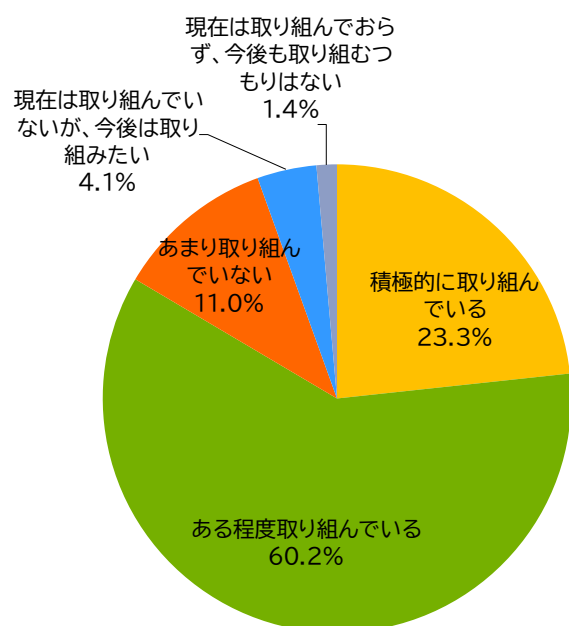


(その他)

- ・品目によっては処理できる場所が限られるため、地域格差がある。
- ・事業所内にごみを保管するスペースがない。

ごみに関することで困っていることは、8割弱が「特にない」で最も多く、約2割が「ごみ処理費用等の負担が大きい」と回答しています。

8) あなたの事業所は、日頃からごみの減量や資源化に取り組んでいますか。(1つ選択)



回答総数 73件

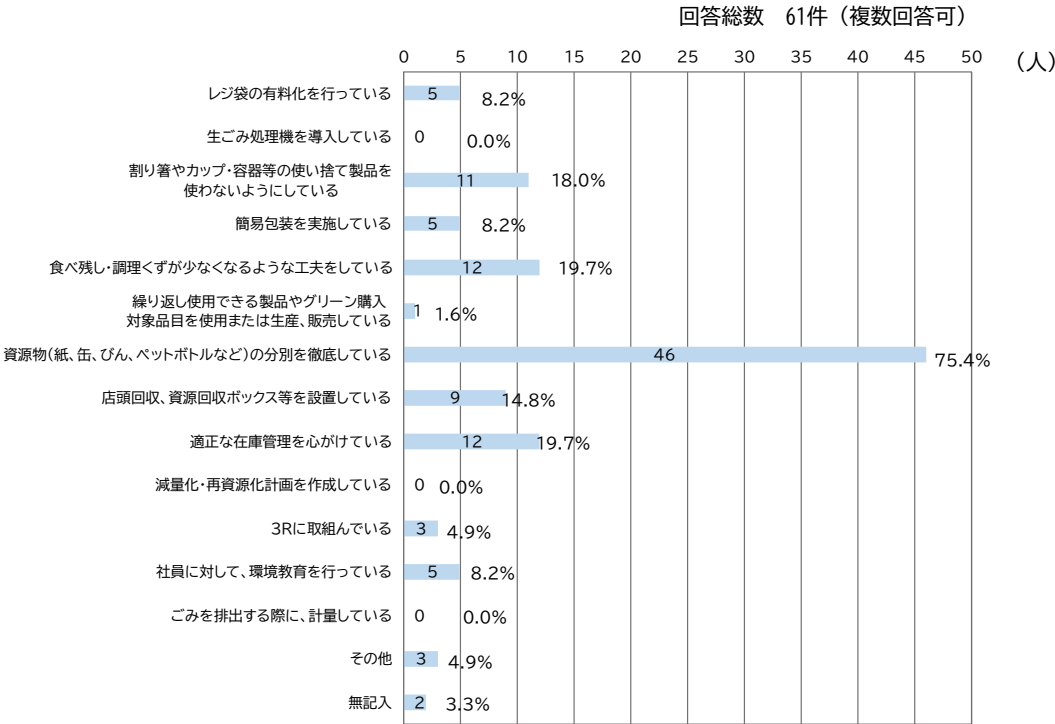
《参考》従業員数別割合

従業員数	積極的に-	ある程度-	あまり-	今後は-	つもりない
-29 人	23.3%	60.0%	10.0%	5.0%	1.7%
30-99人	16.5%	1.1%	82.4%	0.0%	0.0%
100 人-	28.6%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%

約8割が、積極的又はある程度ごみの減量や資源化に取り組んでいる、と回答しています。

【前問8）で「ア. 積極的に取り組んでいる」、「イ. ある程度取り組んでいる」と回答した方にお聞
きします。】

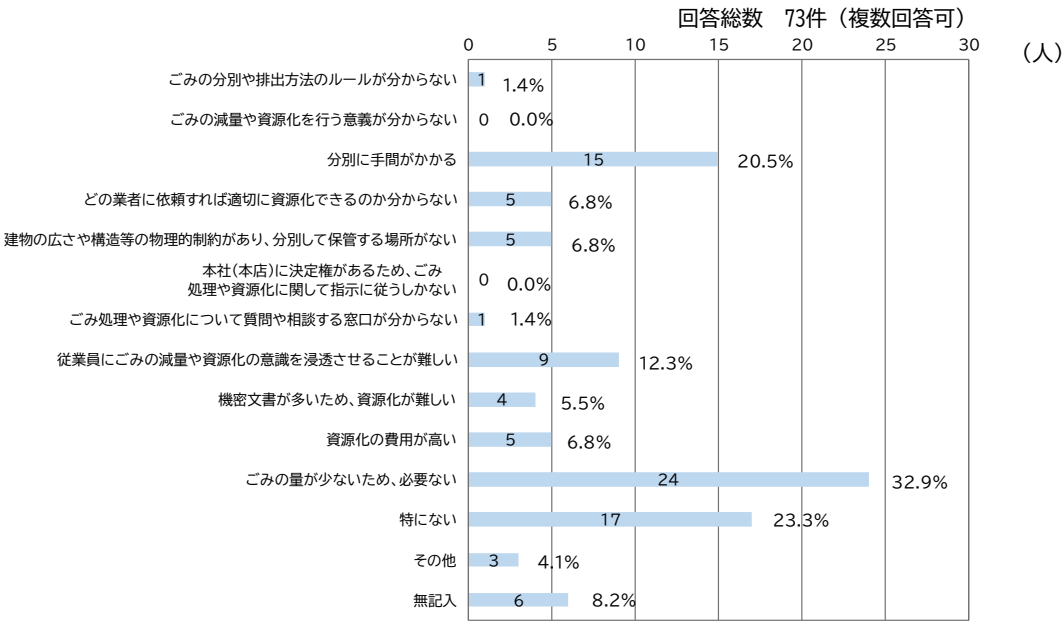
ごみの減量や資源化で具体的に取り組んでいることは何ですか。（複数選択可）



（その他）
・紙ごみ削減にむけた、デジタル化の推進。

事業所でごみの減量化や資源化で取り組んでいることは、「資源物の分別の徹底をしている」が最も多い回答となっています。

9）あなたの事業所で、ごみ減量や資源化を進めていくうえで主な問題点は何ですか。（複数選択可）

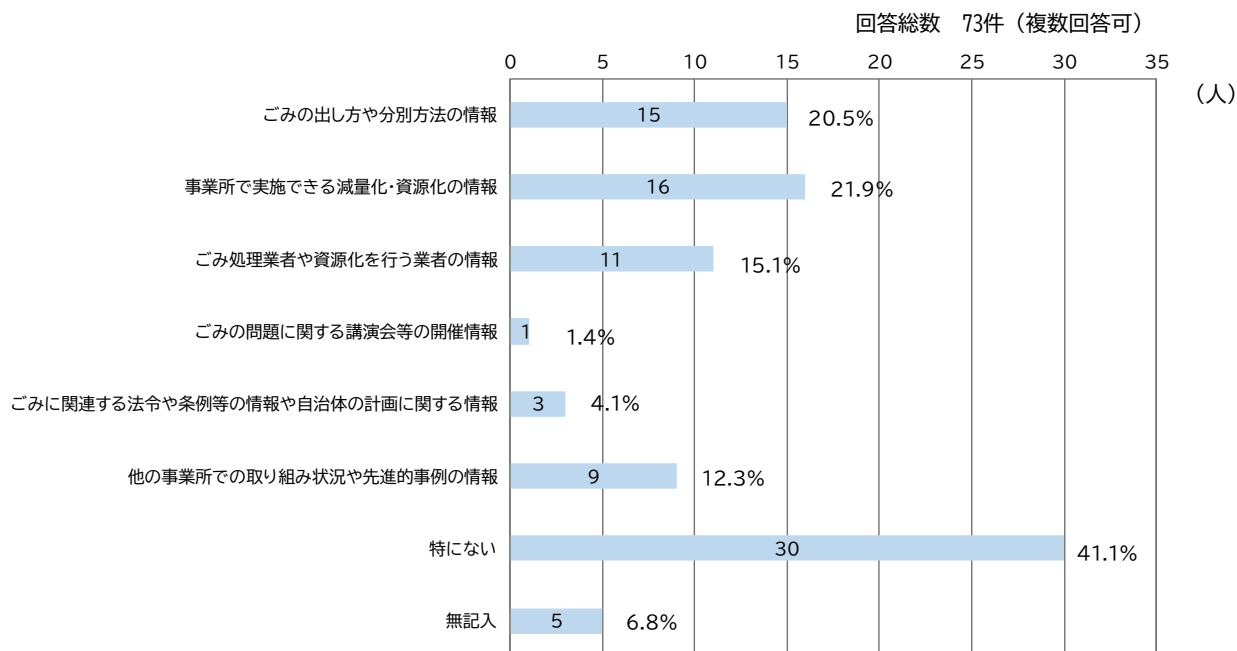


（その他）
・お客様が排出するものはコントロールが不可能。
・ごみ処理センターの受け入れの簡略化。

事業所でごみの減量や資源化を進めていくうえでの問題点は、「ごみの量が少ないため、必要ない」「特にない」が多い回答となっています。問題点としては、「分別に手間がかかる」「従業員にごみの減量や資源化の意識を浸透させることが難しい」が指摘されています。

10) あなたの事業所で、ごみの減量や資源化に関してどのような情報が必要と考えますか。

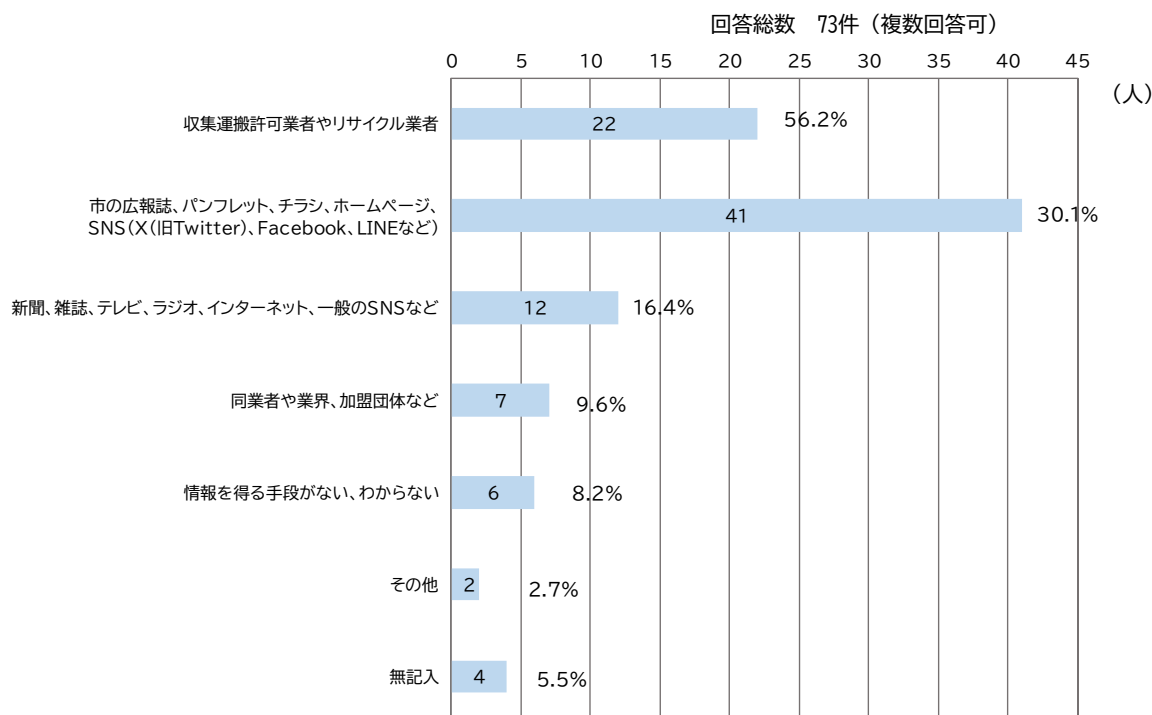
(複数選択可)



事業所でごみの減量や資源化に関して求められている情報は、「事業所で実施できる減量化・資源化の情報」、「ごみの出し方や分別方法の情報」の2つが多く、次いで「ごみ処理業者や資源化を行う業者の情報」、「他の事業所での取組状況や先進的事例の情報」となっています。

11) ごみの減量や資源化など、ごみに関する知識や情報は、主にどのようなところから得てますか。

(複数選択可)

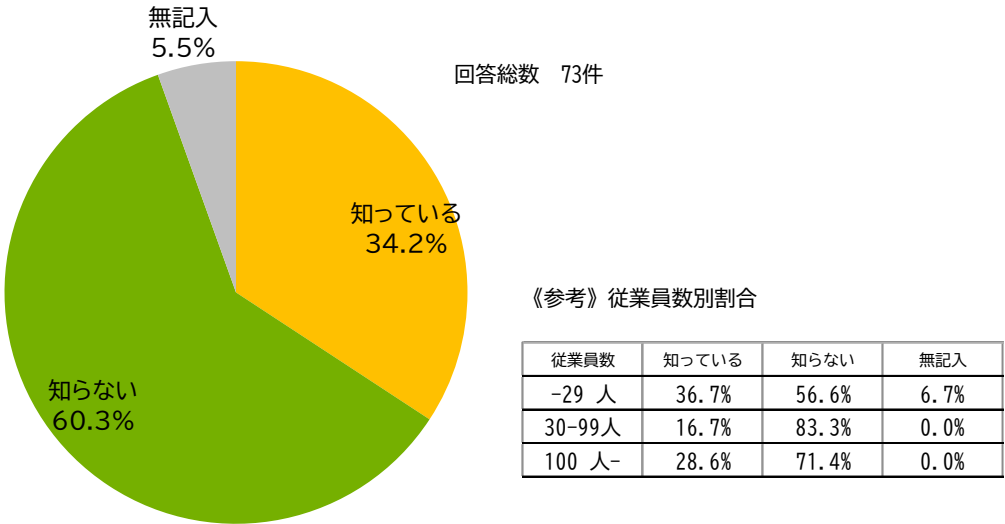


(その他)

- ・自治会
- ・海外の親会社

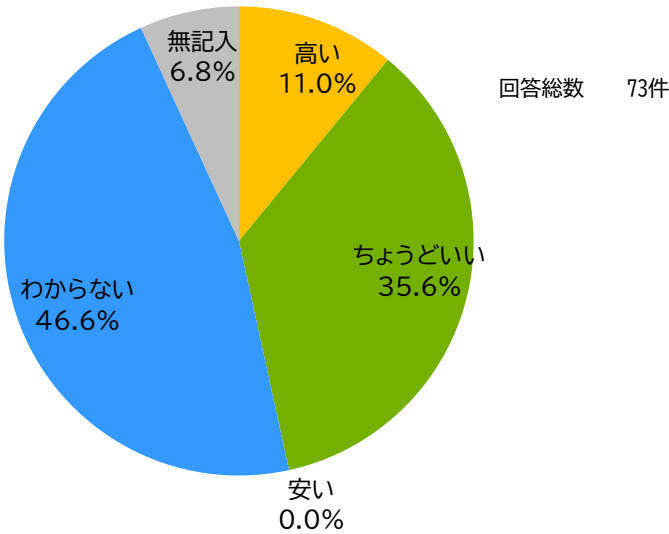
ごみに関する知識や情報は「市の広報誌、パンフレット、チラシ、ホームページ、SNS (X (旧Twitter)、Facebook、LINEなど)」から得ているが最も多く、次いで、「収集運搬許可業者やリサイクル業者」、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット、一般のSNSなど」となっています。

12) 市のパンフレット「事業系廃棄物適正処理パンフレット」は知っていますか。(1つ選択)



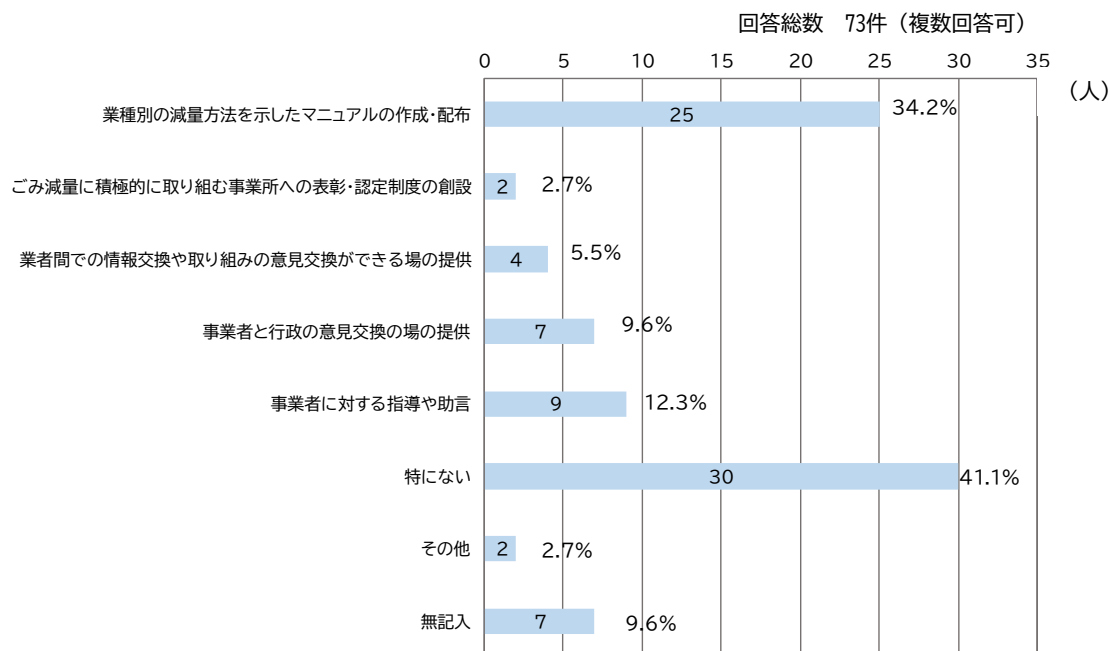
約6割の事業所が、事業系廃棄物適正処理パンフレットを「知らない」と回答しています。

13) 事業者が自ら市の処理施設（つくばサステナスクエア）に事業所から排出されたごみを搬入した場合にかかる、事業系ごみ処理手数料は適正ですか。(事業系ごみ処理手数料：10kgにつき190円) (1つ選択)



事業系ごみ処理手数料について、最も多かったのは「わからない」という回答で、4割弱が「ちょうどいい」と回答しています。

14) 事業所でごみの減量や資源化を推進するにあたり、市に期待することは何ですか。(複数選択可)

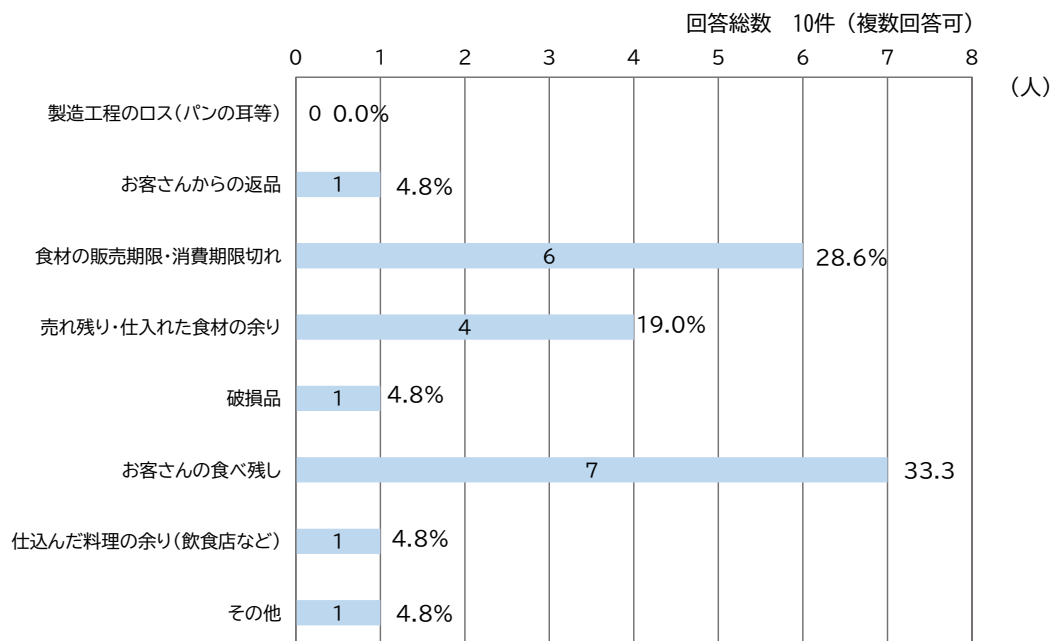


(その他)

- ・【何】を【どこ】に【いつ】【どうやって】持っていき、または回収を頼み【いくらで】できるか事業者が分かるようにする事で判断するまでの無駄な時間と労力を防ぐ事。
- ・ごみ処理に関わる職員の態度の改善。

ごみの減量や資源化を推進するにあたり、市には、「業種別の減量方法を示したマニュアルの作成・配布」、「事業者に対する指導や助言」などが求められています。

15) 【飲食サービス業や食品を扱う小売業、工場等の事業所の方にお聞きします】 あなたの事業所から排出する食品ロスの発生要因は何ですか。(複数選択可)

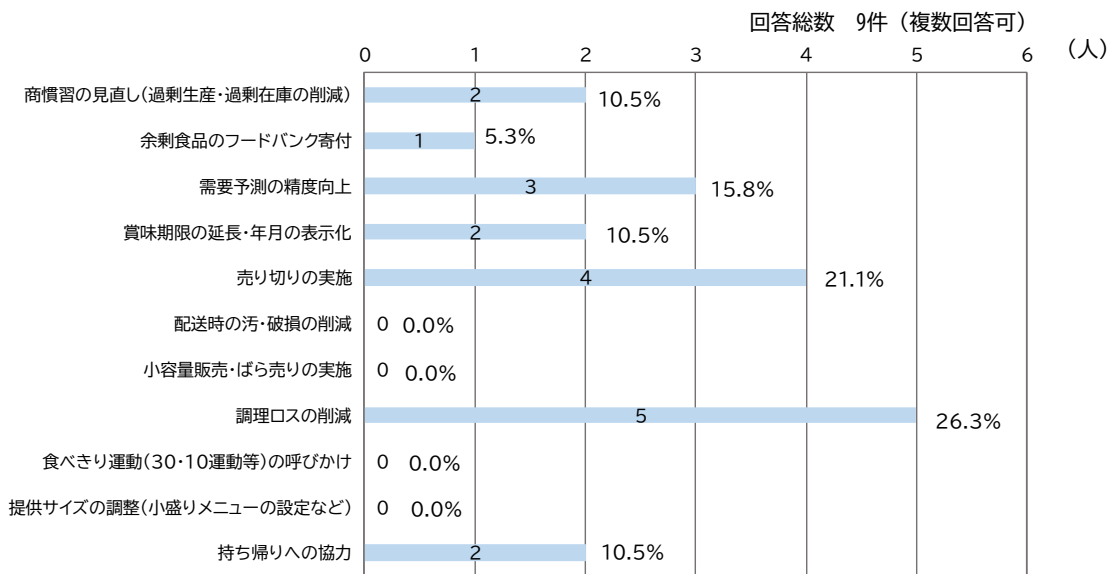


(その他)

- ・製品等、包装された後の残らず類。

食品ロスの発生要因は、「お客さんの食べ残し」、「食材の販売期限・消費期限切れ」が多くなっています。

16) 【飲食サービス業や食品を扱う小売業、工場等の事業所の方にお聞きします】
食品ロスを出さないために実施していることはありますか。(複数選択可)



食品ロスを出さないために実施している取り組みとして、「調理ロスの削減」「売り切りの実施」「需要予測の精度向上」などの回答があります。

3. その他に市のごみ処理に関する意見、ご要望がありましたらご記入ください。

(※回答いただいたアイデアや意見等については、カテゴリー別に整理し、主なものについて、一部の表現を除き、原文のまま記載しています。)

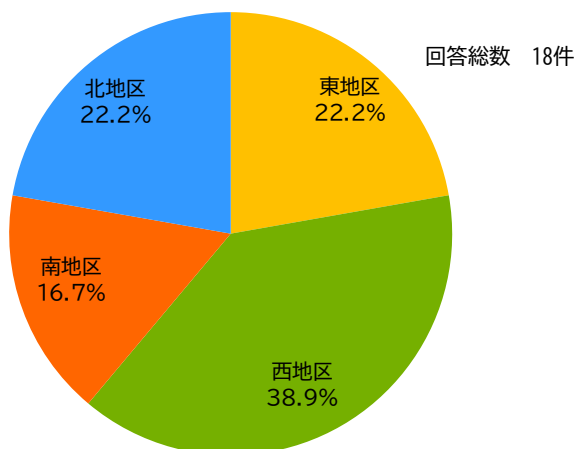
	具体的な対策・対応
意識向上	自らが排出量を減らすことはできるが、お客様がお店にゴミを持ち込むことが、ほぼ80-90%あるため、その部分に対する行政の強い指導が必要。これは「親を見て子供が真似する」ので、教育現場への行政からの指導が必要だと思います。 コンビニのゴミ箱は本来、お店で購入し消費した商品のゴミのみを受け入れるものです。コンビニのゴミ箱についてコンビニへ指導したところで、なす術はありません。コンビニのゴミの量を減らすと、全体のゴミの量へ大きく影響があると思います。
その他	法人向けに粗大ごみの収集を行って欲しい。 サステナスクエアではすぐに何の施設か分かりにくい。 ごみ処理料金はもう少し安くないか。 事業用ごみの受入を簡単にしたい。 大型ごみの直接搬入の受入を簡単にしたい。 店舗で、カン、ビン、ペットボトルを分別していますが、回収業者の方より「分別しても、しなくても一緒に捨てるので分別しなくてもよい」と言われて、家庭ゴミとの違いに驚いています。

ごみに関するアンケート調査結果

《収集運搬業者（委託業者）》

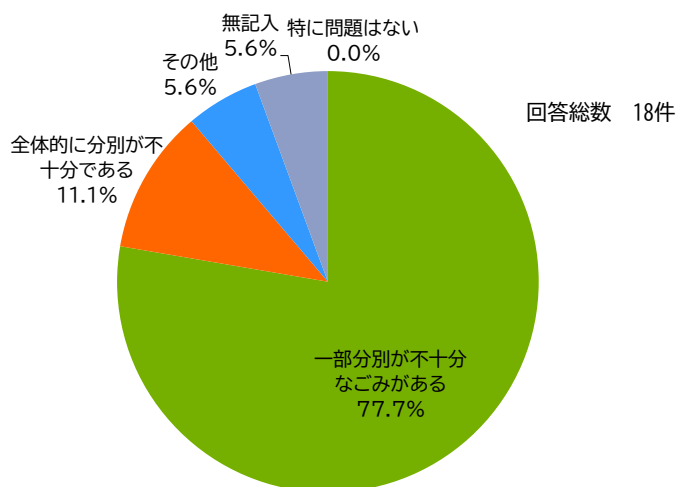
1. アンケート調査結果

1) 生活系ごみの収集を行っている地区はどこですか。（1つ選択）



回答した収集運搬委託業者は、東地区から北地区まで市内の全ての地区を網羅しています。

2) 収集を行っている集積所におけるごみの分別状況はどうですか。（1つ選択）



（その他）

・少ないけど全体的です。

集積所における分別状況は、約9割が、「分別が不十分である」（「一部分別が不十分なごみがある」又は「全体的に分別が不十分である」）、と回答しています。

3) ごみの収集地区において、分別状況が良い地区及び改善が必要な地区はどこですか。 （複数回答可）

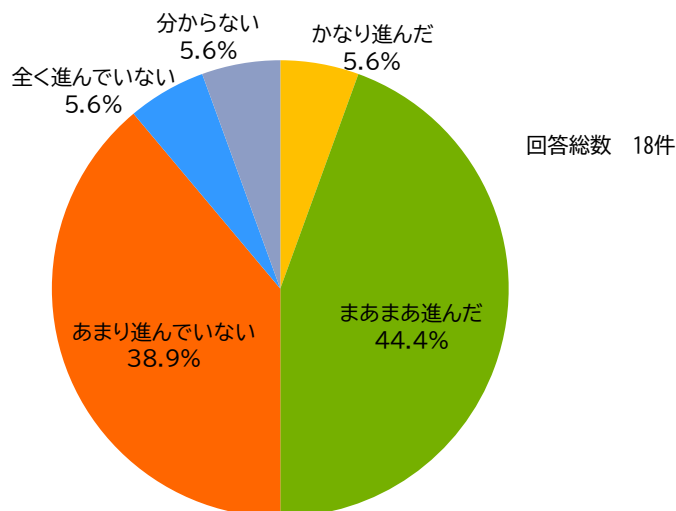
※本設問に対する回答は、非公表とします。「改善が必要な地区」については、今後重点的に対策を講じていきます。

4) 分別状況を改善するためにどのような対策・対応が必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

(※回答いただいたアイデアや意見等については、カテゴリー別に整理し、主なものについて、一部の表現を除き、原文のまま記載しています。)

	具体的な対策・対応
指定袋	コストは掛かるが各項目ごとに袋の色を変える。例) もやせるごみ→白、もやせないごみ→赤、缶→黄色など。誰もが一目で分かる！間違いが住民にもすぐ分かるから！ ごみの指定袋を学生や外国人用に小さめで安価な物を作ってもらって、使ってもらいたい。 ごみ指定袋を含め、透明・半透明にして欲しい。中身が確認できることで、効率、安全性が良くなり、又、排出する住民の分別意識も向上すると思われます。 燃えないごみを回収する際に、コンビニ等の小容量の破れやすい袋を使用する方が多いため、専用袋を導入して欲しいです。
指導の徹底	アパート管理業務を徹底して住民に注意してもらう（いつでもごみが出ていて回収がしづらい。可燃も不燃も）。ペットボトルの分別のお願い。 自治会と廃棄物対策課で分別について話し合う。 ステッカーを貼り、状況の説明。ごみ袋を透明もしくは半透明の中が見える袋に変える。自治会やアパート等の管理・指導の徹底。つくば市から指導・管理の徹底。 自治会や班等で徹底してもらう。ルールを守るように自治会で伝えてもらう。
周知の徹底	ごみカレンダーや回覧板では直らないので、各集落で集まって話し合いをしてもらうとか、個人まで浸透するようにして欲しいです。 自治会長・区長さんなど代わったタイミングで分別や収集時間・曜日等の周知徹底。 個人の分別意識を高めるための啓蒙活動の促進。 収集カレンダーと分別表をごみ庫に掲示を義務化して欲しいです。
収集ルールの徹底	分別されていないごみ袋を収集しないことを徹底する。 ルールを守るように自治会で伝えてもらう。 ごみ庫が二つ以上ある場合には、左右違う回収物を入れるようにして欲しい。例：右が缶・左がプラ、右がびん・左がスプレー。 警告書で対応と思います。
責任者の配置	管理人や自治会で管理されている集積所は良いが、学生が多い所など、全くできていない（分別が）所が多い。また、種目が違う曜日に出されてしまっていることが多い。各集積所全てに責任者を設ける。各自治会や管理人の責任において、ごみを出してもらう。

5) つくば市民の分別に対する意識や取組はこの5年間で進んだと思いますか。（1つ選択）



つくば市民のごみ分別に対する意識や取組は5年間で、約半数が進んでいる（「かなり進んだ」、「まあまあ進んだ」）、と回答しています。

6) 生活系ごみの分別及び収集運搬に関する意見等について、ご自由にお書きください。

(※回答いただいたアイデアや意見等については、カテゴリー別に整理し、主なものについて、一部の表現を除き、原文のまま記載しています。)

	具体的な意見等
排出時間の遵守	時間外に出す所があります。
	後出しがいまだに絶えない。後出しされることで、ドライバーが回ったかどうかの証拠がなく、確認がとれないため、紛らわしくなり、トラブルにも繋がる。誰かが出してしまうと、まだ回ってきていないと思われ、更に後出しが続く。
	高齢者の後出し。
	できれば時間は守ってごみを出してもらいたい。
分別徹底	基本的に全体のごみの分別がなっていない（特に新住民）。透明の袋に変更。
	大部分の住民は「ごみの分け方・出し方ガイド」に従い、ごみを出していますが、一部の市民が不適切な出し方（分別なし、ライター、ガスボンベ等をガスが残ったまま出すなど）をすることが見受けられます。その様な方は警告シールを貼って注意を促しても、改善してくれない事が多いので、困ります。
	きちんと分別して出す市民と適当に分別して出す市民を同じように収集することは、きちんと分別して出す気持ちが薄れるような気がする。
	可燃ごみの中にびん、缶等が混入されている場合があります。
排出ルールの遵守	袋の口をきちんと縛って欲しい。ダメな品物を置いてくると、市民から苦情が来るが、黄色のシールを全てに貼っていたらキリがない。畑に草や枝を出されて、凄い数の袋になっている時がある（ルールを守らない）。
	筑波地区は指定の袋に入れていなかったり、段ボールに入れている人がいます。収集しないと苦情があり、収集にいくような事になり手間がかかり大変になるため、収集しています。
	アパート等の貸家が比較的マナーが悪い印象。指定袋未使用や指定日以外のごみ出し、袋の口を縛らない、袋に入れずにそのままごみ庫に放置、警告シールを貼ったまま放置。不動産会社に対しての周知徹底をお願いします。
収集日の遵守	収集日の間違い。
	北地区は住民の目の届かない所に集積所があるため、指定日以外にごみを出す事が可能である。なので、常時複数の種類のごみが出ている状態で回収が困難である。
市民モラルの改善	回収している時、停車回収しているのに、クラクション・罵声があり、幅寄せをしながら通行していくのをやめて欲しい。収集場所の前に車を停めてほしくない。
	住民のパワハラ、工事業者のパワハラ。
集積所の改善	ごみ集積場が上から網だったり、横を開けたり、低い姿勢でしかとれなかったりして体が辛い。ごみ箱のフタのエアが抜けて壊れていて、頭に落ちてきてケガをしそうになる事がよくある。

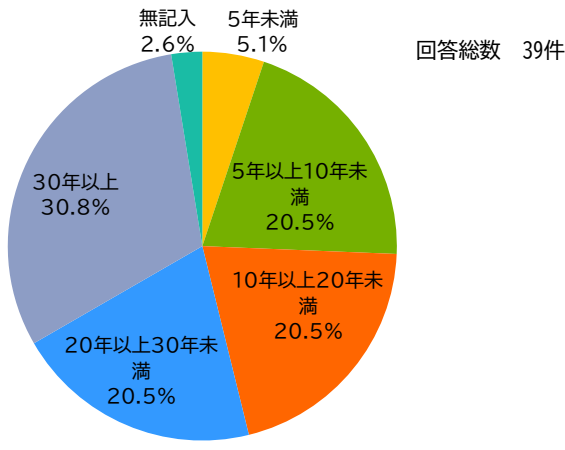
ごみに関するアンケート調査結果

《収集運搬業者（許可業者）》

1. アンケート調査結果

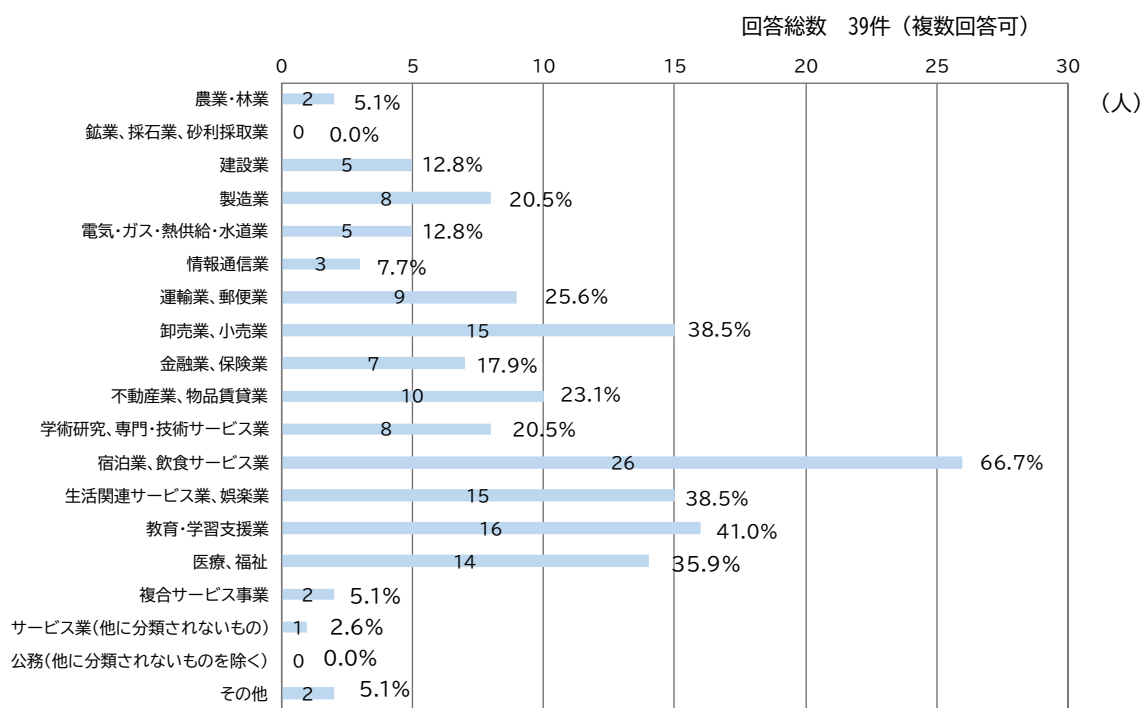
1. あなたの事業所についてお聞きます。

1) つくば市一般廃棄物処理業の許可を取得してからの年数は何年ですか。（1つ選択）



一般廃棄物処理業の許可を取得してから、「5年以上」の事業所が9割以上となっています。

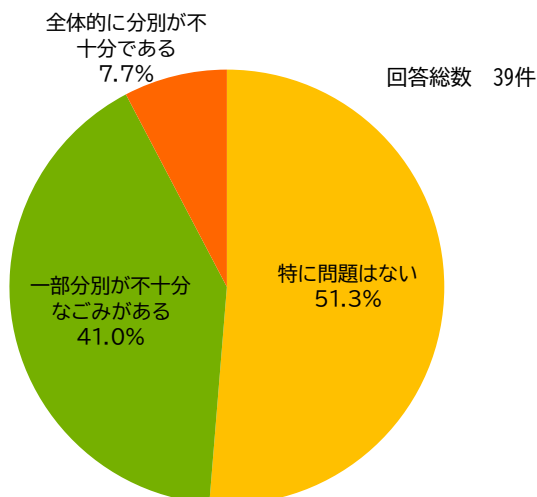
2) つくば市内における契約事業所の主な業種を教えてください。（主な業種に○（複数選択可））



(その他)
・官公庁
・ゴルフ場

契約事業所の主な業種は、「宿泊業、飲食サービス業」が最も多く、次いで、「教育・学習支援業」、「卸売業、小売業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「医療、福祉」となっています。

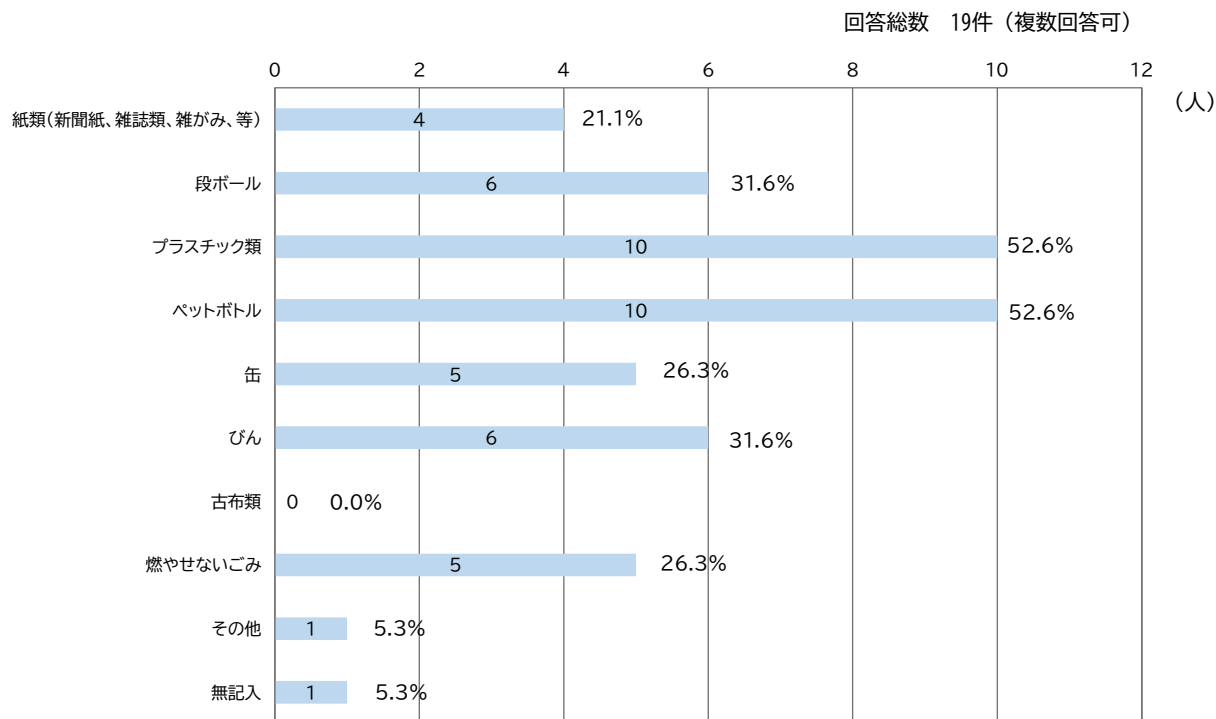
3) つくば市内の契約事業所から排出されるごみの分別状況はどうか。(1つ選択)



事業所から排出されるごみの分別状況については、「特に問題はない」と「分別が不十分である」（「一部分別が不十分なごみがある」又は「全体的に分別が不十分である」）の回答が二分する結果となっています。

【前問3)で「イ. 一部分別が不十分なごみがある」または「ウ. 全体的に分別が不十分である」と答え
た方】

具体的にどういったものの分別が不十分ですか。(複数選択可)



(その他)

・乾電池（おもちゃの中に入っている等）

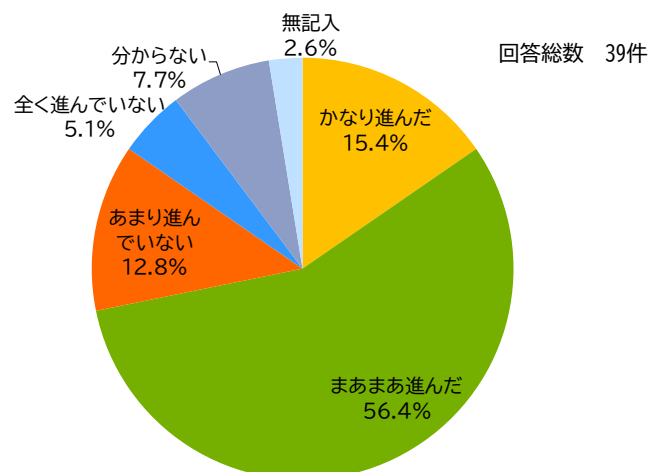
分別が不十分なごみは、「プラスチック類」「ペットボトル」が最も多く、次いで「段ボール」「びん」、「缶」及び「燃やせないごみ」の順になっています。

4) 分別状況を改善するためにどのような対策・対応が必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

(※回答いただいたアイデアや意見等については、カテゴリー別に整理し、主なものについて、一部の表現を除き、原文のまま記載しています。)

	具体的な対策・対応
指導の徹底	市から関係各所への分別の説明（廃棄物に関して、業者含め知識、法令の認識が無いので）。
	排出事業者へ、より一層分別しないと、処理できないことを指導して欲しい。
	事業系排出業者へ分別の徹底周知を市役所で行って頂きたい。
	お客様に分別の大切さを分かってもらい、何度も指導すること。
	複数店舗展開によるごみ管理会社への指導をお願いします。
	契約事業所への分別への注意喚起はもちろんのこと、自社従業員への分別収集の指導や教育も必要であると考えます。
	自社で契約事業所への資源回収の協力をお願いし、理解を得るよう努力したい。
	ごみの受入れ側（つくばサステナスクエア）も、燃やせないごみから資源ごみとしての搬入を運転手に指導して頂くことも必要かと思われます。
	契約者に対して分別等の注意をし過ぎると、分別意識が低い（知識が乏しい）収集業者を探し、別の収集運搬業者に契約を切り替えられてしまう事例が多々あります。収集運搬許可業者数が多く、排出事業者が委託先を切り替えやすいことにも問題があるように思えます。
周知の徹底	口うるさく言う業者は変更すれば良いという認識を持った経営者もいる。
	収集会社の検査を継続的に進めるだけでなく、悪質性がある排出事業者に対しては、直接指導する事を検討してください。
	新規の方への案内を市からしてもらう。
	こまめに事業所側へ口頭にて分別の説明をしている。
	一時的には直してくれるが、又すぐに戻るので、何度も説明を行う努力は会社全体でしている。
意識向上	事業所様に分別の徹底をお願いし、出せるごみの種類を再度周知する。
	一分別不十分事業所に対しての分別の呼び掛け。
	ごみの分別の簡易パンフレットの配布。
指定袋の作成	契約事業者様に分別の徹底を行ってもらう。
	現状、弊社では分別されていないごみは収集しない旨、各事業者に伝え、実際に分別されていないごみは収集を行っていません。
サステナスクエアでの受入拒否	分別を行わないと、捨てる事ができないという意識を持ってもらう事ができたら良いと思います。
	プラスチックとペットボトルが混在している、缶・びん・ペットボトルが1つの袋で出されているなど、間違った認識で分別されている事業所が多く見受けられる。
	出されている物が誤っていた場合は、回収時都度回収できない理由が分るシール等を貼り、事業所に正しい認識を持ってもらう事が必要。
その他	事業所ごみ専用の袋作成。
	ごみを出す袋についても色々で、他の自治体の物を使用している事業所もある。正しく出されているか内容物を目視できた方が良いと考えるので、透明の袋に統一する等の対応が必要。
	分別方法の周知。
分別ができない事業者の特定、及び受入拒否	都度、伝えてはいるが、サステナスクエアから受入拒否などされていないため、それぞれの事業所で認識がされない。
	分別ができていない事業者の特定、及び受入拒否。
その他	コンビニの場合、ごみ箱を店内に置く。
	行政の協力

5) つくば市内の契約事業者の分別に対する意識や取組はこの5年間で進んだと思いますか。
(1つ選択)



この5年間における契約事業者の分別に対する意識や取組は、7割以上が「進んだ」（「かなり進んだ」又は「まあまあ進んだ」）、と回答しています。

6) 事業系ごみの分別及び収集運搬に関する意見等について、ご自由にお書きください。

(※回答いただいたアイデアや意見等については、カテゴリー別に整理し、主なものについて、一部の表現を除き、原文のまま記載しています。)

	具体的な意見等
分別徹底	分別の意識付け及び実施をつくば全体で行っていく事は大変な苦勞ですが、役所と業者で協力して改善していくべき事項であると思います。 個別に事業者へもっとごみの分別について、市から直接アプローチをかけて、徹底してもらうなど対策が必要。 産廃と一般廃棄物の線引きができていないので、これからも分かりやすく市から事業者へアプローチして欲しい。 企業意識が高いところは、分別に協力的だが、個人商店や小規模企業は分別がされていないものもある。 分別を細かくすると、収集運搬コストもかかるので、なかなか理解されない。
市の指導の強化	産廃になるようなごみに関しては、市から強く指導してもらった方がありがたい。 環境意識が高かったり、規模の大きい会社ならば聞き入れてもらえるが、小さいところや個人はなかなか難しかったりするのが現況です。 サステナスクエアでのごみの検査を増やす。 ごみ管理会社への指導。プラごみを一般ごみで出せると思っている。
その他	収集運搬事業者とつくばサステナスクエア、環境衛生課との共通の認識が必要であり、実態の把握や意見交換の場を多くして、協力し合うことが必要だと思います。 「サステナスクエア搬入予定事業所届出書」を提出する意味が分からない。近隣の他市町村からは、求められていません。許可更新時の「収集予定事業所一覧表」とは何が違うのでしょうか。また何に役立っているのでしょうか。役立っているのであればフィードバックしてください。許可更新時の提出書類を簡略化できませんか。近隣の他市町村で一番多いです。 土曜・祝日の搬入時に時間がかかる事が多く、一般の方の入場の動線を変える、もしくは台貫をもう一台追加して欲しいです。 付随して土曜日の搬入を一日開けて欲しいです。 分別に対する意識は良くなっている。

1
ごみ処理の現状

2
ごみ組成分析調査

3
アンケート調査

4
県内自治体比較

5
施策の実績・評価

6
ごみ量の将来予測

7
改定の経緯

4. 県内自治体との比較

4-1. ごみ排出量

(1) ごみ排出量（1人1日当たりのごみ排出量）

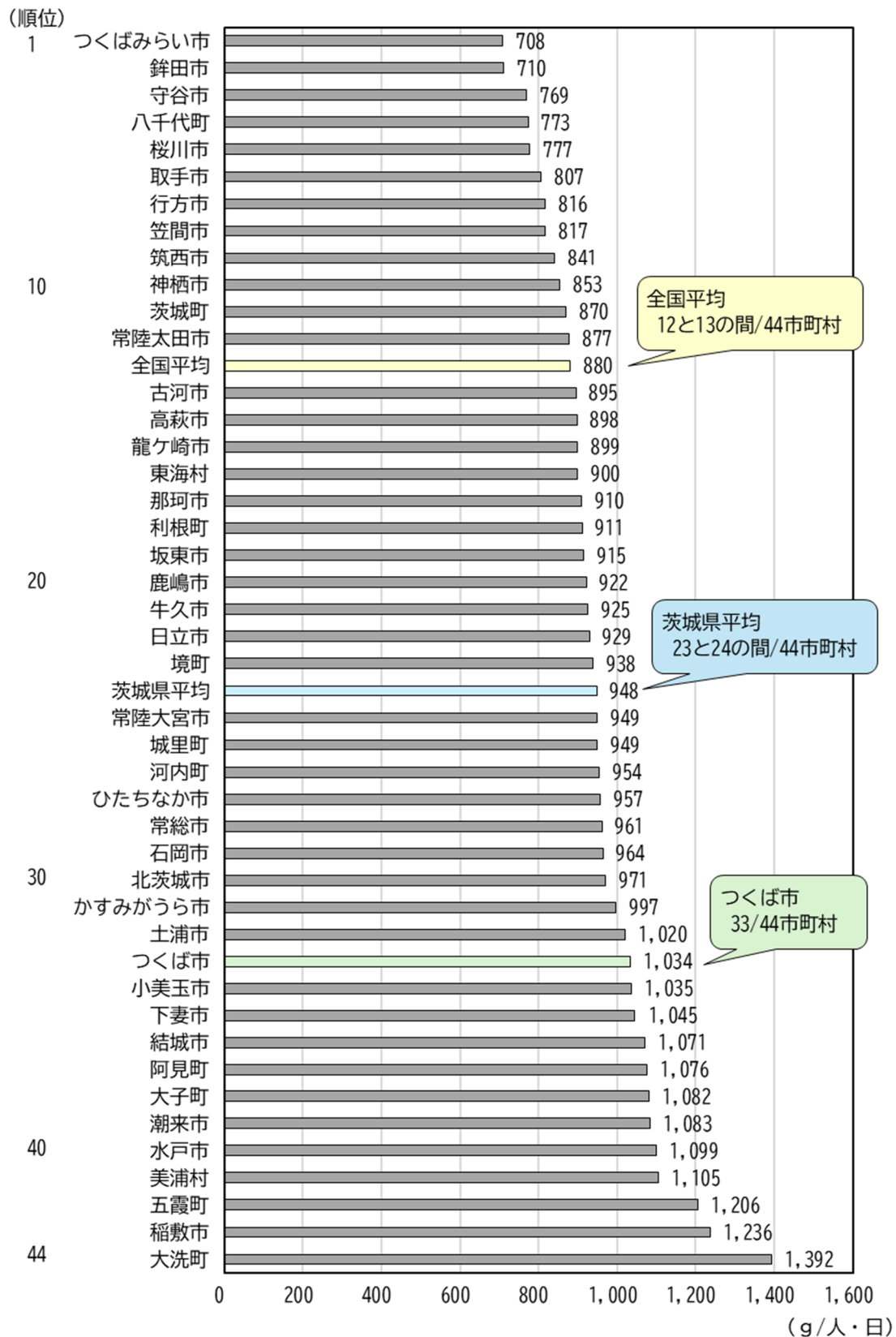


図 4-1 1人1日当たりのごみ排出量（令和4年度実績）

(2) 生活系ごみ排出量 (1人1日当たりの生活系ごみ排出量)

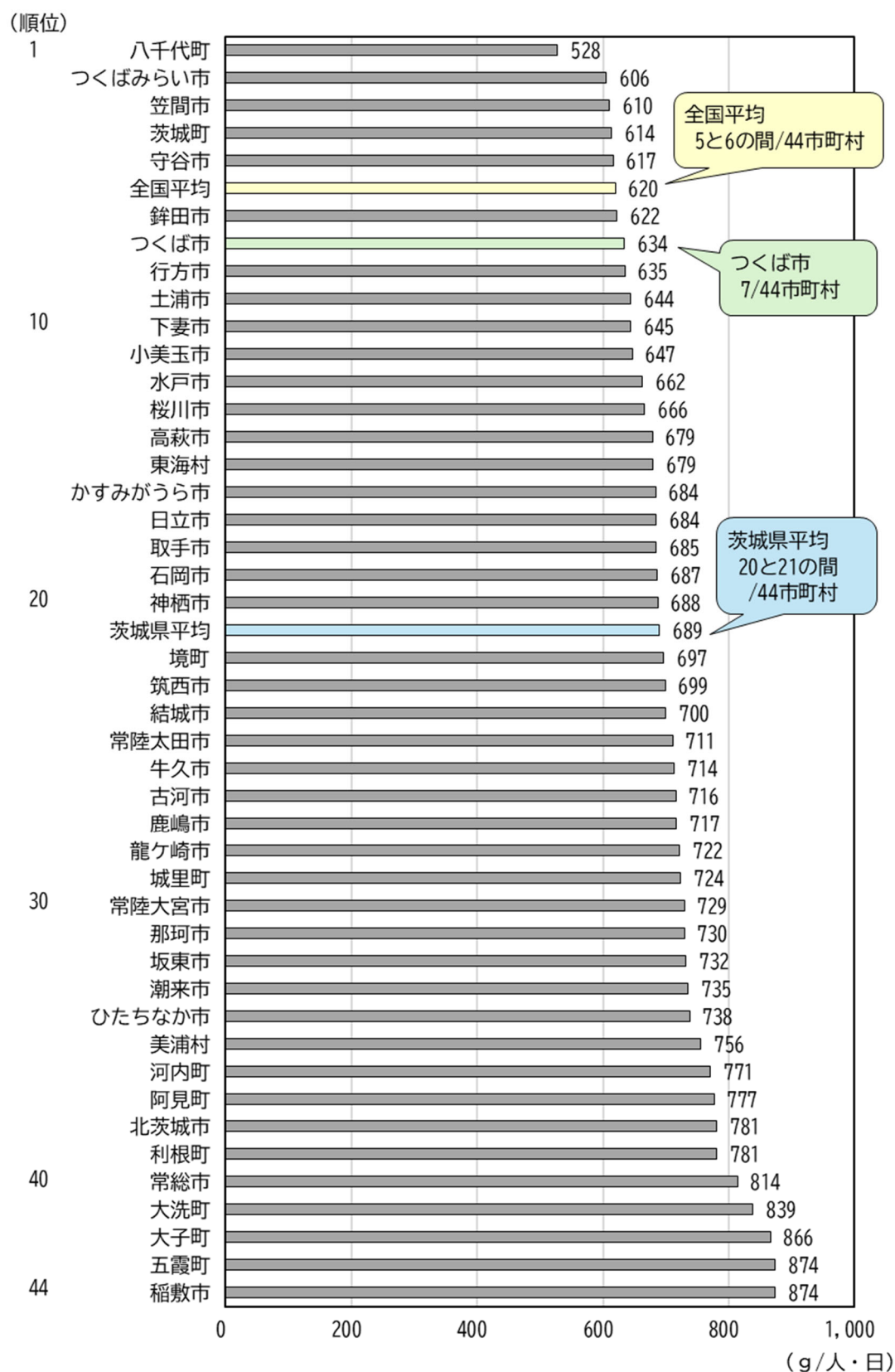


図 4-2 1人1日当たりの生活系ごみ排出量 (令和4年度実績)

(3) 事業系ごみ排出量 (1人1日当たりの事業系ごみ排出量)

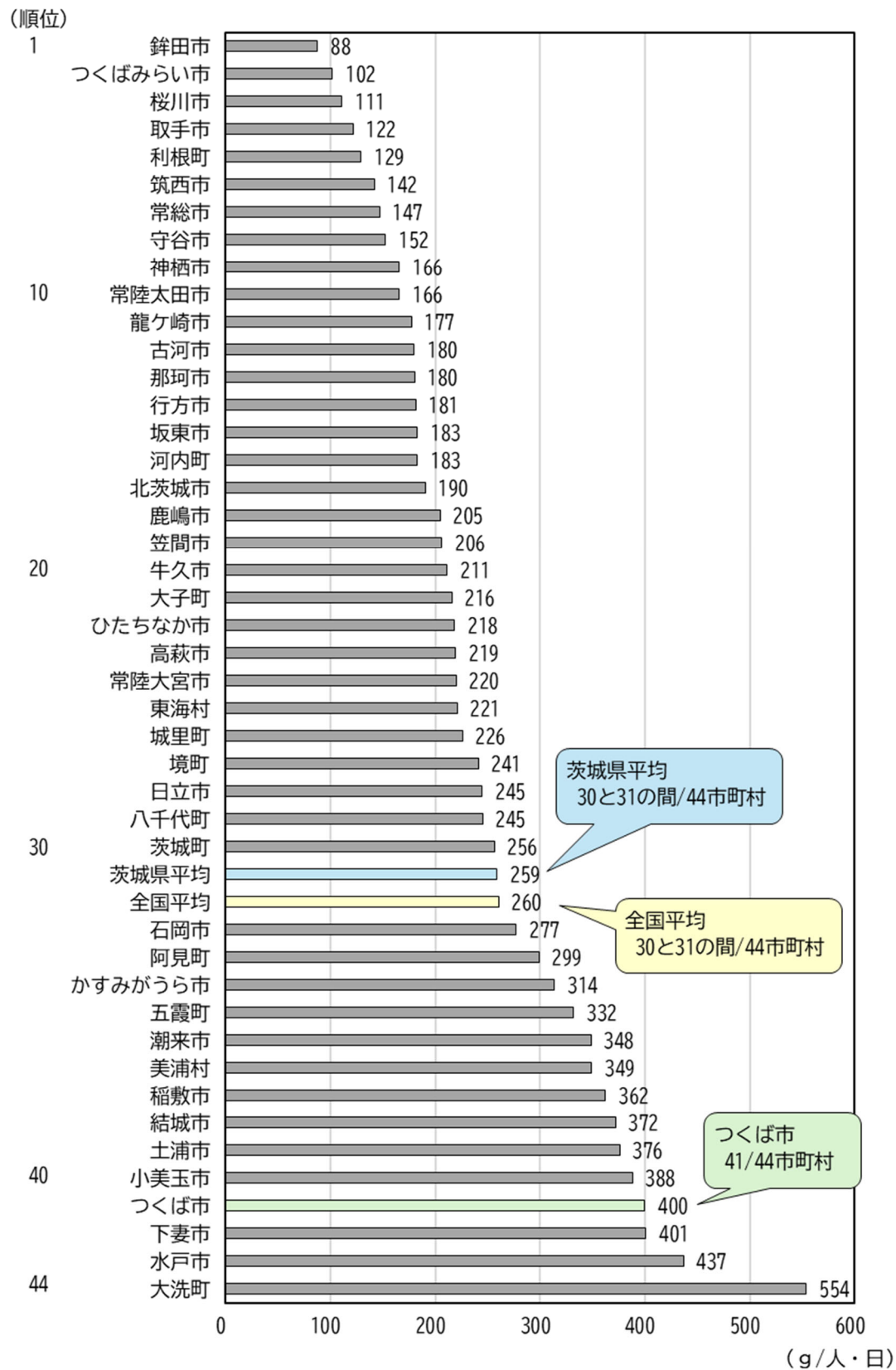


図 4-3 1人1日当たりの事業系ごみ排出量 (令和4年度実績)

4-2. リサイクル率

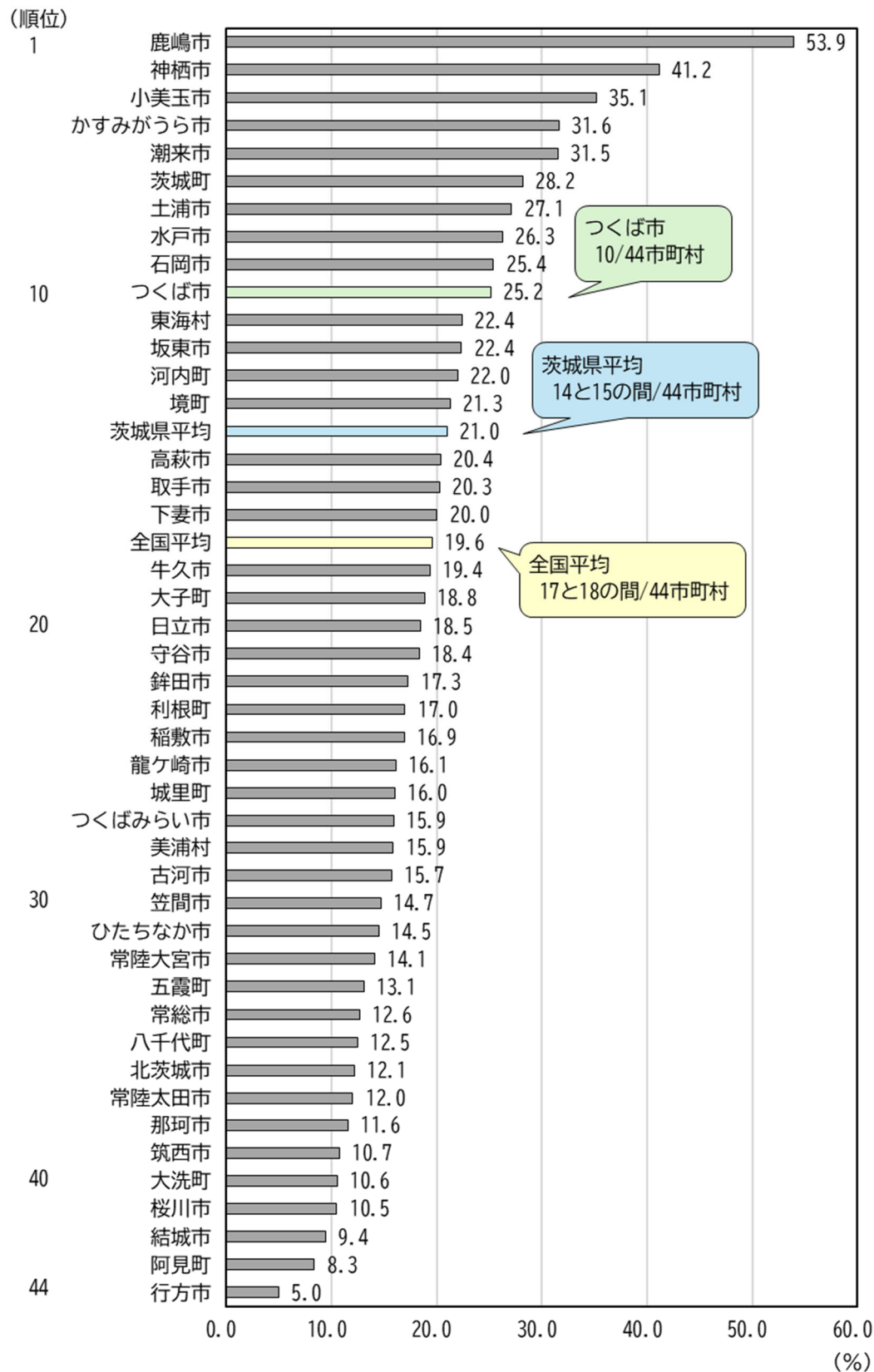


図 4-4 リサイクル率（令和4年度実績）

4-3. 最終処分量（1人1日当たりの最終処分量）

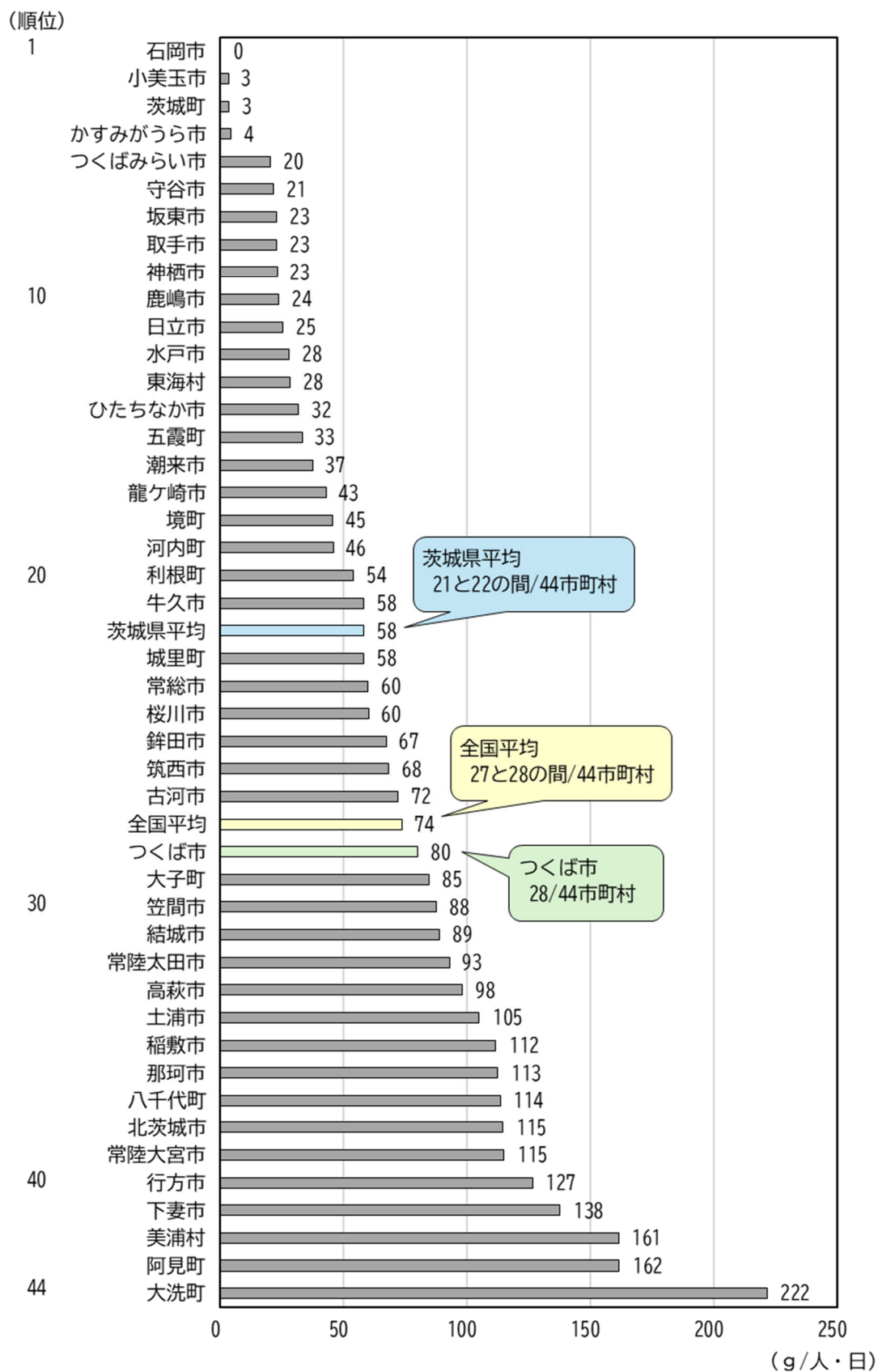
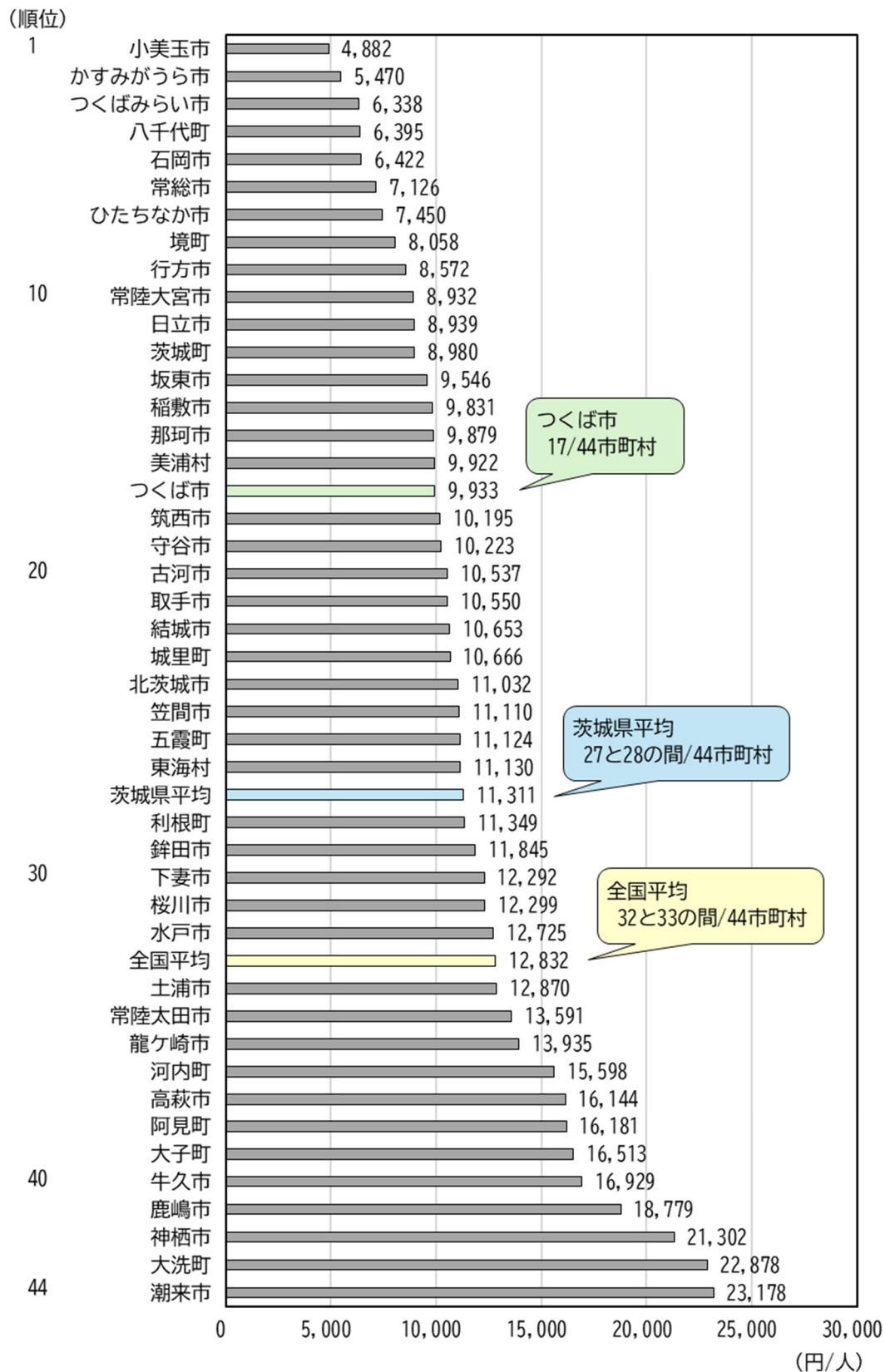


図 4-5 1人1日当たりの最終処分量（令和4年度実績）

4-4. ごみ処理に関する経費



※建設改良費を除いた値です。各市町村、全国平均及び茨城県平均の値も、組合分担金が含まれます。

図 4-6 1人当たりのごみ処理経費（令和4年度実績）

5. 施策の実施状況及び評価

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.1 市民・事業者への意識改革の推進	1.1.4 小中学生への環境教育の拡充	1) 牛乳パック回収事業 ①小中学校での牛乳パック回収	・児童生徒を通して家庭で出た牛乳パックを小中学校で回収 (R2/R3/R4/R5) ・牛乳パック回収促進のため、牛乳パックリサイクルチラシを作成し、各小中学校及び義務教育学校へ配布 (R5)		・改定後は、『小中学校での牛乳パック回収事業の実施』に名称変更 ・今後も継続 ・小中学校での牛乳パック回収は、目標未達成であり、目標達成には学校との連携が不可欠であるため、連携を強化する。 ・改定後は、1-1-4(ア)「小中学校での牛乳パック回収事業の実施」に統合 ・改定後は、『小中学校への出前講座の実施』に名称変更
		2) 出前講座などによる周知			
		①【重点施策】小中学生への出前講座などによる周知について、学校教育の追加的情報の提供を目的とすべく、学校の授業内容の把握と現状に見合った講座の実施	・出前講座の実施 (R3/R4/R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、1-1-4(イ)「小中学校への出前講座の実施」に統合
		3) 【重点施策】学生向け廃棄物関連副読本等情報提供資料作成の検討	・小学校のつくばスタイル科の授業で使用する副読本「かがやくつくば」のごみ関連の内容を更新 (R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、1-1-4(イ)「小中学校での出前講座の実施」に統合
		1.1.5 大学生への情報提供や意識向上の強化 →改定後は、『大学生への情報提供や意識啓発』に名称変更	1) 大学生への情報提供や意識向上の強化 ①大学の学生生活課等を通じた分別の徹底を呼びかけの実施 ②リサイクルについての講義等の開催 ③学内でごみの適正な分別減量等に取り組むための説明会等を使用してもらう分別指導用のデータ貸出 ④周知の効果を上げるため、大学の活動グループとの連携強化を検討 ⑤【重点施策】つくば市リサイクルセンターにおける家具等リユース情報の提供、新入生、卒業生による利用の活性化を推進		・改定後は、『大学や不動産管理会社等を通じた分別徹底の呼びかけ』へ名称変更 ・大学生に対する効果的な周知方法について検討する。 ・改定後は、1-1-5(ア)「大学や不動産管理会社等を通じた分別徹底の呼びかけ」に統合 ・過年度は未実施であるが、学生向けワークショップ等の実施を検討。 ・改定後は、1-1-5(イ)『ごみ減量及び分別促進についての講義等の開催』に名称変更 ・今後検討 ・改定後は、1-1-5(イ)「ごみ減量及び分別促進についての講義等の開催」に統合 ・大学のグループの活動状況の把握した上で今後検討。 ・改定後は、『大学の活動グループとの連携』に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は『家具等の不用品リユース情報の提供』に名称変更
			・家具等のリユース方法等について、包括的運営管理業務委託受託者と協議の実施 (R2) ・包括的運営管理業務受託者と協議し、リユース家具の提供を実施 (R3/R4/R5) ・リユース品の提供について、他市町村における取組内容や広報等の実施事例を調査 (R3/R4) ・開催毎につくば環境スタイルサポーターズメールによりリユース家具の提供について配信 (R4/R5) ・広報紙、ホームページ及びアプリ (さんあ〜る) にリユース家具の提供について掲載 (R3/R4/R5) ・ごみ直接搬入の申請者の目につきやすい箇所にリユース家具のお知らせの掲載 (R5) ・リユース家具の展示会の参加者に周知方法に関するアンケート調査実施 (R5) (→つくば環境サポーターズメールが最も効果的という結果)	○	

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.1 市民・事業者への意識改革の推進	1.1.6 事業者への情報提供や意識向上の強化	1) 事業者への情報提供や意識向上の強化 ①多量排出事業者への減量計画書の提出指導	・多量排出事業者への減量計画書の提出指導 (R2/R3/R4/R5) (R2: 43社→R5: 137社) ・事業者を訪問し、排出状況の確認及び指導を実施 (R3/R4/R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(ウ)「多量排出事業者に対する指導」に統合
		②[重点施策]事業系ごみの排出事業者への指導強化(多量排出事業者からの排出実態の解析、事業系資源ごみの資源化促進体系構築の検討、民間リサイクル率の活用(周知等))		○	・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(イ)「事業所への分別強化の協力依頼」及び2-2-1(ウ)「多量排出事業者に対する指導」に分割して移行
		③[重点施策]優れた取組を実施する事業者の紹介・表彰制度の検討	・資源回収を実施している小売店等事業者への取材 (R3) ・事業系生ごみ処理機を導入し、生ごみの資源化に努めている事業者への取材を行い、取材内容を市のホームページで公表 (R5)	○	・今後は、優良事例の把握に努めるとともに、評価基準の検討等、認定等評価・表彰制度の構築に向けた具体的な検討を進める。 ・改定後は、1-2-1(カ)「優良事業者の取組の紹介・評価・表彰制度の検討」に移行
		④[重点施策]30・10運動(サンマル・イチマル)の周知	・未実施	×	・食品ロス削減推進計画の策定にあわせて、庁内関係部署や関連団体と連携して、今後実施を徹底する。 ・改定後は、【食品ロス削減推進計画】に移行
1.2 市民・事業者が主体的に取り組むしくみづくり	1.2.1 ごみの減量や資源化に関する活動支援	1) 資源物集団回収事業の推進 ①資源物集団回収奨励金事業の継続実施	・資源物集団回収実施団体数 (R2:117団体→R5:105団体) ・前年度に活動された団体に申請を促し、多くの団体が登録 (R3/R4)	○	・改定後は、『市民団体等の活動支援』に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、1-2-1(ア)「市民団体等の活動支援」に統合
		②資源物集団回収にあたっての後援団体での取組や「オフィス町内会」方式の取組の継続検討		×	・今後検討 ・改定後は、2-2-2(オ)「紙類等の資源化の促進」に統合
		2) 生ごみ処理容器等購入費補助事業の推進	・生ごみ処理容器等購入費に対し補助金を交付 (R2: 108基、R3: 152基、R4: 408基、R5: 310基) (令和4年度から補助事業の予算を拡充) ・段ボールコンポストの無料配布会を開催し、配布 (R3: 166個、R4: 822個、R5: 804個)	○	・今後も継続
		3) エコショップ認定制度の推進	・エコショップ認定店舗 (R2: 17店舗→R5: 15店舗)	△	・今後も継続
		4) 不用品リサイクル情報(「さしあげます」・「希望します」)の提供	・不用品リサイクル掲示板の使用実績1件 (R4)	△	・今後検討 ・改定後は、『不用品等のリユースの促進』に名称変更(掲示板に限定せず、あらゆる媒体を活用して周知を図) ・今後も継続
		5) 環境美化活動	・市内一斉清掃の実施、16~20トンの不燃ごみを回収 (R4/R5) ※R2、R3はコロナウイルス感染拡大防止のため、中止	○	・改定後は、5-3(イ)「環境美化活動の実施」に移行
		6) 家庭用廃食用油の回収及びBDF精製事業の実施	・家庭用廃食用油回収量 (R2: 9, 996リットル、R3: 14, 838リットル、R4: 13, 767リットル、R5: 11, 360リットル)	○	・今後も継続
		7) ごみ減量や資源化への活動支援として市民団体等の支援実施の検討	・未実施	×	・今後検討 ・改定後は、1-2-1(ア)「市民団体等の活動支援」に統合
		8) 事業所のごみ減量・リサイクルの取組強化のため連携する事業所間の組織作り支援の検討	・未実施	×	・今後検討 ・改定後は、2-2-2(オ)「紙類等の資源化の促進」に統合
		9) [重点施策]民間事業者と協力した資源化の推進、民間ノウハウの活用	・段ボールコンポストを依頼のあったカスミに提供し、未就学児向け(保育所・保育園)の食育講座の際に活用 (R5) ・エコショップ認定をしている小売店で店頭回収を行っている店舗を市のHP上で紹介 (R5)	○	・今後も継続。より積極的な施策展開を検討。
	1.2.2 広報拠点の充実	1) 広報拠点の設置検討			・改定後は、『情報提供拠点の設置検討』に名称変更
		①交通の便や、人の集まりやすさなどを考え、情報提供拠点の設置を検討	・未実施	×	・今後検討 ・改定後は、1-2-2(ア)「情報提供拠点の設置検討」として継続

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.3 将来的な施策に向けた調査・検討	1.3.1 プラスチック類の有効利用	1) プラスチック類の有効利用 ①【重点施策】容器包装以外のプラスチックに関する資源化検討（ピッキングアップ回収、民間活用も含めた視座の確保） ②【重点施策】資源化の推進（資源化の推進）に名称変更	1) プラスチック類の有効利用 ①【重点施策】容器包装以外のプラスチックに関する資源化検討（ピッキングアップ回収、民間活用も含めた視座の確保） ②【重点施策】資源化の推進（資源化の推進）に名称変更		・改定後は、『プラスチック類の資源化の調査研究・再構築』に名称変更 ・プラスチック製品廃棄物の分別回収・再商品化について、継続的に調査研究する。 ・改定後は、1-3-1(ア)「製品プラスチックの資源化の調査研究・再構築」として継続
	1.3.2 生ごみ等の資源化の調査研究	1) 生ごみ等資源化の推進 ①【重点施策】生ごみの資源化処理についての調査研究	・生ごみの資源化について、土浦市の事例から、導入によるコスト削減効果について検討（R2） ・生ごみ分別収集を実施している自治体（新潟県長岡市、土浦市、常総市、地方広域市町村圏事務組合）について調査し、整理（R3）	○	・改定後は、『生ごみ等の資源化の調査研究』に名称変更 ・事例調査の結果を踏まえ、今後は、生ごみ処理器などを活用したごみ減量施策を進めていくとともに、バイオガス化等も含め、調査研究を行う。 ・改定後は、1-3-2(ア)「生ごみ等の資源化の調査研究」として継続
	1.3.3 剪定枝のリサイクルの検討	1) 剪定枝のリサイクルの検討 ①【重点施策】土壌改良材としての調査研究	・他自治体（千葉県流山市、千葉県千葉市、東京都町田市）等への訪問調査を実施（R5）	○	・改定後は、『剪定枝の資源化の調査研究』に名称変更 ・今後も剪定枝リサイクルについて、継続的に調査研究する。 ・改定後は、1-3-3(ア)「剪定枝の資源化の調査研究」として継続
	1.3.4 資源化における先進的な取組	1) 資源化における先進的な取組 ①【重点施策】小型家電のリサイクルの推進 ②【重点施策】資源化の推進（資源化の推進）に名称変更	・小型家電の回収量（R2:1.3t、R3:1.6t、R4:1.7t、R5:1.4t） ・収集した一部の小型家電をリサイクル業者へ運搬し、処理（年2回）（R2/R3/R4/R5） ・リネットジャパンリサイクル株式会社と締結している協定に基づき、市内から申込があり回収された小型家電の量（R3:16.8t、R4:18.4t、R5:16.7t） ・つくば市ホームページに「有害ごみ・小型家電・廃色用油 拠点回収場所一覧」を掲載（R3/R4/R5） ・小型家電リサイクル業者に受入方法を確認・調整し、令和6年度からタブレット端末及びフィルムカメラの2品目を小型家電の回収品目に追加することを決定（R5） ・未実施	○	・引き続き、拠点回収及び協定事業者による回収を行うとともに、回収量増加に向けた方策を検討する。 ・改定後は、1-3-4(ア)「資源化における都市鉱山取組」として継続
1.3.5 生活系ごみ有料化の検討	1.3.5 生活系ごみ有料化の検討	②【重点施策】高度リサイクルのため の研究学園都市としての市の特性を活かした先進的な取組の推進 1) 生活系ごみ有料化の検討 ①生活系ごみの有料化については検討を継続	・未実施	×	・今後、調査研究を行う。 ・改定後は、『先進的な減量化・資源化の取組』に名称変更
	1.3.6 事業系ごみ処理手数料の見直し	1) 事業系ごみ処理手数料の見直し ①【重点施策】事業系ごみ処理手数料の見直しについては検討を継続	・生活系ごみの排出量の割合等の調査（R2/R3/R4/R5）	○	・ごみの排出状況や他市町村の状況を継続して調査し、検討を行う。 ・改定後は、1-3-5(ア)「生活系ごみ有料化の検討」として継続
	1.3.6 事業系ごみ処理手数料の見直し	1) 事業系ごみ処理手数料の見直し ①【重点施策】事業系ごみ処理手数料の見直しについては検討を継続	・事業系ごみの排出量の割合等の調査（R2/R3/R4/R5） ・事業系ごみのごみ処理手数料の調査を実施（R3） ・近隣市町村（一部事務組合を含む）の事業系ごみ処理手数料の調査を実施（8カ所）（R5）	○	・ごみの排出状況や他市町村の状況を継続して調査研究する。 ・改定後は、1-3-6(ア)「事業系ごみ処理手数料の見直し」として継続

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.4 つくば市役所におけるごみの発生抑制と資源化の推進	1.4.1 市役所内でのごみの発生抑制と資源化の推進 →改定後は、『公共施設におけるごみの発生抑制と資源化の推進』に名称変更	1) つくば市役所におけるごみの発生抑制と資源化の推進 ①ごみの減量と分別の徹底を呼びかけ、また職員向けごみ処理についての情報を積極的に発信 ②コピー用紙の再使用、雑みみ分別の徹底	・自動販売機の横にプラスチック製容器包装を回収する80xを引き続き設置（R2/R3/R4/R5）。 ・市内お知らせ表示で、プラスチック製容器包装の分別、食品ロス削減、ごみ分別アプリ「さんあへる」等の周知（R2/R3/R4/R5）。 ・「公共施設のごみ減量・リサイクル推進方針」を策定。本方針では、「ごみの減量を意識するため、ごみの重量を把握する」「燃やせるごみを減らすため、分別を徹底する」「コピー用紙を再利用した後、雑みみとして資源化する」ことの3つを掲げ、ごみの重量及び資源化を推進（R4）。 ・「公共施設のごみ減量・リサイクル推進方針」に基づき全公共施設から四半期ごとにごみの排出状況の報告を受け、ごみ減量及び資源化の推進を実施（R5）。 ・市内お知らせ表示で、雑みみ分別を周知（R2/R3/R4/R5）	○	・改定後は、『公共施設におけるごみの発生抑制と資源化の推進』に名称変更 ・公共施設のごみの排出状況の実態を把握しつつ、ごみ減量及びリサイクルを推進していく。 ・改定後は、1-4-1(ア)「公共施設におけるごみの発生抑制と資源化の推進」に統合
2.1 生活系ごみの分別収集の徹底	2.1.1 収集頻度の適正化	1) プラスチック製容器包装の収集頻度の適正化 ①[重点施策]住民サービスの充実を図るため、プラスチック製容器包装の収集頻度の適正化の検討 ・令和4年度10月から収集頻度を2回から4回に増加することを決定。その旨を広報紙2月号で周知（R3） ・令和4年度10月から収集頻度を2回から4回に増加（R4）	・プラスチック製容器包装の収集量 -R2: 639t (7.3g/人・日) -R3: 751t (8.4g/人・日) -R4: 910t (9.9g/人・日) -R5: 1,017t (10.9g/人・日)	○	・改定後は、『収集頻度の適正化』に名称変更 ・今後は、プラスチック製容器包装以外のものも含めて（燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ等）収集頻度の適正化を検討する。 ・改定後は、2-1-1(ア)「収集頻度の適正化」として継続
2.2 ごみ集積所管理の推進	2.2.1 ごみ集積所管理の推進	1) 資源ごみ持ち去り防止対策 ①ごみ集積所の管理については、区会等による管理体制を推進 ②管理のため区会からの求めに応じ、分別が適切に行われていない地区については、各集積所に分別の徹底を呼びかける張り紙等を貼付するなどの周知活動の実施 ③資源持ち去り防止シートを配布し、資源物持ち去り防止対策を実施 ④ごみ集積所の管理状況の調査及び集積所のシステム化の推進 ⑤GPSシステムによる資源ごみ持ち去り追跡導入の検討 2) 不法投棄対応	・区会等によるごみ集積所の管理を推進。 ・資源物の分別徹底を促す集積所用看板を作成し、地区集積所への掲示を開始（R3/R4/R5）。 ・ごみ集積所の新規開設者に分別促進のための看板を配布（R3/R4/R5）。 ・資源持ち去り防止シートをダウンロードできるように、ホームページに掲載（R2/R3/R4/R5） ・未実施	○ × ○	・今後も継続 ・区会等による管理体制の課題（区会に入らないと集積所を利用できない、新住人の受入れは行わない等）の解決に向け検討を行う。 ・改定後は、2-1-2(ア)「ごみ集積所管理に係るシステム化の推進」に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、1-1-2(エ)「効果的な情報発信方法の検討」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、2-1-2(イ)「資源ごみ持ち去り防止対策」に統合 ・収集運搬委託業者に対し、ごみ集積所の管理状況についてアンケート調査を実施（R6） ・集積所のごみ収集完了の有無、ごみ収集後の後出しの確認等を可能とするシステム化を今後検討。 ・改定後は、2-1-2(ア)「ごみ集積所管理に係るシステム化の推進」に統合 ・資源ごみの持ち去りは条例違反であり、依然課題であるため、今後も対応策を検討する。 ・改定後は、2-1-2(イ)「資源ごみ持ち去り防止対策」に統合 ・改定後は、5-3(ア)「不法投棄パトロールの実施、不法投棄厳禁看板の配布」に統合

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
2.1 生活系ごみの分別収集の徹底	2.1.1 ごみ集積所管理の推進	3) 地区別排出実態の把握 ①【重点施策】地区ごととのステーション排出状況の調査把握の実施	・分別状況等が悪いごみ集積所の現場を確認し、実態の把握を行った上で、適正なごみ分別やごみ集積所の使用を促すチラシのポスティングを実施 (R3/R4/R5)		・今後も継続 ・収集運搬委託業者にに対し、ごみ集積所の管理状況についてアンケート調査を実施 (R6) ・各地区ごとに、ごみ組成分析調査を実施 (R6) ・改定後は、2-1-2(ウ)「地区別排出実態の把握」として継続
	2.1.3 資源ごみの収集方法の整備	1) 有害なもの、危険なものの分別に係る周知の強化	・つくばホームページやごみの出し方カレンダー及びごみの分別アプリ「さんあへる」の「ごみの出し方ガイド」で乾電池、スプレー容器及び使い捨てライター等の有害ごみや危険なごみの出し方の掲載 (R2/R3/R4/R5) ・つくばホームページに「有害ごみ・小型家電・廃食用油 拠点回収場所一覧」を掲載 (R3/R4/R5)。	△	・今後も継続 ・改定後は、2-1-4(イ)「有害ごみ、危険なごみの排出方法に関する周知」に移行
	2.1.4 収集運搬体制の再構築	1) 収集運搬体制の再構築 ①適正な分別品目ごとの収集について業者への指導の強化 ②排出困難者に対する個別収集の検討	・生活系ごみの搬入検査の実施 (R2/R3/R4/R5) ・未実施	○	・今後も継続 ・高齢者や障害のある方等、排出困難者に対する対応は社会的課題であるため、今後検討する。 ・改定後は、『排出困難者に対する戸別収集の検討』に名称変更
2.2 事業系ごみの排出管理の強化	2.2.1 事業系ごみの分別及び排出の適正化	1) 事業系ごみの分別及び排出の適正化 ①【重点施策】事業系ごみの排出事業者へのさらなる指導強化 (多量排出事業者からの排出実態の解析、事業系資源ごみの資源化推進体系の検討、事業者に対する民間リサイクルルートの活用周知等) ②【重点施策】つくばサステナスクエアにおける事業系ごみ排出状況の実態把握 (業種別のごみ量、分別状況の実態把握を実施) ③【重点施策】つくばサステナスクエアへの事業系ごみ搬入時における検査、指導の強化	排出事業者に対し、以下を随時実施 (R2/R3/R4/R5) ①多量排出事業者より提出された一般廃棄物減量化等計画書の内容を確認し、指導を実施 ②事業所を訪問し、排出状況を確認 ③排出状況に応じて指導を実施 ・事業系ごみ全体の排出量を把握 (R2/R3/R4/R5) ・サステナスクエアで事業系ごみの搬入検査を行い、事業系ごみの排出状況の確認を実施 (R2/R3/R4/R5) ・事業系燃やせるごみの搬入検査 (R2：6件、R3:22件、R4：23件、R5：31件) ・発泡スチロール等の産業廃棄物 (廃プラ) や資源物 (段ボール等) が混入していたため、収集業者へ文書にて適正な分別収集を指導。また、不適正なものが持ち込まれた場合は、持ち帰りを指示 (R2/R3/R4/R5) ・収集運搬許可業者に対して、適正な分別収集に関する通知を発出 (R5) ・事業所訪問等を通じて分別強化の協力依頼を随時実施 (R2/R3/R4/R5) ・いばらき食べきり協力店 (R2：18店舗→R5:46店舗) ・随時対応 (R2/R3/R4/R5)		・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(ウ)「多量排出事業者に対する指導」に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(ア)「つくばサステナスクエアにおける事業系ごみの搬入検査・指導の実施」に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(ア)「つくばサステナスクエアにおける事業系ごみの搬入検査・指導の実施」に統合
	2.2.2 事業系資源ごみの資源化の促進	④事業所への分別強化の協力依頼 ⑤【重点施策】食品リサイクルの推進に向けた周知強化 2) 不法投棄対応		○	・今後も継続 ・新規登録店舗の更なる増加に向けて周知を継続する。 ・改定後は、『食品ロス削減推進計画』に移行 ・今後も継続 ・改定後は、5-3(ア)「不法投棄パトロールの実施、不法投棄厳禁看板の配布」に統合
		1) 事業系資源ごみの資源化の促進 ①ごみの適正な排出方法や分別の仕方をもとめた「ごみの減量情報」に関する冊子を活用し、多量排出事業者を訪問し周知を実施	・分別徹底による資源物の資源化促進及び廃棄物の減量化を啓発するポスターを作成し、収集運搬業者経由で配布 (R3) ・ごみの適正な排出方法や分別の方法をまとめた「事業系廃棄物適正処理パンフレット」を作成、配布 (R4/R5) ・事業系廃棄物適正処理パンフレットの改定 (R5) ・事業者を訪問し、排出状況の確認及び指導を実施 (R4/R5)	○	・改定後は、『紙類等の資源化の促進』に名称変更 (ごみ組成分析調査結果より、事業系燃やせるごみには、資源化可能な紙類が多く含まれていることが明らかとなったため、資源ごみの対象を具体化して重点的に取り組む) ・今後も継続 ・改定後は、1-1-6(ア)「事業者への情報提供や意識向上の強化」に移行

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
2.2 事業系ごみの排出管理の強化	2.2.2 事業系資源ごみの資源化の促進	②多量排出事業者以外の中小事業所や食堂等のごみ発生量と排出先の調査の検討 ③【重点施策】事業系資源ごみの再資源化推進体系構築の検討	・未実施 ・未実施	× ×	・今後検討 ・改定後は、2-2-2(オ)「紙類等の資源化の促進」に名称変更
	2.2.3 ごみの分別区分に関する大学との調整	1) ごみの分別区分に関する大学との調整 ①筑波大の事業系ごみ(平成20年4月より、学生宿舎に限り、生活系ごみとしての収集を開始)の分別徹底の指導 ②【重点施策】学生への広報で入学卒業と期間が短い十分な周知ができないことから、周知方法を検討	・筑波大学(一ノ矢・平砂・追越)及び筑波技術大学(春日キャンパス・天久保キャンパス)の学生宿舎へごみの出し方カレンダーを配布(R2/R3/R4/R5) ・大学の掲示板上にさんあ〜るの紹介記事の掲載(R2) ・さんあ〜るの紹介を含んだ「つくば市のごみ出しルール」チラシ(日本語、英語、中国語)を筑波大学、筑波学院大学、筑波技術大学で掲載(R4/R5) ・春日、天久保エリアに管理物件を有している不動産と対策について打合せを行い、「さんあ〜る」のチラシ及び「つくば市のごみ出しルール」チラシを提供し、周知を依頼(R4/R5) ・筑波大学、筑波技術大学に訪問し、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のチラシ及び「つくば市のごみ出しルール」チラシを提供し、周知を依頼(R4/R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(イ)「事業所への分別強化の協力依頼」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、1-1-5(ア)「大学や不動産管理会社等を通じた分別徹底の呼びかけ」に統合
2.3 有害ごみの回収体制の整備	2.3.1 有害ごみの回収体制の整備	1) 有害ごみの排出体制の検討 ①有害ごみについては、市民の利便性と排出場所の安全性や管理の容易性を確保できる排出体制の検討	・市内24か所で拠点回収を実施(R2/R3/R4/R5) ・一般社団法人JRCの小型充電式電池一般廃棄物広域認定「排出者」につくば市役所とつくばステナスクエアを追加(R2/R3)	○	・改定後は、『有害ごみ、危険なごみの排出体制及び回収体制の検討』に修正し、2-1-4(ア)に移行 ・今後も継続 ・改定後は、2-1-4(ア)「有害ごみ、危険なごみの排出体制及び回収体制の検討」として継続
3. 中間処理計画					
3.1 つくばステナスクエアの適正な運転維持管理	3.1 つくばステナスクエアの適正な運転維持管理	1) つくばステナスクエアの適正な運転維持管理 ①つくばステナスクエア内の施設の安定した運転の維持 ②【重点施策】焼却施設の計画的な補修等管理を実施し、施設の長寿命化を図っていく ③周辺の環境保全のためダイオキシン等の影響調査の実施 ④【重点施策】つくば市リサイクルセンターの安定した運転の維持	・施設の安定運転を実施(R2/R3/R4/R5) ・令和4年12月に電気設備の故障により緊急停止発生(R4) ・包括的運営管理業務委託受託者と定期的に整備会議を実施し、施設の稼働状況を確認(R2/R3/R4/R5) ・1号炉の耐火壁修繕工事を実施(R4) ・2号炉及び3号炉の耐火壁修繕工事を実施(R5) ・可燃ごみ処理施設(焼却施設)周辺地区の土壌について、ダイオキシン類の測定を実施(R2/R3/R4/R5) ・焼却灰(主灰及び固化灰)及び不燃物残渣の放射能測定、溶出試験を実施(R2/R3/R4/R5) ・施設の安定運転を実施(R2/R3/R4/R5)	○ ○ ○ ○	・改定後は、『つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化』に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、3-1(ア)「つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、3-1(ア)「つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、『ダイオキシン類等の影響調査の実施』に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、3-1(ア)「つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化」に統合

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
4. 最終処分計画					
4.1 最終処分量の削減	4.1 最終処分量の削減	1) 最終処分量の削減 ①【重点施策】焼却灰の溶融処理、固形化処理（再生砕石化）などの焼却灰再資源化の更なる拡大を図る ②つくば市クリーンセンターによる焼却処理により発生する焼却残渣の割合が高い原因調査及び対策の実施	・焼却灰の資源化处理（R2/R3/R4/R5）、再生砕石化処理（R2/R3/R4）、焼却処理（R4/R5） （令和4年度から焼却灰資源化の予算を拡充） ・焼却量等のデータ等を分析し、残渣割合の調査を実施（R2/R3/R4/R5） （R3：11.7%、R4：11.8%、R5：12.0%）	○	・今後も継続 ・改定後は、『焼却灰の再資源化の推進』に名称変更
4.2 最終処分長期計画の策定	4.2 最終処分長期計画の策定 →改定後は、『安定的な最終処分先の確保』に名称変更	1) 最終処分長期計画の策定 ①民間最終処分場の動向を見据えた、最終処分場のあり方について検討 ②民間最終処分場の在り方について検討するための調査比較を行う業務実施に向けた当初予算の確保（R4） ・長期的な視点で最終処分の在り方について検討するための調査比較を実施（R5）	・県内市町村（土浦市、水戸市）が所有する最終処分場の現地調査を実施（R3） ・埋立処分を委託している民間最終処分場3か所（山形県、秋田県、青森県）すべてについて、現地訪問による処理状況の確認を実施（R4/R5） ・長期的な視点で最終処分の在り方について検討するための調査比較を行う業務実施に向けた当初予算の確保（R4） ・長期的な視点で最終処分の在り方について検討するための調査比較を実施（R5）	○	・今後も継続 ・改定後は、以下の3つの施策を展開する。 (1) 最終処分場の現地確認の実施 (2) 最終処分先の確保 (3) 最終処分の在り方の検討
5. その他の廃棄物関連の計画					
5.1 一般廃棄物会計基準の導入	5.1 一般廃棄物会計基準の導入	1) 一般廃棄物会計基準の導入による事業コストの検討	・一般廃棄物会計基準を導入している自治体の活用事例を調査（R5）	△	・今後、環境省のツールを用いて、必要性及び効果の検証の実施
5.2 災害廃棄物対策	5.2 災害廃棄物対策	1) 災害廃棄物対策 ①【重点施策】災害廃棄物処理計画の策定 ②「重点施策」を基に、被災後の流れについて、市内の関係部署と4月と11月に勉強会を実施（R5） ・茨城県主催の災害廃棄物処理に係る研修会に参加し、座学研修及び図上研修を実施（R5） ・令和5年6月に大雨で被害を受けた取手市に職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事（R5） ・令和6年能登半島地震で被害を受けた富山県氷見市へ職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事（R5）	・災害廃棄物処理計画の策定支援業務の実績のある複数のコンサルタント事業者と相談し、業務の仕様を検討するとともに概算費用の見積を実施。見積結果をもとに、予算を確保（R2） ・フロア・サークル形式で委託業者の選定を行い、一般廃棄物減量等推進審議会で災害廃棄物処理計画について諮問を実施。災害廃棄物処理計画策定のために、コンサルタントと協力して「災害廃棄物の発生量の推計」など基本的な事項の整理（R3） ・令和5年3月に「つくば市災害廃棄物処理計画」を策定。併せて、市民のみならず災害時のごみの出し方や注意すべきこと、平時からの備えなどについてわかりやすくまとめた「つくば市災害廃棄物処理ハンドブック」を作成（R4） ・「災害廃棄物処理業務マニュアル」を基に、被災後の流れについて、市内の関係部署と4月と11月に勉強会を実施（R5） ・茨城県主催の災害廃棄物処理に係る研修会に参加し、座学研修及び図上研修を実施（R5） ・令和5年6月に大雨で被害を受けた取手市に職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事（R5） ・令和6年能登半島地震で被害を受けた富山県氷見市へ職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事（R5）	○	・市職員へ災害時の廃棄物の処理方法について周知を行う。 ・改定後は、『災害廃棄物処理計画』に基づく平時の備え』に名称変更
5.3 不法投棄対策・不適正処理対策	5.3 不法投棄対策・不適正処理対策	1) 不法投棄対策・不適正処理対策 ①【重点施策】不法投棄パトロールの実施、監視カメラの設置等推進の実施、監視カメラの設置等推進 ②「重点施策」を基に、被災後の流れについて、市内の関係部署と4月と11月に勉強会を実施（R5） ・茨城県主催の災害廃棄物処理に係る研修会に参加し、座学研修及び図上研修を実施（R5） ・令和5年6月に大雨で被害を受けた取手市に職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事（R5） ・令和6年能登半島地震で被害を受けた富山県氷見市へ職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事（R5）	・防犯環境美化サポーターによる不法投棄パトロールの実施、野焼き行為者に指導（R2/R3/R4/R5）→（14～20tのごみを回収） ・不法投棄防止のための看板について、広報紙での周知、交付（R2/R3/R4/R5） ・野焼き対策に関して、相談の多い秋から冬にかけて、区会回覧で年2回、広報紙で年1回、野焼きの禁止についての周知を実施（R2/R3/R4/R5）	○	・改定後は、『不法投棄パトロールの実施、不法投棄監視カメラの設置』に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、5-3(ア)「不法投棄パトロールの実施、不法投棄監視カメラの設置」として継続

6. ごみ排出量の将来予測

1. 推計手順

つくば市一般廃棄物処理基本計画（令和2年（2020年）4月）の「第8節 施策の推進計画」において、「ごみの減量目標やリサイクル目標等については、年度毎に実態把握を行い、達成状況の照査を行う」こととしています。

計画の中間見直しに当たり、過年度のごみ処理に係る実績を踏まえ、ごみの発生量が将来的にどのように変化するかについての推計を行いました。ごみ排出量の推計は、計画改定であることを踏まえ、計画策定時に行った推計方法に準じて行いました。推計手順は、図6-1の通りです。

まず、生活系ごみ量原単位（1人1日当たりの排出量）及び事業系ごみ量（1日当たりの排出量）の実績値から、時系列分析（「トレンド分析」ともいう。次頁の表6-1参照。）を行い、現状のまま推移した場合のごみ排出量を予測しました。

次に、ごみ発生（排出）抑制等の減量目標・資源化目標を設定し、目標を達成した際のごみ排出量を設定しました。

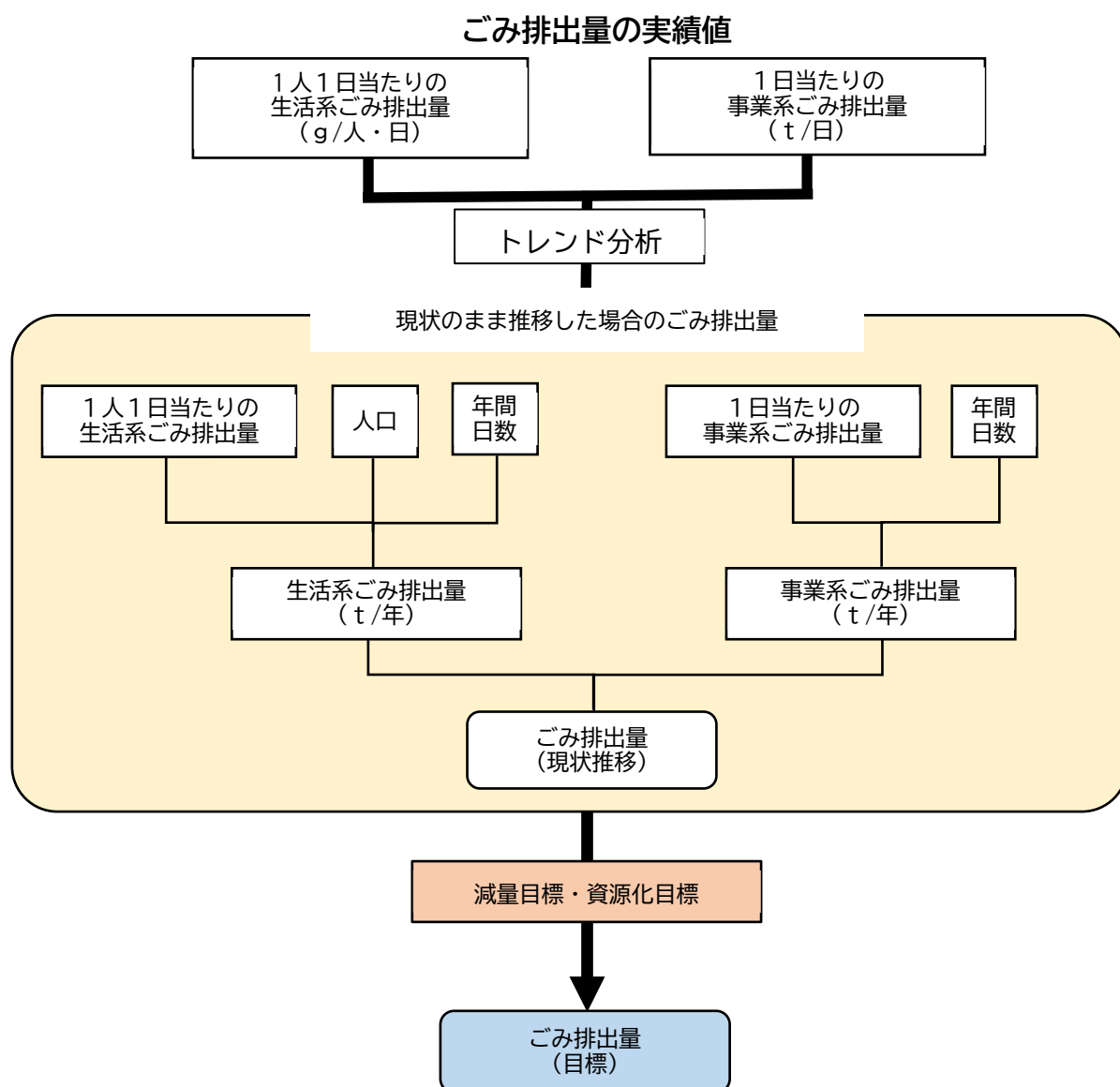


図 6-1 推計手順

将来ごみ排出量は、表 6-1 に示す 6 つの推定式を用いて推計しました。

表 6-1 トレンド分析に用いる推定式

回析式	推定式	式の傾向及び特徴
① 直線式 (1 次関数式)	$y=ax+b$	最も基本となる式であり、傾きが一定で直線的に推移する式である。直線的に増加または減少することから、長期的な予測では不自然な傾向となってしまうことがある。
② 二次式 (2 次関数式)	$y=ax+bx^2+c$	増減の大きな傾向曲線を示す場合が多く、実績値によっては傾向曲線の中に極地を含み、増減の逆転が生じてしまう場合がある。
③ 指数式	$y=bx^a$	実績値にばらつきが少ない場合によく適合する式である。多くの場合において実績値の増減率が徐々に大きくなることから、長期的な予測では不自然な傾向となってしまうことがある。
④ べき乗式	$y=x^a \cdot b+c$	指数式と同様に、徐々に増加率が大きくなっていく式である。
⑤ 対数式	$y=a \cdot \log(x)+b$	徐々に増減率が収束していくような式である。
⑥ ロジスティック式	$y=K/(1+b\exp(-ax))$	経過の初期の間は増加速度が増加し、中間で増加速度が最大になり、以後は増加速度が減少し、無限年後に定数 K に達する式である。一般的に飽和値 K はその環境下で存在できる最大値を示す定数であり、y が増加するにつれ、増加率は抑制され、最終的には飽和値に収束する。

2. ごみ排出量の将来予測（現状のまま推移した場合）

平成 26 年度（2014 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの過去 9 年間（令和 2 年度（2020 年度）を除く※）の実績値を対象に、トレンド分析を行いました。分析結果を「3. 将来予測結果」に示します。また、現状のまま推移した場合のごみ排出量の将来予測を表 6-2 に示します。

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、通常と異なる傾向を示しているため、推計の対象から除外します。

表 6-2 ごみ排出量の将来予測（現状のまま推移した場合）

項目			年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
人口			人	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
日数			日	366	365	365	365	366	365	365
生活系ごみ			g/人・日	613.8	644.0	641.2	638.7	636.2	634.1	632.0
			t	57,178	61,120	61,835	62,262	62,675	62,672	62,751
可燃ごみ	資源ごみ	古紙・古布	g/人・日	42.7	43.6	43.5	43.4	43.2	43.1	43.0
		プラスチック製容器包装	g/人・日	11.1	11.9	12.8	13.6	14.3	15.0	15.6
		ペットボトル	g/人・日	8.2	8.2	8.4	8.6	8.8	9.0	9.3
		廃食用油	g/人・日	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	計（上記＋燃やせるごみ）		g/人・日	550.5	577.5	575.2	573.1	571.1	569.3	567.6
不燃ごみ	資源ごみ	かん類	g/人・日	6.3	6.4	6.3	6.3	6.2	6.2	6.2
		びん類	g/人・日	15.7	16.2	16.0	15.9	15.7	15.6	15.5
		小型家電	g/人・日	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
	有害ごみ		g/人・日	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	計（上記＋燃やせないごみ）		g/人・日	42.7	45.4	44.9	44.5	44.0	43.7	43.3
粗大ごみ			g/人・日	20.6	21.1	21.1	21.1	21.1	21.1	21.1
事業系ごみ			t/日	102.72	101.88	102.29	102.68	103.06	103.41	103.76
			t	37,596	37,186	37,336	37,478	37,720	37,745	37,872
可燃ごみ	燃やせるごみ		t/日	60.44	61.64	61.38	61.13	60.91	60.70	60.50
不燃ごみ	燃やせないごみ		t/日	1.55	1.59	1.60	1.60	1.61	1.61	1.62
粗大ごみ			t/日	0.25	0.27	0.25	0.24	0.23	0.22	0.21
資源ごみ			t/日	0.58	0.55	0.56	0.58	0.59	0.61	0.62
事業者直接資源化（許可業者が運搬）			t/日	9.18	10.87	10.96	11.04	11.11	11.18	11.25
事業者直接資源化（自社または資源化業者で運搬）			t/日	30.72	26.96	27.54	28.09	28.61	29.09	29.56
総計			t/年	94,774	98,306	99,172	99,740	100,396	100,419	100,624

※人口は、令和 5 年度に実施した市の人口推計（小地域・1 歳階級）を基に算出しています。

3. 将来予測結果

次頁以降に分別項目ごとにトレンド分析を行った予測結果を示します。

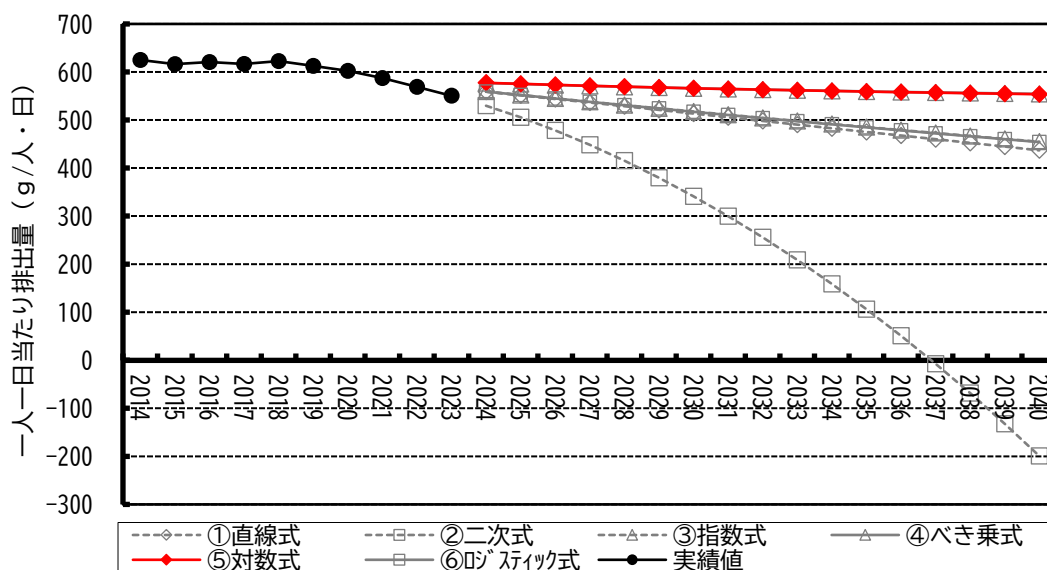
(1) 生活系可燃ごみ（全体）

生活系可燃ごみ（全体）量の推計値を表 6-3 に示します。

2018 年度（平成 30 年度）以降は年々減少していますが、それ以前は概ね一定で推移しています。今後も微減傾向で推移すると考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-3 生活系可燃ごみ（全体）の推計値

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成 (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	625							
2	2015	27	○	616							
3	2016	28	○	620							
4	2017	29	○	617							
5	2018	30	○	623							
6	2019	1	○	613							
7	2020	2		602							
8	2021	3	○	587							
9	2022	4	○	569							
10	2023	5	○	550							
11	2024	6			559.06	529.95	559.29	577.08	577.49	559.06	577.49
12	2025	7			551.44	505.56	552.12	574.84	575.19	551.84	575.19
13	2026	8			543.81	478.35	545.04	572.78	573.07	544.71	573.07
14	2027	9			536.18	448.31	538.05	570.89	571.11	537.68	571.11
15	2028	10			528.56	415.45	531.15	569.13	569.28	530.73	569.28
16	2029	11			520.93	379.77	524.34	567.49	567.57	523.88	567.57
17	2030	12			513.30	341.27	517.61	565.95	565.97	517.11	565.97
18	2031	13			505.68	299.94	510.98	564.51	564.45	510.43	564.45
19	2032	14			498.05	255.79	504.42	563.15	563.02	503.84	563.02
20	2033	15			490.43	208.82	497.96	561.86	561.66	497.33	561.66
21	2034	16			482.80	159.02	491.57	560.63	560.37	490.91	560.37
22	2035	17			475.17	106.40	485.27	559.47	559.14	484.57	559.14
23	2036	18			467.55	50.96	479.04	558.36	557.96	478.31	557.96
24	2037	19			459.92	-7.31	472.90	557.30	556.83	472.13	556.83
25	2038	20			452.29	-68.40	466.84	556.28	555.75	466.03	555.75
26	2039	21			444.67	-132.31	460.85	555.31	554.71	460.01	554.71
27	2040	22			437.04	-199.05	454.94	554.37	553.71	454.07	553.71
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用
				定数 a	642.9513333	611.8967006	644.6074297	642.3694117	640.99738	8.19E+21	
				定数 b	-7.62629	8.07747	0.98718	-0.04470	-60.97932	-0.01300	
				定数 c		-1.41157					
				収束値 k						5.28E+24	
				相関係数	0.89719	0.98628	0.89056	0.74061	0.74913	0.89051	
				相関順位	2	1	3	6	5	4	



(2) 生活系古紙・古布

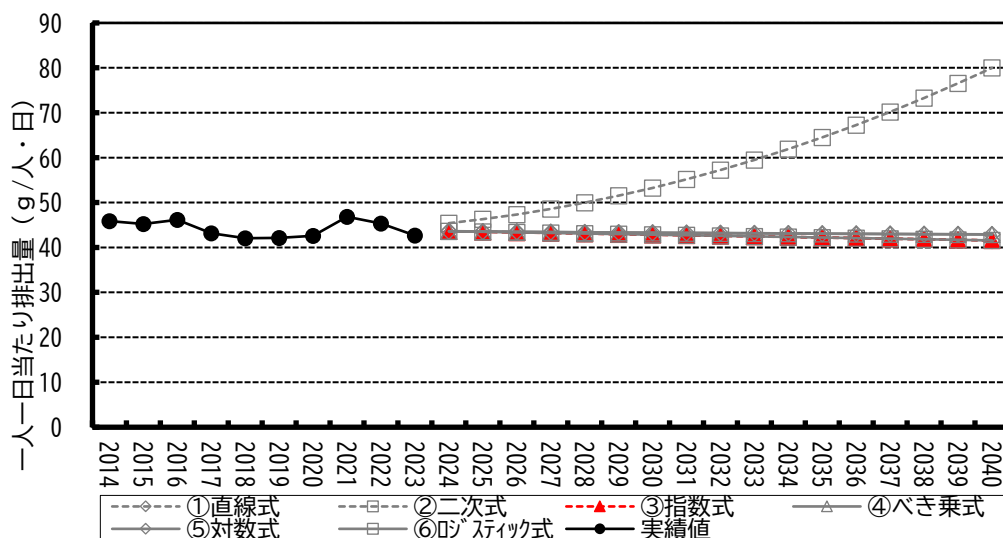
生活系古紙・古布量の推計値を表 6-4 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増減しながらも微減傾向を示しています。今後も、微減傾向で推移すると考えられるため、「③ 指数式」による推計結果を採用します。

表 6-4 生活系古紙・古布の推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	【採用式】 ③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	45.9							
2	2015	27	○	45.2							
3	2016	28	○	46.2							
4	2017	29	○	43.2							
5	2018	30	○	42.1							
6	2019	1	○	42.2							
7	2020	2		42.6							
8	2021	3	○	46.8							
9	2022	4	○	45.4							
10	2023	5	○	42.7							
11	2024	6			43.65	45.41	43.61	43.61	43.64	43.64	43.61
12	2025	7			43.52	46.29	43.48	43.54	43.57	43.51	43.48
13	2026	8			43.39	47.35	43.35	43.47	43.51	43.38	43.35
14	2027	9			43.26	48.57	43.23	43.42	43.45	43.25	43.23
15	2028	10			43.13	49.96	43.10	43.36	43.40	43.12	43.10
16	2029	11			43.00	51.53	42.97	43.31	43.35	42.99	42.97
17	2030	12			42.87	53.26	42.84	43.26	43.30	42.86	42.84
18	2031	13			42.74	55.17	42.71	43.22	43.25	42.73	42.71
19	2032	14			42.61	57.25	42.59	43.17	43.21	42.61	42.59
20	2033	15			42.48	59.49	42.46	43.13	43.17	42.48	42.46
21	2034	16			42.35	61.91	42.33	43.10	43.13	42.35	42.33
22	2035	17			42.22	64.50	42.21	43.06	43.09	42.22	42.21
23	2036	18			42.09	67.26	42.08	43.02	43.06	42.10	42.08
24	2037	19			41.96	70.19	41.96	42.99	43.02	41.97	41.96
25	2038	20			41.83	73.29	41.83	42.96	42.99	41.85	41.83
26	2039	21			41.70	76.56	41.71	42.93	42.96	41.72	41.71
27	2040	22			41.57	80.00	41.58	42.90	42.93	41.60	41.58
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	指数式による 予測を採用
				定数 a	45.08666667	46.96316384	45.06678356	45.55346086	45.55810	5.49E+22	
				定数 b	-0.13042	-1.07933	0.99702	-0.01822	-1.83789	-0.00300	
				定数 c		0.08530					
				収束値 k						2.47E+24	
				相関係数	0.22101	0.41949	0.22233	0.32683	0.32525	0.22234	
				相関順位	6	1	5	2	3	4	



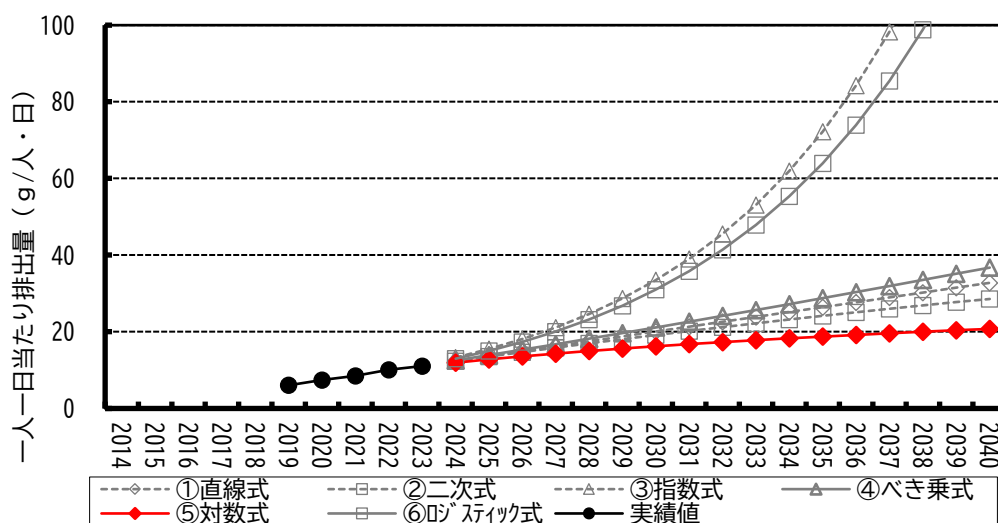
(3) 生活系プラスチック製容器包装

生活系プラスチック製容器包装量の推計値を表 6-5 に示します。

本市では、令和元年（2019 年）4 月に分別回収を開始し、令和 4 年（2022 年）10 月から回収回数を月 2 回から月 4 回に増加しています。令和元年（2019 年）以降、実績値は年々増加していますが、このまま急激に増加するとも考え難いため、最も増加傾向が小さい「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-5 生活系プラスチック製容器包装の推計値

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26									
2	2015	27									
3	2016	28									
4	2017	29									
5	2018	30									
6	2019	1	○	6.1							
7	2020	2		7.4							
8	2021	3	○	8.5							
9	2022	4	○	10.1							
10	2023	5	○	11.1							
11	2024	6			12.41	12.33	13.28	12.53	11.91	13.01	11.91
12	2025	7			13.68	13.52	15.49	13.91	12.77	15.04	12.77
13	2026	8			14.95	14.68	18.07	15.31	13.56	17.38	13.56
14	2027	9			16.23	15.83	21.08	16.73	14.29	20.10	14.29
15	2028	10			17.50	16.94	24.58	18.17	14.96	23.23	14.96
16	2029	11			18.77	18.04	28.68	19.63	15.60	26.86	15.60
17	2030	12			20.04	19.11	33.45	21.11	16.19	31.05	16.19
18	2031	13			21.31	20.16	39.02	22.60	16.76	35.89	16.76
19	2032	14			22.58	21.19	45.51	24.12	17.29	41.49	17.29
20	2033	15			23.85	22.19	53.08	25.64	17.79	47.97	17.79
21	2034	16			25.13	23.17	61.92	27.19	18.27	55.45	18.27
22	2035	17			26.40	24.13	72.22	28.75	18.73	64.10	18.73
23	2036	18			27.67	25.06	84.25	30.32	19.17	74.11	19.17
24	2037	19			28.94	25.97	98.27	31.90	19.58	85.67	19.58
25	2038	20			30.21	26.86	114.62	33.50	19.99	99.04	19.99
26	2039	21			31.48	27.72	133.70	35.11	20.37	114.49	20.37
27	2040	22			32.75	28.57	155.95	36.74	20.74	132.36	20.74
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用
				定数 a	-1.57428571	-2.27636364	2.441878089	0.70934	-11.65958	3.31E+21	
				定数 b	1.27143	1.45523	1.16644	1.19762	22.63751	0.14500	
				定数 c		-0.01159					
				収束値 k						8.74E+21	
				相関係数	0.99802	0.99808	0.99242	0.99776	0.99589	0.99300	
				相関順位	2	1	6	3	4	5	



(4) 生活系ペットボトル

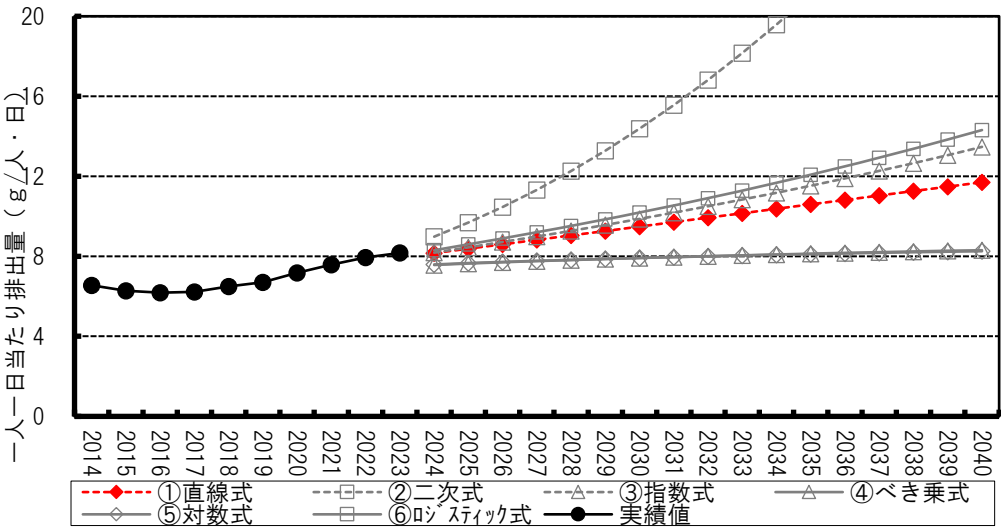
生活系ペットボトル量の推計値を表 6-6 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は年々増加しており、今後も増加すると考えられるため、「①直線式」による推計結果を採用します。

表 6-6 生活系ペットボトルの推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			【採用式】 ①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	6.6	5.9						
2	2015	27	○	6.3	6.2						
3	2016	28	○	6.2	6.4						
4	2017	29	○	6.2	6.6						
5	2018	30	○	6.5	6.8						
6	2019	1	○	6.7	7.0						
7	2020	2		7.2	7.3						
8	2021	3	○	7.6	7.5						
9	2022	4	○	7.9	7.7						
10	2023	5	○	8.2	7.9						
11	2024	6			8.16	8.98	8.19	7.57	7.59	8.28	8.16
12	2025	7			8.38	9.68	8.45	7.63	7.66	8.56	8.38
13	2026	8			8.60	10.46	8.71	7.70	7.72	8.84	8.60
14	2027	9			8.82	11.32	8.99	7.76	7.77	9.14	8.82
15	2028	10			9.04	12.26	9.27	7.81	7.82	9.45	9.04
16	2029	11			9.26	13.28	9.57	7.87	7.87	9.76	9.26
17	2030	12			9.49	14.38	9.87	7.92	7.92	10.09	9.49
18	2031	13			9.71	15.56	10.18	7.96	7.96	10.43	9.71
19	2032	14			9.93	16.82	10.50	8.01	8.00	10.78	9.93
20	2033	15			10.15	18.16	10.83	8.05	8.04	11.14	10.15
21	2034	16			10.37	19.58	11.18	8.09	8.07	11.52	10.37
22	2035	17			10.59	21.08	11.53	8.13	8.11	11.90	10.59
23	2036	18			10.82	22.66	11.89	8.17	8.14	12.30	10.82
24	2037	19			11.04	24.32	12.27	8.20	8.17	12.71	11.04
25	2038	20			11.26	26.07	12.66	8.24	8.20	13.14	11.26
26	2039	21			11.48	27.89	13.06	8.27	8.23	13.58	11.48
27	2040	22			11.70	29.79	13.47	8.31	8.26	14.04	11.70
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	直線式による 予測を採用
				定数 a	5.719333333	6.602384181	5.814029878	5.895660554	5.81777	2.00E+22	
				定数 b	0.22158	-0.22496	1.03161	0.10398	1.70615	0.03300	
				定数 c		0.04014					
				収束値 k						1.15E+23	
				相関係数	0.89969	0.98541	0.91421	0.74727	0.72339	0.91503	
				相関順位	4	1	3	5	6	2	



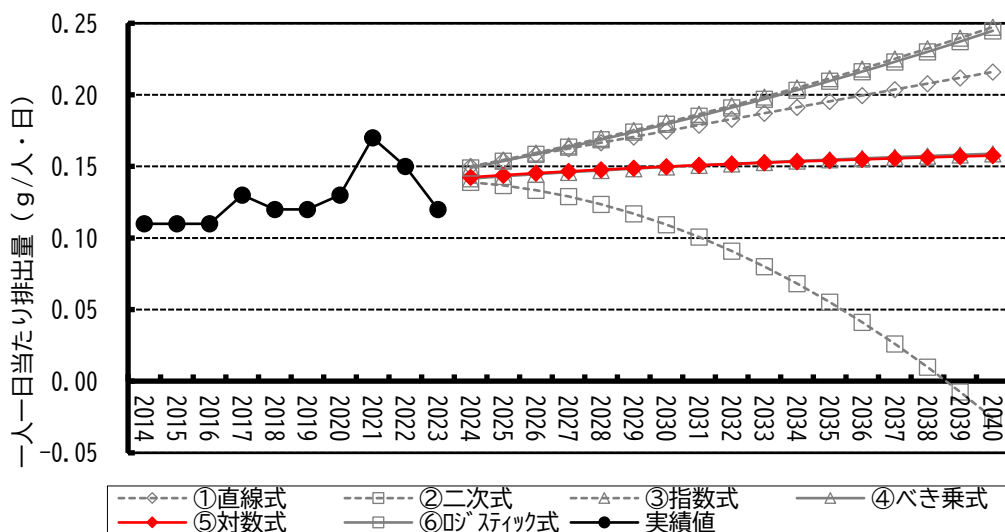
(5) 生活系廃食用油

生活系廃食用油量の推計値を表 6-7 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は概ね微増傾向にあるため、今後も微増傾向で推移する「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-7 生活系廃食用油の推計値

単位：g/人・日											
経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】	⑥ロジスティック式	
									⑤対数式		
1	2014	26	○	0.11							
2	2015	27	○	0.11							
3	2016	28	○	0.11							
4	2017	29	○	0.13							
5	2018	30	○	0.12							
6	2019	1	○	0.12							
7	2020	2		0.13							
8	2021	3	○	0.17							
9	2022	4	○	0.15							
10	2023	5	○	0.12							
11	2024	6			0.15	0.14	0.15	0.14	0.14	0.15	0.14
12	2025	7			0.15	0.14	0.15	0.14	0.14	0.16	0.14
13	2026	8			0.16	0.13	0.16	0.14	0.15	0.16	0.15
14	2027	9			0.16	0.13	0.16	0.15	0.15	0.17	0.15
15	2028	10			0.17	0.12	0.17	0.15	0.15	0.17	0.15
16	2029	11			0.17	0.12	0.18	0.15	0.15	0.18	0.15
17	2030	12			0.17	0.11	0.18	0.15	0.15	0.18	0.15
18	2031	13			0.18	0.10	0.19	0.15	0.15	0.19	0.15
19	2032	14			0.18	0.09	0.19	0.15	0.15	0.19	0.15
20	2033	15			0.19	0.08	0.20	0.15	0.15	0.20	0.15
21	2034	16			0.19	0.07	0.20	0.15	0.15	0.21	0.15
22	2035	17			0.20	0.06	0.21	0.15	0.15	0.21	0.15
23	2036	18			0.20	0.04	0.22	0.16	0.15	0.22	0.15
24	2037	19			0.20	0.03	0.23	0.16	0.16	0.23	0.16
25	2038	20			0.21	0.01	0.23	0.16	0.16	0.23	0.16
26	2039	21			0.21	-0.01	0.24	0.16	0.16	0.24	0.16
27	2040	22			0.22	-0.03	0.25	0.16	0.16	0.25	0.16
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による 予測を採用
				定数 a	0.104666667	0.092858757	0.106008151	0.103710415	0.10198	2.12E+22	
				定数 b	0.00413	0.01010	1.03188	0.12946	0.03889	0.03100	
				定数 c		-0.00054					
				収束値 k						2.27E+21	
				相関係数	0.63275	0.66454	0.62400	0.63011	0.62288	0.62411	
				相関順位	2	1	5	3	6	4	



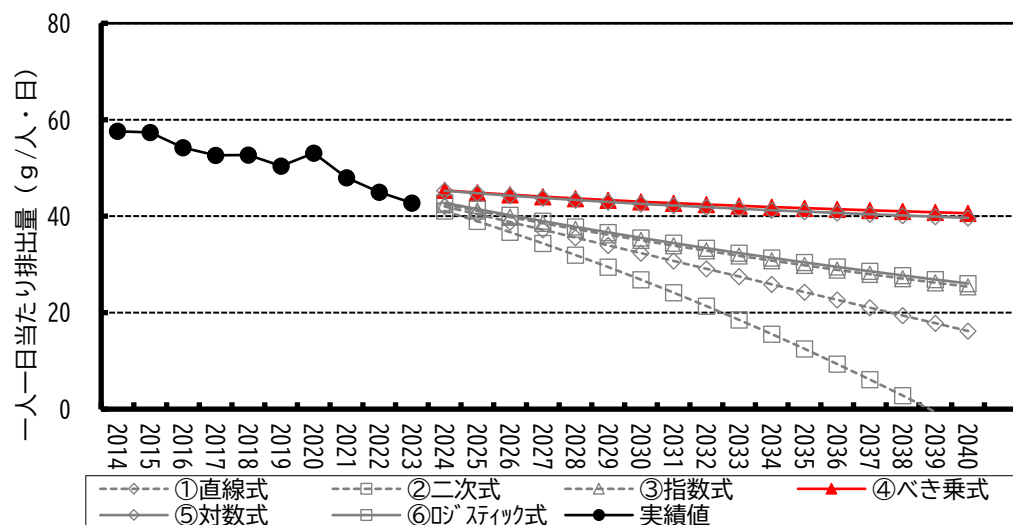
(6) 生活系不燃ごみ（全体）

生活系不燃ごみ（全体）量の推計値を表 6-8 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向にあります。今後急激に減少し続けるとは考え難いため、最も減少傾向が小さい「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-8 生活系不燃ごみ（全体）の推計値

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成 (令和))			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】 ④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	57.6							
2	2015	27	○	57.4							
3	2016	28	○	54.2							
4	2017	29	○	52.6							
5	2018	30	○	52.7							
6	2019	1	○	50.4							
7	2020	2		53.1							
8	2021	3	○	48.0							
9	2022	4	○	45.0							
10	2023	5	○	42.7							
11	2024	6			42.03	41.10	42.46	45.38	45.30	42.49	45.38
12	2025	7			40.41	38.95	41.11	44.89	44.75	41.15	44.89
13	2026	8			38.80	36.71	39.81	44.45	44.25	39.86	44.45
14	2027	9			37.18	34.38	38.55	44.05	43.79	38.60	44.05
15	2028	10			35.57	31.96	37.33	43.67	43.35	37.39	43.67
16	2029	11			33.95	29.45	36.15	43.33	42.95	36.21	43.33
17	2030	12			32.34	26.85	35.01	43.00	42.57	35.07	43.00
18	2031	13			30.72	24.16	33.90	42.70	42.21	33.96	42.70
19	2032	14			29.11	21.38	32.83	42.42	41.87	32.90	42.42
20	2033	15			27.50	18.51	31.79	42.15	41.55	31.86	42.15
21	2034	16			25.88	15.55	30.79	41.90	41.24	30.86	41.90
22	2035	17			24.27	12.50	29.81	41.66	40.95	29.88	41.66
23	2036	18			22.65	9.36	28.87	41.43	40.67	28.94	41.43
24	2037	19			21.04	6.13	27.96	41.21	40.40	28.03	41.21
25	2038	20			19.42	2.80	27.07	41.01	40.14	27.15	41.01
26	2039	21			17.81	-0.61	26.22	40.81	39.90	26.29	40.81
27	2040	22			16.19	-4.11	25.39	40.62	39.66	25.47	40.62
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式による予測を採用
				定数 a	59.78666667	58.79559322	60.46179628	61.0138623	60.35592	1.06E+21	
				定数 b	-1.61458	-1.11342	0.96837	-0.12346	-14.45812	-0.03200	
				定数 c		-0.04505					
				収束値 k						6.42E+22	
				相関係数	0.98793	0.99027	0.98451	0.90810	0.92381	0.98453	
				相関順位	2	1	4	6	5	3	



(7) 生活系かん類

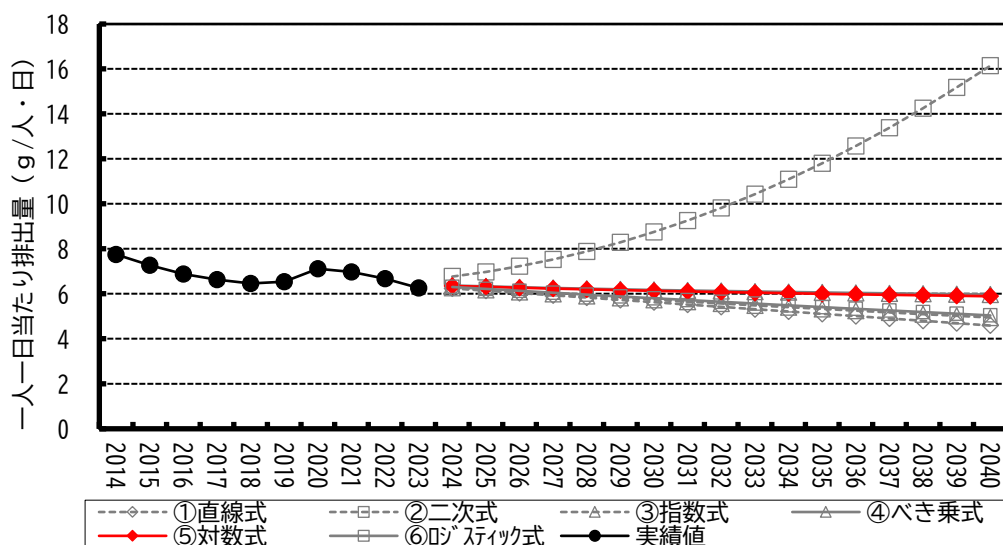
生活系かん類量の推計値を表 6-9 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向にあり、今後も緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-9 生活系かん類の推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】	⑥ロジスティック式	
									⑤対数式		
1	2014	26	○	7.75							
2	2015	27	○	7.27							
3	2016	28	○	6.88							
4	2017	29	○	6.63							
5	2018	30	○	6.46							
6	2019	1	○	6.54							
7	2020	2		7.11							
8	2021	3	○	6.97							
9	2022	4	○	6.67							
10	2023	5	○	6.26							
11	2024	6			6.24	6.77	6.26	6.37	6.35	6.23	6.35
12	2025	7			6.14	6.97	6.17	6.33	6.31	6.13	6.31
13	2026	8			6.04	7.22	6.08	6.29	6.27	6.03	6.27
14	2027	9			5.93	7.53	5.99	6.26	6.23	5.93	6.23
15	2028	10			5.83	7.88	5.91	6.23	6.19	5.84	6.19
16	2029	11			5.73	8.29	5.82	6.20	6.16	5.75	6.16
17	2030	12			5.62	8.75	5.73	6.17	6.13	5.66	6.13
18	2031	13			5.52	9.26	5.65	6.15	6.10	5.57	6.10
19	2032	14			5.42	9.82	5.57	6.12	6.07	5.48	6.07
20	2033	15			5.31	10.43	5.48	6.10	6.05	5.39	6.05
21	2034	16			5.21	11.09	5.40	6.08	6.02	5.31	6.02
22	2035	17			5.11	11.80	5.32	6.06	6.00	5.22	6.00
23	2036	18			5.00	12.57	5.25	6.04	5.98	5.14	5.98
24	2037	19			4.90	13.39	5.17	6.02	5.95	5.06	5.95
25	2038	20			4.80	14.25	5.09	6.00	5.93	4.98	5.93
26	2039	21			4.70	15.17	5.02	5.98	5.91	4.90	5.91
27	2040	22			4.59	16.14	4.94	5.97	5.90	4.82	5.90
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による 予測を採用
				定数 a	7.375333333	7.939288136	7.371357309	7.570524382	7.56741	1.94E+21	
				定数 b	-0.10308	-0.38827	0.98532	-0.07217	-1.16835	-0.01600	
				定数 c		0.02563					
				収束値 k						1.44E+22	
				相関係数	0.71274	0.83614	0.72071	0.85080	0.84357	0.72136	
				相関順位	6	3	5	1	2	4	



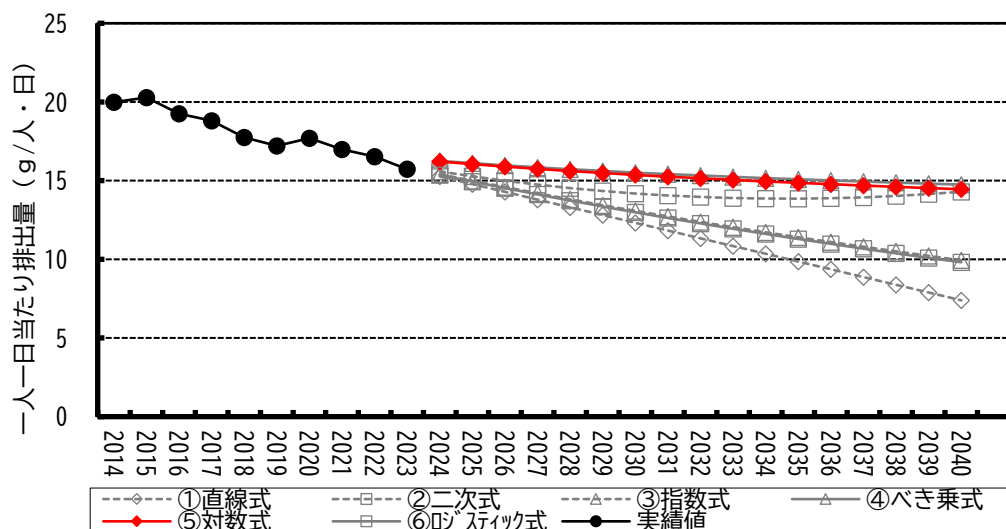
(8) 生活系びん類

生活系びん類量の推計値を表 6-10 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向にあり、今後も緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-10 生活系びん類の推計値

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成 (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	20.0							
2	2015	27	○	20.3							
3	2016	28	○	19.3							
4	2017	29	○	18.8							
5	2018	30	○	17.8							
6	2019	1	○	17.2							
7	2020	2		17.7							
8	2021	3	○	17.0							
9	2022	4	○	16.5							
10	2023	5	○	15.7							
11	2024	6			15.27	15.59	15.41	16.26	16.22	15.35	16.22
12	2025	7			14.78	15.28	14.99	16.11	16.05	14.93	16.05
13	2026	8			14.29	15.00	14.59	15.97	15.89	14.52	15.89
14	2027	9			13.79	14.75	14.20	15.84	15.74	14.12	15.74
15	2028	10			13.30	14.53	13.81	15.72	15.61	13.73	15.61
16	2029	11			12.81	14.34	13.44	15.61	15.48	13.35	15.48
17	2030	12			12.32	14.18	13.08	15.51	15.36	12.98	15.36
18	2031	13			11.83	14.06	12.72	15.41	15.25	12.62	15.25
19	2032	14			11.33	13.96	12.38	15.32	15.14	12.27	15.14
20	2033	15			10.84	13.89	12.05	15.24	15.04	11.93	15.04
21	2034	16			10.35	13.86	11.72	15.16	14.95	11.60	14.95
22	2035	17			9.86	13.85	11.40	15.08	14.86	11.28	14.86
23	2036	18			9.37	13.88	11.10	15.01	14.77	10.97	14.77
24	2037	19			8.87	13.94	10.80	14.94	14.68	10.67	14.68
25	2038	20			8.38	14.03	10.51	14.87	14.60	10.37	14.60
26	2039	21			7.89	14.14	10.22	14.81	14.53	10.09	14.53
27	2040	22			7.40	14.29	9.95	14.75	14.45	9.81	14.45
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による 予測を採用
				定数 a	20.68333333	21.0199435	20.82448441	21.08802203	20.93356	5.84E+20	
				定数 b	-0.49208	-0.66230	0.97300	-0.10844	-4.52731	-0.02800	
				定数 c		0.01530					
				収束値 k						1.22E+22	
				相関係数	0.97479	0.97765	0.97674	0.92441	0.93652	0.97677	
				相関順位	4	1	3	6	5	2	



(9) 生活系小型家電

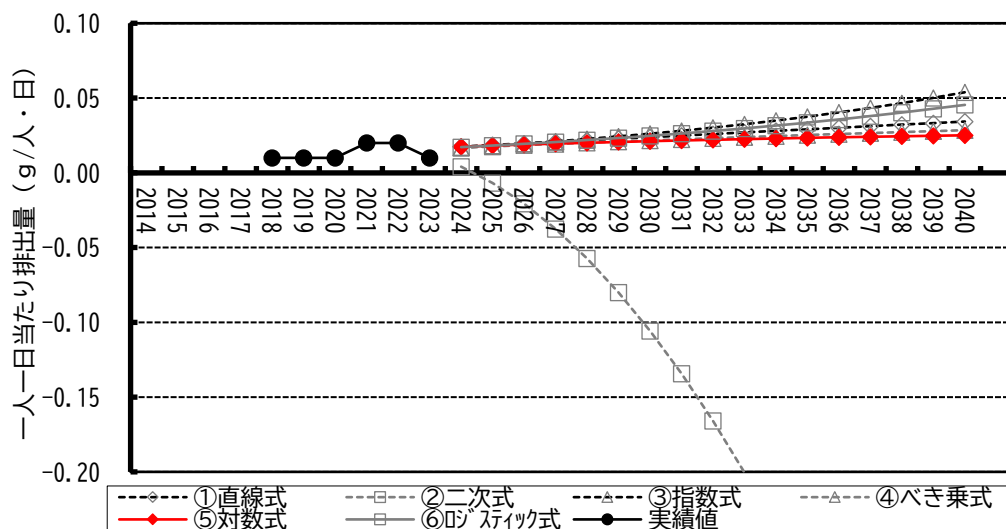
生活系小型家電量の推計値を表 6-11 に示します。

小型家電として集計を取り始めた 2018 年度(平成 30 年度)以降の実績値は概ね一定であることから、今後も概ね一定で推移すると考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-11 生活系小型家電の推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26									
2	2015	27									
3	2016	28									
4	2017	29									
5	2018	30	○	0.01							
6	2019	1	○	0.01							
7	2020	2		0.01							
8	2021	3	○	0.02							
9	2022	4	○	0.02							
10	2023	5	○	0.01							
11	2024	6			0.02	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
12	2025	7			0.02	-0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
13	2026	8			0.02	-0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
14	2027	9			0.02	-0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
15	2028	10			0.02	-0.06	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
16	2029	11			0.02	-0.08	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
17	2030	12			0.02	-0.11	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
18	2031	13			0.02	-0.13	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02
19	2032	14			0.03	-0.17	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02
20	2033	15			0.03	-0.20	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02
21	2034	16			0.03	-0.24	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02
22	2035	17			0.03	-0.28	0.04	0.03	0.02	0.03	0.02
23	2036	18			0.03	-0.32	0.04	0.03	0.02	0.04	0.02
24	2037	19			0.03	-0.37	0.04	0.03	0.02	0.04	0.02
25	2038	20			0.03	-0.42	0.05	0.03	0.02	0.04	0.02
26	2039	21			0.03	-0.47	0.05	0.03	0.02	0.04	0.02
27	2040	22			0.03	-0.52	0.05	0.03	0.03	0.05	0.03
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による 予測を採用
				定数 a	0.006046512	-0.07090909	0.007603055	0.004040549	-0.00307	8.90E+17	
				定数 b	0.00105	0.02307	1.07523	0.59289	0.01970	0.06100	
				定数 c		-0.00148					
				収束値 k						7.80E+15	
				相関係数	0.39620	0.82343	0.36083	0.41958	0.45031	0.36666	
				相関順位	4	1	6	3	2	5	



(10) 生活系有害ごみ

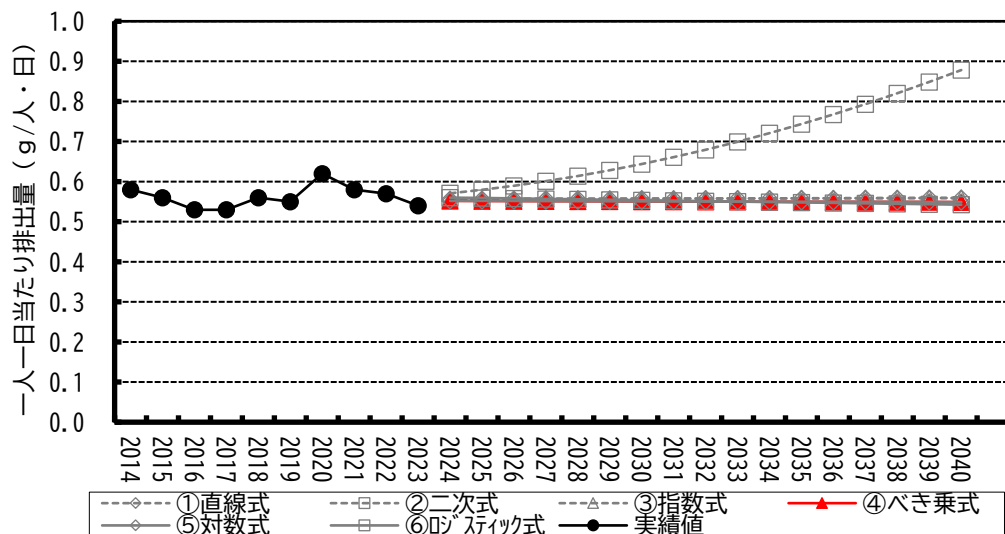
生活系有害ごみ量の推計値を表 6-12 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は概ね一定であることから、今後も概ね一定で推移すると考えられるため、「④ ベキ乗式」による推計結果を採用します。

表 6-12 生活系有害ごみの推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】 ④ベキ乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	0.6							
2	2015	27	○	0.6							
3	2016	28	○	0.5							
4	2017	29	○	0.5							
5	2018	30	○	0.6							
6	2019	1	○	0.6							
7	2020	2		0.6							
8	2021	3	○	0.6							
9	2022	4	○	0.6							
10	2023	5	○	0.5							
11	2024	6			0.56	0.57	0.56	0.55	0.55	0.55	0.55
12	2025	7			0.56	0.58	0.56	0.55	0.55	0.55	0.55
13	2026	8			0.56	0.59	0.56	0.55	0.55	0.55	0.55
14	2027	9			0.56	0.60	0.56	0.55	0.55	0.55	0.55
15	2028	10			0.56	0.61	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
16	2029	11			0.56	0.63	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
17	2030	12			0.56	0.64	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
18	2031	13			0.56	0.66	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
19	2032	14			0.56	0.68	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
20	2033	15			0.56	0.70	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
21	2034	16			0.56	0.72	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
22	2035	17			0.56	0.74	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
23	2036	18			0.56	0.77	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
24	2037	19			0.56	0.79	0.56	0.55	0.55	0.54	0.55
25	2038	20			0.56	0.82	0.56	0.55	0.55	0.53	0.55
26	2039	21			0.56	0.85	0.56	0.55	0.55	0.53	0.55
27	2040	22			0.56	0.88	0.56	0.55	0.55	0.53	0.55
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	ベキ乗式による予測を採用
				定数 a	0.554666667	0.570259887	0.55426986	0.560357971	0.56076	1.36E+21	
				定数 b	0.00017	-0.00772	1.00033	-0.00626	-0.00820	-0.00200	
				定数 c		0.00071					
				収束値 k						7.62E+20	
				相関係数	0.02712	0.28574	0.02723	0.14062	0.13933	-0.02641	
				相関順位	5	1	4	2	3	6	



(11) 生活系粗大ごみ

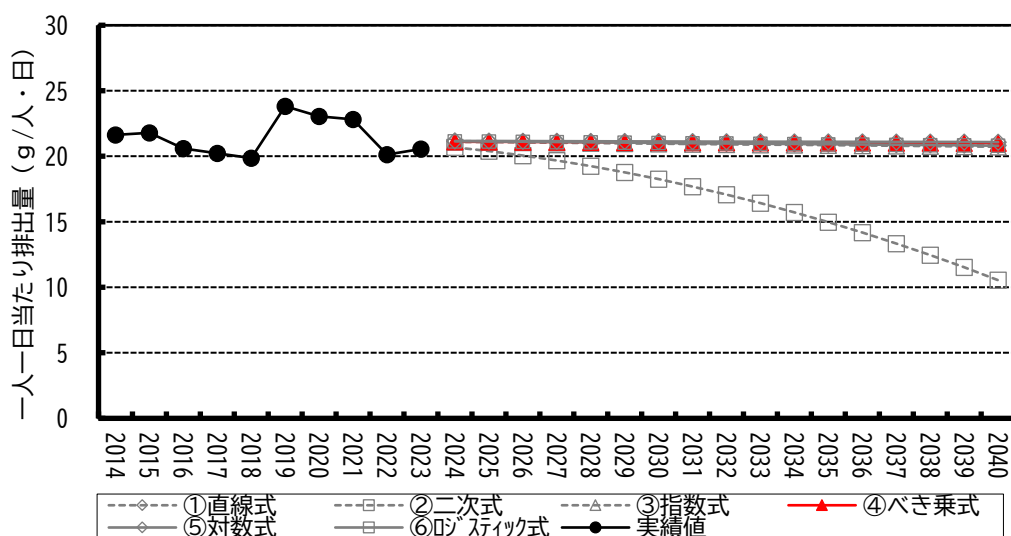
生活系粗大ごみ量の推計値を表 6-13 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向であることから、今後も減少傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-13 生活系粗大ごみの推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成 (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】 ④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	21.6							
2	2015	27	○	21.8							
3	2016	28	○	20.6							
4	2017	29	○	20.2							
5	2018	30	○	19.9							
6	2019	1	○	23.8							
7	2020	2		23.1							
8	2021	3	○	22.8							
9	2022	4	○	20.1							
10	2023	5	○	20.6							
11	2024	6			21.16	20.68	21.10	21.12	21.17	21.15	21.12
12	2025	7			21.14	20.39	21.07	21.11	21.17	21.13	21.11
13	2026	8			21.12	20.06	21.05	21.10	21.16	21.10	21.10
14	2027	9			21.10	19.67	21.03	21.09	21.15	21.08	21.09
15	2028	10			21.08	19.25	21.01	21.08	21.14	21.06	21.08
16	2029	11			21.06	18.77	20.98	21.07	21.14	21.04	21.07
17	2030	12			21.04	18.25	20.96	21.06	21.13	21.02	21.06
18	2031	13			21.02	17.69	20.94	21.06	21.12	21.00	21.06
19	2032	14			21.00	17.08	20.91	21.05	21.12	20.98	21.05
20	2033	15			20.98	16.42	20.89	21.04	21.11	20.96	21.04
21	2034	16			20.96	15.72	20.87	21.04	21.11	20.94	21.04
22	2035	17			20.94	14.97	20.84	21.03	21.10	20.92	21.03
23	2036	18			20.92	14.18	20.82	21.03	21.10	20.89	21.03
24	2037	19			20.90	13.34	20.80	21.02	21.10	20.87	21.02
25	2038	20			20.88	12.45	20.78	21.02	21.09	20.85	21.02
26	2039	21			20.86	11.52	20.75	21.01	21.09	20.83	21.01
27	2040	22			20.84	10.54	20.73	21.01	21.08	20.81	21.01
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式による予測を採用
				定数 a	21.37133333	20.86856497	21.35418837	21.4082585	21.41177	6.88E+19	
				定数 b	-0.01962	0.23462	0.99890	-0.00574	-0.22853	-0.00100	
				定数 c		-0.02285					
				収束値 k						1.47E+21	
				相関係数	0.04587	0.13951	0.04569	0.05594	0.05578	0.04571	
				相関順位	4	1	6	2	3	5	



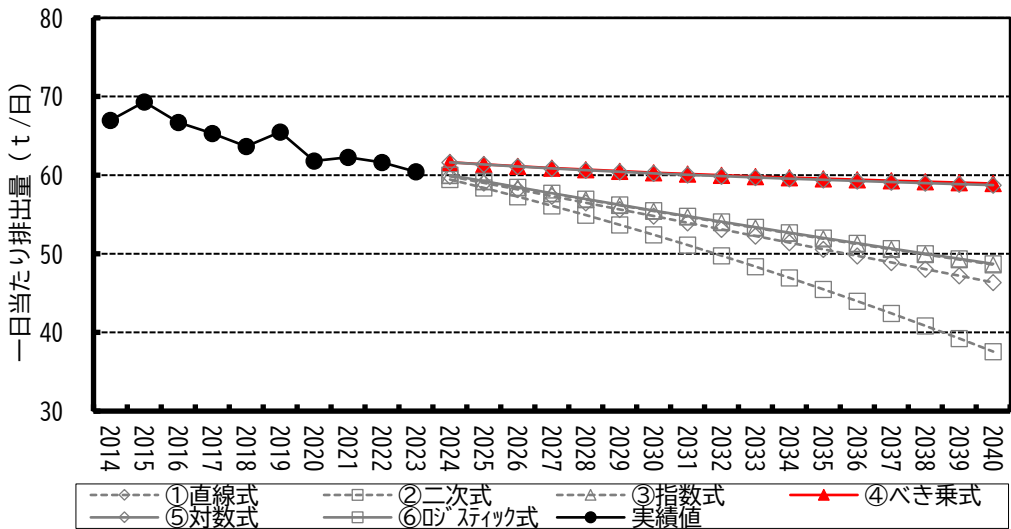
(12) 事業系可燃ごみ（全体）

事業系可燃ごみ（全体）量の推計値を表 6-14 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向で推移しており、今後も緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-14 事業系可燃ごみ（全体）の推計値

単位：t/日											
経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
								④べき乗式			
1	2014	26	○	66.98							
2	2015	27	○	69.32							
3	2016	28	○	66.70							
4	2017	29	○	65.30							
5	2018	30	○	63.65							
6	2019	1	○	65.49							
7	2020	2		61.80							
8	2021	3	○	62.28							
9	2022	4	○	61.62							
10	2023	5	○	60.44							
11	2024	6			59.86	59.46	59.96	61.64	61.63	60.01	61.64
12	2025	7			59.02	58.38	59.18	61.38	61.35	59.23	61.38
13	2026	8			58.17	57.27	58.41	61.13	61.09	58.47	61.13
14	2027	9			57.33	56.12	57.65	60.91	60.85	57.71	60.91
15	2028	10			56.49	54.92	56.90	60.70	60.63	56.97	60.70
16	2029	11			55.64	53.69	56.16	60.50	60.42	56.23	60.50
17	2030	12			54.80	52.42	55.43	60.32	60.23	55.50	60.32
18	2031	13			53.96	51.11	54.71	60.15	60.04	54.79	60.15
19	2032	14			53.11	49.76	54.00	59.99	59.87	54.08	59.99
20	2033	15			52.27	48.38	53.29	59.83	59.70	53.38	59.83
21	2034	16			51.42	46.95	52.60	59.69	59.55	52.69	59.69
22	2035	17			50.58	45.48	51.92	59.55	59.40	52.01	59.55
23	2036	18			49.74	43.98	51.24	59.42	59.25	51.34	59.42
24	2037	19			48.89	42.44	50.57	59.29	59.12	50.68	59.29
25	2038	20			48.05	40.85	49.92	59.17	58.99	50.02	59.17
26	2039	21			47.21	39.23	49.27	59.06	58.86	49.38	59.06
27	2040	22			46.36	37.57	48.62	58.95	58.74	48.74	58.95
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式に よる予測を 採用
				定数 a	69.142	68.71279096	69.2597411	69.46660255	69.34952	3.78E+19	
				定数 b	-0.84371	-0.62667	0.98698	-0.04983	-7.41350	-0.01300	
				定数 c		-0.01951					
				収束値 k						2.62E+21	
				相関係数	0.92826	0.92977	0.92728	0.84445	0.85174	0.92729	
				相関順位	2	1	4	6	5	3	



(13) 事業系不燃ごみ

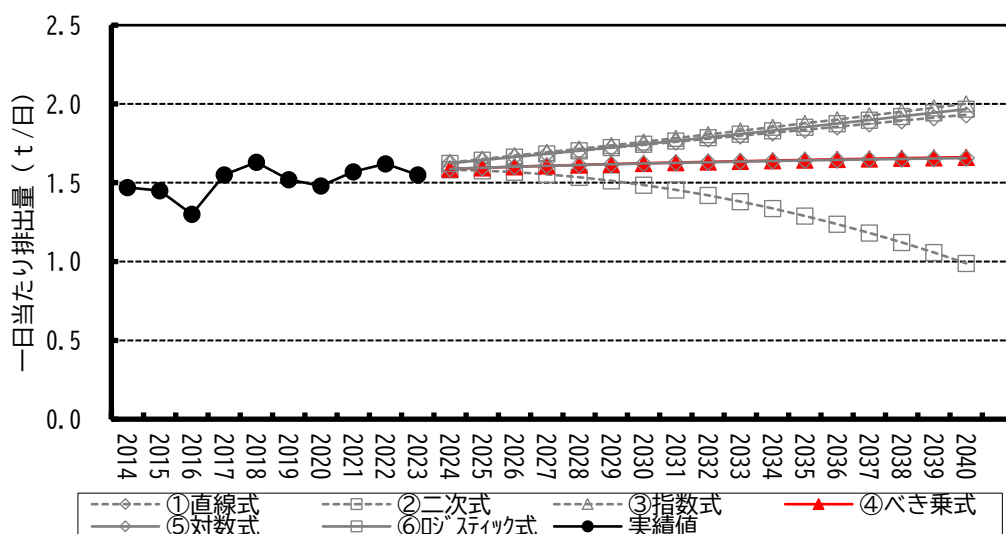
事業系不燃ごみ量の推計値を表 6-15 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増減しながらも増加傾向で推移しており、今後も緩やかな増加傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-15 事業系不燃ごみの推計値

単位：t/日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成 (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
								④べき乗式			
1	2014	26	○	1.47				1.4			
2	2015	27	○	1.45				1.5			
3	2016	28	○	1.30				1.5			
4	2017	29	○	1.55				1.5			
5	2018	30	○	1.63				1.5			
6	2019	1	○	1.52				1.5			
7	2020	2		1.48				1.6			
8	2021	3	○	1.57				1.6			
9	2022	4	○	1.62				1.6			
10	2023	5	○	1.55				1.6			
11	2024	6			1.63	1.58	1.63	1.59	1.59	1.62	1.59
12	2025	7			1.65	1.58	1.65	1.60	1.60	1.64	1.60
13	2026	8			1.66	1.57	1.67	1.60	1.60	1.66	1.60
14	2027	9			1.68	1.55	1.69	1.61	1.61	1.68	1.61
15	2028	10			1.70	1.53	1.72	1.61	1.61	1.70	1.61
16	2029	11			1.72	1.51	1.74	1.62	1.62	1.72	1.62
17	2030	12			1.74	1.49	1.76	1.62	1.62	1.74	1.62
18	2031	13			1.76	1.45	1.78	1.63	1.63	1.77	1.63
19	2032	14			1.78	1.42	1.81	1.63	1.63	1.79	1.63
20	2033	15			1.80	1.38	1.83	1.64	1.63	1.81	1.64
21	2034	16			1.82	1.34	1.85	1.64	1.64	1.83	1.64
22	2035	17			1.84	1.29	1.88	1.64	1.64	1.85	1.64
23	2036	18			1.85	1.24	1.90	1.65	1.64	1.88	1.65
24	2037	19			1.87	1.18	1.93	1.65	1.65	1.90	1.65
25	2038	20			1.89	1.12	1.95	1.66	1.65	1.92	1.66
26	2039	21			1.91	1.06	1.98	1.66	1.65	1.94	1.66
27	2040	22			1.93	0.99	2.00	1.66	1.66	1.97	1.66
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式による予測を採用
				定数 a	1.416	1.370011299	1.414231272	1.406610133	1.40701	1.53E+15	
				定数 b	0.01908	0.04234	1.01294	0.05060	0.17445	0.01200	
				定数 c		-0.00209					
				収束値 k						2.18E+15	
				相関係数	0.59550	0.61685	0.59283	0.57278	0.56847	0.59301	
				相関順位	2	1	4	5	6	3	



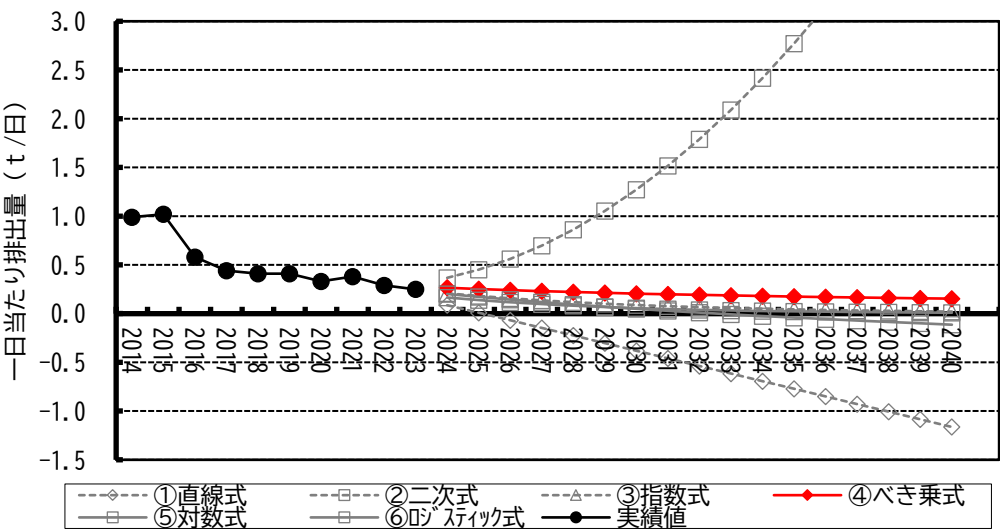
(14) 事業系粗大ごみ

事業系粗大ごみ量の推計値を表 6-16 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向で推移しており、今後は緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-16 事業系粗大ごみの推計値

単位：t/日											
経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
								④べき乗式			
1	2014	26	○	0.99							
2	2015	27	○	1.02							
3	2016	28	○	0.58							
4	2017	29	○	0.44							
5	2018	30	○	0.41							
6	2019	1	○	0.41							
7	2020	2		0.33							
8	2021	3	○	0.38							
9	2022	4	○	0.29							
10	2023	5	○	0.25							
11	2024	6			0.09	0.37	0.21	0.27	0.20	0.16	0.27
12	2025	7			0.01	0.45	0.18	0.25	0.17	0.14	0.25
13	2026	8			-0.07	0.56	0.16	0.24	0.14	0.12	0.24
14	2027	9			-0.15	0.70	0.14	0.23	0.12	0.10	0.23
15	2028	10			-0.23	0.86	0.12	0.22	0.09	0.08	0.22
16	2029	11			-0.30	1.05	0.10	0.21	0.07	0.07	0.21
17	2030	12			-0.38	1.27	0.09	0.20	0.05	0.06	0.20
18	2031	13			-0.46	1.52	0.08	0.20	0.03	0.05	0.20
19	2032	14			-0.54	1.79	0.07	0.19	0.01	0.04	0.19
20	2033	15			-0.62	2.09	0.06	0.18	-0.01	0.03	0.18
21	2034	16			-0.69	2.42	0.05	0.18	-0.03	0.03	0.18
22	2035	17			-0.77	2.77	0.04	0.17	-0.04	0.02	0.17
23	2036	18			-0.85	3.15	0.04	0.17	-0.06	0.02	0.17
24	2037	19			-0.93	3.56	0.03	0.17	-0.07	0.02	0.17
25	2038	20			-1.01	4.00	0.03	0.16	-0.09	0.01	0.16
26	2039	21			-1.08	4.46	0.02	0.16	-0.10	0.01	0.16
27	2040	22			-1.16	4.95	0.02	0.15	-0.11	0.01	0.15
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式による予測を採用
				定数 a	0.94666667	1.245028249	1.021854195	1.161073405	1.04282	6.91E+19	
				定数 b	-0.07813	-0.22900	0.86564	-0.61367	-0.80764	-0.18000	
				定数 c		0.01356					
				収束値 k						8.26E+19	
				相関係数	0.86699	0.94312	0.92110	0.91792	0.93593	0.93013	
				相関順位	6	1	4	5	2	3	



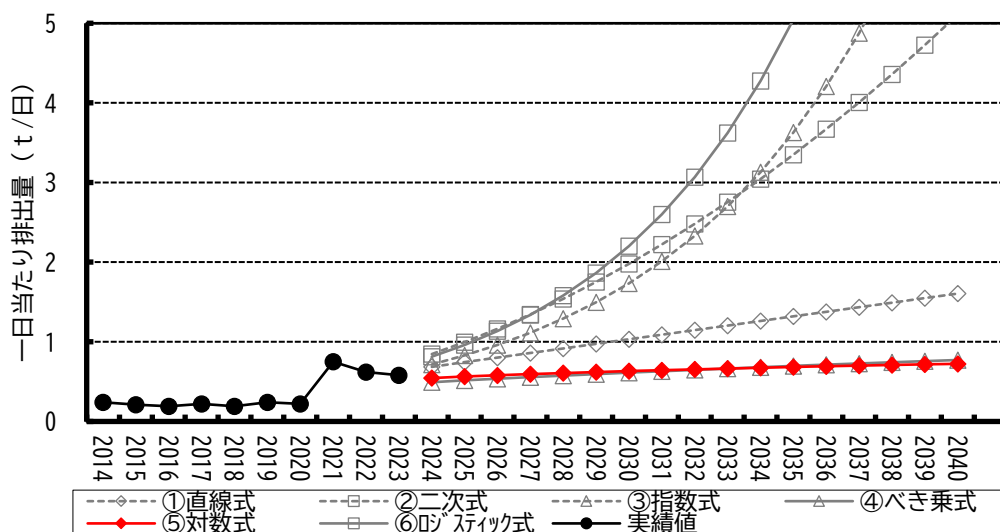
(15) 事業系資源ごみ（つくばサステナスクエア搬入分）

つくばサステナスクエアに搬入される事業系資源ごみ量の推計値を表 6-17 に示します。

実績値は 2021 年度（令和 3 年度）に大幅に増加し、それ以降は減少傾向で推移しています。今後も急激な増加は見込めないため、最も緩やかな増加となる「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-17 事業系資源ごみの推計値

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	0.24							
2	2015	27	○	0.21							
3	2016	28	○	0.19							
4	2017	29	○	0.22							
5	2018	30	○	0.19							
6	2019	1	○	0.24							
7	2020	2		0.22							
8	2021	3	○	0.75							
9	2022	4	○	0.62							
10	2023	5	○	0.58							
11	2024	6			0.69	0.85	0.71	0.49	0.55	0.81	0.55
12	2025	7			0.74	1.00	0.83	0.51	0.56	0.96	0.56
13	2026	8			0.80	1.16	0.96	0.54	0.58	1.13	0.58
14	2027	9			0.86	1.34	1.11	0.56	0.59	1.33	0.59
15	2028	10			0.92	1.54	1.29	0.58	0.61	1.57	0.61
16	2029	11			0.97	1.75	1.50	0.59	0.62	1.85	0.62
17	2030	12			1.03	1.98	1.73	0.61	0.63	2.19	0.63
18	2031	13			1.09	2.22	2.01	0.63	0.64	2.58	0.64
19	2032	14			1.15	2.48	2.33	0.65	0.65	3.04	0.65
20	2033	15			1.20	2.75	2.70	0.66	0.66	3.59	0.66
21	2034	16			1.26	3.04	3.13	0.68	0.67	4.23	0.67
22	2035	17			1.32	3.35	3.63	0.70	0.68	4.99	0.68
23	2036	18			1.38	3.67	4.21	0.71	0.69	5.88	0.69
24	2037	19			1.43	4.01	4.88	0.73	0.70	6.94	0.70
25	2038	20			1.49	4.36	5.65	0.74	0.71	8.18	0.71
26	2039	21			1.55	4.73	6.55	0.76	0.72	9.65	0.72
27	2040	22			1.61	5.11	7.60	0.77	0.72	11.38	0.72
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用
				定数 a	0.053333333	0.22440678	0.140653026	0.149373392	0.07064	1.52E+20	
				定数 b	0.05750	-0.02901	1.15923	0.49784	0.45571	0.16500	
				定数 c		0.00778					
				収束値 k						2.02E+19	
				相関係数	0.81645	0.86067	0.84412	0.76023	0.67571	0.84455	
				相関順位	4	1	3	5	6	2	



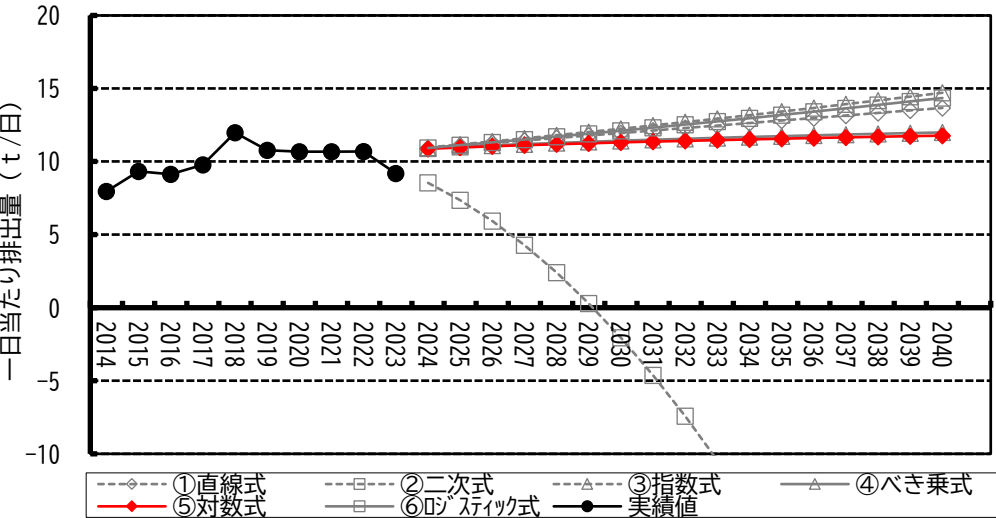
(16) 事業系直接資源化（許可業者が運搬）

事業系直接資源化（許可業者が運搬）量の推計値を表 6-18 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増減しながらも増加傾向を示しています。今後も緩やかな増加が続くと考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-18 事業系直接資源化（許可業者が運搬）の推計値

単位：t/日											
経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】	⑥ロジスティック式	
									⑤対数式		
1	2014	26	○	7.96							
2	2015	27	○	9.32							
3	2016	28	○	9.13							
4	2017	29	○	9.77							
5	2018	30	○	11.98							
6	2019	1	○	10.77							
7	2020	2		10.67							
8	2021	3	○	10.67							
9	2022	4	○	10.68							
10	2023	5	○	9.18							
11	2024	6			10.91	8.55	10.96	10.90	10.87	10.93	10.87
12	2025	7			11.09	7.35	11.16	11.01	10.96	11.12	10.96
13	2026	8			11.26	5.93	11.37	11.10	11.04	11.31	11.04
14	2027	9			11.43	4.28	11.58	11.19	11.11	11.50	11.11
15	2028	10			11.60	2.40	11.80	11.27	11.18	11.70	11.18
16	2029	11			11.77	0.29	12.02	11.35	11.25	11.90	11.25
17	2030	12			11.95	-2.05	12.24	11.42	11.31	12.11	11.31
18	2031	13			12.12	-4.62	12.47	11.49	11.36	12.31	11.36
19	2032	14			12.29	-7.42	12.70	11.56	11.42	12.52	11.42
20	2033	15			12.46	-10.45	12.93	11.62	11.47	12.74	11.47
21	2034	16			12.63	-13.71	13.17	11.68	11.52	12.96	11.52
22	2035	17			12.80	-17.20	13.42	11.74	11.56	13.18	11.56
23	2036	18			12.98	-20.92	13.67	11.79	11.61	13.41	11.61
24	2037	19			13.15	-24.86	13.92	11.84	11.65	13.64	11.65
25	2038	20			13.32	-29.04	14.18	11.90	11.69	13.87	11.69
26	2039	21			13.49	-33.45	14.44	11.95	11.73	14.11	11.73
27	2040	22			13.66	-38.09	14.71	11.99	11.77	14.35	11.77
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による 予測を採用
				定数 a	9.023333333	6.496836158	8.952849337	8.457881064	8.48304	7.79E+18	
				定数 b	0.17188	1.44948	1.01856	0.10597	2.29456	0.01700	
				定数 c		-0.11484					
				収束値 k						7.06E+19	
				相関係数	0.45336	0.87397	0.43630	0.61628	0.63202	0.43759	
				相関順位	4	1	6	3	2	5	



(17) 事業系直接資源化（自社または資源化業者で運搬）

事業系直接資源化（自社または資源化業者で運搬）量の推計値を表 6-19 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増加傾向で推移しています。本市は、多量排出事業者から提出される年次報告書により直接資源化した資源ごみ量の把握に努めており、今後も増加傾向で推移するものの、急激な増加は見込めないため、緩やかな増加となる「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-19 事業系直接資源化（自社または資源化業者で運搬）の推計値

単位：t/日											
経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
								④べき乗式			
1	2014	26	○	14.71							
2	2015	27	○	21.25							
3	2016	28	○	18.88							
4	2017	29	○	18.16							
5	2018	30	○	21.61							
6	2019	1	○	20.98							
7	2020	2		21.86							
8	2021	3	○	24.97							
9	2022	4	○	25.54							
10	2023	5	○	30.72							
11	2024	6			29.49	31.62	30.30	26.96	26.73	30.54	26.96
12	2025	7			30.83	34.19	32.20	27.54	27.18	32.49	27.54
13	2026	8			32.17	36.97	34.23	28.09	27.60	34.57	28.09
14	2027	9			33.52	39.95	36.39	28.61	27.98	36.78	28.61
15	2028	10			34.86	43.14	38.69	29.09	28.34	39.14	29.09
16	2029	11			36.21	46.54	41.12	29.56	28.68	41.64	29.56
17	2030	12			37.55	50.14	43.72	30.00	28.99	44.30	30.00
18	2031	13			38.90	53.95	46.47	30.43	29.29	47.14	30.43
19	2032	14			40.24	57.97	49.40	30.83	29.57	50.15	30.83
20	2033	15			41.58	62.19	52.51	31.22	29.84	53.36	31.22
21	2034	16			42.93	66.62	55.82	31.60	30.09	56.77	31.60
22	2035	17			44.27	71.26	59.34	31.96	30.33	60.41	31.96
23	2036	18			45.62	76.10	63.08	32.31	30.56	64.27	32.31
24	2037	19			46.96	81.15	67.06	32.65	30.78	68.38	32.65
25	2038	20			48.30	86.41	71.28	32.98	31.00	72.75	32.98
26	2039	21			49.65	91.88	75.78	33.30	31.20	77.41	33.30
27	2040	22			50.99	97.55	80.55	33.61	31.40	82.36	33.61
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式による予測を採用
				定数 a	14.7	16.97276836	15.4663494	14.96484282	14.27233	8.22E+17	
				定数 b	1.34417	0.19487	1.06303	0.24550	11.96379	0.06200	
				定数 c		0.10331					
				収束値 k						1.27E+19	
				相関係数	0.90466	0.92077	0.91564	0.86258	0.84082	0.91577	
				相関順位	4	1	3	5	6	2	

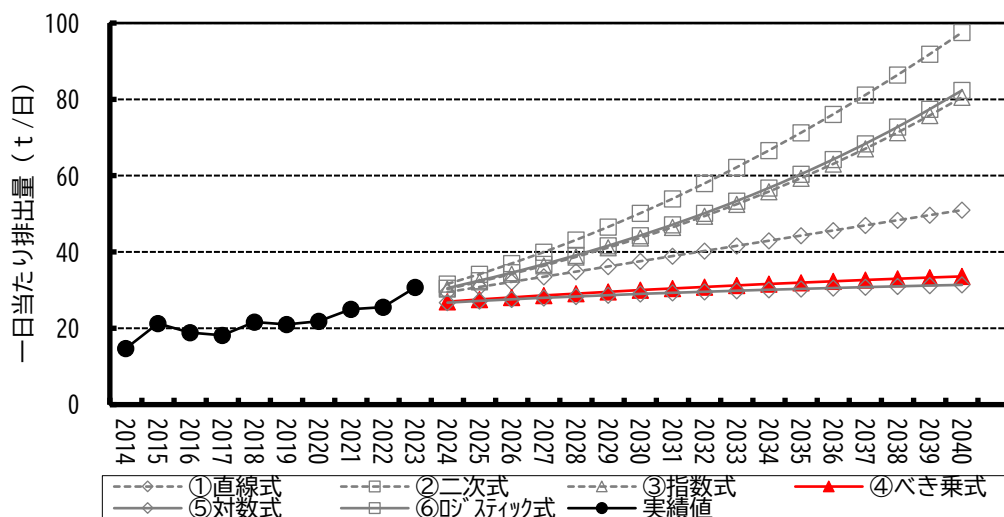


表 6-20 ごみ排出量の実績及び見込み（現状推移時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/年	56,583	56,723	57,415	57,720	59,100	59,541	59,535	58,965	58,154	57,178	61,119	61,836	62,262	62,676	62,673	62,751
燃やせるごみ	t/年	45,993	46,058	46,909	47,476	48,795	48,337	47,828	46,968	46,361	45,506	48,754	49,221	49,463	49,720	49,626	49,605
燃やせないごみ	t/年	2,354	2,385	2,274	2,232	2,372	2,261	2,426	2,100	1,943	1,882	2,105	2,120	2,113	2,116	2,103	2,083
粗大ごみ	t/年	1,738	1,777	1,700	1,693	1,688	2,065	2,022	2,044	1,846	1,914	2,003	2,035	2,057	2,079	2,085	2,095
資源ごみ	t/年	6,451	6,457	6,488	6,275	6,197	6,830	7,205	7,801	7,952	7,826	8,200	8,402	8,571	8,702	8,800	8,908
古紙・古布	t/年	3,687	3,689	3,811	3,613	3,576	3,654	3,738	4,197	4,158	3,976	4,138	4,195	4,231	4,256	4,260	4,269
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	761	922	1,029	1,129	1,234	1,326	1,409	1,483	1,549
ペットボトル	t/年	526	512	510	521	552	581	629	679	728	761	778	810	838	867	890	923
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	9	10	10	10	10	10
かん	t/年	623	593	568	555	549	567	624	625	612	583	607	608	614	611	613	616
びん	t/年	1,606	1,654	1,590	1,575	1,509	1,492	1,553	1,522	1,516	1,465	1,537	1,543	1,550	1,547	1,542	1,539
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2
有害ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	57	58	58	59	59	60
事業系ごみ	t/年	33,709	37,544	35,320	34,833	36,308	36,376	35,170	36,727	36,632	37,591	37,187	37,336	37,478	37,720	37,746	37,873
燃やせるごみ	t/年	24,447	25,371	24,344	23,836	23,234	23,968	22,557	22,731	22,490	22,120	22,499	22,404	22,312	22,293	22,156	22,083
燃やせないごみ	t/年	535	532	474	566	596	555	540	572	590	567	580	584	584	589	588	591
粗大ごみ	t/年	361	373	212	161	149	149	120	137	107	90	99	91	88	84	80	77
資源ごみ	t/年	88	78	71	78	69	85	83	273	226	213	201	204	212	216	223	226
古紙・古布	t/年	1	0	0	0	3	3	1	82	40	44	44	47	47	48	51	51
かん	t/年	19	19	16	17	12	13	18	79	66	57	59	59	63	62	63	66
びん	t/年	47	32	32	42	36	51	45	54	69	56	51	51	55	55	58	58
ペットボトル	t/年	21	27	23	19	18	18	19	58	51	56	47	47	47	51	51	51
直接資源化	t/年	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,219	14,601	13,808	14,053	14,282	14,538	14,699	14,896
古紙・古布	t/年	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,882	14,271	13,472	13,706	13,931	14,183	14,337	14,534
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	161	164	168	168	172	172
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	33	37	37	37	37	37
金属類	t/年	11	26	32	21	23	72	26	49	62	30	47	47	47	51	51	51
ペットボトル	t/年	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131	95	99	99	99	102	102
総ごみ量	t/年	90,292	94,267	92,735	92,553	95,408	95,917	94,705	95,692	94,786	94,769	98,306	99,172	99,740	100,396	100,419	100,624

表 6-21 中間処理量の実績及び見込み（現状推移時）

項目	単位	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	R1年度 2019年度	R2年度 2020年度	R3年度 2021年度	R4年度 2022年度	R5年度 2023年度	R6年度 2024年度	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
焼却処理量	t/年	75,416	76,524	76,152	75,814	76,224	75,366	72,930	73,452	72,581	71,429	75,172	75,618	75,826	76,113	75,911	75,849
可燃ごみ	t/年	70,440	71,429	71,253	71,312	72,029	72,305	70,385	69,699	68,851	67,626	71,253	71,625	71,775	72,013	71,782	71,688
中間処理後の可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,803	3,919	3,993	4,051	4,100	4,129	4,161
焼却残渣	t/年	11,078	11,117	11,139	10,592	10,395	9,684	9,246	9,264	9,000	8,795	9,346	9,402	9,428	9,463	9,438	9,431
焼却残渣率	%	14.7%	14.5%	14.6%	14.0%	13.6%	12.8%	12.7%	12.6%	12.4%	12.3%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%
破砕選別処理量	t/年	10,201	10,255	9,838	9,726	9,878	10,814	11,716	12,212	11,997	11,849	12,519	12,756	12,939	13,097	13,189	13,290
不燃ごみ	t/年	2,889	2,917	2,748	2,798	2,968	2,816	2,966	2,672	2,533	2,449	2,685	2,704	2,697	2,705	2,691	2,674
粗大ごみ	t/年	2,099	2,150	1,912	1,854	1,837	2,214	2,142	2,181	1,953	2,004	2,102	2,126	2,145	2,163	2,165	2,172
資源ごみ	t/年	5,166	5,142	5,134	5,030	5,025	5,736	6,554	7,306	7,459	7,346	7,675	7,868	8,039	8,170	8,274	8,384
かん	t/年	631	601	572	557	548	565	632	693	668	630	656	657	667	663	666	672
びん	t/年	1,644	1,673	1,614	1,611	1,540	1,538	1,595	1,574	1,583	1,520	1,586	1,592	1,603	1,600	1,598	1,595
古紙・古布	t/年	2,344	2,329	2,415	2,322	2,367	2,509	3,030	3,541	3,507	3,350	3,479	3,528	3,558	3,580	3,586	3,594
ペットボトル	t/年	547	539	533	540	570	599	648	737	779	817	825	857	885	918	941	974
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	761	922	1,029	1,129	1,234	1,326	1,409	1,483	1,549
有害ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	57	58	58	59	59	60
破砕選別処理後	t/年	10,199	10,256	9,839	9,727	9,879	10,938	11,715	12,212	11,994	11,849	12,479	12,731	12,937	13,104	13,212	13,332
資源物	t/年	4,455	4,646	4,442	4,727	5,155	5,125	7,219	7,425	7,579	7,332	7,717	7,879	8,015	8,122	8,195	8,276
缶プレス	t/年	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471	488	488	496	493	495	500
アルミカンプレス	t/年	229	252	245	252	270	278	307	319	310	301	307	307	312	310	311	314
スチールカンプレス	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	181	181	184	183	184	186
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	136	138	138	139	138	138
その他金属廃材鉄	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄千地	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	130	132	132	133	132	132
鉄シュレッダー	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	20	0	6	6	6	6	6	6
金属プレス	t/年	0	0	0	0	0	748	1,194	1,054	911	834	969	978	981	986	983	981
破砕鉄	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	849	857	860	864	861	860
破砕アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	120	121	121	122	122	121
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,369	2,589	3,099	3,367	3,399	3,253	3,353	3,400	3,429	3,450	3,456	3,464
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	420	426	430	433	433	434
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,103	1,118	1,128	1,135	1,137	1,139
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,467	1,488	1,500	1,509	1,512	1,516
紙パック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	363	368	371	373	374	375
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	644	669	691	717	735	760
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	342	306	433	382	397	410	425	436	451
常成	t/年	290	306	328	318	212	319	325	234	308	198	262	272	281	292	299	309
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182	1,268	1,272	1,281	1,279	1,277	1,275
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	109	110	110	110	110	110
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	182	183	184	184	183	183
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	134	134	135	135	134	134
びん残差	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	843	845	852	850	850	848
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	796	870	935	993	1,046	1,092
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	796	870	935	993	1,046	1,092
有害ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	63	64	64	65	65	66
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	51	52	52	53	53	54
蛍光灯	t/年	6	6	6	5	18	12	12	7	12	12	12	12	12	12	12	12
可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,803	3,919	3,993	4,051	4,100	4,129	4,161
不燃残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	843	859	871	882	888	895

表 6-22 資源化量及び最終処分量の実績及び見込み（現状維持時）

項目	単位	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	R1年度 2019年度	R2年度 2020年度	R3年度 2021年度	R4年度 2022年度	R5年度 2023年度	R6年度 2024年度	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
資源化	t/年	14,355	17,478	16,333	16,492	19,064	20,143	20,569	21,979	23,860	25,220	24,240	24,671	25,048	25,422	25,652	25,930
中間処理後	t/年	4,704	4,895	4,689	4,977	5,563	7,345	7,965	8,197	9,922	9,926	9,706	9,880	10,022	10,136	10,204	10,284
缶プレス	t/年	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471	488	488	496	493	495	500
アルミカンプレス	t/年	229	252	245	252	270	278	307	319	310	301	307	307	312	310	311	314
スチールカンプレス	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	181	181	184	183	184	186
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	136	138	138	139	138	138
その他金属廃材鉄	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄千地	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	130	132	132	133	132	132
鉄シュレッダー	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	20	0	6	6	6	6	6	6
金属プレス	t/年	0	0	0	0	0	748	1,194	1,054	911	834	969	978	981	986	983	981
破砕鉄	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	849	857	860	864	861	860
破砕アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	120	121	121	122	122	121
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,369	2,589	3,099	3,367	3,399	3,253	3,353	3,400	3,429	3,450	3,456	3,464
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	420	426	430	433	433	434
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,103	1,118	1,128	1,135	1,137	1,139
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,467	1,488	1,500	1,509	1,512	1,516
紙バック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウェス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	363	368	371	373	374	375
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	644	669	691	717	735	760
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	342	306	433	382	397	410	425	436	451
常成	t/年	290	306	328	318	212	319	325	234	308	198	262	272	281	292	299	309
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182	1,268	1,272	1,281	1,279	1,277	1,275
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	109	110	110	110	110	110
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	182	183	184	184	183	183
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	134	134	135	135	134	134
びん残差	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	843	845	852	850	850	848
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	796	870	935	993	1,046	1,092
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	796	870	935	993	1,046	1,092
有害ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	63	64	64	65	65	66
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	51	52	52	53	53	54
蛍光灯	t/年	6	6	6	5	18	12	12	7	12	12	12	12	12	12	12	12
焼却残渣	t/年	249	249	247	250	408	2,220	746	772	2,343	2,594	1,989	2,001	2,007	2,014	2,009	2,008
溶融固化	t/年	249	249	247	250	248	245	250	250	199	675	444	446	448	449	448	448
再生砕石化	t/年	0	0	0	0	160	1,975	496	522	204	0	0	0	0	0	0	0
焼成処理	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	1,940	1,919	1,545	1,555	1,559	1,565	1,561	1,560
直接資源化	t/年	1,373	1,393	1,425	1,323	1,241	1,179	734	768	719	693	726	738	744	748	749	750
牛乳パック	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
拠点回収	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	9	10	10	10	10	10
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2
集団回収	t/年	1,328	1,345	1,374	1,270	1,185	1,128	721	749	702	680	714	725	731	735	736	737
紙類	t/年	1,285	1,298	1,329	1,223	1,142	1,076	704	728	681	658	693	703	709	713	714	715
布類	t/年	23	23	25	26	25	32	4	8	9	11	9	10	10	10	10	10
金属類	t/年	11	11	12	15	13	15	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10
ガラス類	t/年	9	13	8	6	5	5	3	2	2	1	2	2	2	2	2	2
事業者直接資源化	t/年	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,219	14,601	13,808	14,053	14,282	14,538	14,699	14,896
古紙	t/年	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,882	14,271	13,472	13,706	13,931	14,183	14,337	14,534
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	161	164	168	168	172	172
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	33	37	37	37	37	37
金属	t/年	11	26	32	21	23	72	26	49	62	30	47	47	47	51	51	51
ペットボトル	t/年	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131	95	99	99	99	102	102
リサイクル率	%	15.9%	18.5%	17.6%	17.8%	20.0%	21.0%	21.7%	23.0%	25.2%	26.6%	24.7%	24.9%	25.1%	25.3%	25.5%	25.8%
最終処分	t/年	11,597	11,383	11,390	10,840	10,516	10,216	10,451	9,526	7,342	6,915	8,200	8,260	8,292	8,331	8,317	8,318
埋立処分	t/年	11,597	11,383	11,390	10,840	10,516	10,216	10,451	9,526	7,342	6,915	8,200	8,260	8,292	8,331	8,317	8,318
焼却残渣	t/年	10,829	10,868	10,892	10,342	9,987	7,464	8,500	8,492	6,657	6,201	7,357	7,401	7,421	7,449	7,429	7,423
不燃残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	843	859	871	882	888	895
最終処分率	%	12.8%	12.1%	12.3%	11.7%	11.0%	10.7%	11.0%	10.0%	7.7%	7.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%
最終処分量	g/人・日	144.3	139.6	137.9	129.5	123.7	117.9	119.1	106.3	80.1	74.2	86.4	85.7	85.1	84.6	84.1	83.8

表 6-23 1人1日当たりのごみ排出量の実績及び見込み（現状維持時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	g/人・日	704.21	695.55	695.26	689.35	695.24	686.86	678.55	658.00	634.23	613.78	644.00	641.20	638.70	636.20	634.10	632.00
燃やせるごみ	g/人・日	572.41	564.77	568.03	567.00	574.02	557.62	545.11	524.13	505.62	488.47	513.70	510.40	507.40	504.70	502.10	499.60
燃やせないごみ	g/人・日	29.30	29.25	27.54	26.66	27.90	26.08	27.65	23.43	21.19	20.20	22.18	21.98	21.68	21.48	21.28	20.98
粗大ごみ	g/人・日	21.63	21.79	20.59	20.22	19.86	23.82	23.05	22.81	20.13	20.55	21.10	21.10	21.10	21.10	21.10	21.10
資源ごみ	g/人・日	80.29	79.18	78.57	74.94	72.90	78.79	82.12	87.05	86.72	84.02	86.42	87.12	87.92	88.32	89.02	89.72
古紙・古布	g/人・日	45.89	45.24	46.15	43.15	42.07	42.15	42.60	46.84	45.35	42.68	43.60	43.50	43.40	43.20	43.10	43.00
プラスチック製容器包装	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.06	7.40	8.49	10.06	11.05	11.90	12.80	13.60	14.30	15.00	15.60
ペットボトル	g/人・日	6.55	6.28	6.18	6.22	6.49	6.70	7.17	7.58	7.94	8.17	8.20	8.40	8.60	8.80	9.00	9.30
廃食用油	g/人・日	0.11	0.11	0.11	0.13	0.12	0.12	0.13	0.17	0.15	0.12	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
かん	g/人・日	7.75	7.27	6.88	6.63	6.46	6.54	7.11	6.97	6.67	6.26	6.40	6.30	6.30	6.20	6.20	6.20
びん	g/人・日	19.99	20.28	19.25	18.81	17.75	17.21	17.70	16.98	16.53	15.73	16.20	16.00	15.90	15.70	15.60	15.50
小型家電	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
有害ごみ	g/人・日	0.58	0.56	0.53	0.53	0.56	0.55	0.62	0.58	0.57	0.54	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
事業系ごみ	g/人・日	419.53	460.35	427.70	416.00	427.12	419.64	400.85	409.85	399.51	403.52	391.80	387.20	384.50	382.90	381.90	381.40
燃やせるごみ	g/人・日	304.26	311.10	294.78	284.67	273.32	276.50	257.09	253.66	245.28	237.44	237.10	232.40	228.90	226.20	224.20	222.30
燃やせないごみ	g/人・日	6.66	6.52	5.74	6.76	7.01	6.40	6.15	6.38	6.43	6.09	6.10	6.10	6.00	6.00	5.90	6.00
粗大ごみ	g/人・日	4.49	4.57	2.57	1.92	1.75	1.72	1.37	1.53	1.17	0.97	1.00	0.90	0.90	0.90	0.80	0.80
資源ごみ	g/人・日	1.09	0.95	0.86	0.93	0.81	0.98	0.95	3.05	2.47	2.28	2.10	2.10	2.20	2.20	2.30	2.30
古紙・古布	g/人・日	0.01	0.00	0.00	0.00	0.04	0.03	0.01	0.92	0.44	0.47	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
かん	g/人・日	0.24	0.23	0.19	0.20	0.14	0.15	0.21	0.88	0.72	0.61	0.60	0.60	0.60	0.60	0.70	0.70
びん	g/人・日	0.58	0.39	0.39	0.50	0.42	0.59	0.51	0.60	0.75	0.60	0.50	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60
ペットボトル	g/人・日	0.26	0.33	0.28	0.23	0.21	0.21	0.22	0.65	0.56	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
直接資源化	g/人・日	103.03	137.21	123.75	121.72	144.23	134.04	135.29	145.23	144.16	156.74	145.50	145.70	146.50	147.60	148.70	150.00
古紙・古布	g/人・日	95.00	128.57	117.00	115.37	136.39	127.21	130.90	141.56	140.49	153.19	142.00	142.10	142.90	144.00	145.10	146.40
かん	g/人・日	4.01	4.46	4.23	3.98	3.65	3.61	2.70	1.96	1.73	1.44	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
びん	g/人・日	0.51	0.50	0.47	0.56	0.46	0.44	0.44	0.35	0.39	0.38	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
金属類	g/人・日	0.14	0.32	0.39	0.25	0.27	0.83	0.30	0.55	0.68	0.32	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ペットボトル	g/人・日	3.37	3.36	1.66	1.56	3.46	1.95	0.95	0.81	0.87	1.41	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
総ごみ量	g/人・日	1,123.74	1,155.90	1,122.96	1,105.35	1,122.36	1,106.50	1,079.40	1,067.85	1,033.74	1,017.30	1,035.80	1,028.40	1,023.20	1,019.10	1,016.00	1,013.40

表 6-24 1日当たりのごみ排出量の実績及び見込み（現状維持時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/日	155.02	154.99	157.31	158.15	161.90	162.68	163.11	161.54	159.33	156.21	167.45	169.41	170.58	171.25	171.71	171.92
燃やせるごみ	t/日	126.01	125.84	128.52	130.07	133.68	132.07	131.04	128.68	127.02	124.33	133.56	134.85	135.50	135.84	135.97	135.89
燃やせないごみ	t/日	6.45	6.52	6.23	6.12	6.50	6.18	6.65	5.75	5.32	5.14	5.77	5.81	5.79	5.78	5.76	5.71
粗大ごみ	t/日	4.76	4.86	4.66	4.64	4.62	5.64	5.54	5.60	5.06	5.23	5.49	5.57	5.64	5.68	5.71	5.74
資源ごみ	t/日	17.67	17.64	17.78	17.20	16.97	18.66	19.73	21.37	21.79	21.37	22.47	23.02	23.49	23.79	24.11	24.42
古紙・古布	t/日	10.10	10.08	10.44	9.90	9.80	9.98	10.24	11.50	11.39	10.86	11.34	11.49	11.59	11.63	11.67	11.70
プラスチック製容器包装	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.43	1.78	2.08	2.53	2.81	3.09	3.38	3.63	3.85	4.06	4.24
ペットボトル	t/日	1.44	1.40	1.40	1.43	1.51	1.59	1.72	1.86	1.99	2.08	2.13	2.22	2.30	2.37	2.44	2.53
廃食用油	t/日	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
かん	t/日	1.71	1.62	1.56	1.52	1.50	1.55	1.71	1.71	1.68	1.59	1.66	1.66	1.68	1.67	1.68	1.69
びん	t/日	4.40	4.52	4.36	4.32	4.13	4.08	4.25	4.17	4.15	4.00	4.21	4.23	4.25	4.23	4.22	4.22
小型家電	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
有害ごみ	t/日	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13	0.13	0.15	0.14	0.14	0.14	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
事業系ごみ	t/日	92.35	102.57	96.78	95.44	99.47	99.41	96.36	100.62	100.37	102.72	101.88	102.29	102.68	103.06	103.41	103.76
燃やせるごみ	t/日	66.98	69.32	66.70	65.30	63.65	65.49	61.80	62.28	61.62	60.44	61.64	61.38	61.13	60.91	60.70	60.50
燃やせないごみ	t/日	1.47	1.45	1.30	1.55	1.63	1.52	1.48	1.57	1.62	1.55	1.59	1.60	1.60	1.61	1.61	1.62
粗大ごみ	t/日	0.99	1.02	0.58	0.44	0.41	0.41	0.33	0.38	0.29	0.25	0.27	0.25	0.24	0.23	0.22	0.21
資源ごみ	t/日	0.24	0.21	0.19	0.22	0.19	0.24	0.22	0.75	0.62	0.58	0.55	0.56	0.58	0.59	0.61	0.62
古紙・古布	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.22	0.11	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14
かん	t/日	0.05	0.05	0.04	0.05	0.03	0.04	0.05	0.22	0.18	0.16	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.18
びん	t/日	0.13	0.09	0.09	0.12	0.10	0.14	0.12	0.15	0.19	0.15	0.14	0.14	0.15	0.15	0.16	0.16
ペットボトル	t/日	0.06	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.16	0.14	0.15	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14
直接資源化	t/日	22.67	30.57	28.01	27.93	33.59	31.75	32.53	35.64	36.22	39.90	37.83	38.50	39.13	39.72	40.27	40.81
古紙・古布	t/日	20.91	28.65	26.47	26.47	31.76	30.13	31.47	34.75	35.29	38.99	36.91	37.55	38.17	38.75	39.28	39.82
かん	t/日	0.88	0.99	0.96	0.91	0.85	0.86	0.65	0.48	0.44	0.37	0.44	0.45	0.46	0.46	0.47	0.47
びん	t/日	0.11	0.11	0.11	0.13	0.11	0.10	0.11	0.08	0.10	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
金属類	t/日	0.03	0.07	0.09	0.06	0.06	0.20	0.07	0.13	0.17	0.08	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14
ペットボトル	t/日	0.74	0.75	0.38	0.36	0.81	0.46	0.23	0.20	0.22	0.36	0.26	0.27	0.27	0.27	0.28	0.28
総ごみ量	t/日	247.37	257.56	254.09	253.59	261.37	262.09	259.47	262.16	259.70	258.93	269.33	271.70	273.26	274.31	275.12	275.68

表 6-25 ごみ排出量の実績及び見込み（目標達成時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/年	56,583	56,723	57,415	57,720	59,100	59,541	59,535	58,965	58,154	57,178	57,682	58,034	58,082	58,105	57,701	57,371
燃やせるごみ	t/年	45,993	46,058	46,909	47,476	48,795	48,337	47,828	46,968	46,361	45,506	45,596	45,555	45,265	44,951	44,303	43,707
燃やせないごみ	t/年	2,354	2,385	2,274	2,232	2,372	2,261	2,426	2,100	1,943	1,882	1,896	1,906	1,905	1,903	1,888	1,875
粗大ごみ	t/年	1,738	1,777	1,700	1,693	1,688	2,065	2,022	2,044	1,846	1,914	1,926	1,932	1,928	1,923	1,904	1,887
資源ごみ	t/年	6,451	6,457	6,488	6,275	6,197	6,830	7,205	7,801	7,952	7,826	8,212	8,587	8,928	9,271	9,548	9,842
古紙・古布	t/年	3,687	3,689	3,811	3,613	3,576	3,654	3,738	4,197	4,158	3,976	4,154	4,325	4,478	4,633	4,755	4,885
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	761	922	1,029	1,171	1,314	1,455	1,598	1,731	1,867
ペットボトル	t/年	526	512	510	521	552	581	629	679	728	761	793	825	852	879	900	923
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	11	11	11	11	10	10
かん	t/年	623	593	568	555	549	567	624	625	612	583	593	602	607	613	614	616
びん	t/年	1,606	1,654	1,590	1,575	1,509	1,492	1,553	1,522	1,516	1,465	1,489	1,509	1,523	1,535	1,536	1,539
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2
有害ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	52	54	56	57	58	60
事業系ごみ	t/年	33,709	37,544	35,320	34,833	36,308	36,376	35,170	36,727	36,632	37,591	36,811	36,132	35,452	34,858	34,084	33,401
燃やせるごみ	t/年	24,447	25,371	24,344	23,836	23,234	23,968	22,557	22,731	22,490	22,120	21,228	20,396	19,564	18,783	17,900	17,067
燃やせないごみ	t/年	535	532	474	566	596	555	540	572	590	567	551	537	522	509	493	478
粗大ごみ	t/年	361	373	212	161	149	149	120	137	107	90	84	80	73	66	62	55
資源ごみ	t/年	88	78	71	78	69	85	83	273	226	213	212	219	222	220	226	226
古紙・古布	t/年	1	0	0	0	3	3	1	82	40	44	44	47	47	48	51	51
かん	t/年	19	19	16	17	12	13	18	79	66	57	58	62	62	62	66	66
びん	t/年	47	32	32	42	36	51	45	54	69	56	55	55	58	59	58	58
ペットボトル	t/年	21	27	23	19	18	18	19	58	51	56	55	55	55	51	51	51
直接資源化	t/年	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,219	14,601	14,736	14,900	15,071	15,280	15,403	15,575
古紙・古布	t/年	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,882	14,271	14,396	14,560	14,724	14,925	15,049	15,213
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	142	146	153	161	164	172
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	37	37	37	37	37	37
金属類	t/年	11	26	32	21	23	72	26	49	62	30	33	37	40	44	47	51
ペットボトル	t/年	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131	128	120	117	113	106	102
総ごみ量	t/年	90,292	94,267	92,735	92,553	95,408	95,917	94,705	95,692	94,786	94,769	94,493	94,166	93,534	92,963	91,785	90,772

表 6-26 中間処理量の実績及び見込み（目標達成時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
焼却処理量	t/年	75,416	76,524	76,152	75,814	76,224	75,366	72,930	73,452	72,581	71,429	70,663	69,906	68,881	67,881	66,422	65,067
可燃ごみ	t/年	70,440	71,429	71,253	71,312	72,029	72,305	70,385	69,699	68,851	67,626	66,824	65,951	64,829	63,734	62,203	60,774
中間処理後の可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,803	3,839	3,955	4,052	4,147	4,219	4,293
焼却残渣	t/年	11,078	11,117	11,139	10,592	10,395	9,684	9,246	9,264	9,000	8,795	8,786	8,692	8,564	8,440	8,258	8,090
焼却残渣率	%	14.7%	14.5%	14.6%	14.0%	13.6%	12.8%	12.7%	12.6%	12.4%	12.3%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%
破碎選別処理量	t/年	10,201	10,255	9,838	9,726	9,878	10,814	11,716	12,212	11,997	11,849	12,264	12,633	12,942	13,248	13,475	13,714
不燃ごみ	t/年	2,889	2,917	2,748	2,798	2,968	2,816	2,966	2,672	2,533	2,449	2,447	2,443	2,427	2,412	2,381	2,353
粗大ごみ	t/年	2,099	2,150	1,912	1,854	1,837	2,214	2,142	2,181	1,953	2,004	2,010	2,012	2,001	1,989	1,966	1,942
資源ごみ	t/年	5,166	5,142	5,134	5,030	5,025	5,736	6,554	7,306	7,459	7,346	7,755	8,124	8,458	8,790	9,070	9,359
かん	t/年	631	601	572	557	548	565	632	693	668	630	641	654	659	665	670	672
びん	t/年	1,644	1,673	1,614	1,611	1,540	1,538	1,595	1,574	1,583	1,520	1,542	1,562	1,579	1,592	1,592	1,595
古紙・古布	t/年	2,344	2,329	2,415	2,322	2,367	2,509	3,030	3,541	3,507	3,350	3,553	3,714	3,858	4,005	4,126	4,251
ペットボトル	t/年	547	539	533	540	570	599	648	737	779	817	848	880	907	930	951	974
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	761	922	1,029	1,171	1,314	1,455	1,598	1,731	1,867
有害ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	52	54	56	57	58	60
破碎選別処理後	t/年	10,199	10,256	9,839	9,727	9,879	10,938	11,715	12,212	11,994	11,849	12,373	12,821	13,213	13,597	13,902	14,223
資源物	t/年	4,455	4,646	4,442	4,727	5,155	5,125	7,219	7,425	7,579	7,332	7,708	8,015	8,289	8,558	8,776	9,006
缶プレス	t/年	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471	477	486	490	494	498	500
アルミカンプレス	t/年	229	252	245	252	270	278	307	319	310	301	300	306	308	311	313	314
スチールカンプレス	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	177	180	182	183	185	186
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	127	127	126	125	124	122
その他金属廃材鉄	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄千地	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	121	121	120	120	119	117
鉄シュレッダー	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	20	0	6	6	6	5	5	5
金属プレス	t/年	0	0	0	0	0	748	1,194	1,054	911	834	903	902	897	891	880	870
破碎鉄	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	791	790	786	781	771	762
破碎アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	112	112	111	110	109	108
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,369	2,589	3,099	3,367	3,399	3,253	3,424	3,579	3,718	3,860	3,976	4,097
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	429	449	466	484	499	514
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,126	1,177	1,223	1,270	1,308	1,348
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,499	1,566	1,627	1,689	1,739	1,792
紙バック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウェス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	370	387	402	417	430	443
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	662	687	708	726	742	760
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	342	306	433	392	407	420	430	440	451
常成	t/年	290	306	328	318	212	319	325	234	308	198	270	280	288	296	302	309
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182	1,232	1,248	1,262	1,272	1,272	1,275
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	106	108	109	110	110	110
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	177	179	181	183	183	183
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	130	131	133	134	134	134
びん残差	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	819	830	839	845	845	848
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	826	926	1,026	1,127	1,220	1,316
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	826	926	1,026	1,127	1,220	1,316
有害ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	57	60	62	63	64	66
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	46	49	50	51	52	54
蛍光灯	t/年	6	6	6	5	18	12	12	7	12	12	11	11	12	12	12	12
可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,803	3,839	3,955	4,052	4,147	4,219	4,293
不燃残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	826	851	872	892	907	924

表 6-27 資源化量及び最終処分量の実績及び見込み（目標達成時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
資源化	t/年	14,355	17,478	16,333	16,492	19,064	20,143	20,569	21,979	23,860	25,220	25,651	26,136	26,591	27,078	27,423	27,830
中間処理後	t/年	4,704	4,895	4,689	4,977	5,563	7,345	7,965	8,197	9,922	9,926	10,208	10,515	10,789	11,058	11,276	11,506
缶プレス	t/年	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471	477	486	490	494	498	500
アルミカンプレス	t/年	229	252	245	252	270	278	307	319	310	301	300	306	308	311	313	314
スチールカンプレス	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	177	180	182	183	185	186
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	127	127	126	125	124	122
その他金属廃材鉄	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄千地	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	121	121	120	120	119	117
鉄シュレッダー	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	20	0	6	6	6	5	5	5
金属プレス	t/年	0	0	0	0	0	748	1,194	1,054	911	834	903	902	897	891	880	870
破碎鉄	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	791	790	786	781	771	762
破碎アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	112	112	111	110	109	108
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,369	2,589	3,099	3,367	3,399	3,253	3,424	3,579	3,718	3,860	3,976	4,097
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	429	449	466	484	499	514
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,126	1,177	1,223	1,270	1,308	1,348
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,499	1,566	1,627	1,689	1,739	1,792
紙バック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウェス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	370	387	402	417	430	443
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	662	687	708	726	742	760
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	342	306	433	392	407	420	430	440	451
常成	t/年	290	306	328	318	212	319	325	234	308	198	270	280	288	296	302	309
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182	1,232	1,248	1,262	1,272	1,272	1,275
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	106	108	109	110	110	110
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	177	179	181	183	183	183
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	130	131	133	134	134	134
びん残差	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	819	830	839	845	845	848
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	826	926	1,026	1,127	1,220	1,316
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	826	926	1,026	1,127	1,220	1,316
有害ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	57	60	62	63	64	66
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	46	49	50	51	52	54
蛍光灯	t/年	6	6	6	5	18	12	12	7	12	12	11	11	12	12	12	12
焼却残渣	t/年	249	249	247	250	408	2,220	746	772	2,343	2,594	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
溶融固化	t/年	249	249	247	250	248	245	250	250	199	675	500	500	500	500	500	500
再生砕石化	t/年	0	0	0	0	160	1,975	496	522	204	0	0	0	0	0	0	0
焼成処理	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	1,940	1,919	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
直接資源化	t/年	1,373	1,393	1,425	1,323	1,241	1,179	734	768	719	693	707	721	731	740	744	749
牛乳パック	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
拠点回収	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	11	11	11	11	10	10
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2
集団回収	t/年	1,328	1,345	1,374	1,270	1,185	1,128	721	749	702	680	694	708	717	726	731	736
紙類	t/年	1,285	1,298	1,329	1,223	1,142	1,076	704	728	681	658	671	685	694	703	709	714
布類	t/年	23	23	25	26	25	32	4	8	9	11	11	11	11	11	10	10
金属類	t/年	11	11	12	15	13	15	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10
ガラス類	t/年	9	13	8	6	5	5	3	2	2	1	2	2	2	2	2	2
事業者直接資源化	t/年	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,219	14,601	14,736	14,900	15,071	15,280	15,403	15,575
古紙	t/年	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,882	14,271	14,396	14,560	14,724	14,925	15,049	15,213
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	142	146	153	161	164	172
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	37	37	37	37	37	37
金属	t/年	11	26	32	21	23	72	26	49	62	30	33	37	40	44	47	51
ペットボトル	t/年	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131	128	120	117	113	106	102
リサイクル率	%	15.9%	18.5%	17.6%	17.8%	20.0%	21.0%	21.7%	23.0%	25.2%	26.6%	27.1%	27.8%	28.4%	29.1%	29.9%	30.7%
最終処分	t/年	11,597	11,383	11,390	10,840	10,516	10,216	10,451	9,526	7,342	6,915	7,112	7,043	6,936	6,832	6,665	6,514
埋立処分	t/年	11,597	11,383	11,390	10,840	10,516	10,216	10,451	9,526	7,342	6,915	7,112	7,043	6,936	6,832	6,665	6,514
焼却残渣	t/年	10,829	10,868	10,892	10,342	9,987	7,464	8,500	8,492	6,657	6,201	6,286	6,192	6,064	5,940	5,758	5,590
不燃残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	826	851	872	892	907	924
最終処分率	%	12.8%	12.1%	12.3%	11.7%	11.0%	10.7%	11.0%	10.0%	7.7%	7.3%	7.5%	7.5%	7.4%	7.3%	7.3%	7.2%
最終処分量	g/人・日	144.3	139.6	137.9	129.5	123.7	117.9	119.1	106.3	80.1	74.2	74.9	73.0	71.2	69.4	67.4	65.6

表 6-28 1人1日当たりのごみ排出量の実績及び見込み（目標達成時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	g/人・日	704.21	695.55	695.26	689.35	695.24	686.86	678.55	658.00	634.23	613.78	607.79	601.77	595.82	589.81	583.80	577.80
家庭系ごみ	g/人・日	623.92	616.37	616.69	614.41	622.34	608.07	596.43	570.95	547.51	529.76	521.25	512.73	504.23	495.71	487.20	478.68
燃やせるごみ	g/人・日	572.41	564.77	568.03	567.00	574.02	557.62	545.11	524.13	505.62	488.47	480.43	472.38	464.34	456.29	448.25	440.20
燃やせないごみ	g/人・日	29.30	29.25	27.54	26.66	27.90	26.08	27.65	23.43	21.19	20.20	19.98	19.76	19.54	19.32	19.10	18.88
粗大ごみ	g/人・日	21.63	21.79	20.59	20.22	19.86	23.82	23.05	22.81	20.13	20.55	20.29	20.03	19.78	19.52	19.26	19.00
資源ごみ	g/人・日	80.29	79.18	78.57	74.94	72.90	78.79	82.12	87.05	86.72	84.02	86.54	89.04	91.59	94.10	96.60	99.12
古紙・古布	g/人・日	45.89	45.24	46.15	43.15	42.07	42.15	42.60	46.84	45.35	42.68	43.77	44.85	45.94	47.03	48.11	49.20
プラスチック製容器包装	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.06	7.40	8.49	10.06	11.05	12.34	13.63	14.93	16.22	17.51	18.80
ペットボトル	g/人・日	6.55	6.28	6.18	6.22	6.49	6.70	7.17	7.58	7.94	8.17	8.36	8.55	8.74	8.92	9.11	9.30
廃食用油	g/人・日	0.11	0.11	0.11	0.13	0.12	0.12	0.13	0.17	0.15	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10
かん	g/人・日	7.75	7.27	6.88	6.63	6.46	6.54	7.11	6.97	6.67	6.26	6.25	6.24	6.23	6.22	6.21	6.20
びん	g/人・日	19.99	20.28	19.25	18.81	17.75	17.21	17.70	16.98	16.53	15.73	15.69	15.65	15.62	15.58	15.54	15.50
小型家電	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02
有害ごみ	g/人・日	0.58	0.56	0.53	0.53	0.56	0.55	0.62	0.58	0.57	0.54	0.55	0.56	0.57	0.58	0.59	0.60
事業系ごみ	g/人・日	419.53	460.35	427.70	416.00	427.12	419.64	400.85	409.85	399.51	403.52	387.90	374.70	363.70	353.80	344.80	336.40
燃やせるごみ	g/人・日	304.26	311.10	294.78	284.67	273.32	276.50	257.09	253.66	245.28	237.44	223.70	211.50	200.70	190.60	181.10	171.80
燃やせないごみ	g/人・日	6.66	6.52	5.74	6.76	7.01	6.40	6.15	6.38	6.43	6.09	5.80	5.60	5.40	5.20	5.00	4.80
粗大ごみ	g/人・日	4.49	4.57	2.57	1.92	1.75	1.72	1.37	1.53	1.17	0.97	0.90	0.80	0.70	0.70	0.60	0.60
資源ごみ	g/人・日	1.09	0.95	0.86	0.93	0.81	0.98	0.95	3.05	2.47	2.28	2.20	2.30	2.30	2.20	2.30	2.30
古紙・古布	g/人・日	0.01	0.00	0.00	0.00	0.04	0.03	0.01	0.92	0.44	0.47	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
かん	g/人・日	0.24	0.23	0.19	0.20	0.14	0.15	0.21	0.88	0.72	0.61	0.50	0.60	0.60	0.60	0.70	0.70
びん	g/人・日	0.58	0.39	0.39	0.50	0.42	0.59	0.51	0.60	0.75	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
ペットボトル	g/人・日	0.26	0.33	0.28	0.23	0.21	0.21	0.22	0.65	0.56	0.60	0.60	0.60	0.60	0.50	0.50	0.50
直接資源化	g/人・日	103.03	137.21	123.75	121.72	144.23	134.04	135.29	145.23	144.16	156.74	155.30	154.50	154.60	155.10	155.80	156.90
古紙・古布	g/人・日	95.00	128.57	117.00	115.37	136.39	127.21	130.90	141.56	140.49	153.19	151.80	151.00	151.00	151.50	152.10	153.30
かん	g/人・日	4.01	4.46	4.23	3.98	3.65	3.61	2.70	1.96	1.73	1.44	1.50	1.50	1.60	1.60	1.70	1.70
びん	g/人・日	0.51	0.50	0.47	0.56	0.46	0.44	0.44	0.35	0.39	0.38	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
金属類	g/人・日	0.14	0.32	0.39	0.25	0.27	0.83	0.30	0.55	0.68	0.32	0.30	0.40	0.40	0.40	0.50	0.50
ペットボトル	g/人・日	3.37	3.36	1.66	1.56	3.46	1.95	0.95	0.81	0.87	1.41	1.30	1.20	1.20	1.20	1.10	1.00
総ごみ量	g/人・日	1,123.74	1,155.90	1,122.96	1,105.35	1,122.36	1,106.50	1,079.40	1,067.85	1,033.74	1,017.30	995.69	976.47	959.52	943.61	928.60	914.20

表 6-29 1日当たりのごみ排出量の実績及び見込み（目標達成時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/日	155.02	154.99	157.31	158.15	161.90	162.68	163.11	161.54	159.33	156.21	158.04	158.99	159.13	158.76	158.08	157.18
燃やせるごみ	t/日	126.01	125.84	128.52	130.07	133.68	132.07	131.04	128.68	127.02	124.33	124.92	124.81	124.02	122.82	121.36	119.74
燃やせないごみ	t/日	6.45	6.52	6.23	6.12	6.50	6.18	6.65	5.75	5.32	5.14	5.20	5.22	5.22	5.20	5.17	5.14
粗大ごみ	t/日	4.76	4.86	4.66	4.64	4.62	5.64	5.54	5.60	5.06	5.23	5.28	5.29	5.28	5.25	5.22	5.17
資源ごみ	t/日	17.67	17.64	17.78	17.20	16.97	18.66	19.73	21.37	21.79	21.37	22.50	23.52	24.46	25.33	26.17	26.97
古紙・古布	t/日	10.10	10.08	10.44	9.90	9.80	9.98	10.24	11.50	11.39	10.86	11.38	11.85	12.27	12.66	13.03	13.38
プラスチック製容器包装	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.43	1.78	2.08	2.53	2.81	3.21	3.60	3.99	4.37	4.74	5.11
ペットボトル	t/日	1.44	1.40	1.40	1.43	1.51	1.59	1.72	1.86	1.99	2.08	2.17	2.26	2.33	2.40	2.47	2.53
廃食用油 (t)	t/日	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
かん	t/日	1.71	1.62	1.56	1.52	1.50	1.55	1.71	1.71	1.68	1.59	1.63	1.65	1.66	1.67	1.68	1.69
びん	t/日	4.40	4.52	4.36	4.32	4.13	4.08	4.25	4.17	4.15	4.00	4.08	4.13	4.17	4.19	4.21	4.22
小型家電	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
有害ごみ	t/日	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13	0.13	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15	0.16	0.16	0.16
事業系ごみ	t/日	92.35	102.57	96.78	95.44	99.47	99.41	96.36	100.62	100.37	102.72	100.85	98.99	97.13	95.24	93.38	91.51
燃やせるごみ	t/日	66.98	69.32	66.70	65.30	63.65	65.49	61.80	62.28	61.62	60.44	58.16	55.88	53.60	51.32	49.04	46.76
燃やせないごみ	t/日	1.47	1.45	1.30	1.55	1.63	1.52	1.48	1.57	1.62	1.55	1.51	1.47	1.43	1.39	1.35	1.31
粗大ごみ	t/日	0.99	1.02	0.58	0.44	0.41	0.41	0.33	0.38	0.29	0.25	0.23	0.22	0.20	0.18	0.17	0.15
資源ごみ	t/日	0.24	0.21	0.19	0.22	0.19	0.24	0.22	0.75	0.62	0.58	0.58	0.60	0.61	0.60	0.62	0.62
古紙・古布	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.22	0.11	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14
かん	t/日	0.05	0.05	0.04	0.05	0.03	0.04	0.05	0.22	0.18	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.18	0.18
びん	t/日	0.13	0.09	0.09	0.12	0.10	0.14	0.12	0.15	0.19	0.15	0.15	0.15	0.16	0.16	0.16	0.16
ペットボトル	t/日	0.06	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.16	0.14	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14
直接資源化	t/日	22.67	30.57	28.01	27.93	33.59	31.75	32.53	35.64	36.22	39.90	40.37	40.82	41.29	41.75	42.20	42.67
古紙・古布	t/日	20.91	28.65	26.47	26.47	31.76	30.13	31.47	34.75	35.29	38.99	39.44	39.89	40.34	40.78	41.23	41.68
かん	t/日	0.88	0.99	0.96	0.91	0.85	0.86	0.65	0.48	0.44	0.37	0.39	0.40	0.42	0.44	0.45	0.47
びん	t/日	0.11	0.11	0.11	0.13	0.11	0.10	0.11	0.08	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
金属類	t/日	0.03	0.07	0.09	0.06	0.06	0.20	0.07	0.13	0.17	0.08	0.09	0.10	0.11	0.12	0.13	0.14
ペットボトル	t/日	0.74	0.75	0.38	0.36	0.81	0.46	0.23	0.20	0.22	0.36	0.35	0.33	0.32	0.31	0.29	0.28
総ごみ量	t/日	247.37	257.56	254.09	253.59	261.37	262.09	259.47	262.16	259.70	258.93	258.89	257.98	256.26	254.00	251.46	248.69

1
ごみ処理の現状

2
ごみ組成分析調査

3
アンケート調査

4
県内自治体比較

5
施策の実績・評価

6
ごみ量の将来予測

7
改定の経緯

7. 審議会委員名簿及び改定の経緯

つくば市一般廃棄物減量等推進審議会委員名簿（R6.5.20～R7.3.31）

委員名	役職	所属
浅野 英公子	副会長	市議会議員 （つくば市議会（R7.1.22～））
高野 文男		市議会議員 （つくば市議会（～R7.1.21））
板谷 亜由美		公共団体及び公共的団体の役職員 （つくば市学校長会）
櫻井 姚		公共団体及び公共的団体の役職員 （つくば市商工会）
佐藤 則恵		公共団体及び公共的団体の役職員 （つくばくらしの会）
鈴木 裕一		公共団体及び公共的団体の役職員 （つくば市区会連合会（～R6.7.11））
高野 正子		公共団体及び公共的団体の役職員 （NPO法人 つくばクリエイティブリサイクル）
仲田 弘美		公共団体及び公共的団体の役職員 （茨城県県南県民センター）
張元 政治		公共団体及び公共的団体の役職員 （つくば市区会連合会（R6.7.12～））
宮本 純		公共団体及び公共的団体の役職員 （一般社団法人 つくば青年会議所）
稲葉 陸太		学識経験を有する者 （国立研究開発法人 国立環境研究所）
梶原 夏子		学識経験を有する者 （国立研究開発法人 国立環境研究所）
加茂 徹		学識経験を有する者 （早稲田大学 理工学術院総合研究所）
肴倉 宏史		学識経験を有する者 （国立研究開発法人 国立環境研究所）
原田 幸明		学識経験を有する者 （国立研究開発法人 物質・材料研究機構）
森口 祐一	会長	学識経験を有する者 （国立研究開発法人 国立環境研究所）
伊藤 佳子		市民 （公募市民）
木下 潔		市民 （公募市民）
小林 知博		市民 （公募市民）
斉藤 新吾		市民 （公募市民）
山中 美根子		市民 （公募市民）
對崎 輝夫		一般廃棄物の収集運搬業又は資源回収業を営む者 （一般社団法人 つくば市環境協会）
伊神 里美		事業所を代表する者 （株式会社カスミ）
草野 伸一		事業所を代表する者 （関彰商事株式会社）
西 博文		事業所を代表する者 （国立大学法人 筑波大学）
星野 敏之		事業所を代表する者 （イオンモール株式会社 イオンモールつくば）
伊藤 智治		市職員 （つくば市生活環境部長）

計画改定の経緯

時期	内容
令和 6 年 5 月	令和 6 年度第 1 回つくば市一般廃棄物減量等推進審議会 〈主な内容〉 ・ 諮問 ・ 改定スケジュールについて ・ ごみ組成分析調査実施方法について ・ アンケート調査実施方法について ----- ごみ組成分析調査を実施
6 月	アンケート調査を実施
8 月	令和 6 年度第 2 回つくば市一般廃棄物減量等推進審議会 〈主な内容〉 ・ たたき台について ・ ごみ組成調査結果について ・ アンケート調査結果について
10 月	令和 6 年度第 3 回つくば市一般廃棄物減量等推進審議会 〈主な内容〉 ・ パブリックコメント案について
12 月	パブリックコメントの実施（12 月 9 日から 1 月 8 日まで）
令和 7 年 2 月	令和 6 年度第 4 回つくば市一般廃棄物減量等推進審議会 〈主な内容〉 ・ パブリックコメント結果及び最終案について
3 月	答申 ----- つくば市一般廃棄物処理基本計画（令和 6 年度改定版）策定

世界の
あしたが
見えるまち。
TSUKUBA

つくば市一般廃棄物処理基本計画 資料編

令和 7 年（2025 年）3 月

編集・発行 つくば市 生活環境部 環境衛生課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目 1 番地 1

TEL：029-883-1111（代表）